令和元年9月1日発行　文部科学省認可通信教育補助教材

令和元年度

昼間スクーリング（後期）の手引

スクーリング受講手続日程

①	受講手続説明会	9／19(木)
②	受講申込開始日 (ポータルサイト)	9／19(木)
③	履修登録締切日	10／ 7(月)
	受講申込締切日	**ポータルサイト【24：00まで】** **窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】** **郵送の場合【必着】**
④	受講資格審査 通知予定日	10／17(木)
		※ポータルサイトに掲載します。
⑤	振込用紙発送予定日	10／17(木)
		発送予定日から5日経過しても通知が届かない場合は会計課に連絡してください。
⑥	受講辞退手続締切日	10／25(金)
		窓口提出の場合【事務取扱時間内厳守】 **郵送の場合【必着】**
⑦	受講料納入期限	11／ 1(金)**【厳守】**
⑧	結果通知予定	2月下旬
		ポータルサイトに掲載します。

開講日程

昼間開講日程	9／24(火)～1／22(水)
補講予定日	12／16(月)・21(土)

日本大学通信教育部

開 講 日 程

開講日程

年	月	日		月		火		水		木		金		土	
令和元年	9月	1		2		3		4		5		6		7	
		8		9		10		11		12		13		14	
		15		16	敬老の日	17		18		19	受講手続説明会	20	後期 昼1	21	
		22		23	秋分の日	24	後期 昼1	25	後期 昼1	26	後期 昼1	27	後期 昼2	28	
		29		30		1	後期 昼2	2	後期 昼2	3	後期 昼2	4	日本大学創立記念日	5	
	10月	6		7		8	後期 昼3	9	後期 昼3	10	後期 昼3	11	後期 昼3	12	
		13		14	体育の日	15	後期 昼4	16	後期 昼4	17	後期 昼4	18	後期 昼4	19	
		20		21		22	即位礼正殿の日	23	後期 昼5	24	後期 昼5	25	後期 昼5	26	
		27		28		29	後期 昼5	30	後期 昼6	31	後期 昼6	1	後期 昼6	2	
	11月	3	文化の日	4	振替休日	5	後期 昼6	6	後期 昼7	7	後期 昼7	8	後期 昼7	9	
		10		11		12	後期 昼7	13	後期 昼8	14	後期 昼8	15	後期 昼8	16	
		17		18		19	後期 昼8	20	後期 昼9	21	後期 昼9	22	後期 昼9	23	勤労感謝の日
		24		25		26	後期 昼9	27	後期 昼10	28	後期 昼10	29	後期 昼10	30	
	12月	1		2		3	後期 昼10	4	後期 昼11	5	後期 昼11	6	後期 昼11	7	
		8		9		10	後期 昼11	11	後期 昼12	12	後期 昼12	13	後期 昼12	14	
		15		16	後期補講日	17	後期 昼12	18	後期 昼13	19	後期 昼13	20	後期 昼13	21	後期補講日
		22		23		24	後期 昼13	25		26		27		28	
		29		30		31		1	元旦	2		3		4	
令和2年	1月	5		6		7		8		9	後期 昼14	10	後期 昼14	11	
		12		13	成人の日	14	後期 昼14	15	後期 昼14	16	後期 昼15	17	後期 昼15	18	
		19		20		21	後期 昼15	22	後期 昼15	23		24		25	
		26		27		28		29		30		31			

□…授業日及び補講日

補講は 12 月 16 日(月)，12 月 21 日(土) の2日間だけでなく，その他の曜日にも実施することがあります。補講が行われる場合，指定された補講日に出席する必要があります。

また，補講を行う時限は他講座の補講日程の関係上，必ずしも通常と同じ時限で開講されるものとは限りません。以上のことを承知した上で申込みをしてください。

はじめに

面接授業（スクーリング）とは，教員による直接の講義・演習・実技を受講することをいいます。その目的は，教材による在宅学修では十分に学修効果を上げることが困難な科目の一面を補い，教育効果を高めることにあります。このような主旨・目的から，スクーリングは卒業のための必修となっています。

本学の通信教育部では，学生に多くの受講機会が得られるよう，多種多様なスクーリングを開講しています。この『手引』は，その実施要領などをとりまとめて掲載しています。

スクーリングを受講希望する場合には，手続きの前にこの『手引』をよく読み，その指示に従って受講してください。

昼間スクーリングの特色

昼間スクーリングが他のスクーリングと異なる点は，通学課程と同形態の授業を行うことにあります。また，前期・後期と連続して受講することで，より学修効果が高まります。

なお，大学では適正規模の授業を実施し，かつ多くの学生が等しく受講機会を得られるように一人（受講者）当たりの受講制限を設けていますが，このスクーリングもその例外ではありません。

さらにこのスクーリングでは，２年生以上の学生を対象に卒業論文指導講座を設け，その指導の強化充実を図り，より優れた卒業論文となるよう指導します。

【受講の調整について】

スクーリングには，十分な教育効果を得るための適正な受講者数の基準が設定されています。受講申込者数が，適正受講者数でない場合，大学側で受講の調整を行うことがあります。

調整にあたっては，「受講機会の均等」の観点から，各申込者の受講調整履歴，スクーリング受講状況，単位修得状況，在学年数等を総合的に判断し，対象者を確定しますので，あらかじめご了承ください。

なお，講座の適正人数は，おおよそ下表の人数を目安としますが，講座の特性，スクーリングの形態，スクーリング会場の試験時定員数，パソコン台数及び受講学生の履修要件等により，下表によらない場合もあります。

講　　座	受講者数の上限	受講者数の下限
外国語科目講座	65 名	5名
演　習　講　座	30 名	5 名
上記以外の講座	100 名	10 名

〔調整方法等〕

1. 希望した講座が受講者数の上限を超えた場合，同じ曜日に開講されている同じ科目の講座に振り分けることがあります。
2. 超過人数の状況により新たに講座を増設（分割）して開講する場合があります。
3. 超過人数の状況により複数の講堂に「サテライト配信」を利用して授業を行う場合があります。（メインとなる授業講堂以外は，映像による配信となります。）
4. 上記1・2・3の方法で対応できない場合，調整対象者は当該講座の受講ができません。
5. 受講申込者数が下限に満たない場合，開講を取りやめることがあります。
6. 受講許可講座以外の講座の受講は，認められません。また，一度決定した受講許可講座の追加・変更はできません。

目　　次

Ⅰ　受講申込から受講料納入までの流れ
…… 2

Ⅱ　講座の選定
1　受講講座の選定…… 4
2　「教職に関する科目」における新・旧科目について…… 6
3　「英語」科目のレベル標記について …… 6

Ⅲ　時間割
1　時間割…… 8

Ⅳ　開講講座表及び講座内容（シラバス）
1　「開講講座表」の見方 …… 10
2　開講講座表・シラバス・使用教材
【曜日・時限順】…… 11

Ⅴ　受講及び試験
1　講座受講時の注意点……126
2　スクーリング結果の確認……127

Ⅵ　受講手続
1　履修登録をする……128
2　講座を申し込む……131
3　受講講座の変更・追加……135

Ⅶ　申込講座の許可と不許可
1　受講許可を確認する……136
2　講座振り分け及び受講不許可について…137
3　許可講座を辞退する……138

Ⅷ　受講料等の納入 ……139

Ⅸ　受講準備
1　使用教材の入手……142
2　通学定期券の購入手続……144

Ⅹ　オープン受講 ……145

Ⅺ　各種用紙
「為替」送付時の注意事項 ……148
履修届……149
昼間スクーリング（後期）受講届……151
オープン受講届（在学生用）……153
オープン受講届（社会人等（卒業生用））……155
「スクーリング」受講講座変更届 ……157
受講申込辞退願……159
教材配本申請書……161
教材購入用紙（丸沼書店用）……163
教材購入願（通信教育教材用）……165
通学定期乗車券発行控……167

Ⅻ　付録 ……169

Ⅰ　受講申込から受講料納入までの流れ

①受講手続説明会 **9月 19 日（木）**	『昼間スクーリング（後期）の手引』を読み，受講手続方法から試験までの流れを確認。受講制限・時間割を確認し，受講講座を選択する。

⇩

②授業開始までの準備	授業期間は 15 週にわたります。シラバスや時間割をよく読み，受講講座を選択。特に下記の項目を事前に確認すること。 **①開講日程及び時間割　②使用教材（教科書）の有無** **③準備学修　④成績評価基準** 【要確認】授業期間に出席可能なこと。

⇩

③授業開始 **第１週** **9月 20 日（金）** **～9月 26 日（木）**	各授業の第１週目は，授業の方法，授業計画，準備学修，テキスト及び成績評価基準等についての説明を行った後，授業を行います。 ※昼間スクーリングは受講者数の関係から受講調整を行うことがあります。以下の内容を必ず確認してください。
	【受講調整について】 受講希望者が多い場合，担当教員より受講制限を行うことがあります。この場合，第１週の授業に参加していない学生は，**たとえ受講申込みを行っても，授業を受けることができません。**特に「情報概論」（パソコン台数制限有），外国語科目，実習科目は制限をかけることが多いため，必ず第１週の授業から出席するようにしてください。 また希望者が少ない講座は開講を取り止めることがあります。あらかじめご理解ください。（「受講の調整について」参照）

⇩

④履修登録・ **受講申込締切**	**申込締切：10 月７日（月）** **（窓口提出）18 時 00 分（事務取扱時間）まで** **（ポータルサイト）締切日 24 時 00 分まで** **提 出 先：（郵送）提出締切日　必着** **（窓口）教務課窓口提出　事務取扱時間内厳守** ※１　受講届で申し込んだ講座がわかるように必ず申込内容の控えを取り各自で保管してください。 **※２　提出期限を過ぎてからの追加･変更はできません。10 月７日(月)までに受講予定の全ての講座を決定した上で提出してください。**

⇩

⑤受講許可の確認	ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて申し込んだ講座が「申請許可」になっているか確認。 ※受講届提出者には，「スクーリング受講資格審査結果通知書」を送付しますので，確認してください。 **必ず以下の内容を確認すること。** ※１　申込講座・時間割の確認及び担当講師 ※２　充当科目コード 特に外国語科目，各種演習科目は注意（後掲 10 ページ参照）。

⑥受講料の振込用紙発送	受講許可者には，スクーリング受講料の振込用紙を郵送します。 **発送予定日：10 月 17 日（木）** 発送予定日から５日経過しても振込用紙が届かない場合は会計課へ連絡してください。

⇩

許可講座の辞退	受講を許可された講座を受講しない場合(全講座，一部の講座とも)，10 月 25 日（金）までに辞退手続をする。 詳細は 138 ページ参照

⇩

⑦受講料の納入	ポータルサイト（又はスクーリング受講資格審査結果）及び「振込用紙」に記載された事項を確認の上，受講料を下記の納入期限までに納入してください。 **受講料納入期限：11 月1日（金）** **銀行窓口または ATM・インターネットバンキングで納入（139 ～ 141 ページ参照）** ※受講料（１講座 10,000 円，情報概論は 13,000 円）

⇩

⑧昼間スクーリング（後期）の手続完了	昼間スクーリング（後期）の手続は完了です。 領収書・明細票等は，スクーリング受講中は必ず携行してください。

Ⅱ　講座の選定

1　受講講座の選定

①　受講対象者及び受講条件

昼間スクーリング（後期）の受講者は，以下の受講条件を必ず守り，申込みをしてください。

1 受講申込対象者 （申込時点において右記の条件を満たすこと）	**①年度授業料を納入していること，または所定の締切日までに納入が可能なこと。** **②昼間スクーリング（後期）受講料を納入期日までに納入が可能なこと。** **③昼間スクーリング（後期）の授業日程に出席できること。**

2 受講講座数	**【申込講座の上限】　14 講座まで** **火曜日から金曜日までの各時限から１講座ずつ，最多で 14 講座まで申し込むことができます。** ※履修登録がされている科目のみ申し込みできます。 ※体育実技は上限に含みません。

3 受講制限	**上記 1，2の条件を満たしていても，全ての講座を申し込めるわけではありません。下記の制限により申し込めない講座がありますので，項目を確認し，受講講座を選定してください。**

②　受講制限について

すべての方がすべての講座を申し込めるのではありません。自分の学年・学科（専攻），カリキュラム及びその他の理由により申し込むことができない講座があります。以下，それぞれの受講制限を掲載しますので，必ず確認の上，申込みをしてください。

（1）　配当学年による受講制限

ア　１学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「１年」と記載されている講座のみ受講可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお，講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので，各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

イ　２学年生

各期の「開講講座表」の「配当学年」欄に「１年」又は「２年」と記載されている講座の受講が可能です。それ以外の講座は受講できません。

なお，講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので，各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

ウ　３・４学年生

配当学年による受講の制限はありませんが，講座によっては特定の学科（専攻）のみ受講を許可する講座があるので，各期の「開講講座表」の「制限・注意」欄で確認してください。

（2） 科目履修生の受講制限

入学時の「履修申請書」で履修登録した科目に該当する講座のみ受講できます。

（3） シラバスによる受講制限

シラバスに，過去のスクーリングと積み重ね不可の記載がある場合，受講できません。

（4） その他の理由による受講制限

以下のいずれかに該当する場合，その講座は受講できません。

ア　既に所定単位を修得している科目及び単位修得方式が確定している科目を充当科目とする講座の受講

イ　履修登録をしていない科目を充当科目とする１講座の受講

ウ　受講の調整による受講制限

一部の講座については，申込希望者が講座の適正人員を超える場合があり，この場合，大学側で受講の調整を行います。

調整により，受講申込講座と異なる講座での受講を許可する場合や，受講不許可となる場合があります。

そのため，**必ずポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて，許可された講座を受講してください**（受講許可講座と異なる講座の受講は，認められません）。

※受講届提出者は，「受講資格審査結果通知」を確認してください。

2 「教職に関する科目」における新・旧科目について

2011 年度に下表の「教職に関する科目」４科目については，科目名称が変更となり，2011 年度１学年入学者から学年進行により順次，新科目名での履修となります。

スクーリングの開講にあたっては，同一講座で新・旧両方の科目を充当科目として開講しますので，下表により適用となる充当科目を確認の上，受講申込みをしてください。

<table>
<tr><th colspan="2">旧科目名</th><th colspan="2">新科目名</th></tr>
<tr><td>T10300</td><td>教育の思想</td><td>T10200</td><td>教育原論</td></tr>
<tr><td>T21400</td><td>道徳教育の研究</td><td>T21300</td><td>道徳教育の理論と方法</td></tr>
<tr><td>T21600</td><td>特別活動の研究</td><td>T21500</td><td>特別活動論</td></tr>
<tr><td>T30700</td><td>教育カウンセリング論</td><td>T30600</td><td>教育相談</td></tr>
<tr><td colspan="2">旧科目名での履修対象者</td><td colspan="2">新科目名での履修対象者</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">右記以外の学生</td><td>入学年度</td><td>入学形態</td></tr>
<tr><td>2011 年度</td><td>１学年入学生</td></tr>
<tr><td>2012 年度</td><td>１学年入学生
２学年編入・再入学生</td></tr>
<tr><td>2013 年度</td><td>１学年入学生
２学年編入・再入学生
３学年編入・再入学生</td></tr>
<tr><td>2014 年度以降</td><td>全入学生</td></tr>
</table>

3 「英語」科目のレベル標記について

昼間スクーリングの「英語」では，受講講座選択の参考として，新たに授業内容のレベル（目安）を★で標記しています。受講講座の参考にしてください。

＜レベル＞★の数が増えるほど，難易度が上がります。

【★☆☆】 ⇔ 【★½☆】 ⇔ 【★★☆】 ⇔ 【★★★】

基礎　　初級　　中級　　上級

※レベル標記はあくまで「目安」です。レベルの感じ方には，個人差があります。
また同一レベル標記でも講座により，難易度が多少異なる場合もあります。
必ずシラバス全体をよく読んだ上で，各自で判断してください。

※講座受講者の状況により，担当講師の判断で適宜調整を図りますので，あらかじめご了承ください。

MEMO

Ⅲ　時間割

1　時間割

時限	火曜日		水曜日	
	講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
1時限目 9：00 〜 10：30	心理学A	白川　真裕	政治学	関根　二三夫
	民法Ⅰ	根本　晋一	英語基礎A	小澤　賢司
	西洋史入門	高草木　邦人	マーケティング	雨宮　史卓
			簿記論Ⅰ	山元　俊一
2時限目 10：40 〜 12：10	心理学B	白川　真裕	哲学B	中澤　瞳
	民法Ⅲ	根本　晋一	英語C	森　晴代
	国文学基礎講義	野口　恵子	商法Ⅱ	南　健悟
	英米文学演習Ⅰ〜Ⅲ	猪野　恵也	西洋史演習Ⅰ・Ⅱ	藤井　信行
	日本史入門	鍋本　由徳	経済原論／経済学原論A	関谷　喜三郎
	商学総論	雨宮　史卓		
3時限目 13：00 〜 14：30	法学A	根本　晋一	文学	木村　一
	英語A	マイケル　ギルロイ	法学B	武田　茂樹
	スピーチコミュニケーションⅡ	アレックス　ブラウン	英語D	北原　安治
	史学概論	髙綱　博文	刑法Ⅰ	岡西　賢治
	中国経済論	崔　晨	英語音声学	森　晴代
	広告論	雨宮　史卓	東洋史特講Ⅱ	堀井　弘一郎
			アメリカ経済論	羽田　翔
4時限目 14：40 〜 16：10	哲学A	江川　晃	歴史学A	渡邊　浩史
	文化史A	渡邊　浩史	国語学概論	保科　恵
	英語B	アレックス　ブラウン	国文学講義Ⅴ（近代）	山﨑　眞紀子
	国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	近藤　健史	英語史	真野　一雄
	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	鍋本　由徳	日本思想史Ⅰ	島田　健太郎
	金融論	谷川　孝美	東洋史入門	綿貫　哲郎
	英語M	マイケル　ギルロイ	考古学概説	浜田　晋介
5時限目 16：20 〜 17：50	心理学C	芳賀　道匡	歴史学B	堀井　弘一郎
	中国語Ⅰ・Ⅱ	稲葉　明子	文化史B	渡邊　浩史
	哲学特殊講義	江川　晃	英語E	町田　純子
	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	髙綱　博文	国文学基礎演習	木村　一
	英語N	アレックス　ブラウン	情報概論A	戸塚　英臣

開講日程

後　　期	9／24〜1／22	補講予定日	12／16，12／21

木曜日		金曜日	
講座名	担当講師名	講座名	担当講師名
社会学Ａ	服部　慶亘	英語Ｋ	大庭　香江
英語Ｆ	鈴木　ふさ子	フランス語Ⅰ・Ⅱ	大庭　克夫
行政学	関根　二三夫	東洋思想史Ⅰ	本間　直人
情報概論Ｂ	中村　典裕	経営学	山田　敏之
		日本史概説 / 日本史概論	鍋本　由徳
英語Ｇ	岡田　善明	経済学	谷川　孝美
政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	杉本　竜也	ＴＯＥＩＣ　Ｂ	大庭　香江
国文学演習Ⅰ～Ⅵ	近藤　健史	イギリス文学史Ⅱ	猪野　恵也
英語文学概説 / 英米文学概説	鈴木　ふさ子	西洋思想史Ⅰ	関谷　雄磨
経済学概論	藤本　訓利		
英語基礎Ｂ	中村　則子	英語Ｌ	石川　勝
英語学演習Ⅰ～Ⅲ	真野　一雄	政治学原論	吉野　篤
東洋史概説 / 東洋史概論	髙綱　博文	英作文Ⅰ	大庭　香江
経済原論 / 経済学原論Ｂ	藤本　訓利	哲学基礎講読	石井　友人
現代教職論	古賀　徹	市場調査論	最上　健児
		道徳教育の理論と方法 / 道徳教育の研究	李　吉魯
英語Ｈ	中村　則子	哲学Ｃ	中澤　瞳
ＴＯＥＩＣ　Ａ	八木　茂那子	国文学概論	山﨑　泉
憲法	名雪　健二	宗教学概論	合田　秀行
西洋史特講Ⅰ	青山　由美子	商業史	竹内　真人
経済史総論	飯島　正義	生徒指導・進路指導論	古賀　徹
英語科教育法Ⅲ	小澤　賢司		
英語Ｊ	八木　茂那子	社会学Ｂ	服部　慶亘
哲学演習Ⅰ・Ⅱ	中澤　瞳	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	中島　伸
国際経済論	前野　高章	日本政治史	石川　徳幸
商業政策	新島　裕基	日本史特講Ⅱ	坂口　太助
教育の方法・技術論	古賀　徹		
英語基礎Ｃ	中村　則子		

Ⅳ　開講講座表及び講座内容（シラバス）

1　「開講講座表」の見方

「開講講座表」の見方

1	講座コード	スクーリング開講講座を識別するために講座ごとに付された固有のコード番号です。 「受講届」の「講座コード」欄（４桁）には，この講座コードを記入してください。	
2	開講講座名	講座の名称です。原則，科目名と同一ですが，「英語」等のように複数開講される講座については，講座名の後ろにアルファベット等の記号を付して各講座を識別します。	
3	担当講師名	当該講座を担当する教員の氏名です。	
4	開講単位数	受講講座の合格により修得できる単位数です。	
5	充当科目（科目コード，科目名）	受講講座の合格により成績評価の対象となる科目コードと科目名です。 スクーリングの開講単位は「講座」であり，その「講座」に対してどの「科目（科目コード）」で受講するか（充当させるのか）を申告します。 多くの講座の充当科目は１講座につき１科目ですが，「英語」や「演習科目」のように受講者の単位修得状況により充当科目の選択が必要な講座もあるので，充当科目の選定は慎重に行ってください。 「受講届」の「充当科目コード」欄（６桁）には，この科目コードを記入してください。	
6	併用	「スクーリング併用試験方式」による受講の対象講座か否を記載しています。「スクーリング併用試験方式」による受講ができない講座には，「×印」が記載されています。 **昼間スクーリングは「スクーリング併用試験方式」による受講ができないため，全て「×印」が記載されています。**	
7	制限・注意	配当学年	ここに記載されている学年に達していない場合は受講できません。 学部・学科（専攻）により受講可能な学年が異なる場合は，「受講条件」欄に記載されています。
		受講条件	その他の受講制限及び諸注意等がある場合に記載されています。
8	オープン受講	オープン受講ができない講座には「×印」が記載されています。 記載がない講座はオープン受講申込可です。	

2　開講講座表・シラバス・使用教材【曜日・時限順】

【火曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
1時限	AH11	心理学A	白川　真裕	2		B12100	心理学	×	1年		
	AH12	民法Ⅰ	根本　晋一	2		K20200	民法Ⅰ	×	条件参照	・法律学科のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
	AH13	西洋史入門	高草木 邦人	2		Q20300	西洋史入門	×	条件参照	・史学専攻のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
2時限	AH21	心理学B	白川　真裕	2		B12100	心理学	×	1年		
	AH22	民法Ⅲ	根本　晋一	2		K30200	民法Ⅲ	×	2年		
	AH23	国文学基礎講義	野口　恵子	2		M20100	国文学基礎講義	×	条件参照	・国文学専攻のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
	AH24	英米文学演習Ⅰ～Ⅲ	猪野　恵也	1		N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						N405S0	英米文学演習Ⅱ				
						N406S0	英米文学演習Ⅲ				
	AH25	日本史入門	鍋本　由徳	2		Q20100	日本史入門	×	条件参照	・史学専攻のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
	AH26	商学総論	雨宮　史卓	2		S20100	商学総論	×	条件参照	・商学部のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
3時限	AH31	法学A	根本　晋一	2		B11500	法学（日本国憲法２単位を含む）	×	1年		
	AH32	英語A	マイケル ギルロイ	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AH33	スピーチコミュニケーションⅡ	アレックス ブラウン	1		N31000	スピーチコミュニケーションⅡ	×	2年		
	AH34	史学概論	髙綱　博文	2		Q30100	史学概論	×	2年		
	AH35	中国経済論	崔　晨	2		R313S0	中国経済論	×	2年		
	AH36	広告論	雨宮　史卓	2		S30900	広告論	×	2年		

注意　各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

【火曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
4時限	AH41	哲学A	江川 晃	2		B10700	哲学	×	1年		
	AH42	文化史A	渡邊 浩史	2		B11200	文化史	×	1年		
	AH43	英語B	アレックス ブラウン	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AH44	国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	近藤 健史	2		M311S0	国文学特殊講義Ⅰ	×	2年	・Ⅰ，Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						M312S0	国文学特殊講義Ⅱ				
	AH45	日本史演習Ⅰ・Ⅱ	鍋本 由徳	1		Q401S0	日本史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ，Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						Q402S0	日本史演習Ⅱ				
	AH46	金融論	谷川 孝美	2		R31800	金融論	×	2年		
	AH47	英語M	マイケル ギルロイ	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
5時限	AH51	心理学C	芳賀 道匡	2		B12100	心理学	×	1年		
	AH52	中国語Ⅰ・Ⅱ	稲葉 明子	1		F10100	中国語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ，Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						F10200	中国語Ⅱ				
	AH53	哲学特殊講義	江川 晃	2		P31000	哲学特殊講義	×	2年		
	AH54	東洋史演習Ⅰ・Ⅱ	髙綱 博文	1		Q403S0	東洋史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ，Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						Q404S0	東洋史演習Ⅱ				
	AH55	英語N	アレックス ブラウン	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				

注意　各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔心理学Ａ〕　白川　真裕

◆授業概要　本講義では，心をどのようにとらえ，さらに日常生活の上での問題解決に役立てるかといった，心理学の基礎から応用までの主要領域について紹介する。また，それぞれの日常生活の中で，心理学やそれに関連した学問の理論や知見について，考えを巡らせる機会をもってもらう。

◆学修到達目標　心理学の基礎的・応用的知識を幅広く獲得することを目指す。また，人間の心の働きについて科学的に考える力を身につけることで，人々のさまざまな行動を心理学的な視点から理解し，説明できるようになることを目標とする。

◆授業方法　授業は主として講義形式で行う。ただ漫然と授業を聴くのではなく，考えながら聴講し，ノートをとりながら積極的に参加をするようつとめること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス，発達 1　発達とは，発達の特徴
	事前学修	シラバスの内容をよく確認しておく。発達とは，どのようなものか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
2回	授業内容	発達 2：発達段階の特徴
	事前学修	前回の授業の内容を確認しておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
3回	授業内容	感情：感情の種類とメカニズム
	事前学修	他者の感情状態を推測した，あるいは他者から自分の感情状態を推測された経験を思い出し，判断の手がかりはどのようなものだったと思うか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
4回	授業内容	動機づけ 1：欲求と欲求不満，葛藤
	事前学修	欲求にはどのような種類があるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
5回	授業内容	動機づけ 2：動機づけの理論
	事前学修	動機づけを高めるために，どのような工夫ができるか（しているか），自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
6回	授業内容	個人差 1：パーソナリティの理論と測定
	事前学修	自分のパーソナリティにはどんな特徴があるか，環境の影響を受けて変わってきたことはあるか，考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
7回	授業内容	個人差 2：知能の理論と測定
	事前学修	「頭が良い」とはどのようなことを指すと思うか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
8回	授業内容	ストレスと心の健康
	事前学修	自分がどのようなことにストレスを感じやすいか，またストレスを感じたときどのような対処ができるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
9回	授業内容	社会 1：社会的認知（自己・他者・集団・対人関係に対する認知）
	事前学修	自分を良く見せようとしたり，他者を先入観や色眼鏡で見てしまったりするような現象にはどのようなものがあるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
10 回	授業内容	社会 2：社会的影響
	事前学修	人間の考えや態度，行動が他者や集団から影響を受けて変化するのはどのような時か，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
11 回	授業内容	環境 1：環境の知覚と認知，環境デザイン
	事前学修	「快適な環境」とはどのようなものだと思うか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
12 回	授業内容	環境 2：対人・社会環境，さまざまな環境
	事前学修	自分が「居心地が良い（悪い）」，「好き（嫌い）」と思う場所には，どのような特徴があるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
13 回	授業内容	環境 3：環境と犯罪
	事前学修	自分が「安全（危険）」，「安心（不安）」と思う場所には，どのような特徴があるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
14 回	授業内容	振り返りとまとめ
	事前学修	これまでの授業内容を再確認しておく。
	事後学修	試験に備えて授業内容を復習しておく。
15 回	授業内容	理解度の確認（試験）
	事前学修	試験に備えて授業内容を復習しておく。
	事後学修	これまでの授業内容を復習し，自分の回答が適切か確認する。

◆教科書　当日資料配布　必要に応じて資料を配布します。

◆参考書　丸沼『心理学』　鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃編　東京大学出版会　2,592 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　試験（80%），授業参画度（20%）により総合的に評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法Ⅰ〕　根本　晋一

◆授業概要　民法総則の後半部分を学修する。具体的には，民法の意義，法源（存在形式），沿革，指導原理，私権の社会性，私権の主体，私権の客体，意思表示と法律行為，代理，無効と取消し，条件と期限，期間，時効，のうち，意思表示と法律行為から時効までを学修する。

◆学修到達目標　民法学における民法総則の位置づけ，民法総則の意義と体系，主要な論点を理解する。併せて，授業概要の箇所で示した専門用語を，具体例を用いて説明できるようになる。

◆授業方法　講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより，シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し，ノートを作らせ，勉強の仕方を教えるので，ノートをしっかりと録取し，何度も読み返すこと。

◆履修条件　他の担当教員の民法Ⅰ，および根本の民法Ⅰ（前半）との積み重ねのみ可。なお，後半を先に履修し，前半を後に履修することも可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	法律行為と意思表示
	事前学修	前半最終授業時の板書事項の再確認（後半からの受講生は必要なし）
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
2回	授業内容	意思表示
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
3回	授業内容	意思の不存在，心裡留保
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
4回	授業内容	通謀虚偽表示
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
5回	授業内容	錯誤
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
6回	授業内容	錯誤
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
7回	授業内容	代理，顕名，代理人の能力と権限，代理の効果，任意代理と法定代理
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
8回	授業内容	復代理，自己契約と双方代理の禁止
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
9回	授業内容	広義の無権代理，狭義の無権代理
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
10回	授業内容	表見代理，相手方の保護，無権代理人の責任
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
11回	授業内容	条件，期限，期間
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
12回	授業内容	時効，除斥期間，時効制度の趣旨
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
13回	授業内容	時効の援用と放棄，時効の中断と停止
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
14回	授業内容	取得時効，占有の承継
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
15回	授業内容	消滅時効
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み

◆教科書　指定しない。

◆参考書　通材『民法Ⅰ　K20200』 通信教育教材（教材コード 000407）2,600 円（送料込）

◆成績評価基準　全回出席を前提として，筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%，授業態度や質疑応答 20%。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋史入門〕　高草木　邦人

◆授業概要　本科目では，西洋の地理的特徴を踏まえながら，①「外国史（西洋史）」学修の意義，②原始・古代から現代に至る史実や解釈への様々なアプローチ，③資料を使った「外国史（西洋史）」学修と研究方法の知識の習得を通じて，「外国史（西洋史）」研究に対する知識や態度を身につけます。

◆学修到達目標　本講義は，西洋史を学ぶ上で必要とされる知識と技術の基礎を学習します。本講義の学習により，受講生は自立的に西洋史を研究するためのスタート地点に立つことができます。後期においては，文献の集め方，専門書・研究論文の読み方，外国語文献の収集・読解などについて学習します。なお，前期と後期は内容が異なります。半期のみの受講も可能ですが，学習効果をあげるためには，前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆授業方法　基本的に講義形式をとりますが，演習的な要素も盛り込みます。具体的には，研究文献や史料の講読，学習した知識・技術に関する報告などを予定しています。また，講義で学習したことを自分自身で実践するために，４回のレポートを課する予定です。なお，受講者の人数とその理解度に応じて，下記の授業計画を若干修正することがあります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス：西洋史の文献を読むために
	事前学修	高等学校の世界史の教科書を復習しておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
2回	授業内容	研究文献を集める：概要（研究テーマを考える）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
3回	授業内容	研究文献を集める：実践（文献を集める）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
4回	授業内容	研究文献を集める：報告（文献の情報を報告する）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
5回	授業内容	専門書を読む：概要（専門書を構造）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
6回	授業内容	専門書を読む：実践①（西洋古典古代の専門書を読む）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
7回	授業内容	専門書を読む：実践②（西洋近現代史の専門書を読む）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
8回	授業内容	専門書を読む：報告（研究テーマの専門書の要点を報告する）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
9回	授業内容	註から論文を読む：概要（註に何が書いているか）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
10 回	授業内容	註から論文を読む：実践①（西洋中世史の論文を読む）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
11 回	授業内容	註から論文を読む：実践②（西洋近世史の論文を読む）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
12 回	授業内容	註から論文を読む：報告（研究テーマの論文の論拠を報告する）
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
13 回	授業内容	外国語文献に触れる：外国語文献を読む意義
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
14 回	授業内容	外国語文献に触れる：外国語文献の集め方
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	復習用プリントを使い，講義の復習をしておくこと
15 回	授業内容	外国語文献に触れる：外国語文献を読む
	事前学修	予習用プリントを使い，講義の予習をしておくこと
	事後学修	本講義の内容を確認・理解して，歴史学の研究書や論文を講読すること

◆教科書　当日資料配布　講義では，プリントを配布します。

◆参考書　丸沼『私もできる西洋史研究―仮想大学に学ぶ』 井上浩一　和泉出版　2012 年　1,944 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『人文学への接近法―西洋史を学ぶ』 服部良久ほか編　京都大学学術出版会　2010 年
2,160 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『わかる・身につく歴史学の学び方』 大学の歴史教育を考える会（編） 大月書店　2016 年
2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準　成績の評価基準は，レポート（60%），平常点（40%）です。レポートを４回ほど課する予定です。平常点は，授業中に配布するリアクション・ペーパー，学習内容に関する報告，そして授業態度などを参考に評価します。なお，毎回出席していることを前提として評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔心理学Ｂ〕　白川　真裕

◆授業概要　本講義では，心をどのようにとらえ，さらに日常生活の上での問題解決に役立てるかといった，心理学の基礎から応用までの主要領域について紹介する。また，それぞれの日常生活の中で，心理学やそれに関連した学問の理論や知見について，考えを巡らせる機会をもってもらう。

◆学修到達目標　心理学の基礎的・応用的知識を幅広く獲得することを目指す。また，人間の心の働きについて科学的に考える力を身につけることで，人々のさまざまな行動を心理学的な視点から理解し，説明できるようになることを目標とする。

◆授業方法　授業は主として講義形式で行う。ただ漫然と授業を聴くのではなく，考えながら聴講し，ノートをとりながら積極的に参加をするようつとめること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス，発達 1　発達とは，発達の特徴
	事前学修	シラバスの内容をよく確認しておく。発達とは，どのようなものか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
2回	授業内容	発達 2：発達段階の特徴
	事前学修	前回の授業の内容を確認しておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
3回	授業内容	感情：感情の種類とメカニズム
	事前学修	他者の感情状態を推測した，あるいは他者から自分の感情状態を推測された経験を思い出し，判断の手がかりはどのようなものだったと思うか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
4回	授業内容	動機づけ 1：欲求と欲求不満，葛藤
	事前学修	欲求にはどのような種類があるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
5回	授業内容	動機づけ 2：動機づけの理論
	事前学修	動機づけを高めるために，どのような工夫ができるか（しているか），自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
6回	授業内容	個人差 1：パーソナリティの理論と測定
	事前学修	自分のパーソナリティにはどんな特徴があるか，環境の影響を受けて変わってきたことはあるか，考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
7回	授業内容	個人差 2：知能の理論と測定
	事前学修	「頭が良い」とはどのようなことを指すと思うか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
8回	授業内容	ストレスと心の健康
	事前学修	自分がどのようなことにストレスを感じやすいか，またストレスを感じたときどのような対処ができるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
9回	授業内容	社会 1：社会的認知（自己・他者・集団・対人関係に対する認知）
	事前学修	自分を良く見せようとしたり，他者を先入観や色眼鏡で見てしまったりするような現象にはどのようなものがあるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
10 回	授業内容	社会 2：社会的影響
	事前学修	人間の考えや態度，行動が他者や集団から影響を受けて変化するのはどのような時か，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
11 回	授業内容	環境 1：環境の知覚と認知，環境デザイン
	事前学修	「快適な環境」とはどのようなものだと思うか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
12 回	授業内容	環境 2：対人・社会環境，さまざまな環境
	事前学修	自分が「居心地が良い（悪い）」，「好き（嫌い）」と思う場所には，どのような特徴があるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
13 回	授業内容	環境 3：環境と犯罪
	事前学修	自分が「安全（危険）」，「安心（不安）」と思う場所には，どのような特徴があるか，自分なりに考えておく。
	事後学修	配布資料の内容を確認し，授業の内容をノート等に整理しておく。
14 回	授業内容	振り返りとまとめ
	事前学修	これまでの授業内容を再確認しておく。
	事後学修	試験に備えて授業内容を復習しておく。
15 回	授業内容	理解度の確認（試験）
	事前学修	試験に備えて授業内容を復習しておく。
	事後学修	これまでの授業内容を復習し，自分の回答が適切か確認する。

◆教科書　当日資料配布　必要に応じて資料を配布します。

◆参考書　丸沼『心理学』　鹿取廣人・杉本敏夫・鳥居修晃編　東京大学出版会　2,592 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　試験（80%），授業参画度（20%）により総合的に評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔民法Ⅲ〕　根本　晋一

◆授業概要　債権総論の後半部分を学修する。具体的には，債権の目的，債権の発生原因，債権の効力，債権者代位権，詐害行為取消権，多数当事者の債権債務関係，債権譲渡，債務引受，債権の消滅原因，のうち，債権者代位権，詐害行為取消権から債権の消滅原因までを学修する。

◆学修到達目標　民法学における債権総論の位置づけ，債権総論の意義と体系，主要な論点を理解する。併せて，授業概要の箇所で示した専門用語を，具体例を用いて説明できるようになる。

◆授業方法　講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより，シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し，ノートを作らせ，勉強の仕方を教えるので，ノートをしっかりと録取すること。

◆履修条件　他の担当教員の民法Ⅲ，および根本の民法Ⅲ（前半）との積み重ねのみ可。なお，後半を先に履修し，前半を後に履修することも可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	債権の保全的効力　保全的効力の位置づけ（広義の対外的効力）
	事前学修	前半最終回の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
2回	授業内容	債務者の責任財産の保全　債権者代位権　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
3回	授業内容	詐害行為取消権　代位権と取消権の異同　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
4回	授業内容	狭義の対外的効力　不動産賃借権の物権化現象　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
5回	授業内容	賃借権に基づく妨害排除請求の可否　債権者代位権の転用　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
6回	授業内容	多数当事者の債権債務関係　可分債務（分割債務）の原則　連帯債務　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
7回	授業内容	不真正連帯債務・不真正連帯債権　不可分債権・不可分債務　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
8回	授業内容	人的保障と物的保証　保証債務　附従性　随伴性　保証人の資格　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
9回	授業内容	単純保証　催告の抗弁権　検索の抗弁権　共同保証　分別の利益　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
10回	授業内容	保証人の求償権　連帯保証　保証連帯　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
11回	授業内容	債権譲渡　沿革　更改との違い　債権の独自的財貨性　債権の譲渡性　債権譲渡の目的　債権譲渡と対抗要件　物権変動との違い　通知・承諾　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
12回	授業内容	異議なき承諾と抗弁の切断　証券的債権の譲渡　契約上の地位の譲渡　債務引受　履行の引受け　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
13回	授業内容	債権の消滅原因　弁済　代物弁済　弁済供託（更改との違い）　第三者弁済と代位　弁済の提供　債権の準占有者に対する弁済　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
14回	授業内容	相殺　差押と相殺　債権譲渡と相殺　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
15回	授業内容	預金担保貸付と相殺　免除　混同　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み

◆教科書　指定しない。

◆参考書　通材『民法Ⅲ　K30200』 通信教育教材（教材コード 000354）2,900 円（送料込）

◆成績評価基準　全回出席を前提として，筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%，授業態度や質疑応答 20%。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学基礎講義〕　野口　恵子

◆授業概要　研究は日々進歩している。当然のことであるが，その認識が徹底されていないことがしばしば見受けられる。情報を更新することの重要性を説くために，高等学校の教科書「国語総合」を取り上げ，最新の研究成果との相違点を確認し，どのようにして成果を反映させるかを考える。

◆学修到達目標　大学で学ぶ古典は，高等学校で学んだ古典とは全く異なる。まずはその違いを知ることを目標とする。授業では『万葉集』の作品を取り上げながら，いかに両者が違っているのかを具体的に示す。これを通して，大学では何を学ぶべきかを考えることができるようにする。また，大学の学修で必要とされる文献の調査方法や読み方，レポートの書き方についても修得することができる。

◆授業方法　講義形式で行う。板書はメモ程度しかしないので，自分にとって必要な情報はノートに書き，「“自分”のノート」を作成すること。なお学生自らの思考を促すために，不定期で「復習テスト」を実施する。

◆履修条件　なし。ただし，学修効果を向上させるためには，前期後期連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業内容と進め方の説明・大学と高校での学びの違いとは？
	事前学修	自宅にある高校時代の国語科教科書に目を通す
	事後学修	授業内容をまとめたノートをさらに整理し，復習しておく
2回	授業内容	『万葉集』についての説明
	事前学修	図書館等で，『万葉集』についての情報を得ておく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
3回	授業内容	数研出版の「国語総合」を使って，作品の表記について考える
	事前学修	数研出版の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
4回	授業内容	数研出版の「国語総合」を使って，脚注や学習の手引きなどについて考える
	事前学修	数研出版の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
5回	授業内容	数研出版の「国語総合」を使って，四期区分説等の問題点を考える
	事前学修	数研出版の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
6回	授業内容	明治書院の「国語総合」を使って，そこに掲載されているエッセイについて考える
	事前学修	明治書院の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
7回	授業内容	明治書院の「国語総合」を使って，作品の本文表記について考える
	事前学修	明治書院の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
8回	授業内容	明治書院の「国語総合」を使って，作品の解釈について考える
	事前学修	明治書院の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
9回	授業内容	筑摩書房の「国語総合」を使って，作品の表記や脚注について考える
	事前学修	筑摩書房の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
10回	授業内容	筑摩書房の「国語総合」を使って，学習の手引きについて考える
	事前学修	筑摩書房の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
11回	授業内容	第一学習社の「国語総合」を使って，作品の表記や脚注について考える
	事前学修	第一学習社の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
12回	授業内容	第一学習社の「国語総合」を使って，学習の手引きについて考える
	事前学修	第一学習社の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
13回	授業内容	桐原書院の「国語総合」を使って，作品の表記について考える
	事前学修	桐原書院の「国語総合」を読んでおく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
14回	授業内容	桐原書院の「国語総合」を使って，脚注や学習の手引きについて考える
	事前学修	桐原書院
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく
15回	授業内容	「国語総合」における，教材化された『万葉集』の問題点を考える
	事前学修	これまで取り扱った作品の問題点を再確認しておく
	事後学修	授業内容をまとめたノートと授業時に配布した資料を確認し，理解を深めておく

◆教科書　丸沼『訳文　万葉集』　森淳司編　笠間書院　1,944 円（税込）（送料 500 円）

◆参考書　丸沼『おかしいぞ！国語教科書』　梶川信行編　笠間書院　2,700 円（税込）（送料 350 円）
『〈新編日本古典文学全集〉萬葉集①～④』　小島憲之他校注・訳者　小学館　図書館等をご利用下さい。

◆成績評価基準　復習テストの評価を含む平常点（30%）・レポート試験（70%）
※毎回出席することを前提としており，やむを得ない理由以外の遅刻は認めない。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英米文学演習Ⅰ～Ⅲ〕　猪野　恵也

◆授業概要　前期に続けて Graham Greene の *The End of the Affair* を読む。まずは，英文法を駆使して英文を正しく読むようにする。物語のみならず，文体にも留意し，作品観賞や解釈につなげたい。先行研究も紹介する予定だが，英和辞書，英英辞書だけを頼りに原文にぶつかっていく。

◆学修到達目標　1．文法を駆使しながら英文を読むことができる。
2．作品観賞ができるようになる。
3．Graham Greene の文学世界に触れることができる。

◆授業方法　学生による和訳発表が中心。まず文法を駆使して読む。授業計画はおおよその目安である。進度によっては授業計画通りに進まない場合がある。翻訳でよいので *The End of the Affair* 全編を読み，割り当て以外の個所も予習すること。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期及び後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	前期の授業内容の振り返り及び割り当て。
	事前学修	前期に読んだ部分を読み直す。
	事後学修	改めて前期に読んだ部分を読み，解釈を考えてみる。
2回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　74 頁から 78 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
3回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　79 頁から 83 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
4回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　84 頁から 88 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
5回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　89 頁から 93 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
6回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　94 頁から 98 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
7回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　99 頁から 103 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
8回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　104 頁から 108 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
9回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　109 頁から 113 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
10 回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　114 頁から 118 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
11 回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　119 頁から 123 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
12 回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　124 頁から 128 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
13 回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　129 頁から 134 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
14 回	授業内容	*The End of the Affair* 読解　135 頁から 139 頁
	事前学修	予め時間をじゅうぶんかけて英文を読む。
	事後学修	*The End of the Affair* 再読。意味の区切りに留意して音読をする。
15 回	授業内容	試験
	事前学修	時間をじゅうぶんかけて前回まで読んだ分を再読しておく。
	事後学修	読み残した分を読み，複数の解釈の可能性を考えてみる。

◆教科書　当日資料配布　プリント配布

◆参考書　丸沼『情事の終り』　上岡伸雄訳　新潮文庫　723 円（税込）（送料 215 円）
『グレアム・グリーン入門』　山形和美著　彩流社（図書館を利用してください）

◆成績評価基準　試験（50%）　発表（30%）　最終レポート（20%）皆出席を前提とする。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史入門〕　　鍋本　由徳

◆授業概要　本科目は①日本史学修の意義，②原始・古代～現代へのアプローチ，③資料による学修・研究方法を通じて，日本史を学修し，また研究するための方法へのアプローチを目指す科目です。日本史で使う基本単位や制度，各時代の史料などを提示して，日本史の学修・研究の基礎を学びます。

◆学修到達目標　1．日本史でよく使う単位を理解するため，各時代特有の制度について説明できるようにする。
2．古代から近代を学ぶ方法を理解するため，各時代の基本的史料集を説明できるようにする。
3．将来日本史を専攻する，あるいは教壇に立つ者として必要な知識と姿勢を身につけていく。

◆授業方法　原則としてプリントを使います。プリント・スクリーン投影資料を併用しながら，プリントの内容を説明します。

◆履修条件　平成 29・30 年度昼間前期「日本史入門」修得済の学生は履修不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	日本史を学ぶ意味　「参考文献」と「歴史資料」の違いから，日本史を学修する姿勢を学びます。
	事前学修	「参考文献」の定義と「歴史資料」の定義を調べ，その違いを考えておく。
	事後学修	紹介本の数冊を読んで，文献一覧を確認する。辞典で歴史用語を調べる。
2回	授業内容	日本史の基礎知識⑴　―単位・国制―　度量衡の単位と「国郡制」について学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された単位などを調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
3回	授業内容	日本史の基礎知識⑵　―政治・経済―　主要な政治体制と，貨幣制度の変遷について学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された制度などを調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
4回	授業内容	日本史の時代区分　―日本史での区分の問題―　日本史の時代区分がもたらす課題と，それを克服する姿勢を学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された区分の課題に取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
5回	授業内容	日本史の基本文献⑴　―入門・概説書―　入門書と概説書を紹介し，それぞれが持つ特徴について学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された図書を調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
6回	授業内容	日本史の基本文献⑵　―基本論集―　「講座」のシリーズを紹介し，入門・概説を乗り越える姿勢を学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された図書を調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
7回	授業内容	日本史の資史料　―非文献資料の特徴―　文字資料（史料）以外の手段による学修･研究手段について学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された資料区分を調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
8回	授業内容	日本史の基本史料⑴　―古代･中世―　古代･中世史の基本史料集や，東大史料編纂所 DB の使い方を学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示されたデータベースを閲覧する。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
9回	授業内容	日本史の基本史料⑵　―近世―　近世史の基本史料集と，調べ方や使い方の基本を学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された史料の解題を調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
10回	授業内容	日本史の基本史料⑶　―近代―　近代史の基本叢書類を紹介し，デジタルアーカイブズの使い方を学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示されたデータベースを閲覧する。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
11回	授業内容	古代・中世の史料を読んでみる　―疫病・幕府・惣村―　実際に史料を読みながら，史料からわかる歴史事実を把握します。
	事前学修	事前学修シートで指示された史料を読み，課題に取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
12回	授業内容	近世・近代の史料を読んでみる　―法度・ロンドン海軍軍縮会議―　実際に史料を読みながら，史料の背景にある事実を把握します。
	事前学修	事前学修シートで指示された史料を読み，課題に取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
13回	授業内容	随筆から日本史へのアプローチ　―騒ぎ歌・噂話―　古文書や古記録に現れない歴史事実を使って，学修の幅を広げます。
	事前学修	事前学修シートで指示された随筆の解題を調べる。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
14回	授業内容	外国人日記から日本史へのアプローチ　―「観光」と旅―　国外からの視点から日本史を学ぶ方法や姿勢を学びます。
	事前学修	事前学修シートで指示された史料を読み，課題に取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
15回	授業内容	講義総括　日本史の学修にむけて　第１回から第 14 回を総括して，自己理解度を改めて振り返ります。
	事前学修	第１回から第 14 回の学修内容の要点をまとめておく。
	事後学修	当日配付されたプリントから自身の弱点を知り，重点復習箇所を確認する。

◆教科書　〔当日資料配布〕参照プリントを１～２枚配付（回により増減あり）

◆参考書　配布プリントに記載する／授業時に適宜紹介する

◆成績評価基準　授業内提出レポート（70%），授業内小テスト（30%）の総合評価　※ 15 回全出席を前提とした評価です。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商学総論〕　雨宮　史卓

◆授業概要　本講義は，商業の各機能を論ずるだけでなく，商業の考え方を主体に述べる。最初に「商業とは何か」を学び，流通やマーケティングにどのような意味を持つかを理解する。歴史的に商業は「生産者の代理」として機能してきた。しかし，近年では消費者視点の発想が重要視されている。そのため，商業者が生活者の視点に立つ事を念頭に置き，身近な事例や仮設例を用いて理論や政策を具体的に解説する。

◆学修到達目標　1　企業及び消費者の両視点から商学を理解することができる。
2　商業の発展とマーケティング概念との関連性を理解することができる。
3　流通情報の範囲や市場調査の方法を理解することができる。

◆授業方法　ターム前半はテキストに沿いながら，日本における商業･流通の歴史と発展，変化を中心に解説する。ターム後半はマーケティングを中心とした幅広い知識習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また，その日の授業の後半で，主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆履修条件　前期昼間スクーリングとの継続履修が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方　商業とは何か
	事前学修	テキストの第１章を再読した上で，前期のノートを再確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当部分と配布資料を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容	商業機能の深化と拡大
	事前学修	テキスト 95 頁～ 119 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当箇所を読んで，ノートにまとめておくこと。
3回	授業内容	商品における製品とサービスの比較
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
4回	授業内容	商業とマーケティング
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
5回	授業内容	小売業の形態と役割
	事前学修	テキスト 313 頁～ 327 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当箇所を読んで，ノートにまとめておくこと。
6回	授業内容	小売業のチェーン系列化
	事前学修	テキスト 409 頁～ 431 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当箇所を読んで，ノートにまとめておくこと。
7回	授業内容	卸売業の役割と展開
	事前学修	テキスト 203 頁～ 223 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当箇所を読んで，ノートにまとめておくこと。
8回	授業内容	物流・ロジスティックスの変遷
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当部分と配布資料を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容	価格設定と消費者視点の価値
	事前学修	配布データに目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，指示された配布資料の図やデータをノートに書き写しておくこと。
10回	授業内容	商業におけるブランド概念とその役割
	事前学修	配布資料，及びテキスト 134 頁～ 135 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
11回	授業内容	商業におけるフード・ビジネスの変遷
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
12回	授業内容	商業と公共マーケティング
	事前学修	テキスト 433 頁～ 459 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当箇所を読んで，ノートにまとめておくこと。
13回	授業内容	IT，グローバル化と流通の変化
	事前学修	配布資料と指示されたテキストの該当ページをよく読んでおくこと。
	事後学修	後期の終りが近いので，今までのノートをよく読み返しておくこと。
14回	授業内容	後期授業の総復習
	事前学修	配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。
	事後学修	要点項目として配布資料に挙げたものを，再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15回	授業内容	テストと解説
	事前学修	配布資料の項目をテキスト，ノートで学習しておくこと。
	事後学修	テキストの全体を読み返し，それぞれの当該箇所をノートで確認し，後期の授業内容の全体像を理解すること。

◆教科書　通材『商学総論　S20100』 通信教育教材（教材コード 000356）3,550 円（送料込）
当日資料配布 必要に応じて資料を配布する

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　テスト（40%），小論文（40%），平常点（20%）　授業の取り組み，小論文，テストにより総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔法学A〕　根本　晋一

◆授業概要　法学・前半において学んだ法学の基礎の理解を前提として，日本の基本法令である「六法」，すなわち，日本国憲法，民法，刑法，商法（会社法を含む），民事訴訟法，刑事訴訟法について学修する。なお，「法学」の履修内容として，日本国憲法を含む，との指導があることから，日本国憲法を中心に履修する。

◆学修到達目標　法（灋）や法律（法学や法律学）の意義，沿革，機能，主要な法令の種類や内容がわかるようになる。併せて，社会生活において必然的に生起する諸問題の解決策を，法律を通して考えられるようになる。

◆授業方法　講義形式を採用する。法改正や新判例の追加などにより，シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し，ノートを作らせ，勉強の仕方を教えるので，ノートをしっかりと録取すること。

◆履修条件　他の担当教員の法学，および根本の法学・前半との積み重ねのみ可。なお，後半を先に履修し，前半を後に履修することも可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	GD　わが国の主要な法令の種類や内容　など
	事前学修	前期最終回の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
2回	授業内容	「国家と法」　最高法規としての日本国憲法　総論
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
3回	授業内容	統治機構　国を治める仕組みとは　国会（立法権）　内閣（行政権）　議院内閣制　大統領制との違い　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
4回	授業内容	裁判所（司法権）　違憲立法審査権　人権保障の最後の砦　憲法保障　法の支配　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
5回	授業内容	基本的人権　総論　人権の類型論　国民の基本的義務　自由権　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
6回	授業内容	自由権　社会権　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
7回	授業内容	受益権　参政権　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
8回	授業内容	「財産と法」　取引法としての民法の財産法　権利能力平等の原則　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
9回	授業内容	「財産と法」　取引法としての商法　民法の財産法の特別法　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
10回	授業内容	「家族と法」　身分関係を規律する民法の親族法　遺産相続を規律する相続法　祭祀承継　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
11回	授業内容	「犯罪と法」　罪と罰に関する刑法　総論　罪刑法定主義　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
12回	授業内容	刑法総論　犯罪構成要件該当性　違法性　有責性　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
13回	授業内容	刑法各論　個人的法益に対する罪　社会的法益に対する罪　国家的法益に対する罪　など
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
14回	授業内容	「裁判と法」　私的紛争の解決を目的とする民事訴訟法
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み
15回	授業内容	実体的真実発見と被疑者・被告人の人権保障を目的とする刑事訴訟法
	事前学修	前回授業時の板書事項の再確認
	事後学修	その日のうちの板書事項の読み込み

◆教科書　指定しない。

◆参考書　通材『法学　B11500』 通信教育教材（教材コード 000515）3,400 円（送料込）

◆成績評価基準　全回出席を前提として，筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%，授業態度や質疑応答 20%。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 A〕★★☆　　マイケル　ギルロイ

◆授業概要　To enhance students' reading, listening comprehension, writing skills, grammar, enlarge vocabulary and boost self confidence.

◆学修到達目標　Help students' develop aural and oral fluency through engaging content and practical practices. Units are thematically structured, including topics which appear in daily conversations.

◆授業方法　Students will work individually, in pairs and in groups to complete in class exercises. Activities include reading, writing, listening, role-plays and discussions.

◆履修条件　前期受講者を優先とする。2019 年度昼間スクーリング（後期）「英語 M」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Summer Review → Clothes.
	事前学修	Preparation for farther discussion on "Clothes".
	事後学修	W. B. D.
2回	授業内容	Clothes 2
	事前学修	Consider the topic "Clothes" in more detail.
	事後学修	W. B. D.
3回	授業内容	Traveling.
	事前学修	What do you think / know about traveling?
	事後学修	W. B. D.
4回	授業内容	Music 1
	事前学修	Music → What is it to you?
	事後学修	W. B. D.
5回	授業内容	Music 2
	事前学修	What else can you say about music?
	事後学修	W. B. D.
6回	授業内容	Movies.
	事前学修	Do you like movies?
	事後学修	W. B. D.
7回	授業内容	Shopping.
	事前学修	Tell me about shopping.
	事後学修	W. B. D.
8回	授業内容	Internet.
	事前学修	Do you use the internet?
	事後学修	W. B. D.
9回	授業内容	Weather
	事前学修	How' s the weather?
	事後学修	W. B. D.
10 回	授業内容	Feelings 1.
	事前学修	How do you feel?
	事後学修	W. B. D.
11 回	授業内容	Feelings 2.
	事前学修	Emotions vs. Physical feelings.
	事後学修	W. B. D.
12 回	授業内容	Art.
	事前学修	What is art?
	事後学修	W. B. D.
13 回	授業内容	The Future.
	事前学修	What are your hopes and dreams.
	事後学修	Full course review.
14 回	授業内容	Review / Warm up / Test.
	事前学修	Review of all topics covered.
	事後学修	New Year resolutions.
15 回	授業内容	New Year / Hopes / Plans.
	事前学修	Knowledge of all we have studied.
	事後学修	Best of luck in your future.

◆教科書　丸沼『English Listening and Speaking Patterns 2』 Andrew E. Bennett　NAN' UN-DO
2,160 円（税込）（送料 300 円）
当日資料配布 Supplementary handouts. Interactive games.

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　Grades will be allocated based on attendance, participation, completed assignments and a final exam.

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔スピーチコミュニケーションⅡ〕　アレックス　ブラウン

◆授業概要　Speech Communication 2 is a course that looks to improve students' speaking abilities. Students will study various vocabulary and language structures as it pertains to the topics covered in each class. The activities are set for a pre-intermediate level and the course is open to all students.

◆学修到達目標　In this course, efforts will be directed towards using English in a natural context. Grades will be based on active participation, daily class work, a written test and a group speaking test.

◆授業方法　The teacher will present topics for discussion and analysis while providing examples for each case. Students will perform tasks in a group format as well as individually. Most of the time will be spent communicating with other students in the class.

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Welcome to Speech Communication 2
	事前学修	Orientation
	事後学修	Study the hand-out, Classroom Language
2回	授業内容	Prepare a greeting and self-introduction
	事前学修	Conversation activity, Find Someone Who...
	事後学修	Read over class notes
3回	授業内容	Prepare 3 examples of Conditionals
	事前学修	Topic 1 Conditionals.
	事後学修	Answer questions for the matching activity
4回	授業内容	Prepare to verbalize your questions
	事前学修	Topic 1 cont., Pair-work with Predicaments
	事後学修	Create 3 new predicaments
5回	授業内容	Practice for the speaking activity
	事前学修	Class survey; students create questions with the target language
	事後学修	Read over notes for Topic 2
6回	授業内容	List 3 things you have to do today
	事前学修	Topic 2 Suggestions and Obligations
	事後学修	Write down 3 jobs you would like to do
7回	授業内容	Prepare to verbalize your answers
	事前学修	Topic 2 Vocabulary and Pair Interviews
	事後学修	Create 2 new interview questions
8回	授業内容	Prepare ideas for your report
	事前学修	Mid-term Report introduction and research
	事後学修	Go over the check-list for your report
9回	授業内容	Prepare your report for presentation
	事前学修	Mid-term Report Presentations (group format)
	事後学修	Fill out the report evaluation sheet
10回	授業内容	Prepare the evaluation sheet for submission
	事前学修	Suggestions; grammar practice and reported speech
	事後学修	Review today's grammar points
11回	授業内容	Prepare for Topic 3
	事前学修	Topic 3, Future 2050
	事後学修	Make 3 new predictions
12回	授業内容	Prepare to verbalize your answers
	事前学修	Group discussion, language choices review
	事後学修	Practice your role-play activity
13回	授業内容	Review your role-play parts
	事前学修	Show-time feat. short term and long-term future
	事後学修	Read over test preparation notes
14回	授業内容	Prepare written answers for the test check-list
	事前学修	Students will prepare for the written and spoken test
	事後学修	Study for the two tests
15回	授業内容	1st – Speaking Test; 2nd Written Test
	事前学修	Test Day
	事後学修	Congratulations on completing the course

◆教科書　The teacher will provide hand-outs to the students for each class.

◆参考書　None

◆成績評価基準　Grades are based on student participation and completion of assignments as well as a written test and a speaking test.

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔史学概論〕　髙綱　博文

◆授業概要　歴史学の論文（卒論）を作成するための基礎的知識―史料論及び史料批判の方法，論文を作成するための方法と作法などについて講述する。

◆学修到達目標　歴史学という学問の性格及び目的を明らかにし，また歴史学を学んでいく上で必要不可欠な基礎的・技術的な知識を学修することを目標とする。

◆授業方法　歴史学の史資料論及び技法と作法について論述し，授業中に配布した資料を解説しながら行う。後期には受講生全員に卒業論文のテーマの概要と研究計画について報告してもらう。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス
	事前学修	参考書『歴史学ってなんだ？』を読んでおくこと。
	事後学修	「歴史学」とは何かを再確認しておくこと。
2回	授業内容	時代区分論
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
3回	授業内容	地域区分論
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
4回	授業内容	歴史学の史料論(1)―歴史学における史料とは
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
5回	授業内容	歴史学の史料論(2)―史料の分類・整理
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
6回	授業内容	歴史学の史料論(3)―史料批判入門
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
7回	授業内容	歴史学の史料論(4)―史料の外的批判
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
8回	授業内容	歴史学の史料論(5)―史料の内的批判
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
9回	授業内容	歴史学論文の技法と作法(1)―テーマの決め方
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
10回	授業内容	歴史学論文の技法と作法(2)―参考文献の作成法
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
11回	授業内容	歴史学論文の技法と作法(3)―歴史学の論文要件
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
12回	授業内容	歴史学論文の技法と作法(4)―論文構成法
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
13回	授業内容	歴史学論文の技法と作法(5)―論文の仮説と実証
	事前学修	配布資料を読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を再読し授業のポイントを再確認しておくこと。
14回	授業内容	卒論構想報告(1)
	事前学修	卒論構想のレジュメを作成。
	事後学修	卒論構想案を再検討する。
15回	授業内容	卒論構想報告(2)
	事前学修	卒論構想のレジュメを作成。
	事後学修	卒論構想案を再検討する。

◆教科書　配布資料を使用し教科書は指定しない。

◆参考書　通材『史学概論　Q30100』 通信教育教材（教材コード 000574）1,550 円（送料込）
〈この教材は市販の『歴史学ってなんだ？』小田中直樹著（PHP 研究所）と同一です。〉

◆成績評価基準　リポート（30%），卒論構想報告（70%）。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔中国経済論〕　崔　晨

◆授業概要　経済規模第二位となった中国経済のプレゼンスが高まっている中，経済規模第一位の米国との経済摩擦も激化している。経済摩擦や貿易の報復合戦による両国の経済へのマイナス影響は明らかになっていると同時に，世界経済に対しても大きな影響を与えるのも事実である。このような状況の中，本講義では，中国はさまざまな国や地域の経済との関わりを取り挙げることによって，グルーバル経済の視点から中国経済を理解することを心がける。

◆学修到達目標　グローバル経済において中国経済はどのような状況にあるのかを認識し，中国経済の今後の予測などを含めて，世界経済に与える影響などをグローバルな視点から中国経済への理解を深めることを目標とする。

◆授業方法　講義は配布資料とパワーポイントに沿って進める。授業を解りやすく理解するため，映像や写真などを取り入れることもあります。

◆履修条件　中国経済，国際経済に関心があることです。前期中国経済論習得が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	後期講義内容の概説―グローバル経済の中の中国
	事前学修	普段ニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
2回	授業内容	一帯一路の構想と意義
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
3回	授業内容	日中経済の深層
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
4回	授業内容	中国の経済発展と華僑華人資本
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
5回	授業内容	東南アジアに南進する中国
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
6回	授業内容	日中経済における ASEAN のプレゼンスの拡大
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
7回	授業内容	中国対アフリカの貿易と投資
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
8回	授業内容	深化する中国と中東諸国との経済関係
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
9回	授業内容	深化する中国と南米諸国との経済関係
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
10 回	授業内容	中国と EU との経済関係
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
11 回	授業内容	米中経済摩擦
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
12 回	授業内容	中国における構造転換と成長の新要素
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
13 回	授業内容	「中国製造 2025」の内容と実態
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
14 回	授業内容	中国経済の行方―中国経済発展のチャンスと課題
	事前学修	関連内容のニュースや経済情勢を心かけて目を通すこと。
	事後学修	授業内容を整理し，理解しておくこと。
15 回	授業内容	後期試験と授業のまとめ
	事前学修	後期授業内容をよく整理，復習すること。
	事後学修	後期の授業内容を整理し，理解して，グローバル経済における中国経済を再確認すること。

◆教科書　特にありません。授業中に資料を配布します。

◆参考書　丸沼『中国・新興国ネクサス』　末廣昭・田島俊雄・丸川知雄編　東京大学出版社　2018/12/20
5,400 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『現代中国経済論　第2版』　加藤弘之・上原一慶編著　ミネルヴァ書房　2018/5/1
3,456 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『中国経済はどう変わったか：改革開放以後の経済制度と政策を評価する』　国際書院　2014/02/01
5,184 円（税込）（送料 500 円）

◆成績評価基準　出席率と授業態度及び期末テストの成績により総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔広告論〕　雨宮　史卓

◆授業概要　TV を見ない日はあっても広告を見ない日はないと言っても過言でないくらい，広告は我々の生活に深く浸透している。この事を踏まえ，企業の広告戦略を概観しながら，人々の欲求を創造するコミュニケーション活動である広告を生活全体や文化といった広い視点での理解を目指す。

◆学修到達目標　1　広告の意義とプロモーション戦略を理解する。
2　新たな製品・サービスを発売する際に，どのような広告活動によって消費者に認知されるべきかを検討し，そのブランドをどのように育成していくかを立案できるようになる。
3　ブランド力を強化し，当該ブランドを拡張する場合，どのような広告戦略を行うべきかを企画・検討できるようになる。

◆授業方法　前期の広告論での授業における広告の基本的機能を元に，企業の広告戦略の実態を解説する。授業の後半では，その日の主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆履修条件　前期の広告論と継続履修が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	後期授業の進め方　広告とは？ブランドとは？
	事前学修	テキストの「序にかえて」の部分を再読し，広告コミュニケーションとブランド概念の関係性を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容	ブランドの基本的概念と役割
	事前学修	テキスト 1 ～ 13 頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容	ブランドを軸とした広告戦略の展開
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，テキスト 15 ～ 20 頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキスト 20 頁の表におけるブランドの 9 項目を理解しておくこと。
4回	授業内容	ブランド拡張と広告コミュニケーション
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，配布資料に目を通した上で，テキスト 24 ～ 27 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，配布資料の「ブランド拡張概念図」をノートに書き写しておくこと。
5回	授業内容	経験価値とブランド概念
	事前学修	テキスト 68 ～ 73 頁を熟読し，73 頁の図が意味する内容を把握しておくこと。
	事後学修	経済価値としての経験価値を認識した上で，経済価値の変遷をテキスト 68 頁の表を参照して理解しておくこと。
6回	授業内容	消費者行動と広告
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，テキスト 99 ～ 107 頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキスト 101 頁の図をノートに書き写し，その内容を理解しておくこと。
7回	授業内容	サービス産業における広告戦略
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，テキスト 108 ～ 114 頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキスト 109 頁の図と 110 頁の図をノートに書き写し，内容を企画検討しておくこと。
8回	授業内容	ロングセラー・ブランドに対する広告の役割
	事前学修	配布資料によく目を通してくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容	ブランド・イメージと広告コミュニケーション
	事前学修	テキスト 57 ～ 61 頁をよく読んでくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
10 回	授業内容	時間の概念と広告コミュニケーション
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，配布資料と配布したデータに目を通してくること。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，「時間の概念」が広告コンセプトにどのように活用されているかを理解しておくこと。
11 回	授業内容	キャラクター・ビジネスと広告
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，キャラクター・ビジネスの事例を調べて理解しておくこと。
12 回	授業内容	市場と広告
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
13 回	授業内容	広告の文化・社会的要素
	事前学修	後期の終りが近いので，今までのノートをよく読み返しておくこと。また，テキスト 45 ～ 46 頁の「ポストモダン·マーケティング」の意味を辞書等で調べ，理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
14 回	授業内容	後期授業の総まとめ
	事前学修	配布資料の項目をテキスト，ノートで前もって確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当部分を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
15 回	授業内容	テストと解説
	事前学修	配布資料の項目をテキスト，ノートで前もって確認しておくこと。
	事後学修	テキスト全体を読み返し，それぞれの当該箇所をノートで確認し，広告理論・戦略，ブランド概念を理解すること。

◆教科書　通材『広告論　S30900』 通信教育教材（教材コード 000538）2,450 円（送料込）
〈この教材は市販の『ブランド・コミュニケーションと広告』雨宮史卓（八千代出版）と同一です。〉
当日資料配布 必要に応じて資料を配布する

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　テスト（40%），小論文（40%），平常点（20%）　授業の取り組み，小論文，テストにより総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学A〕　江川　晃

◆授業概要　この授業概要は，論理的思考について考え，さらに，それを具体的に養うことである。論理的思考については，哲学において，論理学という分野で探究されてきた。論理学は，古代ギリシャのアリストテレスに始まる伝統的論理学と，19 世紀のフレーゲの論理学革命に基づく記号論理に大別される。この授業では，両者の論理学の基礎を理解し，具体的な練習問題を通じて演習を行う。

◆学修到達目標　自分の考えを，飛躍の少ない，理解しやすい表現にするには，論理力が必要である。論理力とは，考えをしっかり伝える力であり，伝えられたものをしっかりと受け取るである。したがって，力論理力がつけば，深い思考力，すばやい判断力，鋭い分析力，明解な読解力が養われ，議論に積極的に参加できる自信がつく。現代に必要とされるコミュニケーション能力である「論理力」を付けることが，この授業の目標である。

◆授業方法　講義と演習を交互に行います。

◆履修条件　予習と復習が必要です。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	論理力（学）とは何か
	事前学修	シラバスをよく読んできてください。
	事後学修	配布プリント1の復習。
2回	授業内容	エレア学派のパラドックス
	事前学修	配布プリント2の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。（うそつきのパラドックス）
3回	授業内容	アリストテレスの論理学（対当推理と変形推理）
	事前学修	配布プリント3の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
4回	授業内容	直接推理(1)　対当推理
	事前学修	配布プリント4の予習。（対当推理）
	事後学修	配布プリントの復習。
5回	授業内容	演習１
	事前学修	配布プリント（演習１）の予習。
	事後学修	配布プリント（演習１）の復習。
6回	授業内容	(2)変形推理
	事前学修	配布プリントの予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
7回	授業内容	演習
	事前学修	配布プリントの予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
8回	授業内容	間接推理　　定言三段論法
	事前学修	配布プリント5の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
9回	授業内容	演習２
	事前学修	配布プリント（演習２）の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
10回	授業内容	記号論理　記号化
	事前学修	配布プリント6の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
11回	授業内容	命題計算　演習
	事前学修	配布プリントの予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
12回	授業内容	ド・モルガンの法則(1)
	事前学修	配布プリント7の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
13回	授業内容	ド・モルガンの法則(2)
	事前学修	配布プリント8の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
14回	授業内容	条件法
	事前学修	配布プリント9の予習。
	事後学修	配布プリントの復習。
15回	授業内容	試験
	事前学修	今までの総復習。
	事後学修	反省。

◆教科書　〔当日資料配布〕 プリント配布します。

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験（90%），授業参画度（10%）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔文化史Ａ〕　渡邊　浩史

◆授業概要　はじめに中世から近世の各時代の文化の外観を各々述べた上で，各論的にいくつかのトピックについて講義する。

◆学修到達目標　現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが，実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって，それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして，一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が，いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。

◆授業方法　講義形式で行う。適宜プリントや DVD などを使用し，受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり，最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	はじめに　中世の文化（院政期）
	事前学修	高校日本史教科書などで予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容	中世の文化（鎌倉）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容	中世の文化（室町）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容	絵巻物（絵巻物とは）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容	絵巻物（一遍聖絵を中心に）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容	絵巻物（道成寺縁起絵巻について）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容	絵巻物（道成寺縁起絵巻を読み解く）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容	能・狂言（能とは）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容	能・狂言（能の実際）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
10回	授業内容	能・狂言（狂言とは）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
11回	授業内容	能・狂言（狂言の実際）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
12回	授業内容	聖地巡礼（中世）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
13回	授業内容	近世の文化
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
14回	授業内容	聖地巡礼（近世）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
15回	授業内容	まとめと試験
	事前学修	これまでの授業内容をまとめておくこと
	事後学修	授業と試験内容を自分でまとめること

◆教科書　当日資料配布　教科書は使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆参考書　適宜授業中に指示する。

◆成績評価基準　平常点 20%，試験 80%

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語Ｂ〕★★☆　　アレックス　ブラウン

◆授業概要　Students will have the chance to listen to conversations and model them in various role play situations. Through these practices they will be able to share their own information and listen to new answers and ideas given by their peers. Students will be asked to hand in class work from time to time.

◆学修到達目標　This course is aimed at giving students the tools and the opportunity to speak with other students in a friendly setting. We hope to build confidence while using English communication through practice of discussing a wide range of topics.

◆授業方法　The teacher will provide a model of conversation to be followed. Questions will be explained and example answers will be given for each question. Students will interview at least two partners on the daily topic's questions. Students will also work with others to perform various role-plays.

◆履修条件　2019 年度昼間スクーリング（後期）「英語 N」とは積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Bring a folder for handouts and some writing materials.
	事前学修	Topic 4: House and Home. Orientation and Food Q n A.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
2回	授業内容	Prepare your answers for the topic, House and Home.
	事前学修	Listen to the role play about Houses. Ask and give answers to the Qs.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
3回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Homes.
	事前学修	Vocabulary such as Locations and Dream Homes will be learned and used in Q n A.
	事後学修	Read aloud the role play given in class on best friends.
4回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Locations.
	事前学修	A discussion about Locations will be held in groups of 3 using past and present tenses.
	事後学修	Read aloud the role play given in class on Health and Fitness.
5回	授業内容	Prepare your answers for Topic 5: Health, Fitness and sports.
	事前学修	Listen to the role play, fill in the blanks, practice with a partner.
	事後学修	Read aloud the role play given in class about Wellness.
6回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Sports.
	事前学修	Complete the vocabulary match for Sports and Action.
	事後学修	Read aloud the role play given in class on Sports Stories.
7回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Fitness Routines.
	事前学修	Using the worksheet entitled, Routines work through the grammar and speaking activities.
	事後学修	Read aloud the role play given in class about Routines.
8回	授業内容	Prepare your answers for the new topic #6 Music and Movies.
	事前学修	Listen, verbalize and pronounce in the activity about Music.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
9回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Music.
	事前学修	Discuss using 'rather' and 'prefer' with regard to various genres.
	事後学修	Review the vocabulary about Movies.
10回	授業内容	Prepare your answers for the Movie questions.
	事前学修	Listen, fill in the vocab and practice the role play from a movie script.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
11回	授業内容	Prepare your answers for the new topic #7 Shop.
	事前学修	Answer the questions and interview your partner.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
12回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Beliefs and Opinions.
	事前学修	The goal is to discuss Beliefs in culture.
	事後学修	Look at the choices for your Group Presentation and prepare.
13回	授業内容	Have a written report prepared on a topic of your choice.
	事前学修	Verbalize your report in a group of three people.
	事後学修	Review the Test Preparation sheet given.
14回	授業内容	Prepare to ask questions regarding the final test.
	事前学修	Test on all topics. Multiple choice and prepare your short essay question.
	事後学修	Study for the test.
15回	授業内容	Be in confident that you will do well in the test.
	事前学修	Final Test
	事後学修	Congratulations on a job well done.

◆教科書　No textbook is needed. Students will be given handouts.

◆参考書　Note

◆成績評価基準　Class participation and class work submission will be a large part of the grade. A final exam will be given on the last day.

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕　近藤　健史

◆授業概要　宮沢賢治の作品が，戦中から現代までコミュニケーションツールとして使われてきたことの原因や理由について，作品と時代状況などの関係から講義する。

◆学修到達目標　文学から学ぶコミュニケーション力の一例として，賢治作品がコミュニケーションツールとして使われていることを学修し，また多様なコミュニケーションの例から広い意味でのコミュニケーション力を身につけ，今後の生活に役立てることを目標とする。

◆授業方法　前半は，テキストに沿ってコミュニケーションについて解説し，後半は，コミュニケーションツールとしての文学作品や若者文化について講義する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方，テキストの構成，読み方などについて講義する。
	事前学修	テキストを読んでおくこと。
	事後学修	授業内容により授業計画とテキストの関わりを確認し，理解しておくこと。
2回	授業内容	コミュニケーションとは，何かについて講義する。
	事前学修	身近な例からコミュニケーションの役割などについて考えておくこと。
	事後学修	コミュニケーションの意味・役割などについて，把握しておくこと。
3回	授業内容	キャリア形成とコミュニケーションとの関わりについて講義する。
	事前学修	テキストの第１章を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と講義内容を確認して，理解を深めること。
4回	授業内容	地域社会，国際社会とコミュニケーションとの関わりについて講義する。
	事前学修	テキストの第９章，１０章を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認して，理解を深めること。
5回	授業内容	宮沢賢治の人と作品について講義する。
	事前学修	入門書などで，賢治の生涯とその作品について調べておくこと。
	事後学修	生前と没後の作品について，整理しておくこと。
6回	授業内容	戦前における賢治作品の受容とコミュニケーションについて講義する。
	事前学修	童話「風の又三郎」を読んでおくこと。
	事後学修	作品の受容とコミュニケーションについて理解しておくこと。
7回	授業内容	戦中における賢治作品の受容とコミュニケーションについて講義する。
	事前学修	詩「雨ニモマケズ」を読んでおくこと。
	事後学修	作品の受容とコミュニケーションについて理解しておくこと。
8回	授業内容	現代の若者文化とコミュニケーションについて講義する。
	事前学修	テキストの第８章第１節を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認し，理解を深めておくこと。
9回	授業内容	コミュニケーションを求める若者たちについて講義する。
	事前学修	テキストの第８章第４節を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認し，理解を深めておくこと。
10回	授業内容	コミュニケーションツールとしてのサブカルチャーについて講義する。
	事前学修	テキストの第８章第３節を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認し，理解を深めておくこと。
11回	授業内容	サブカルチャーとしての宮沢賢治について講義する。
	事前学修	テキストの第８章第３節２項を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認し，理解を深めておくこと。
12回	授業内容	宮沢賢治からのメッセージについて講義する。
	事前学修	テキストの第８章第２節２項を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認し，理解を深めておくこと。
13回	授業内容	文学から学ぶコミュニケーション力⑴について講義する。
	事前学修	テキストの第９章を読んでおくこと。
	事後学修	テキスト内容と授業内容を確認し，理解を深めておくこと。
14回	授業内容	文学から学ぶコミュニケーション力⑵について講義する。
	事前学修	テキストの第９章を読んでおくこと。
	事後学修	これまでの授業内容について確認し，リポート作成の準備をすること。
15回	授業内容	まとめ，リポート提出
	事前学修	リポートを作成し，内容を確認しておくこと。
	事後学修	コミュニケーションツールとしての賢治作品の関係について，確認する。

◆教科書　丸沼『はじめての情報・メディア・コミュニケーションリテラシー』 柴岡信一郎編　技術評論社
2,030 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『メディア活用能力とコミュニケーション』 柴岡信一郎編　大学図書出版　2,376 円（税込）（送料 300 円）
『年表作家読本　宮沢賢治』 山内修　河出書房新社　図書館等をご利用下さい。

◆成績評価基準　リポート 80%，ディスカッション 20%

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史演習Ⅰ・Ⅱ〕　鍋本　由徳

◆授業概要　史学専攻生に必要な技能に史料読解と論文作成があります。史料は，読んで訳すだけではなく，「読解」が必要です。本演習では，いくつかの課題史料を使って，読解力を養い，論文作成に必要な知識・技術，卒論に向かう姿勢の修得をめざします。

◆学修到達目標　1．史料検索・史料の評価をおこなうための知識を獲得し，その技術を活かす方法を考える。
2．史料に描かれた内容から歴史事実を再現し，多様な解釈から検討する姿勢と技術を身につける。
3．日本史に関わる卒業論文作成技術を修得するための，基本的技術を身につける。

◆授業方法　個人作業とグループワーク（G）の併用です。事前学修で作成したシートを使って授業をおこないますので，事前学修なしでは参加困難です。学生同士の相互評価などを踏まえ，最終課題の完成をめざします。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	日本史演習の計画と到達目標　本授業の目的と学修目標について説明します。
	事前学修	シラバスを熟読し，自身の学修到達目標を考えておく。
	事後学修	授業方針を踏まえて，事前に考えた目標を修正し，学修方針を立てる。
2回	授業内容	史料読解に必要なスキル(1)　史料の種類　基本的な史料の分類をおこない，今後の作業方針を確定します。
	事前学修	事前シートに記された基本史料集の解題を記入する。
	事後学修	図書館や公的サイトを通じて，現物確認する。
3回	授業内容	史料読解に必要なスキル(2)　史料を読む際の基本文法・用法　頻出用例を使って，助動詞・再読・返読などを練習します。
	事前学修	事前シートに記されている用例に取り組む。
	事後学修	授業時に配付する短文の史料を全文読み下す。
4回	授業内容	史料読解の必要なスキル(3)　現代語訳する　読み下した史料を現代語訳し，解釈の違いについて討論します。
	事前学修	第3回で配付した短文史料について現代語訳する。
	事後学修	自身と他者の現代語訳の違いの要因を整理する。
5回	授業内容	史料読解実践(1)　法律を読む　法度の一部を読み，法令の文体を把握します。
	事前学修	【課題史料1】で指示された課題に取り組む。
	事後学修	授業で読まなかった箇所を読み，発展課題に取り組む。
6回	授業内容	史料読解実践(2)　農村文書を読む　地方史料の一部を読み，農村史料の文体を把握します。
	事前学修	【課題史料2】で指示された課題に取り組む。
	事後学修	授業で読まなかった箇所を読み，発展課題に取り組む。
7回	授業内容	史料読解実践(3)　幕府史料を読む　『江戸幕府日記』の一部を読み，幕府史料の文体を把握します。
	事前学修	【課題史料3】で指示された課題に取り組む。
	事後学修	授業で読まなかった箇所を読み，発展課題に取り組む。
8回	授業内容	史料読解実践(4)　生活史料を読む　『絵本江戸風俗往来』の一部を読み，随筆の文体を把握します。
	事前学修	【課題史料4】で指示された課題に取り組む。
	事後学修	授業で読まなかった箇所を読み，発展課題に取り組む。
9回	授業内容	史料読解実践(5)　外国史料を読む　『オランダ商館長日記』の一部を読み，法令の文体を把握します。
	事前学修	【課題史料5】で指示された課題に取り組む。
	事後学修	授業で読まなかった箇所を読み，発展課題に取り組む。
10回	授業内容	史料読解実践(6)　武家文書を読む　『細川家史料』所収文書の一部を読み，書状の文体を把握します。
	事前学修	【課題史料6】で指示された課題に取り組む。
	事後学修	授業で読まなかった箇所を読み，発展課題に取り組む。
11回	授業内容	史料カード作成の練習　　資料整理法の実践　資料収集後の整理法について考え，実際にカードを作成します。
	事前学修	【課題史料1～6】の書誌情報を調べ，まとめる。
	事後学修	授業時のカードを参考にして，作成しきれなかったカードを作成する。
12回	授業内容	同一内容の史料を比較検討する(1)　史料比較の実践①　個人個人でテーマを決め，グループ内での討論に備えます。
	事前学修	【課題史料7～10】を一通り目を通しておく。
	事後学修	それぞれに決まった個人テーマについて，何が必要かを整理する。
13回	授業内容	同一内容の史料を比較検討する(2)　史料比較の実践②　それぞれが調べた結果をグループ内で相互評価します。
	事前学修	各自でその史料の作成背景を考え，簡単な発表資料を作成する。
	事後学修	討論・質疑での結果を踏まえて，発表資料を修正する。
14回	授業内容	同一内容の史料を比較検討する(3)　史料比較の実践③　第 13 回の発表を再度おこない，グループ内相互評価します。
	事前学修	発表資料を作り，修正箇所を説明できるように準備する。
	事後学修	自身の研究テーマについて，同じような作業を実施する。
15回	授業内容	史料に対する評価と課題の発見　第1回から第 14 回を総括して，全体講評をします。
	事前学修	各回の学修内容を整理する。
	事後学修	授業全体の方法を振り返り，自身の弱点克服に向けての方策を考える。

◆教科書　〔当日資料配布〕授業初回に，課題史料集を配付します。

◆参考書　必要時に応じて授業時に指示します。

◆成績評価基準　最終課題（60%），授業内課題（20%），グループ活動評価（20%）の総合評価
※ 15 回全出席を前提とした評価です。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔金融論〕　谷川　孝美

◆授業概要　日本銀行の物価安定目標の達成可能性や非伝統的金融政策の効果などが話題になっています。この講義では，金融機関，金融市場の中心である日本銀行の機能や役割，また，物価目標を達成するための手段である金融政策，さらには，現在実施されている非伝統的金融政策などについて，その基礎的知識や理論を学び，理解することを通じて，現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆学修到達目標　この講義では，わが国の中央銀行である日本銀行の機能，役割および金融政策に対する基礎的な理解を目指し，具体的には以下のことを目標とする。

1．銀行などの金融仲介機関の機能，役割を理解し，説明できるようになる。
2．中央銀行の機能，役割を理解し，説明できるようになる。
3．日本の金融政策の目的，手段を理解し，説明できるようになる。
4．非伝統的金融政策を理解し，現在の金融問題を適切に考えることができるようになる。

◆授業方法　授業計画にそって，パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に，平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお，貨幣の定義や金利，金融制度などの詳細については取り扱いません。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。また，2018 年度昼間・土曜スクーリング（後期）金融論との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・金融，金融市場とは何か
	事前学修	テキスト「はじめに」をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内で用いられた専門用語や説明を確認し，理解すること。
2回	授業内容	金融政策を理解するための貨幣の定義
	事前学修	テキスト第 1 章貨幣をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料を参考に，専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容	金融政策を理解するための金利の基礎
	事前学修	テキスト第 2 章金利をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
4回	授業内容	長短金利の決定
	事前学修	前回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。また，実際に金利計算をして理解を深めること。
5回	授業内容	銀行の機能と役割
	事前学修	テキスト第 7 章，第 1 節銀行をよく読み，確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
6回	授業内容	信用創造とは何か
	事前学修	テキスト第 7 章，第 1 節銀行をよく読むこと。また，第 2 回，第 5 回の講義内容を良く確認し理解しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。また，実際に信用乗数を計算して理解を深めること。
7回	授業内容	中央銀行とは何か
	事前学修	テキスト第 8 章，第 1 節中央銀行をよく読むこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。また，講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
8回	授業内容	発券銀行としての日本銀行
	事前学修	テキスト第 8 章，第 2 節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。また，第 2 回の講義内容を良く確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。また，講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
9回	授業内容	銀行の銀行としての日本銀行
	事前学修	テキスト第 8 章，第 2 節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。また，第 5，6 回の講義内容を良く確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
10 回	授業内容	政府の銀行としての日本銀行
	事前学修	テキスト第 8 章，第 2 節中央銀行としての日本銀行をよく読むこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
11 回	授業内容	金融政策の目的，手段
	事前学修	テキスト第 8 章，第 3 節，第 9 章，第 1 節をよく読むこと。また，第 3，4 回の講義内容を良く確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
12 回	授業内容	非伝統的金融政策（ゼロ金利政策，量的緩和金融政策）
	事前学修	テキスト第 9 章，第 1 ～ 3 節をよく読むこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。また，講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
13 回	授業内容	非伝統的金融政策（量的質的金融緩和政策など）
	事前学修	テキスト第 9 章，第 4 ～ 6 節をよく読むこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。また，講義時に紹介する資料を確認し理解を深めること。
14 回	授業内容	金融政策の理論
	事前学修	テキスト第 4 章マクロ経済と金融政策をよく読むこと。また，第 11 回の講義内容を良く確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
15 回	授業内容	試験および解説
	事前学修	前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。
	事後学修	後期の授業内容を再確認し，理解を深めること。

◆教科書　**通材**『金融論　R31800』 通信教育教材（教材コード 000540）1,950 円（送料込）
当日資料配布 必要に応じて当日プリント配布

◆参考書　丸沼『ベーシックプラス　金融論』 家森信善　中央経済社　2,376 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『ベーシックプラス　金融政策』 小林照義　中央経済社　2,484 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『日本銀行の機能と業務』日本銀行金融研究所編　有斐閣　2,592 円（税込）（送料 300 円）
（日本銀行ホームページ http://www.imes.boj.or.jp/japanese/pf.html に同じものがあります）

◆成績評価基準　毎回出席することを前提として，最終試験を中心に授業への取り組み，平常点などにより総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語M〕★★☆　　マイケル　ギルロイ

◆授業概要　To enhance students' reading, listening comprehension, writing skills, grammar, enlarge vocabulary and boost self confidence.

◆学修到達目標　Help students' develop aural and oral fluency through engaging content and practical practices. Units are thematically structured, including topics which appear in daily conversations.

◆授業方法　Students will work individually, in pairs and in groups to complete in class exercises. Activities include reading, writing, listening, role-plays and discussions.

◆履修条件　前期受講者を優先とする。2019 年度昼間スクーリング（後期）「英語 A」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Summer Review → Clothes.
	事前学修	Preparation for farther discussion on "Clothes".
	事後学修	W. B. D.
2回	授業内容	Clothes 2
	事前学修	Consider the topic "Clothes" in more detail.
	事後学修	W. B. D.
3回	授業内容	Traveling.
	事前学修	What do you think / know about traveling?
	事後学修	W. B. D.
4回	授業内容	Music 1
	事前学修	Music → What is it to you?
	事後学修	W. B. D.
5回	授業内容	Music 2
	事前学修	What else can you say about music?
	事後学修	W. B. D.
6回	授業内容	Movies.
	事前学修	Do you like movies?
	事後学修	W. B. D.
7回	授業内容	Shopping.
	事前学修	Tell me about shopping.
	事後学修	W. B. D.
8回	授業内容	Internet.
	事前学修	Do you use the internet?
	事後学修	W. B. D.
9回	授業内容	Weather
	事前学修	How' s the weather?
	事後学修	W. B. D.
10回	授業内容	Feelings 1.
	事前学修	How do you feel?
	事後学修	W. B. D.
11回	授業内容	Feelings 2.
	事前学修	Emotions vs. Physical feelings.
	事後学修	W. B. D.
12回	授業内容	Art.
	事前学修	What is art?
	事後学修	W. B. D.
13回	授業内容	The Future.
	事前学修	What are your hopes and dreams.
	事後学修	Full course review.
14回	授業内容	Review / Warm up / Test.
	事前学修	Review of all topics covered.
	事後学修	New Year resolutions.
15回	授業内容	New Year / Hopes / Plans.
	事前学修	Knowledge of all we have studied.
	事後学修	Best of luck in your future.

◆教科書　丸沼『English Listening and Speaking Patterns 2』　Andrew E. Bennett　NAN' UN-DO
2,160 円（税込）（送料 300 円）
当日資料配布　Supplementary handouts. Interactive games.

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　Grades will be allocated based on attendance, participation, completed assignments and a final exam.

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔心理学C〕　芳賀　道匡

◆授業概要　心の科学について学ぶ

◆学修到達目標　心理学は，人の心とは何か，どのように働いているのかについて，科学的に検証する学問です。本講義では，人の認知，知覚，感情，行動や記憶の他，社会，文化や政治など，実にさまざまな現象に，人の心が密接なかかわりをもつことを紹介したいと思います。心理学を概観することを通して，自分やまわりの人の心に関する理解を深め，新たな問いを考える材料ないし方法論を提供することを目的とします。心理学２では主に応用心理学に焦点を当て，紹介していきます。

◆授業方法　⑴講義の一部では，模擬的な心理学実験や心理学の調査を体験してもらいます。
⑵各講義の最後に，コメントシートに講義内容に関する感想，体験談や質問を書いてもらいます。

◆履修条件　・コメントシートの内容について，授業冒頭で一部を取り上げて講評します。それを承諾できる人が参加して下さい。
・その他の授業中のルール等については，第一回目の講義において説明するので必ず出席してください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	イントロダクション：心理学とは
	事前学修	心理学１で学んだことの復習
	事後学修	スライドを復習すること
2回	授業内容	対人関係⑴：関係を作る
	事前学修	181-189 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
3回	授業内容	対人関係⑵：仲を深める
	事前学修	181-189 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
4回	授業内容	対人関係⑶：関係を解消する
	事前学修	181-189 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
5回	授業内容	臨床⑴：個人差と障害
	事前学修	201-242 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
6回	授業内容	臨床⑵：カウンセリング
	事前学修	201-242 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
7回	授業内容	臨床⑶：認知行動療法
	事前学修	201-242 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
8回	授業内容	スポーツ：運動，健康
	事前学修	243-262 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
9回	授業内容	教育：リーダーシップ，コーチング
	事前学修	193-194 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
10回	授業内容	政治・社会⑴：「空気を読め」の正体
	事前学修	185-199 ページに目を通すこと
	事後学修	スライドを復習すること
11回	授業内容	政治・社会⑵：囚人のジレンマ
	事前学修	特になし
	事後学修	スライドを復習すること
12回	授業内容	政治・社会⑶：映画鑑賞
	事前学修	これまでのスライドを復習すること
	事後学修	これまでのスライドを復習すること
13回	授業内容	政治・社会⑷：ソーシャル・キャピタル
	事前学修	特になし
	事後学修	スライドを復習すること
14回	授業内容	授業内テスト
	事前学修	これまでのスライドを復習すること
	事後学修	これまでのスライドを復習すること
15回	授業内容	振り返り
	事前学修	これまでのスライドを復習すること
	事後学修	スライドを復習すること

◆教科書　丸沼『心理学概説』　厳島行雄・横田正夫　啓明出版　2014 年　第 1 版　3,240 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　授業内テスト（70%），授業参画度（30%）
・授業参画度は主に，コメントシートの内容や授業内における教員との関わりを通して評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔中国語Ⅰ・Ⅱ〕　稲葉　明子

◆授業概要　漢字の意味がわかることは大きな強みでもありますが，初期の関門を越えるためには足枷になります。対面式授業の利点を発揮して中国語の発音を完全に理解し，漢字に頼らない中国語吸収の素地を作ります。初級文法は今期でほぼ網羅されます。

◆学修到達目標　前期同様，ピンインを用いて徹底的に発音の構造を座標から理解するとともに，年度内の声調の安定を目指します。語順・時量・アスペクト等，中国語特有の独特な世界観を，実際の場面から把握し，文法的理解へ繋げていくことで，自立学習の素地を作ります。

◆授業方法　前期までに学習習慣が確立した人は，授業をペースメーカーにして毎週一定量の単語と言い回しを覚えていきましょう。あと一歩というひとも，毎回発音記号から始めますので挽回する時間は十分にあります。できれば本文を暗誦するくらいに読み込みます。教科書のさまざまな例文やドリルも，日本語に訳すのではなく，場面を想像しながら音が口をついでてくるところまで練習してください。毎回教科書本文についてディクテーション小テストを行います。教材音声に手軽に親しめる工夫をしてください。（付属 CD をプレーヤーに取り込む，HP をお気に入りに登録する，など。）

◆履修条件　前期昼間スクーリング内容程度の基礎があることが望ましい

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	第 9 課：「いつ」／年齢
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
2回	授業内容	第 10 課：「有点」「一点」
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
3回	授業内容	第 11 課：時刻／連動文
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
4回	授業内容	第 12 課：助詞「了」／前置詞／助動詞
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
5回	授業内容	総復習（第 9 課―第 12 課）
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
6回	授業内容	第 13 課：進行相／使役
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
7回	授業内容	第 14 課：量詞／結果補語
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
8回	授業内容	第 15 課：様態補語／時量補語
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
9回	授業内容	第 16 課：存現文／受身文
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
10 回	授業内容	総復習（第 13 課―第 16 課）
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
11 回	授業内容	第 17 課：方向補語／持続相
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
12 回	授業内容	第 18 課：比較文／助動詞
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
13 回	授業内容	第 19 課：可能補語／「是～的」
	事前学修	小テスト対策（前回本文の聞き取り・書き取り）をする
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
14 回	授業内容	第 20 課：処置文／程度補語／兼語文／リスニングテスト 1
	事前学修	リスニングテスト 1 の対策を WEB 上で行う
	事後学修	WEB サイトを用いて音声で復習し，ノートをまとめる
15 回	授業内容	教場試験（リスニングテスト 2・ディクテーションテスト・筆記）
	事前学修	各試験の対策を行う
	事後学修	出題箇所を教科書で確認する

◆教科書　丸沼『音読中国語』　相原茂・蘇紅　朝日出版社　2,484 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　WEB 上に様々なトレーニング用コンテンツを UP しています。音声を用いた復習が必要になります。（Youtube 動画）
発音記号学習時に，鉛筆と同じ太さに書ける赤・青・黄のペンがあると便利です。

◆成績評価基準　授業への取り組み，毎回の小テストなどにより総合的に評価します。試験は，あらかじめ WEB サイトで練習して取り組むリスニングが中心となります。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学特殊講義〕　江川　晃

◆授業概要　後期は，基本的な「パースの記号論」から「情報記号論」へと応用・発展について講義する。具体的には，生命記号論から情報記号論への学問的展開，情報記号論と VR，さらには，情報記号論と脳科学に関して考察する。

◆学修到達目標　1　生命科学と情報記号論の関係を把握できる。
2　ヴァーチャル・リアリティを情報記号論的に説明できる。
3　脳科学と情報記号論との関連が把握できる。

◆授業方法　出版予定の原稿を，各節ごとに印刷し，講義し，議論する。後期は，生命科学，ヴァーチャル・リアリティ，脳科学へと応用・展開する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス　この授業の目的と方法
	事前学修	シラバスをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
2回	授業内容	1(1)　パースの記号論は結局何を目指し，何を解決し得たのか。 (2)　パースの記号論は何を解決できなかったのか。
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
3回	授業内容	「生命記号論から情報記号論への学問的展開」の重要性
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
4回	授業内容	2　情報記号論と VR（新たな記号論―情報記号論の提案・構築）
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
5回	授業内容	2.1　パースの情報記号論に基づく新たな情報量
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
6回	授業内容	2.2　VR と TV 記号の情報記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
7回	授業内容	2.3　トポロジーを考慮した VR の情報記号論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
8回	授業内容	2.4　情報記号論の有効性・妥当性の考察
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
9回	授業内容	3　情報記号論と脳科学
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
10回	授業内容	3.1　パースの記号論と脳科学
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
11回	授業内容	3.2　情報記号論の理論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
12回	授業内容	3.3　情報記号場理論の数理的考察
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
13回	授業内容	3.4　情報記号論における記号論的なエンタングルメント
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
14回	授業内容	全体の考察と検討及び結論
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。
15回	授業内容	レポート提出及び解説
	事前学修	配布プリント及びパワポのプリントをよく読んでくること。
	事後学修	配布プリント及びパワポのプリントを復習すること。

◆教科書　当日資料配布　プリントを配布します。

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　レポート（90%），参加度（10%）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕　髙綱　博文

◆授業概要　本授業では，1930 年代上海において刊行された『上海日日新聞』を講読し，グループ学習で歴史研究の楽しさを学びながら史料批判など研究技法を磨く。

◆学修到達目標　『上海日日新聞』は，1930 年代の上海の政治，経済，戦況，時事，さらには文化・社会事情を知るための貴重な史料である。同新聞を講読しながら史料批判などの歴史研究のための基礎力を養成します。

◆授業方法　テキスト『上海日日新聞』を講読しながら，受講生による研究発表と討論を中心としたゼミナール及びグループ形式で行います。

◆履修条件　通年で履修することが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス
	事前学修	
	事後学修	授業内容の確認
2回	授業内容	卒業論文の中間報告
	事前学修	卒業論文案のレジュメ作成
	事後学修	卒業論文構想案の再検討
3回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(1)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
4回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(2)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
5回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(3)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
6回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(4)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
7回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(5)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
8回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(6)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
9回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(7)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
10回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(8)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
11回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(9)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
12回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(10)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	授業内容の確認
13回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(11)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	卒業論文構想案の再検討
14回	授業内容	テキスト講読・報告・討論(12)
	事前学修	『上海日日新聞』記事の検討及び関係資料の調査
	事後学修	卒業論文構想案の再検討
15回	授業内容	『上海日日新聞』に関するグループ発表
	事前学修	グループ発表資料の作成
	事後学修	ワークショップ内容の確認

◆教科書　DVD テキスト『上海日日新聞』（配布資料）
HP テキスト『宮地貫道とその資料』（ネット上に掲載）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　発表・討論（50%），リポート（25%），授業参画度（25%）により総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語N〕★★☆　　アレックス　ブラウン

◆授業概要　Students will have the chance to listen to conversations and model them in various role play situations. Through these practices they will be able to share their own information and listen to new answers and ideas given by their peers. Students will be asked to hand in class work from time to time.

◆学修到達目標　This course is aimed at giving students the tools and the opportunity to speak with other students in a friendly setting. We hope to build confidence while using English communication through practice of discussing a wide range of topics.

◆授業方法　The teacher will provide a model of conversation to be followed. Questions will be explained and example answers will be given for each question. Students will interview at least two partners on the daily topic's questions. Students will also work with others to perform various role-plays.

◆履修条件　2019 年度昼間スクーリング（後期）「英語 B」とは積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Bring a folder for handouts and some writing materials.
	事前学修	Topic 4: House and Home. Orientation and Food Q n A.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
2回	授業内容	Prepare your answers for the topic, House and Home.
	事前学修	Listen to the role play about Houses. Ask and give answers to the Qs.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
3回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Homes.
	事前学修	Vocabulary such as Locations and Dream Homes will be learned and used in Q n A.
	事後学修	Read aloud the role play given in class on best friends.
4回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Locations.
	事前学修	A discussion about Locations will be held in groups of 3 using past and present tenses.
	事後学修	Read aloud the role play given in class on Health and Fitness.
5回	授業内容	Prepare your answers for Topic 5: Health, Fitness and sports.
	事前学修	Listen to the role play, fill in the blanks, practice with a partner.
	事後学修	Read aloud the role play given in class about Wellness.
6回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Sports.
	事前学修	Complete the vocabulary match for Sports and Action.
	事後学修	Read aloud the role play given in class on Sports Stories.
7回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Fitness Routines.
	事前学修	Using the worksheet entitled, Routines work through the grammar and speaking activities.
	事後学修	Read aloud the role play given in class about Routines.
8回	授業内容	Prepare your answers for the new topic #6 Music and Movies.
	事前学修	Listen, verbalize and pronounce in the activity about Music.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
9回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Music.
	事前学修	Discuss using 'rather' and 'prefer' with regard to various genres.
	事後学修	Review the vocabulary about Movies.
10回	授業内容	Prepare your answers for the Movie questions.
	事前学修	Listen, fill in the vocab and practice the role play from a movie script.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
11回	授業内容	Prepare your answers for the new topic #7 Shop.
	事前学修	Answer the questions and interview your partner.
	事後学修	Read aloud the role play given in class.
12回	授業内容	Prepare your answers for the topic, Beliefs and Opinions.
	事前学修	The goal is to discuss Beliefs in culture.
	事後学修	Look at the choices for your Group Presentation and prepare.
13回	授業内容	Have a written report prepared on a topic of your choice.
	事前学修	Verbalize your report in a group of three people.
	事後学修	Review the Test Preparation sheet given.
14回	授業内容	Prepare to ask questions regarding the final test.
	事前学修	Test on all topics. Multiple choice and prepare your short essay question.
	事後学修	Study for the test.
15回	授業内容	Be in confident that you will do well in the test.
	事前学修	Final Test
	事後学修	Congratulations on a job well done.

◆教科書　No textbook is needed. Students will be given handouts.

◆参考書　Note

◆成績評価基準　Class participation and class work submission will be a large part of the grade. A final exam will be given on the last day.

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

【水曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
1時限	AJ11	政治学	関根 二三夫	2		B11700	政治学	×	1年		
	AJ12	英語基礎A	小澤 賢司	1		C10600	英語基礎	×	1年	・英文学専攻は申込不可。	
	AJ13	マーケティング	雨宮 史卓	2		S30500	マーケティング	×	2年		
	AJ14	簿記論Ⅰ	山元 俊一	2		S20300	簿記論Ⅰ	×	条件参照	・商学部は1学年以上申込可。 ・その他は2学年以上申込可。	
2時限	AJ21	哲学B	中澤 瞳	2		B10700	哲学	×	1年		
	AJ22	英語C	森 晴代	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AJ23	商法Ⅱ	南 健悟	2		K30600	商法Ⅱ	×	2年		
	AJ24	西洋史演習Ⅰ・Ⅱ	藤井 信行	1		Q405S0	西洋史演習Ⅰ	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						Q406S0	西洋史演習Ⅱ				
	AJ25	経済原論/経済学原論A	関谷 喜三郎	2		R20100	経済原論	×	条件参照	・経済学部は1学年以上申込可。 ・文理・商学部は2学年以上申込可。	×
						L20200	経済学原論	×	条件参照	・政治経済学科は1学年以上申込可。 ・法律学科は2学年以上申込可。	
3時限	AJ31	文学	木村 一	2		B11300	文学	×	1年		
	AJ32	法学B	武田 茂樹	2		B11500	法学（日本国憲法2単位を含む）	×	1年		
	AJ33	英語D	北原 安治	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AJ34	刑法Ⅰ	岡西 賢治	2		K20300	刑法Ⅰ	×	条件参照	・法律学科は1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AJ35	英語音声学	森 晴代	2		N30600	英語音声学	×	2年		
	AJ36	東洋史特講Ⅱ	堀井 弘一郎	2		Q31100	東洋史特講Ⅱ	×	2年		
	AJ37	アメリカ経済論	羽田 翔	2		R312S0	アメリカ経済論	×	2年		

注意　各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

【水曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
4時限	AJ41	歴史学A	渡邊 浩史	2		B11100	歴史学	×	1年		
	AJ42	国語学概論	保科 恵	2		M20300	国語学概論	×	条件参照	・国文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AJ43	国文学講義V（近代）	山﨑 眞紀子	2		M30900	国文学講義V（近代）	×	2年		
	AJ44	英語史	真野 一雄	2		N30300	英語史	×	2年		
	AJ45	日本思想史Ⅰ	島田 健太郎	2		P30800	日本思想史Ⅰ	×	2年		
	AJ46	東洋史入門	綿貫 哲郎	2		Q202S0	東洋史入門	×	2年		
	AJ47	考古学概説	浜田 晋介	2		Q30500	考古学概説	×	2年		
5時限	AJ51	歴史学B	堀井 弘一郎	2		B11100	歴史学	×	1年		
	AJ52	文化史B	渡邊 浩史	2		B11200	文化史	×	1年		
	AJ53	英語E	町田 純子	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AJ54	国文学基礎演習	木村 一	1		M317S0	国文学基礎演習	×	2年	・国文学専攻のみ申込可。	×
	AJ55	情報概論A	戸塚 英臣	2		R32300	情報概論	×	2年		×

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔政治学〕　関根　二三夫

◆授業概要　基礎教育としての講義を行います。選挙，政党，圧力団体，コミュニケーション，リーダーシップ，地方自治，政治と行政など，政策の立案や政策の決定に影響を及ぼす要因を基礎から学びます。

◆学修到達目標　政策立案や政策決定に影響を及ぼす要因を学ぶことにより，政治過程を理解できるようにするとともに，政治が我々にとって身近な現象であることを理解できるようにします。

◆授業方法　講義形式で行います。講義においては，政治に関する受講生の問題意識を高め，それに対する解決能力を啓発するように進めていきます。講義で知り得た内容が，如何なる意義を有するのか，それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に理解しなければなりません。受講に際しては予習及び復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	講義全体の概要の説明
	事前学修	テキストを熟読し，概要を理解すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
2回	授業内容	選挙制度
	事前学修	テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 1 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
3回	授業内容	選挙区
	事前学修	テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 2 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
4回	授業内容	代表選出の形態
	事前学修	テキストの第 3 章第 3 節及び参考書の第 5 章第 2 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
5回	授業内容	政党の概念及び特徴
	事前学修	テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
6回	授業内容	政党の形態及び機能
	事前学修	テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
7回	授業内容	政党の問題点
	事前学修	テキストの第 3 章第 4 節及び参考書の第 4 章第 2 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
8回	授業内容	圧力団体の概念及び特徴
	事前学修	テキストの第 3 章第 5 節及び参考書の第 4 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
9回	授業内容	圧力団体の活動及び問題点
	事前学修	テキストの第 3 章第 5 節及び参考書の第 4 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
10 回	授業内容	わが国の圧力団体
	事前学修	テキストの第 3 章第 5 節及び参考書の第 4 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
11 回	授業内容	コミュニケーションの機能及び類型
	事前学修	参考書の第 6 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
12 回	授業内容	コミュニケーションの方向
	事前学修	参考書の第 6 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
13 回	授業内容	リーダーシップ
	事前学修	参考書の第 2 章第 5 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
14 回	授業内容	地方自治の沿革
	事前学修	参考書の第 4 章第 1 節などを熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
15 回	授業内容	政治と行政
	事前学修	テキストの第 1 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。

◆教科書　通材『政治学　B11700』 通信教育教材（教材コード 000279）2,100 円（送料込）

◆参考書　丸沼『改訂　教養政治学』 岩井奉信・黒川貢三郎・関根二三夫他　南窓社　3,132 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　試験 70%，平常点 30%　※試験同様，質問や理解度チェック等の平常点も重視しますので，受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語基礎Ａ〕　小澤　賢司

◆授業概要　本授業では，今後の英語学修の土台となる「基礎・基本」を学びます。後期にあたる本授業では，英語の「文法」を中心に学修していきます。いかなる学修においても「基礎・基本」はとても重要です。これを疎かにするとその後の‘伸び’はあまり期待できません。本授業で扱う内容は中学卒業程度の文法事項および英文ですが，それらは決して「楽」や「易」とイコールではありません。この点には十分に留意して学修に臨んでください。
【昼間（前期）開講の「英語基礎」（小澤担当）と併せて受講していることが望ましい】

◆学修到達目標　無機質な暗記から脱却し，理解中心の学修をおこなうことで，英語を「使えるようにする」ことを目標にしています。よって，学修した内容を‘実際に活用する’ことを心がけてください。『習ったら慣れよ』

◆授業方法　授業計画にある「品詞」を１つ１つ丁寧に解説し，それらが用いられた英文とともに学修することで適切な理解を図ります。本授業では，‘徹底した復習’が求められます。ここでいう‘徹底した復習’とは，前回の復習ではなく，前回までの復習を指します。例えば，第５回の授業の次週には，第１回から第５回まで全ての内容の復習が必要ということです。なお，受講者の様子（理解度）を見ながら進めていきますので，以下の授業計画はあくまでの‘目安’とお考え下さい。毎授業始めには，復習・確認テストを行います。

◆履修条件　メディア授業「英語基礎 MB」とは積み重ね不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	「品詞」と「文法」
	事前学修	本授業のシラバス全体を一読しておくこと。
	事後学修	「品詞」と「文法」の違い，さらには「４大品詞」を正しく理解しておくこと。
2回	授業内容	「現在形」その１
	事前学修	第１回で学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「現在形」の４つの働きについて正しく理解しておくこと。
3回	授業内容	「現在形」その２ ／「過去形」
	事前学修	第２回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「現在形」を深く理解しておくこと。「過去形」については，「現在形」との違いと -ed の発音について特に理解しておくこと。
4回	授業内容	「単純形」(I play tennis.) と「進行形」(He am playing tennis.)
	事前学修	第３回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「進行形」の働きを正しく理解しておくこと。
5回	授業内容	「疑問詞疑問文」
	事前学修	第４回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「疑問詞疑問文」の働きを正しく理解しておくこと。
6回	授業内容	「目的語と補語」
	事前学修	第５回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「主語」，「述語」，「目的語」，「補語」を正しく理解しておくこと。
7回	授業内容	「文型」
	事前学修	第６回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「文型」の学ぶ意義や効用を正しく理解しておくこと。
8回	授業内容	「受動態」
	事前学修	第７回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「受動態」の働きを正しく理解しておくこと。
9回	授業内容	「現在完了」その１
	事前学修	第８回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「現在完了」の働きを正しく理解しておくこと。
10 回	授業内容	「現在完了」その２
	事前学修	第９回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「現在完了」全体を正しく理解しておくこと。
11 回	授業内容	リスニング力向上に向けて
	事前学修	第 10 回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	英語初学者がリスニングを向上させる方法について正しく理解しておくこと。
12 回	授業内容	「比較」
	事前学修	第 11 回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「比較」の働きを正しく理解しておくこと。
13 回	授業内容	「間接疑問文」
	事前学修	第 12 回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	「間接疑問文」の働きを正しく理解しておくこと。
14 回	授業内容	これまでの復習（予備日）
	事前学修	第 13 回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	知識に漏れのある学修項目を確認しておくこと。
15 回	授業内容	テストおよびまとめ
	事前学修	第 14 回までに学修した内容を復習しておくこと。
	事後学修	再度，全ての学習内容を復習しておくこと。

◆教科書　当日資料配布　適宜，プリントを配布します。

◆参考書　丸沼『一億人の英文法』　大西泰斗・ポール・マクベイ著　東進ブックス　1,944 円（税込）（送料 500 円）
丸沼『英文法ビフォー＆アフター（普及版）』　豊永彰著　南雲堂　1,512 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『ジーニアス総合英語』　中邑光男・山岡憲史・柏野健次　大修館　1,620 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　授業への取り組みおよびテストにより総合的に評価します。
※毎授業始めに復習・確認テストを行いますので，遅刻をしないよう注意してください。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔マーケティング〕　雨宮　史卓

◆授業概要　本講義は，企業が製品・サービスを売るための手段としてマーケティングを捉えるだけでなく，より広い視点でマーケティングを捉える事を心掛ける。そのため，社会情勢，経済状況の変化とともに消費者の嗜好がどのように変化し，市場に影響を及ぼしてきたかを詳しく解説する。実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき，各個人が分析し問題を解決する手法を学ぶ。

◆学修到達目標　1　マーケティング戦略の理論と実際が理解できる。
2　実際のビジネスの場面で起きた事例に基づき，各個人が分析し問題を解決する手法を考案できるように心掛ける。

◆授業方法　ターム前半は前期を振り返りながら基礎事項を確認する。ターム後半はマーケティングの事例を中心として幅広い理論の習得を目指す。必要に応じて資料を配布する。また，その日の授業の後半で，主要なテーマについてのリアクションペーパー（小論文）の提出を求める。

◆履修条件　前期昼間スクーリングとの継続履修が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方　マーケティングの基本理念
	事前学修	テキスト第 1 章を再読しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当部分と配布資料を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容	市場創造とマーケティング
	事前学修	配布資料をよく読み，市場の種類を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
3回	授業内容	マーチャンダイジングと市場細分化
	事前学修	配布資料と，テキスト 31 頁～ 33 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当部分と配布資料を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容	製品開発と管理
	事前学修	配布資料とテキスト第 7 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当部分と配布資料を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
5回	授業内容	消費者視点の価値と価格
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
6回	授業内容	プロモーションの種類と役割
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
7回	授業内容	広告媒体と広告計画
	事前学修	授業で指摘された配布資料の図をノートに書き写して理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
8回	授業内容	取引と流通
	事前学修	テキスト 209 頁～ 223 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当箇所を読んで，ノートにまとめておくこと。
9回	授業内容	IT と流通の変化
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
10 回	授業内容	ブランド概念とコミュニケーション
	事前学修	配布資料とテキスト 135 頁～ 137 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，テキストの該当部分と配布資料を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
11 回	授業内容	ブランド・マネジメント
	事前学修	配布資料をよく読んで，ブランド概念を理解しておくこと。
	事後学修	授業の内容を整理し，配布資料の必要箇所をノートにまとめること。
12 回	授業内容	マーケティングとフード・サービス
	事前学修	配布資料をよく読んでおくこと。
	事後学修	配布資料を読み返し，食の類型をノートにまとめておくこと。
13 回	授業内容	環境とマーケティング
	事前学修	配布資料と指示されたテキストの該当ページをよく読んでおくこと。
	事後学修	後期の終りが近いので，今までのノートをよく読み返しておくこと。
14 回	授業内容	後期授業の総復習
	事前学修	配布資料の各項目をノートとテキストで確認しておくこと。
	事後学修	要点項目として配布資料に挙げたものを，再確認し授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容	テストと解説
	事前学修	配布資料の項目をテキスト，ノートで学習しておくこと。
	事後学修	テキストの全体を読み返し，それぞれの当該箇所をノートで確認し，後期の授業内容の全体像を理解すること。

◆教科書　**通材**『マーケティング　S30500』 通信教育教材（教材コード 000182）2,550 円（送料込）
当日資料配布

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　テスト（40%），小論文（40%），平常点（20%）　授業の取り組み，小論文，テストにより総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔簿記論Ⅰ〕　山元　俊一

◆授業概要　日商簿記 3 級程度の内容を講義していきます。テキストを中心として，講義形式で授業を行います。また，演習問題を授業中に解いていただきます。講義形式で行うので，テキストや電卓は必須となります。電卓は，どのようなメーカーの電卓でも構いませんが，できれば 10-12 桁対応の電卓が望ましいです。

◆学修到達目標　初めて簿記を勉強する方を対象に，簿記一巡の流れを理解してもらい，最終的には，貸借対照表・損益計算書を作成できるようになることが目標です。そのためには，簿記の仕組みや帳簿記入・決算などの内容を理解することが重要です。前期のみの受講あるいは後期のみの受講も可能です。ただし，簿記検定３級程度の内容を概ね理解されたい方は通年の受講が望ましいと思われます。

◆授業方法　テキストの内容に沿って，内容を解説していきたいと思います。簿記は「習うより慣れろ」と言われています。そこで，講義ばかりでなく，実際に問題を解いてもらい，実践力を見につけてもらいたいと思います。

◆履修条件　前期と後期で連続して講義を行います。原則通期で受講していただきたいと思います。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	前期復習　第１章～第７章　①
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第１～７章
2回	授業内容	前期復習　第１章～第７章　②
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第１～７章
3回	授業内容	前期復習　第１章～第７章　③
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第１～７章
4回	授業内容	その他の債権と債務　第８章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第８章
5回	授業内容	受取手形と支払手形　第９章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第９章
6回	授業内容	有価証券　第 10 章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 10 章
7回	授業内容	固定資産　第 11 章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 11 章
8回	授業内容	貸倒損失と貸倒引当金　第 12 章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 12 章
9回	授業内容	資本金と引出金　第 13 章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 13 章
10 回	授業内容	収益と費用　第 14 章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 14 章
11 回	授業内容	伝票　第 15 章
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 15 章
12 回	授業内容	財務諸表　第 16 章　①
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 16 章
13 回	授業内容	財務諸表　第 16 章　②
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 16 章
14 回	授業内容	財務諸表　第 16 章　③
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	ワークブックによる復習　第 16 章
15 回	授業内容	授業内テスト
	事前学修	テキストを事前参照のこと
	事後学修	

◆教科書　丸沼『検定簿記講義　３級商業簿記』　渡部裕亘・片山覚・北村敬子　中央経済社　810 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『検定簿記ワークブック　３級商業簿記』　渡部裕亘・片山覚・北村敬子　中央経済社
810 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　原則として，授業の出席と試験の結果により総合評価を行います。試験については，すべて持込可で行います。また電卓も使用可能ですが，タブレットやスマートフォンは使用できません。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学B〕　中澤　瞳

◆授業概要　本授業は，古代から近代まで西洋の哲学の歴史を通して，一般的な哲学の知識を修得することも目的とした授業である。

◆学修到達目標　この授業は，代表的な哲学者の考え方を説明することができるようになること，哲学者の観点を理解し，批判的な視点をもつことができるようになることを目標とする。

◆授業方法　授業は講義形式で行う。資料プリントをもとに，解説を行う。資料プリントは，基本的には参加者に読んでいただく（挙手制）。また，複数回の小レポート（授業内で記述し，提出する簡単なレポート）を行う。なお，進行具合によっては，授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は，随時授業中に指示する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス，16-17 世紀までの哲学史概説
	事前学修	16-17 世紀までの哲学にどのようなものがあるか簡単に調べる。
	事後学修	16-17 世紀までの哲学を整理する。
2回	授業内容	16-17 世紀までの哲学史概説
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	16-17 世紀までの哲学を理解する。
3回	授業内容	近代哲学―経験主義の考え方を中心に
	事前学修	経験論者にはどのような人がいるか調べる。
	事後学修	経験論の思想を整理する。
4回	授業内容	近代哲学―カントの哲学を中心に
	事前学修	カントについて調べる。
	事後学修	カントの思想の特徴を整理する。
5回	授業内容	近代哲学―カントの哲学を中心に
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	カントの思想の特徴を理解する。
6回	授業内容	近代哲学―カントの哲学を中心に
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	カントの思想の特徴を深める。
7回	授業内容	近代哲学―功利主義を中心に
	事前学修	功利主義について調べる。
	事後学修	功利主義の特徴を整理する。
8回	授業内容	近代哲学―功利主義を中心に
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	功利主義の特徴を整理する。
9回	授業内容	近現代哲学―ニーチェの哲学を中心に
	事前学修	ニーチェについて調べる。
	事後学修	ニーチェの思想を理解する。
10回	授業内容	現代思想―プラグマティズムを中心に
	事前学修	プラグマティズムについて調べる。
	事後学修	プラグマティズムの特徴を整理する。
11回	授業内容	現代思想―実存主義を中心に
	事前学修	実存主義について調べる。
	事後学修	実存主義の思想を理解する。
12回	授業内容	現代思想―フェミニスト理論を中心に
	事前学修	フェミニズムについて調べる。
	事後学修	フェミニスト理論について理解を深める。
13回	授業内容	現代思想―分析哲学を中心に
	事前学修	分析哲学について調べる。
	事後学修	分析哲学について整理する。
14回	授業内容	現代思想―リベラリズムを中心に
	事前学修	リベラリズムについて調べる。
	事後学修	リベラリズムについてまとめる。
15回	授業内容	まとめ・筆記試験
	事前学修	これまでの授業を振り返り，代表的な哲学者の考え方を整理する。
	事後学修	哲学者の観点を理解し，批判的な視点を培う。

◆教科書　〔当日資料配布〕

◆参考書　授業中に随時指示する。

◆成績評価基準　授業への参加，貢献（20%），小レポート（20%），筆記試験（60%）により総合的に評価する。なお，評価を行う際には，毎回出席していることを前提とする。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語C〕★★☆　　森　晴代

◆授業概要　CNN ニュースを使用してアンカーや特派員の生きた英語の直聴直解を目指します。英語の４技能のうち，理解言語である「読む，聞く」を繰り返し練習することにより，英語そのものに慣れ，自然とシャドーイングができるようにします。表現言語である「話せる，書ける」は，理解言語を相当有していることが上達の前提となりますので，扱うニュースについて事前に調べておき，周辺の言葉をある程度知っておく必要があります。

◆学修到達目標　1．ネイティヴスピーカーが日常使用する 5000 語を身につける。スペルのミスをなくす。
2．1分間に 150 語の音読ができる。棒読みではなく，自分の言葉として英語が出るようにする。
3．音読文章の内容を正確に把握することができる。

◆授業方法　2回の授業で1unit 進めます。本文のリスニング，要約，内容のディスカッション，質疑応答，音読（オーバーラッピング，シャドーイング）をグループワークを取り入れて行います。グループはクラスの人数により変更しますが４～６名で１グループを予定しています。辞典は必ず毎回持参してください。小テストは各 unit 終了時にその unit の書き取り，もしくはパッセージの要約のいずれかを行います。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	リスニングと音読の関係性の説明 Unit 8: Ice Cream　内容に関するディスカッション　単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 8 の内容を予習をしておくこと
	事後学修	トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
2回	授業内容	Unit 8: Ice Cream　リスニング及び要約　質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
3回	授業内容	Unit 8 の補足 小テスト Unit 9: Nigerian Women's Bobsled Team　内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 8 の小テストに備えること，Unit 9 の内容を予習しておくこと
	事後学修	小テストでのミスを再度確認，トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
4回	授業内容	Unit 9: Nigerian Women's Bobsled Team　リスニング及び要約　質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
5回	授業内容	Unit 9 の補足　小テスト Unit 10: Zoo Dog　内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 9 の小テストに備えること，Unit 10 の内容を予習しておくこと
	事後学修	小テストでのミスを再度確認，トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
6回	授業内容	Unit 10: Zoo Dog　リスニング及び要約 質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
7回	授業内容	Unit 10 の補足　小テスト Unit 11: Google Before Google　内容に関するディスカッション 単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 10 の小テストに備えること，Unit 11 の内容を予習しておくこと
	事後学修	小テストでのミスを再度確認，トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
8回	授業内容	Unit 11: Google Before Google　リスニング及び要約 質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
9回	授業内容	Unit 11 の補足　小テスト Unit 12: 3D Food Printing　内容に関するディスカッション　単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 11 の小テストに備えること，Unit 12 の内容を予習しておくこと
	事後学修	小テストでのミスを再度確認，トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
10 回	授業内容	Unit 12: 3D Food Printing　リスニング及び要約　質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
11 回	授業内容	Unit 12 の補足　小テスト　Unit 13: Bitcoin　内容に関するディスカッション　単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 12 の小テストに備えること，Unit 13 の内容を予習しておくこと
	事後学修	小テストでのミスを再度確認，トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
12 回	授業内容	Unit 13: Bitcoin　リスニング及び要約　質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
13 回	授業内容	Unit 13 の補足　小テスト　Unit 14: Money to Soil　内容に関するディスカッション単語の意味及び発音練習
	事前学修	Unit 13 の小テストに備えること，Unit 14 の内容を予習しておくこと
	事後学修	小テストでのミスを再度確認，トピックの内容の整理，重要単語の暗記，アンカー部分の発音の練習をしておくこと
14 回	授業内容	Unit 14: Money to Soil　リスニング及び要約　質疑応答　オーバーラッピング　シャドーイング
	事前学修	本文のリスニングを解いて，内容を把握してくること
	事後学修	スムーズな音読，内容を把握，単語の確認をしておくこと
15 回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	これまでの音読訓練の成果を確認，単語の暗記，直聴直解ができているかを確認しておくこと
	事後学修	これまでのトピックの内容，スムーズなシャドーイング，単語のスペルの再確認をしておくこと

◆教科書　丸沼『CNN 10－Student News－vol. 2』　関戸冬彦他４名著　朝日出版社　1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　授業中に紹介します

◆成績評価基準　平常点（20%）　小テスト（20%）　音読発表（10%）　試験（50%）　毎回出席することを前提として評価します

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商法Ⅱ〕　南　健悟

◆授業概要　この講義では会社法について扱う。現代の経済社会において，欠かすことのできない会社制度について，法的な側面から説明を行い，会社法の全体像及び法的論点について解説する。会社法は多くの利害関係者の利害を調整する法的仕組みを用意している。より具体的には，後期は主として，コーポレート・ファイナンスに関わる法的諸問題を中心に講義を行う。

◆学修到達目標　この講義では，株式会社にまつわる法的紛争について，条文や判例・学説に従って解決する能力を養成することを目的とする。したがって，この講義において，受講生は，株式会社に関する法的諸問題について，条文や判例・学説を駆使し，当該法的諸問題に対して，どのように考えればよいのか，どのように解決すればよいのかについて理解し，それを適切に説明できるようになることを目標とする。

◆授業方法　基本的にはレジュメ等を配布した講義形式によるが，場合によっては，事前の予習を踏まえての積極的な発言を求めることがある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	【オリエンテーション・前期の振り返り】前期の講義概要と会社法のうちコーポレート・ファイナンスと呼ばれる分野とはどのような分野かを説明する。
	事前学修	前期受講生はその復習，後期のみ受講生は教科書に目を通しておく。
	事後学修	会社法とはどのような法律かを講義を踏まえてまとめる。
2回	授業内容	【株式制度と株主平等原則】株主の権利や株主平等原則とはどのようなものなのかについて講義する。
	事前学修	教科書の「第３章　株式」のうち，「1　株式の意義」を読んでおく。
	事後学修	株主の権利にはどのような権利があるのか，具体的に表にまとめる。
3回	授業内容	【種類株式制度】種類株式制度について，具体的な種類株式の内容や用途について講義する。
	事前学修	教科書の「第３章　株式」のうち，「Column 3-1」を読んでおく。
	事後学修	実際に発行されている種類株式についてニュース等で調べてみる。
4回	授業内容	【株式の譲渡⑴―株式譲渡自由の原則とその例外】株式譲渡自由の原則の理論的根拠とその例外について講義する。
	事前学修	教科書の「第３章　株式」のうち，「2　株式譲渡自由の原則とその例外」を読んでおく。
	事後学修	株式譲渡自由の原則の例外に反した場合の法的問題について，どのように考えられているのかまとめる
5回	授業内容	【株式の譲渡⑵―株式の譲渡方法】株式の譲渡手続について講義する。
	事前学修	教科書の「第３章　株式」のうち，「3　株式の譲渡と権利行使の方法」を読んでおく。
	事後学修	振替株式制度についても教科書の該当ページを読むなどして理解しておく。
6回	授業内容	教科書の「第４章　資金調達」のうち，「1　株式会社の資金調達方法の概要」「2　募集株式の発行等」を読んでおく。
	事前学修	【資金調達⑴―募集株式の発行手続】募集株式の発行手続とその理論的背景について講義する。
	事後学修	募集株式の発行手続の概要をまとめておく。
7回	授業内容	【資金調達⑵―違法な募集株式の発行①　有利発行規制違反】有利発行規制違反の募集株式の発行の効力について講義する。
	事前学修	教科書の「第４章　資金調達」のうち，「いわゆる有利発行の問題」を読んでおく。
	事後学修	有利発行規制違反の募集株式の発行が行われた場合の効果をまとめる。
8回	授業内容	【資金調達⑶―違法な募集株式の発行②　募集株式の発行の瑕疵】募集株式発行の瑕疵があった場合の株式の事前事後措置について講義する。
	事前学修	教科書の「第４章　資金調達」のうち，「募集株式の発行等の瑕疵をめぐる争い」を読んでおく。
	事後学修	新株発行の差止請求や新株発行無効の訴えなどについてまとめる。
9回	授業内容	【資金調達⑷―新株予約権・社債】新株予約権と社債について講義する。
	事前学修	教科書の「第４章　資金調達」のうち，「3　新株予約権」「4　社債」を読んでおく。
	事後学修	募集株式と新株予約権・社債による資金調達の違いをまとめる。
10回	授業内容	【会社の計算】会社の計算書類や剰余金の配当手続について講義する。
	事前学修	教科書の「第５章　計算」を読んでおく。
	事後学修	会社の計算書類の役割等についてまとめておく。
11回	授業内容	【組織再編⑴―組織再編手続総説】会社の組織再編である，合併，分割，株式移転，株式交換の意義や手続について講義する。
	事前学修	教科書の「第６章　組織再編」を読んでおく。
	事後学修	合併，分割，株式移転，株式交換の手続の概要をまとめておく。
12回	授業内容	【組織再編⑵―株式買取請求・事業譲渡】組織再編時の既存株主保護のための株式買取請求と，事業の譲渡手続について講義する。
	事前学修	教科書の「第６章　組織再編」を読んでおく。
	事後学修	株式買取請求や事業譲渡手続において問題となる法的問題を確認する。
13回	授業内容	【株式会社の設立⑴―設立手続総説】株式会社の設立手続の概要を講義する。
	事前学修	教科書の「第７章　設立・解散」のうち，「1　設立」を読んでおく。
	事後学修	会社の設立手続について作図して，その概要を把握する。
14回	授業内容	【株式会社の設立⑵―払込手続】会社設立時の払込手続と払込仮装行為としての預合及び見せ金の効力について講義する。
	事前学修	教科書の「第７章　設立・解散」のうち，「1　設立」及び「第４章　資金調達」のうち，「出資の履行」を読んでおく。
	事後学修	払込仮装行為の効力について復習する。
15回	授業内容	【まとめと試験】知識の確認のための試験を行う。
	事前学修	配布された全ての講義レジュメ及び教科書を通読し，自分自身の知識を確認しておく。
	事後学修	演習本等を利用して，会社法上の法的問題についてアウトプットしてみる。

◆教科書　丸沼『会社法（有斐閣ストゥディア）』　中東正文ほか　有斐閣　2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『リーガルクエスト会社法（第４版）』　伊藤靖史ほか　有斐閣　3,132 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『会社法判例百選（第３版）』　岩原紳作ほか編　有斐閣　2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準　定期試験において，択一・論述式による問題を出し，授業で扱った会社法上の問題について適切に理解をしているかを確認する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋史演習Ⅰ・Ⅱ〕　藤井　信行

◆授業概要　歴史学の論文を書くためのステップの後半部分（研究史の整理・資料の収集・論証とは？）を取り上げます（前半部分の論文のテーマ決定・文献目録の作成・文献の解読・事実の解釈は前期授業）。学生各自が自身のテーマで研究史の整理を行い，それによってテーマに関する論争点や解釈の変遷などを理解します。また学生の報告を聞くことをとおして，西洋史における幅広い知識を身につける。

◆学修到達目標　学生各自が自己のテーマについて研究史の整理を行うことによって，様々な解釈が存在することを知り，それによって事実は１つかもしれないが，その解釈は多様であることを学ぶ。したがって，歴史とは，事実の積み重ねがおのずから歴史を創っていくのではなく，歴史家がいくつもの事実を解釈することをとおして創られていくものであることを理解する。

◆授業方法　１つ１つのステップをゼミナール形式で進めます。３年次生は，これをモデルにして同じステップを各自の論文テーマで行います。４年次生は，これを今一度自分の論文で確認しつつ論文を完成させてください。また３年・４年次生ともに，自己のテーマの研究史の整理を授業内で報告してもらいます。報告内容についてディスカッションを行いますので，今後の自身の論文作成につなげてください。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	歴史学の論文を書く：まずこの授業の全体像と具体的な進め方を説明する。つづいて歴史学の論文を書く上で後半の重要ポイント「研究史の整理」と「論証」について説明する。
	事前学修	テキスト第２章（41 ～ 78 頁）をよく読んでおくこと。
	事後学修	２つのポイントについて，授業内容とテキストをノートにまとめ，それぞれを確認し理解する。
2回	授業内容	３年次生の卒業論文テーマの決定：卒業論文のテーマを決定し，その要旨・章立てなどの概要を報告する。報告の内容についてのディスカッションも行う。
	事前学修	学生各自，報告要旨を整理し，A4 版１枚にまとめる。
	事後学修	ディスカッションでの議論を整理して，今後の論文作成につなげる。
3回	授業内容	４年次生の卒業論文中間報告：テーマ・章立て・内容を簡潔にまとめて報告する。報告の内容についてのディスカッションも行う。
	事前学修	報告要旨を整理し，A4 版１枚にまとめる。
	事後学修	ディスカッションでの議論を整理して，今後の論文作成につなげる。
4回	授業内容	研究史の整理⑴：研究史の整理にも様々な形があることを，具体的にいくつかの論文を読みながら解説する。
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	自身のテーマの研究史の整理（未完の学生は自身の解釈）と配布資料と照らし合わせて確認する。
5回	授業内容	研究史の整理⑵：「時代３区分法とルネサンス」をテーマにして，関係する資料を読みながら，ルネサンスに関する研究史の整理を解説する。それをとおして，西洋史における古代・中世・近代という時代３区分法も理解する。
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を配布資料でよく確認し，ルネサンスに関する研究史が時代の変遷とともに変わってきたことを確認する→レポートにまとめて次回授業時に提出。
6回	授業内容	研究史の整理⑶：「第一次世界大戦原因論」をテーマにして，関係する資料を読みながら，大戦原因論に関する研究史の整理を解説する。それをとおして，新たな事実の公表によって歴史解釈も必然的に変化してきたことを理解する。
	事前学修	参考書　『歴史学』第８部（187 ～ 211 ページ）をよく読んでおくこと。
	事後学修	参考書と授業ノートを整理し，内容を確認・理解する。
7回	授業内容	研究史の整理⑷：「魔女」をテーマにして，関係する資料を読みながら，魔女に関する研究史の整理を解説する。それをとおして，時代の変遷とともに歴史解釈も必然的に変化してきたことを理解する。
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容を配布資料でよく確認し，魔女に関する歴史解釈が時代の変遷とともに変わってきたことを確認する。
8回	授業内容	研究史の整理⑸：４年次生の卒業論文のテーマから選ぶ①―報告とディスカッション
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	報告とディスカッションの内容をまとめ，西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
9回	授業内容	研究史の整理⑹：４年次生の卒業論文のテーマから選ぶ②―報告とディスカッション
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	報告とディスカッションの内容をまとめ，西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
10回	授業内容	研究史の整理⑺：３年次生の卒業論文のテーマから選ぶ①―報告とディスカッション
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	報告とディスカッションの内容をまとめ，西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
11回	授業内容	研究史の整理⑻：３年次生の卒業論文のテーマから選ぶ②―報告とディスカッション
	事前学修	配布資料（前回授業終了時に配布）をよく読んでおくこと。
	事後学修	報告とディスカッションの内容をまとめ，西洋史における幅広い知識を身につけることへとつなげる。
12回	授業内容	４年次生の卒業論文報告とディスカッション⑴：学生それぞれの報告と報告内容（テーマ・章立て・論証内容など）についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに，他の学生たちの報告要旨（事前に配布する）をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。
13回	授業内容	４年次生の卒業論文報告とディスカッション⑵：学生それぞれの報告と報告内容（テーマ・章立て・論証内容など）についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに，他の学生たちの報告要旨（事前に配布する）をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。
14回	授業内容	３年次生のテーマ決定報告とディスカッション⑴：学生それぞれの報告と報告内容（テーマ・章立て・論証内容など）についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに，他の学生たちの報告要旨（事前に配布する）をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。
15回	授業内容	３年次生のテーマ決定報告とディスカッション⑵：学生それぞれの報告と報告内容（テーマ・章立て・論証内容など）についてのディスカッションを行う。
	事前学修	各自の報告を準備するとともに，他の学生たちの報告要旨（事前に配布する）をよく読んでおく。積極的にディスカッションに参加できる準備を整えておく。
	事後学修	報告に関してのディスカッションの内容を確認し理解する。

◆教科書　通材『西洋史入門　Q20300』 通信教育教材（教材コード 000047）1,700 円（送料込）
〈この教材は市販の『歴史とは何か』E.H. カー著（岩波新書）と同一です。〉

◆参考書　通材『歴史学　B11100』 通信教育教材（教材コード 000393）1,950 円（送料込）

◆成績評価基準　レポート２回（授業中・前期最終授業時）各 30%×２，報告 40%　毎回出席することを前提に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済原論 / 経済学原論Ａ〕 オープン受講：不可　　関谷　喜三郎

◆授業概要　国民所得の概念をベースにして，マクロ経済学の基礎理論を平易に解説する。さらに，IS-LM モデルを用いて，財政金融政策の効果について説明します。

◆学修到達目標　マクロ経済学の理論を学習し，いわゆる「経済を見る目」を養い，今日の経済の動きや経済政策について自分なりの考えを述べることができるようになります。

◆授業方法　テキストにもとづいて，板書を中心にしてマクロ経済学の基本的な内容を説明していきます。国民所得の三面等価についての理解を基本にして，国民所得決定論，利子率決定論，IS-LM 分析を展開し，それをもとに財政・金融政策を解説します。

◆履修条件　この講義では，「経済学」や「経済学概論」等でマクロ経済学の基礎理論をすでに学習したことのある学生を対象に講義を進めます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	マクロ経済学とはどのような学問か：マクロ経済学の分析手法について説明します。
	事前学修	マクロ経済学に関心をもってください。
	事後学修	専門用語をノートに整理し，理解しましょう。
2回	授業内容	国民所得の概念について説明します。
	事前学修	テキストの第１章の国民所得の概念を予習しておきましょう。
	事後学修	GDP の概念について復習しておきましょう。
3回	授業内容	国民所得の三面等価について説明します。
	事前学修	テキストの第１章から第３章の該当項目を予習しておきましょう。
	事後学修	三面等価について復習しておきましょう。
4回	授業内容	国民所得の均衡について説明します。
	事前学修	テキスト第６章の有効需要の原理について予習しておきましょう。
	事後学修	総需要と総供給の均衡について復習しておきましょう。
5回	授業内容	消費関数・貯蓄関数・投資関数について説明します。
	事前学修	テキスト第７章を予習しておきましょう。
	事後学修	マクロ経済における消費・貯蓄・投資について理解しましょう。
6回	授業内容	財政活動と国民所得について説明します。
	事前学修	テキストの第８章を予習しておきましょう。
	事後学修	政府の財政活動について理解しましょう。
7回	授業内容	開放体系と国民所得について説明します。
	事前学修	テキストの第９章を予習しておきましょう。
	事後学修	輸出・輸入と国民所得決定の関係について理解しましょう。
8回	授業内容	貨幣供給の内容と貨幣乗数について説明します。
	事前学修	テキストの第 12 章を予習しておきましょう。
	事後学修	貨幣供給の決定要因について整理しておきましょう。
9回	授業内容	貨幣需要および利子率決定論について説明します。
	事前学修	テキストの第 14 章を予習しておきましょう。
	事後学修	流動性選好理論について理解しておきましょう。
10回	授業内容	IS-LM 曲線について説明します。
	事前学修	テキスト第 16 章を予習しておきましょう。
	事後学修	IS 曲線と LM 曲線について理解しておきましょう。
11回	授業内容	IS-LM 分析による均衡国民所得の決定について説明します。
	事前学修	テキスト第 16 章を予習しておきましょう。
	事後学修	均衡所得と均衡利子率の同時決定について理解しておきましょう。
12回	授業内容	IS-LM 分析と財政政策について説明します。
	事前学修	テキスト第 17 章予習しておきましょう。
	事後学修	財政政策の基本的内容について理解しましょう。
13回	授業内容	金融政策の有効性について説明します。
	事前学修	テキスト第 18 章を予習しておきましょう。
	事後学修	金融政策の効果について理解しておきましょう。
14回	授業内容	IS-LM 分析と経済政策の有効性について整理します。
	事前学修	これまでの講義の内容を整理しておきましょう。。
	事後学修	IS-LM 分析の内容を確認しておきましょう。
15回	授業内容	筆記試験
	事前学修	これまでの内容を復習をしておきましょう。
	事後学修	

◆教科書　丸沼『マクロ経済学』　石橋春男・関谷喜三郎共著　創成社　2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　筆記試験で評価します。毎回出席することを前提として評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔文学〕　木村　一

◆授業概要　本講座は，「国語」ではありません。「文学」です。ひとことで「文学」と言っても，簡単に説明できるものではありませんが，古来より残されてきた人の行動の一つであることは確かなことです。それでは，人びとはどうしてそれを残してきたのか，「文学」であることとはどのようなことであるのか。漠然としたことではなしに，実際の作品にその答えを探ります。講義の対象とする時代は，平安時代です。受講者は事項だけではなしに，その背景をも把握することに努めましょう。

◆学修到達目標　前期からの継続である物語をテーマとします。具体的には『源氏物語』を扱います。対象とする巻は，「桐壺」と「葵」です。物語世界の時代背景や当時の生活様式，さらには人びとがどのような意識で暮らしていたのか，ということがことさらに重要になってきます。前期からの学修の延長線上で作品を読んでいきます。その結果として，物語ということの捉え方，『源氏物語』についての基本的な知識と読み方ができるようになります。

◆授業方法　講義形式で授業を行います。指定テキストを適宜用い，それとあわせて実際の作品を読んでいきます。受講者は，講義の対象となる時代背景を把握すること。対象となる作品のおおよその概要を把握すること。さらに配布される資料で作品を読み込むこと。また，受講者に積極的な思考を促すために，小課題を授業中に課すこととします。そのために各自積極的にノートをとること。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	導入・注意事項・物語とは（前期からの流れと確認）
	事前学修	テキストの授業概要に該当する部分を読んでおくこと。
	事後学修	前期からの講義内容の確認。
2回	授業内容	『源氏物語』入門
	事前学修	『源氏物語』についての基本事項を捉えておくこと。
	事後学修	講義で学修したことを踏まえ，講義内容と照らし合わせること。
3回	授業内容	桐壺巻　講読
	事前学修	文学史事項と背景を把握しておくこと。
	事後学修	基本事項と成立の背景を講義内容と照らし合わせること。
4回	授業内容	時空と宮廷社会
	事前学修	物語世界の舞台を把握しておくこと。
	事後学修	勅撰ということの意味を確実にしておくこと。
5回	授業内容	一夫多妻制と後宮社会
	事前学修	当時の社会制度と後宮ということについて把握しておくこと。
	事後学修	ここまでの内容の，作品・時代背景・作品の体裁ということを確実に。
6回	授業内容	第二皇子誕生
	事前学修	物語の流れを確認しておくこと。
	事後学修	事前学修の考えと講義内容との誤差を埋めること。
7回	授業内容	更衣の死とタブー
	事前学修	物語の流れをつかむこと。
	事後学修	後宮社会ではどのような生き方が理想的なのかを把握すること。
8回	授業内容	臣籍降下と光源氏の誕生
	事前学修	物語の展開と何が問題であるのかということを確認すること。
	事後学修	講義内容を整理する。
9回	授業内容	源氏の結婚
	事前学修	ここまでの流れを確認しておくこと。
	事後学修	登場人物の整理をしておくこと。
10回	授業内容	桐壺巻から葵巻まで
	事前学修	桐壺巻という大きな捉え方をしておくこと。
	事後学修	世界が変わっていることを確認・整理すること。
11回	授業内容	葵上と六条御息所
	事前学修	葵祭について調べること。
	事後学修	配布資料の読み込み。
12回	授業内容	斎院御契禊の日と車争い
	事前学修	配布資料の読み込み。
	事後学修	物語の内容と話の流れとの把握と整理。
13回	授業内容	六条御息所の性質
	事前学修	物語は何を語りたいのか。
	事後学修	物語が向かう先とは。
14回	授業内容	物の怪の出現
	事前学修	配布資料の読み込み。
	事後学修	講義内容を確実に整理するとこ。
15回	授業内容	試験
	事前学修	これまでの総復習・資料，ノートの整理と対策。
	事後学修	

◆教科書　通材『国文学基礎講義　M20100』 通信教育教材（教材コード 000519）3,350 円（送料込）
〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ日本古典文学』近藤健史編（弘文堂）と同一です。〉
当日資料配布 当日プリント配布

◆参考書　電子辞書があると便利（電子端末＝スマホ・タブレット不可）

◆成績評価基準　毎回出席することを前提とし，講義への取り組み・小課題の成果により総合的に評価する。
受講状況（10%）・小課題（10%）・試験（80%）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔法学Ｂ〕　武田　茂樹

◆授業概要　〔法の歴史を学び，法の未来を考えよう〕その中で後期は法の未来を考えます。
法は，人類の文化のあらゆる領域に深く関わるものです。従って，この講義では，一定の学問的研究の重要性を提示しますが，法の未来というテーマから生まれる問題は，それに尽きるとは思われません。ぜひ，学生諸君も自己の興味や問題意識を大切に，法の未来を考える準備をしてください。

◆学修到達目標　法学・前期では，法の歴史を学ぶことによって，法の全体像を考察しました。歴史を学ぶことは，法の世界を過去という時間軸から考えるだけでなく，現在そして未来の法のあり方を考えていく上でも，非常に大切な意味をもちます。そこで，後期の法学では，時間軸を現在から未来にシフトさせて，法の未来を考えて見たいと思います。まだ，未来の姿は見えないのですが，すでに始まっていると思われます。学問的な推論を柱にしながら，想像力を働かせて，法の未来に迫りたいと思います。

◆授業方法　法学・前期と同じように，講義を中心に授業を進めます。しかし，法の未来に関しては，学問的見解が確立していないので，多様な角度からの見方が成立すると思います。その多様性を大切に講義を進めたいと思っていますので，学生諸君の積極的な質疑応答への参加を期待します。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	現代世界の法について考える。法の未来を考える出発点は現代世界にあります。現代世界の様々な課題が法の未来を形成していくのです。従って，今日の世界がどのような法的課題を抱え，そして，未来にはどのような解決方法が考えられるかという学問的推測を始めてみましょう。
	事前学修	現代世界が抱える法的問題をいろいろと考えてみよう。
	事後学修	それらの法的問題の未来的な解決方法を考えよう。
2回	授業内容	法的課題が，主に何に起因しているのかを考える。今日の様々な法的課題は，複雑性を有し，多様な原因が複合して生じていると考えられます。しかし，その中で，法的課題の重要な要因は何かを考えることは大切です。その課題を解決していく未来の法の在り方を考える出発点となるからです。
	事前学修	現在および未来に考えられる法的課題を思い浮かべてみよう。
	事後学修	その課題の原因および解決方法を研究してみよう。
3回	授業内容	現代世界の法的課題を検討します。現代世界の法的課題が，未来の法の解決課題や解決方法を示唆する可能性が高いとおもわれます。従って，法の未来を考える上で，今日の法的課題を考えることは，非常に大切です。現在と未来の文化の連続と非連続の可能性も考えて見たいと思います。
	事前学修	激動の現代世界の中で，過去や現在だけでなく，未来の世界も考えてみよう。
	事後学修	未来予想に関する学問的な方法論を研究してみよう。
4回	授業内容	世界的に急激に進展しているグローバリズムとそれがもたらす法への影響について検討します。ついこの間まで，私たちが学ぶ法の領域は，国家という閉鎖的な世界が舞台に展開されていました。それが，現在では，国際社会，そして，世界へ，さらには，地球環境全体へと視野を広げています。
	事前学修	現在のグローバリズムの進展について学ぼう。
	事後学修	グローバリズムの進展によって法の未来がどうなっていくのか考えてみよう。
5回	授業内容	地球環境と法について。人類の文化は，人間社会を超えて地球環境やそこに生存する生物の生存環境に強い影響を及ぼす段階に入っています。人類が文化の方向性を誤れば地球環境全体の崩壊をもたらし，そこに生存する生命体の絶滅につながる可能性があります。人類の文明を見つめ，未来の法がどのような役割を果たせるか考えます。
	事前学修	人類の文明の未来を考えよう。
	事後学修	未来の世界において，人類がどのような役割を果たせるか考えよう。
6回	授業内容	地球全体の未来を見通した法の在り方を考えよう。現代世界では，地球全体に広がる法的課題に対応するために急速に国際法の領域が注目され，発展しつつあります。これからの法の視点は，国際法の認識が必要不可欠です。未来の国際法を考えましょう。
	事前学修	国際法を学ぼう。
	事後学修	未来の国際法を考えてみよう。
7回	授業内容	宇宙と法の関係について。現代の人類の活動は，地球全体に止まらず，宇宙という領域に現実的に踏み込んでいます。未来の法の主要舞台は宇宙となり，宇宙法が非常に重要な法領域になる可能性があります。私たちは，宇宙法の研究に積極的に取り組むべき時期にきているといえます。
	事前学修	宇宙について考えてみよう。
	事後学修	宇宙法を学ぼう。
8回	授業内容	科学の未来と法。現代科学の発展は，驚異的といえます。そして，未来の科学は，あらゆる領域において，質量ともに現代科学をはるかに上回る発展が予想されます。人類の未来は，科学の発展によって大きな変化がもたらされると予測されます。このような人類の文明において，法が科学の発展とどう向かい合うかは非常に大切な問題です。
	事前学修	科学史を学び，科学の発展について考えよう。
	事後学修	人類の文化において，科学の発展がどういう意味をもつのか考えよう。
9回	授業内容	現代の技術の発展は，科学の発展と並行して驚異的なものであり，未来の技術の発展はさらに上回ることが予想されます。技術は，人類の文明の在り方に，直接的かつ本質的な影響を及ぼします。人類の文明の未来が技術の在りかたに大きく関わっていることは否定できません。技術と法の関係を研究する学問の構築が必要です。
	事前学修	技術の発展について学んでみよう。
	事後学修	技術の発展が人類の文化にどのような影響をもたらすかを考えよう。
10回	授業内容	生命科学の発展と法の関係について考えます。DNA 解析や脳科学の発展によって生命科学は驚異的な発展過程にあり，未来には，さらに，進化を遂げて，人類や生命体の存在の在り方そのものに本質的な影響をもたらすと考えられます。これによって，人類の文明そのものが，本質的な変化を受ける可能性が高く，法の果たす役割が問われます。
	事前学修	現代の生命科学の発展について学んでみよう。
	事後学修	法と生命の関係について考えよう。
11回	授業内容	科学と技術の複合による科学技術の発展は，人類の文明に巨大な影響を及ぼしてきましたが，未来においては，量的だけでなく質的にも決定的な変化の可能性を内包しています。人類の文化そして生活は，科学技術の発展によって，予想を超えた状況をもたらす可能性があります。それに対する法の果たすべき役割を考える必要があります。
	事前学修	未来の世界を考えてみよう。
	事後学修	未来の世界における法の役割を考えよう。
12回	授業内容	科学技術の発展は，未来において，AI やサイボークという従来は SF の世界でしか考えられなかった新たな生命体を現実化する可能性があります。法は生物としての人類が形成する世界を基盤に発展してきましたが，その状況が本質的に変化し，新たな世界が生まれる可能性があります。
	事前学修	AI やサイボークに対する研究をしてみよう。
	事後学修	AI やサイボークの文化的な意味を考えよう。
13回	授業内容	未来において，平和で豊かな世界を形成するために必要なことを考えよう。現代において，個人の人権を保障し，平和で民主主義の豊かな世界を構築する法の理念は，人類の共通認識になりつつあります。この理念を大切に守りつつ，未来においてより良い世界を築き上げるのになすべき法の役割を考えてみましょう。
	事前学修	法の未来を考えよう。
	事後学修	法の普遍的価値を考えよう。
14回	授業内容	後期の講義をまとめます。学問は，今後，未来に対する学問研究が重要な役割を果たしていくと考えられます。日本では未開拓ともいえる学問領域ですが，新たな一歩を踏み出すことが大切と思い，この講座内容としました。学生諸君の見解を知りたいとともに，この分野への積極的なチャレンジを期待しています。
	事前学修	学問的に未来を研究するには何が必要か考えてみよう。
	事後学修	学問的な未来学にチャレンジしよう。
15回	授業内容	試験
	事前学修	
	事後学修	

◆教科書　なし。
◆参考書　授業中に提示する。
◆成績評価基準　毎回出席することを前提として，試験（80%），平常点（20%）で評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語D〕★★☆　　北原　安治

◆授業概要　五文型に基づき，英文の構造を把握して初学者でも正しい訳ができるようになることを目標とする。
前期・後期の連続受講が望ましい。

◆学修到達目標　全体的に英文の構造が理解できるようになり，文の構造に基づいた正しい和訳ができるようになることを目的とする。五文型の基本理解，自動詞と他動詞の区別，目的語と補語の区別，完了形の理解，仮定法の理解など基本文法が理解できるようになることを目的とする。

◆授業方法　講義の最初に映像教材を使い口語英語や英米中心に文化について学ぶ。テキストについては本文のみやり練習問題はやらない。ノート検査は抜き打ちで行うのでかならずノートは書いておく。ルーズリーフでもよいが必ず書いたものすべてを毎回持ってくること。および板書事項を正確にすべて写していないノートは不可とし単位を与えない。予習段階で英文を８行ほどの間隔でノートに写す。板書のときは英文の下に訳を書くが，ノートの見開きの左のページに英文を写し，右のページに訳をつけても良い。単語を調べてくること。和訳小テストをするので辞書を持ってくること。教科書を毎回持ってくること。15 回目の試験は辞書やノートの持ち込み不可。

◆履修条件　前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	前期の続きより。とりあえず第７章（ロシア）の英文構造と和訳
	事前学修	英文をノートに書き写す（8行ほど）。単語を調べて自分なりの和訳をする。
	事後学修	予習段階の和訳と講義の和訳を比べてどこが間違ったか確認する。
2回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。現在進行形の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。現在進行形の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。現在進行形の復習。
3回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。過去進行形の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。過去進行形の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。過去進行形の復習。
4回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。未来表現の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。未来表現の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。未来表現の復習。
5回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。知覚動詞の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。知覚動詞の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。知覚動詞の復習。
6回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。使役動詞の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。使役動詞の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。使役動詞の復習。
7回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。受動態の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。受動態の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。受動態の復習。
8回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。冠詞の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。冠詞の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。冠詞の復習。
9回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。形容詞の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。形容詞の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。形容詞の復習。
10回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。副詞の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。副詞の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。副詞の復習。
11回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。比較構文の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。比較構文の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。比較構文の復習。
12回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。接続詞の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。接続詞の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。接続詞の復習。
13回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。話法の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。話法の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。話法の復習。
14回	授業内容	映像資料。第７章（ロシア）の英文構造と和訳。仮定法の確認。
	事前学修	英文をノートに書き写す。和訳をする。仮定法の予習。
	事後学修	和訳を比べてどこが間違ったか確認する。仮定法の復習。
15回	授業内容	持ち込み不可の試験および解説
	事前学修	学習した範囲の単語を覚えて，和訳ができるようにする。
	事後学修	学んだ文法事項を参考書などで再確認する。

◆教科書　丸沼『Major Countries in the World ～世界の主要国～』 小泉和弘編　鳳書房（Tel/Fax (03) 3483-3723）
1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『ロイヤル英文法』 旺文社　1,944 円（税込）（送料 500 円）
この本は講義では使わない。辞書は使い慣れたものでよいので毎回持ってくること。電子辞書でもよい。

◆成績評価基準　期末試験，小テストなどの総合評価。皆出席を望む。出席点とノート点は加点しない。出席してノートを取るのは当然のことだからである。抜き打ちの実力テストを行う場合がある。板書事項を全部書いているかを調べる。ノート検査をして不備の者は不合格。テキストを買っていないものも不可とする。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔刑法Ⅰ〕　岡西　賢治

◆授業概要　犯罪と刑罰に関する基礎的知識について講義を行うことによって，受講者自身が理解を深めることを目的とし，そのうえで専門概念について議論ができ，現代的な意義について自論が展開できるような，問題提起型の授業とする。

◆学修到達目標　犯罪と刑罰に関する基礎的知識を習得し，人を処罰することについて自らの考えを持ち，具体的な事件や現象を理解し検討・批判する能力を身に付ける。学習にあたっては，専門用語や概念を覚えるだけではなく，それらを使って現実の問題に取り組めるような能動的姿勢がとれるようにする。

◆授業方法　講義形式を中心としつつも，必要に応じて個々の意見を求めることや，特定のテーマを設定したうえで全体での議論を行っていく。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	刑法を学ぶということ
	事前学修	第 1 講を読んでおく
	事後学修	刑法と他の法との違いを整理しておく
2回	授業内容	刑法は何のためにあるのか
	事前学修	第 2 講を読んでおく
	事後学修	犯罪とは何か，刑罰とは何かを理解する
3回	授業内容	刑法の基本原則
	事前学修	第 3 講を読んでおく
	事後学修	罪刑法定主義の意義について理解する
4回	授業内容	刑罰法規の解釈と適用
	事前学修	第 4 講を読んでおく
	事後学修	刑法における解釈の意義を理解する
5回	授業内容	犯罪論の基本的な考え方
	事前学修	第 5 講を読んでおく
	事後学修	犯罪をめぐる理論について整理する
6回	授業内容	構成要件をめぐって
	事前学修	第 6 講を読んでおく
	事後学修	構成要件という概念とその意義について理解する
7回	授業内容	未遂犯と既遂犯
	事前学修	第 7 講を読んでおく
	事後学修	未遂が処罰される範囲と意義について整理しておく
8回	授業内容	故意と錯誤
	事前学修	第 8 講を読んでおく
	事後学修	故意の種類や錯誤をめぐる学説を整理する
9回	授業内容	過失
	事前学修	事前の配布資料を読んでおく
	事後学修	過失が処罰される範囲と根拠について理解する
10 回	授業内容	違法性とその阻却
	事前学修	第 9 講を読んでおく
	事後学修	違法性と構成要件との関係を整理する
11 回	授業内容	緊急行為
	事前学修	事前の配布資料を読んでおく
	事後学修	正当防衛や緊急避難について理解する
12 回	授業内容	責任とその阻却
	事前学修	第 10 講を読んでおく
	事後学修	刑事責任の本質を理解する
13 回	授業内容	正犯と共犯
	事前学修	第 11 講を読んでおく
	事後学修	共犯が成立する範囲や根拠を理解する
14 回	授業内容	犯罪論から刑罰論へ
	事前学修	第 12 講を読んでおく
	事後学修	罪数や量刑について理解する
15 回	授業内容	試験
	事前学修	刑法総論に関する諸概念について整理する
	事後学修	試験の問題について判例や学説の状況を理解する

◆教科書　丸沼『入門刑法学　総論　〈第 2 版〉』 井田良　有斐閣　2,268 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　授業内試験による（100%）。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語音声学〕　森　晴代

◆授業概要　発声器官の説明から始めて，子音については細かい音声現象の説明，日本語と英語の違い，英米の違いの理解の徹底及び発音練習を行います。プロソディでは音声変化（脱落現象，連結現象，同化現象），イントネーションについて説明し，総合的な発音練習を行います。発音試験に備え，授業時に各自発音発表をしてもらいます。また，毎週理論に関する小テストを課して習熟度の確認を行います。テストには専門用語が多数出てくるので，前もって読んでおいてください。

◆学修到達目標　1．日本語との違いを意識し，英語の発音の特徴及び発音記号を理解することができる。
2．英語のプロソディの学びを通して，英語らしい発音を実現することができる。

◆授業方法　子音，音声変化，イントネーションの詳細な説明を行います。毎週小テストを課して習得状況を確認します。練習問題を適宜配布し問題を解きながら難しい箇所を補足説明します。8 名から 10 名のグループを作り，発音練習への取り組みやプリント作成を行います。全員参加型の授業を目指します。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	子音の分類説明
	事前学修	音声学の学問領域について各自調べておくこと 母音，発声器官の名称，発音記号が一通り書けるか確認しておくこと
	事後学修	英語の子音の分類基準を覚え，子音の発音記号を書けるようにしておくこと
2回	授業内容	閉鎖音の説明及び発音練習
	事前学修	閉鎖音について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	閉鎖音の理論，日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
3回	授業内容	摩擦音の説明及び発音練習
	事前学修	摩擦音について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	摩擦音の理論，日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
4回	授業内容	破擦音の説明及び発音練習
	事前学修	破擦音について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	破擦音の理論，日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
5回	授業内容	鼻音の説明及び発音練習
	事前学修	鼻音について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	鼻音の理論，日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
6回	授業内容	流音，半母音の説明及び発音練習
	事前学修	流音，半母音について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	流音，半母音の理論，日本語との違いの理解及び発音練習をしておくこと
7回	授業内容	子音連続の発音練習
	事前学修	子音連続について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	英語の子音連続の発音練習をしておくこと，母語干渉を理解しておくこと
8回	授業内容	子音の演習問題配布及び解答
	事前学修	英語と日本語の子音の違いを理解しておくこと
	事後学修	解答したプリントの復習をしておくこと
9回	授業内容	音声変化：脱落現象の説明及びリスニング演習
	事前学修	脱落について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	脱落現象を理解できたか，リスニング練習と発音練習をしておくこと
10回	授業内容	音声変化：連結現象の説明及びリスニング演習
	事前学修	連結について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	連結現象を理解できたか，リスニング練習と発音練習をしておくこと
11回	授業内容	音声変化：同化現象の説明及びリスニング演習
	事前学修	同化について，配布されたプリントを読んでおくこと
	事後学修	同化現象を理解できたか，リスニング練習と発音練習をしておくこと
12回	授業内容	イントネーションの説明及び文の発音練習（長文）
	事前学修	文強勢の復習とイントネーションの箇所を読んでおくこと
	事後学修	英語のイントネーションを理解し，発音練習につなげること
13回	授業内容	文（長文）の発音練習及び練習問題
	事前学修	これまで勉強した子音，音声変化，イントネーションを考慮した発音練習をしておくこと
	事後学修	練習において指摘された箇所を理解しておくこと
14回	授業内容	発音試験及び解説，指導
	事前学修	発音試験に備え，これまでの総復習をしておくこと
	事後学修	試験後に，指導されたことを理解しておくこと
15回	授業内容	筆記試験及び解説
	事前学修	試験に備え，理論と発音の総復習をしておくこと
	事後学修	英語音声学における諸事象を理解できたか復習すること

◆教科書　プリント使用

◆参考書　丸沼『英語の音声を科学する』 川越いつえ著　大修館書店　新装版 CD 付　2,592 円（税込）（送料 300 円）
＊授業では使用しません。

◆成績評価基準　平常点（20%），小テスト（20%），発音テスト（10%），試験（50%）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史特講Ⅱ〕　堀井　弘一郎

◆授業概要　徴兵，徴用，移民，特攻，政治運動，留用などを含め，日中戦争やアジア太平洋戦争の戦時下で日本国内や，中国，台湾，朝鮮など各地の民衆がどのように戦争に動員され，どのような生き方を強いられていったのかという視点から日中戦争史・アジア太平洋戦争史を再構成し，民衆と戦争，権力，メディア等の関係性を考察する。

◆学修到達目標　戦後 70 余年，戦争の記憶も薄らいでいき，また近隣諸国との摩擦も絶えない状態が続いている。そんな中，戦争の前線や銃後に動員された各国民衆の生き様をたどりながら，民衆動員のシステムを考察し，民衆と戦争，権力，メディア，ナショナリズム等の関係について多面的，複眼的な理解ができるようになることを目標とする。

◆授業方法　毎回レジュメや資料プリントを用意し，それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際，受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また，視聴覚教材を活用したり，史資料にも多く触れたりすることで，歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法，卒業論文等の作成方法についても解説する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス＆満州事変と開拓移民
	事前学修	満州事変とはどのような「事変」だったのか，その経緯をおさえておこう。
	事後学修	満州事変の経緯や背景，開拓移民の歴史，戦後の事態などをまとめよう。
2回	授業内容	満州国協和会と陸軍宣撫班
	事前学修	日本は満州国をどのような国にしていこうとしたのか，調べてみよう。
	事後学修	協和会結成の意味，軍の宣撫班活動の目的などを整理しておこう。
3回	授業内容	東亜聯盟とアジア主義
	事前学修	アジア主義とはどのような「主義」なのか，調べておこう。
	事後学修	東亜連盟の理念と実態，アジア主義との関係などについて整理しておこう。
4回	授業内容	汪兆銘政権下の中国民衆
	事前学修	汪兆銘とは誰なのか，何をした人物なのか，調べておこう。
	事後学修	汪政権の理念と実態，汪政権下の民衆動員システムなどをまとめておこう。
5回	授業内容	蔣介石，毛沢東統治下の中国民衆
	事前学修	日中戦争について，その経緯をおさえておこう。
	事後学修	国民党，共産党両陣営の下にある民衆の動態について整理しておこう。
6回	授業内容	植民地台湾・朝鮮の民衆
	事前学修	台湾や朝鮮が日本の植民地となった経緯について調べておこう。
	事後学修	日本が両地域の民衆をどのように統治，動員したのか，まとめてみよう。
7回	授業内容	戦時性暴力と従軍慰安婦
	事前学修	従軍慰安婦とは誰が，どのような経緯でそうされたのか調べておこう。
	事後学修	慰安婦の歴史的経緯や背景，戦時性暴力問題についてまとめておこう。
8回	授業内容	戦場の日本兵たち
	事前学修	日中戦争・アジア太平洋戦争の経緯について復習しておこう。
	事後学修	内務班生活，飢餓，特攻，玉砕など兵たちの諸状況を整理してみよう。
9回	授業内容	銃後の日本の民衆
	事前学修	銃後の民衆の生活，軍事教練，慰問袋，千人針などのことを調べておこう。
	事後学修	徴兵徴用なども含む戦時下の民衆生活，メディアの役割を整理しておこう。
10回	授業内容	捕虜となった日本兵たち
	事前学修	捕虜となった日本兵の人数や地域，処遇などについて調べてみよう。
	事後学修	捕虜となった日本兵の境遇や動態，日本の捕虜観などをまとめてみよう。
11回	授業内容	戦前・戦後の沖縄の民衆
	事前学修	沖縄の民衆が戦前・戦後，どのような体験をしてきたのか調べてみよう。
	事後学修	沖縄の民衆が辿った歴史と現代の諸問題とを関連させて整理しておこう。
12回	授業内容	「留用」された日本人
	事前学修	「留用」とは何なのか，その意味や経緯を調べておこう。
	事後学修	「留用」の経緯や背景，影響などについて整理しておこう。
13回	授業内容	受講生（希望者）による研究発表
	事前学修	興味をもった歴史的事象について掘り下げて調べて発表してみよう。
	事後学修	発表者の各内容をノートに整理しておこう。
14回	授業内容	シベリアに抑留された人びと
	事前学修	シベリア抑留とはどのような事態であったのか，その経緯を調べておこう。
	事後学修	シベリア抑留の歴史や背景，その後の補償問題の経緯などをまとめよう。
15回	授業内容	試験
	事前学修	ノートや配布したレジメ・資料などを使って授業内容を総まとめしておこう。
	事後学修	この期間中に学んだことを整理，理解し，今後の学習につなげよう。

◆教科書　特になし

◆参考書　丸沼『シリーズ日本近現代史⑤　満州事変から日中戦争へ』　加藤陽子　岩波新書　928 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『シリーズ日本近現代史⑥　アジア・太平洋戦争』　吉田裕　岩波新書　928 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『日本軍兵士―アジア・太平洋戦争の現実』　吉田裕　中公新書　885 円（税込）（送料 215 円）

◆成績評価基準　平常点 20%，試験 80%で評価する。毎回出席することを前提として評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔アメリカ経済論〕　羽田　翔

◆授業概要　現在，あらゆるニュースにおいて「アメリカ」の名前を見ない日はない，と言っても過言ではない。日本，欧州，中国といった主要国とアメリカの関係は政治・経済・文化・歴史など多岐にわたっており，いかにアメリカが影響力を有してきたかが理解できる。そのため，本講義においてはミクロ経済学，マクロ経済学，政治経済学等の手法を用い，主に政治と経済政策に焦点を当てる形でアメリカ経済についての理解を深めることを目的とする。その上で，他国との関係や時事問題を理解する力を養うことを心がける。

◆学修到達目標　本講義では，アメリカ経済の発展構造とその特徴を長期的な観点から学修し，現在のアメリカ経済が日本経済および世界経済に与えている影響を理解することを目標とする。具体的には，アメリカ経済に関する記事やニュースなどの内容や問題点を理解し，世界経済との関連性を考え，解決策等を提示できる能力を養うことを目指した科目である。

◆授業方法　本科目は，主にスライド資料およびレジュメを使用し，必要な場合は参考書を使用して講義を進める。その中で，受講生に対して質問や意見を求めたり，グループでディスカッションを行ってもらったりするため，お互いのコミュニケーションが求められる。講義の最後に確認テストを行う場合もあるため，毎回集中して講義に参加すること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	アメリカ経済論を学ぶ意味：アメリカ経済論Ⅰの復習，講義概要，成績評価等について説明します
	事前学修	アメリカ経済Ⅰを受講していた場合はその復習，受講していなかった場合は教科書第 1 章を読んでおくこと
	事後学修	第二次世界大戦後のアメリカ経済が進んだ道を，時系列で簡単にまとめること
2回	授業内容	戦後パックス・アメリカーナ①：戦後の「持続的成長」システム　ニューディール政策では成しえなかった持続可能な成長システムについて説明する
	事前学修	ニューディール政策について再度確認してくること（教科書第 3 章）
	事後学修	持続的成長システムの特徴を簡潔にまとめておくこと
3回	授業内容	戦後パックス・アメリカーナ②：国際通貨体制と通商体制　IMF と GATT 体制について説明する
	事前学修	国際通貨基金と世界貿易機構について簡単に調べてくること（教科書第 4 章の該当箇所も熟読すること）
	事後学修	現代的な IMF と WTO の役割をまとめること
4回	授業内容	戦後パックス・アメリカーナの転換期　労働組合および IMF-GATT 体制の問題について説明する
	事前学修	事前に配付する資料を，特に労働組合と雇い主の関係の変化に関して熟読すること
	事後学修	レーガン大統領が目指すアメリカ経済についてポイントをまとめる
5回	授業内容	1980 年代のアメリカ経済と「レーガノミックス」　レーガノミクスとその効果について説明する
	事前学修	教科書第 7 章を熟読すること
	事後学修	レーガノミクスの特徴をまとめること
6回	授業内容	金融の変貌と企業体制の転換　金融システムの変化と企業体制の転換について説明する
	事前学修	事前に配付する資料を，特に金融システムの変化に関して熟読すること
	事後学修	現在のアメリカ経済との比較を行い，主な違いをまとめること
7回	授業内容	1990 年代の長期好況：IT 革命とその限界　クリントン政権と IT 産業の台頭に関して説明する
	事前学修	教科書第 8 章を熟読すること
	事後学修	IT 革命の重要性を理解し，特徴をまとめる
8回	授業内容	グローバル化とアメリカ経済　グローバル化の意味とアメリカ経済との関係を説明する
	事前学修	事前に配布する資料を，特にグローバル化の定義について熟読すること
	事後学修	ケインズの有効需要の原理についてまとめること
9回	授業内容	グローバル金融危機とアメリカ経済①：サブプライムローン問題　サブプライムローン問題の本質的な問題点を説明する
	事前学修	事前に配付する資料を，サブプライムローンのシステムに関して熟読すること
	事後学修	サブプライムローン問題のシステムと証券の関係性についてまとめること
10回	授業内容	グローバル金融危機とアメリカ経済②：リーマンショック　リーマンショック時のアメリカ政府の対応について説明する
	事前学修	事前に配布する資料を，特にどのような企業が被害にあったかに関して熟読すること
	事後学修	第二次世界大戦時のアメリカのポジションを再確認すること
11回	授業内容	アメリカ経済の不況と世界経済への影響　アメリカから発生した金融危機が世界経済へ与えた影響を概観する
	事前学修	事前に配布する資料を，特に経済データに関して熟読すること
	事後学修	国別・地域別の影響をまとめること
12回	授業内容	アメリカの通商政策①：北米自由貿易協定（NAFTA）
	事前学修	事前に配布する資料を，特に自由貿易と地域統合について熟読すること
	事後学修	経済に関する新たな制度およびシステムの特徴をまとめること
13回	授業内容	アメリカの通商政策②：環太平洋連携協定（TPP）とアメリカ経済　アメリカが脱退した TPP および今後の二国間協定に関して説明する
	事前学修	事前に配布する資料を，特に多国間協定と二国間協定に関して熟読すること
	事後学修	通商政策に対する各国の姿勢をまとめること
14回	授業内容	政策から考えるオバマ政権とトランプ政権の比較　オバマ政権とトランプ政権の政策の違いを説明する
	事前学修	教科書第 9 章を熟読すること
	事後学修	両社の政策の違いをまとめること
15回	授業内容	まとめ：アメリカ経済と世界経済の行方　今後のアメリカ経済と世界経済について考える
	事前学修	後期の内容を総合的に理解できるよう準備すること
	事後学修	今後のアメリカ経済および世界経済が進む道について自分なりの意見をまとめる

◆教科書　丸沼『アメリカ経済の歩み』　榊原胖夫・加藤一誠著　文眞堂　2,376 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『現代アメリカ経済』　河村哲二著　有斐閣アルマ　2,484 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『現代アメリカ経済分析』　中本悟・宮崎礼二編著　日本評論社　2,808 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準　期末試験（70%），小テスおよびレポート（20%），授業への積極的参加（質問や意見）（10%）により，総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔歴史学Ａ〕　渡邊　浩史

◆授業概要　日本の代表的な絵画芸術である絵巻物を通して日本の歴史を学ぶ。具体的には『百鬼夜行絵巻』・『信貴山縁起絵巻』・『北野天神縁起絵巻』の三つの絵巻物を題材としたい。

◆学修到達目標　過去の歴史を知るためのものを「史料」というが，これは基本的に文献などの文字に頼ったものであった。しかしそれだけでは歴史の復元は不十分である。そこで考古学や民俗学の成果も利用されてきた。ここではそのようにして文献以外の「史料」として注目された絵画のうち，絵巻物を取り上げることで，文献だけに頼らない新しい歴史学のあり方を理解できるようになる。

◆授業方法　授業は講義形式で行う。適宜プリントや DVD などを使用し，受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり，最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	はじめに　なぜ絵画史料をあつかうのか
	事前学修	絵巻物についての知識をつけておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容	『百鬼夜行絵巻』　異形のものの行列
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容	『百鬼夜行絵巻』　異形のものの行列（百鬼夜行絵巻とは）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容	『百鬼夜行絵巻』　異形のものの行列（特に詞書きについて）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容	『百鬼夜行絵巻』　異形のものの行列（特に器物の怪について）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容	『信貴山縁起絵巻』（信貴山縁起絵巻とは）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容	『信貴山縁起絵巻』（飛倉の巻）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容	『信貴山縁起絵巻』（延喜加持の巻）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容	『信貴山縁起絵巻』（尼公の巻）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
10 回	授業内容	『北野天神縁起絵巻』　最強怨霊菅原道真（北野天神縁起絵巻とは）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
11 回	授業内容	『北野天神縁起絵巻』　最強怨霊菅原道真（道真の伝記）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
12 回	授業内容	『北野天神縁起絵巻』　最強怨霊菅原道真（怨霊となった道真）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
13 回	授業内容	『北野天神縁起絵巻』　最強怨霊菅原道真（日蔵について）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
14 回	授業内容	『北野天神縁起絵巻』　最強怨霊菅原道真（日蔵の地獄巡り）
	事前学修	授業中に指示した参考文献に目を通しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
15 回	授業内容	まとめと試験
	事前学修	これまでの授業内容をまとめておくこと
	事後学修	授業と試験内容を自分でまとめること

◆教科書　〔当日資料配布〕教科書は使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆参考書　適宜授業中に指示する。

◆成績評価基準　平常点 20%，試験 80%

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国語学概論〕　保科　恵

◆授業概要　ひと口に「国語学」と言っても，様々な対象・方法があります。国語学がどういう学問なのかをひと通り見渡すことによって，国語学に対する知識を身につけることを目標とします。

◆学修到達目標　国語（日本語）とはどのような言語であるのか。歴史的にどのような変遷をたどり，どのように用いられているのか。普段国語（日本語）を使用していても意識することの少ない様々な事象を知ることで，その特質を理解できるようになる。

◆授業方法　講義を中心として授業を進めますが，適宜指名してテキストを読んでもらったり，各項目についての小テストを行なったりします。受講者数や各自の興味の持ち方によって変更する適宜場合があります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（国語学概論の概要）
	事前学修	特になし。
	事後学修	授業内容の復習。
2回	授業内容	ガイダンス（国語の諸現象）
	事前学修	特になし。
	事後学修	授業内容の復習。
3回	授業内容	文法（文法と文法論）
	事前学修	特になし。
	事後学修	当日の授業範囲における文法についての復習。
4回	授業内容	文法（文・文節・単語）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における文法についての復習。
5回	授業内容	文法（品詞）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における文法についての復習。
6回	授業内容	文法（文の構成と種類・文法史）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における文法についての復習。
7回	授業内容	文法（敬語法）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における文法についての復習。
8回	授業内容	語彙（語彙・語彙量 / 語形）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における語彙についての復習。
9回	授業内容	語彙（語義 / 外来語）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における語彙についての復習。
10回	授業内容	語彙（位相・語彙史・辞書）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における語彙についての復習。
11回	授業内容	文体（文体と文体論）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における文体についての復習。
12回	授業内容	文体（文体の種類と文文体史）
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における文体についての復習。
13回	授業内容	言語生活
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における言語生活についての復習。
14回	授業内容	方言・系統
	事前学修	前回授業内容の復習。
	事後学修	当日の授業範囲における方言・系統についての復習。
15回	授業内容	まとめ，試験
	事前学修	前期授業範囲の復習。
	事後学修	授業内容の復習。

◆教科書　丸沼『国語学要論』　福島邦道　笠間書院　1,512 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験 80%。平常点 20%。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学講義Ⅴ（近代）〕　山﨑　眞紀子

◆授業概要　第二次世界大戦後の日本文学について，具体的なテクストの読解を通して考察していく。前半は庄野潤三作品を読み，高度経済成長期の日本の現状と核家族化された家族が抱える問題が小説にどのように描かれているのかを分析する。後半は，村上春樹作品を読み，映像作品との比較によって見えてくる国民性や無意識化に眠る罪責感の源を分析する。他作品にも適宜触れながら「戦後日本」を考察していく。

◆学修到達目標　1．日本近代文学の作品を読み，文脈を的確に捉えることができる。
2．小説から，時代・環境・年齢・性別など自分と異なる立場の人間の感情や問題を読み取り，文化的多様性を理解し，説明することができる。
3．文学作品を通して，豊かな言語能力，文体や語り口を通じての表現方法を学び，戦後日本を考察する力と小説が持つ表現力および日本文化の理解と教養を身につける。

◆授業方法　作家説明，作品の時代背景，内容を把握するために必要な知識を解説し，読むための方法を説明する。受講生は事前に指定テキストを読み，授業時に行われる課題テーマをコメントペーパーに書いて発表する。また，ときにグループディスカッションを行って，自分とは異なる視点や読みを学びあう。その成果をレポートにまとめていく。

◆履修条件　指定したテキストを必ず持参し，読んでくること。課題の提出を厳守すること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	庄野潤三『プールサイド小景』を読む。作家解説，文学史の位置づけ。
	事前学修	指定テキストを読んでくる。
	事後学修	ノートを見直し，ポイントを復習する。
2回	授業内容	『プールサイド小景』の時代状況，内容，登場人物の感情読解。
	事前学修	指定テキストの登場人物に焦点を当ててポイントをまとめる。
	事後学修	講義で出された課題をおこなう。
3回	授業内容	芥川賞受賞作『プールサイド小景』の同時代評，1960 年当時の文学状況
	事前学修	図書館で調べて同時代評を読んでくる。
	事後学修	指定の課題を仕上げる。
4回	授業内容	庄野潤三『静物』の内容把握，当時の時代状況の説明。
	事前学修	指定テキストを読み，感想をノートに書く。
	事後学修	課題を行う。ノートを見直し，ポイントを把握する。
5回	授業内容	『静物』の水面下にある家族の問題。核家族の問題を考察。
	事前学修	指定テキストを読み，あらすじをまとめる。
	事後学修	図書館で調べて課題を行う。
6回	授業内容	『静物』のまとめ。隠されている内容を考察し，書かないことの効果を考察。
	事前学修	2 作品を熟読し，感想を綴る。
	事後学修	課題を仕上げる。
7回	授業内容	庄野潤三『プールサイド小景』『静物』の理解度をはかるためのミニテスト。
	事前学修	これまでの総復習を行う。
	事後学修	テストで出来なかったところのやり直し。
8回	授業内容	小テストの講評，模範解答例，答案の書き方の注意。
	事前学修	『プールサイド小景』，『静物』を熟読する。
	事後学修	課題レポートを仕上げる。
9回	授業内容	村上春樹の短編『納屋を焼く』をよむ。内容把握する。
	事前学修	作品を 2 度読み，感想をノートに書く。
	事後学修	ノートを見直し，ポイントを把握する。
10 回	授業内容	村上春樹の短編『納屋を焼く』をよむ。映像作品と比較し，理解を深める。
	事前学修	指定映像作品を観て感想を綴る。
	事後学修	作品理解のための指定課題を行う。
11 回	授業内容	『納屋を焼く』の総まとめ。作家の特色，ナショナリティを考察する。
	事前学修	課題作品の批評すべき部分をノートにまとめておく。
	事後学修	指定課題を仕上げる。
12 回	授業内容	村上春樹の短編『めくらやなぎと眠る女』を読み，内容把握をする。
	事前学修	作品を熟読し，あらすじをノートに書く。
	事後学修	ノートを見直し，ポイントを把握する。
13 回	授業内容	『めくらやなぎと眠る女』に描かれている身体に注目して読む。
	事前学修	『めくらやなぎと眠る女』の耳，触覚に注目しノートに抜き出す。
	事後学修	指定課題を行う。
14 回	授業内容	『納屋を焼く』，『めくらやなぎと眠る女』の理解度をはかるミニテスト。
	事前学修	上記 2 作品を熟読し，作品批評をノートにまとめておく。
	事後学修	指定課題を完成させる。
15 回	授業内容	これまでのまとめ，講評，およびレポート提出。
	事前学修	レポートを完成させる。
	事後学修	全 15 回を振り返り，内容を再度確認する。

◆教科書　丸沼『プールサイド小景・静物　改版』　庄野潤三　新潮文庫　2002 年　ISBN: 978-4-10-113901-2
594 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『螢・納屋を焼く・その他の短編』　村上春樹　新潮文庫　改版 2010 年　ISBN: 978-4-10-100133-3
496 円（税込）（送料 215 円）
当日資料配布　プリント

◆参考書　授業時にお知らせします。

◆成績評価基準　毎回出席することを前提に，課題（40%），小テスト 2 回（60%）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語史〕　真野　一雄

◆授業概要　英文の読解力を高めるとともに，英語がどのような発達・変化を遂げて今日の姿になったか，歴史的な流れの基礎的な知識を修得する。過去の歴史を振り返り，英語の未来の姿を想像してみましょう。

◆学修到達目標　テキストⅡ章「音韻論」・Ⅳ章「語形論」を，『学習指導書』を併用しながら，読む予定です。テキストは私達にとって必要な箇所を重点的に読みます。

◆授業方法　毎回，テキスト（英文）の重要部分を読み，『学習指導書』の問の解答を用意しておいてください。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Ⅱ章・母音交替(1)　母音交替とは？
	事前学修	母音交替とは何か，大まかに調べてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
2回	授業内容	Ⅱ章・母音交替(2)　英語の実例
	事前学修	現在どのような語が残っているか，該当例を調べる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
3回	授業内容	Ⅱ章・グリムの法則(1)　グリムの法則とは？
	事前学修	グリムの法則とは何か，大まかに調べてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
4回	授業内容	Ⅱ章・グリムの法則(2)　英語の実例
	事前学修	現在どのような語が残っているか，該当例を調べる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
5回	授業内容	Ⅱ章・母音変異(1)　母音変異とは？
	事前学修	母音変異とは何か，大まかに調べてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
6回	授業内容	Ⅱ章・母音変異(2)　英語の実例
	事前学修	現在どのような語が残っているか，該当例を調べる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
7回	授業内容	Ⅱ章・大母音推移(1)　大母音推移とは？
	事前学修	大母音推移とは何か，大まかに調べてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
8回	授業内容	Ⅱ章・大母音推移(2)　その影響
	事前学修	大母音推移が今日どのような影響を現代の英語に残しているか，ちょっと考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
9回	授業内容	Ⅳ章・名詞(1)　性・数・格の変化
	事前学修	古英語，中英語，近代英語のを比較してみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
10回	授業内容	Ⅳ章・名詞(2)　不規則複数形
	事前学修	どのような語が不規則なのか，またどうして不規則なのか，ちょっと考えてみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
11回	授業内容	Ⅳ章・代名詞(1)　人称代名詞
	事前学修	古英語，中英語，近代英語のを比較してみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
12回	授業内容	Ⅳ章・代名詞(2)　指示代名詞と定冠詞
	事前学修	古英語，中英語，近代英語の人称代名詞を比較してみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
13回	授業内容	Ⅳ章・動詞(1)　強変化動詞
	事前学修	古英語，中英語，近代英語の強変化動詞を比較してみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
14回	授業内容	Ⅳ章・動詞(2)　弱変化動詞
	事前学修	古英語，中英語，近代英語の弱変化動詞を比較してみる。
	事後学修	テキストの重要部分を確認し，理解しておく。
15回	授業内容	試験＋その解説
	事前学修	今までの授業の総復習をする。
	事後学修	特に試験問題で間違えたところを確認する。

◆教科書　通材『英語史　N30300』 通信教育部教材（教材コード 000117）2,900 円（送料込）
〈この教材は市販の『ブルック英語史 A HISTORY OF THE ENGLISH LANGUAGE』G.L. BROOK ほか著（南雲堂）と同一です。〉

◆参考書　丸沼『英語の歴史―過去から未来への物語』 寺澤盾著　中公新書　1971　842 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『英語の歴史』 中尾俊夫著　講談社現代新書　958　799 円（税込）（送料 215 円）
他の参考書については，初回授業時に紹介
（※自学用で，授業中に参照することはありません。）

◆成績評価基準　試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。6 回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本思想史Ⅰ〕　島田　健太郎

◆授業概要　「鎌倉時代の浄土教」をテーマに，法然，親鸞，一遍の思想について考えていきます。末法思想が浸透する時代において，彼らは独自の立場から自己の往生の可能性やそのために何を為すべきかということを探求しています。本講では，この三者の思想の違いに焦点を当てて，自己の宗教的救済に関する鎌倉時代のものの考え方の一端を見ていきたいと考えています。

◆学修到達目標　1．鎌倉時代の浄土信仰について学ぶことで，当時の思想的営為についての理解を深めるとともに，人間の思想や宗教的救済，さらには日本文化に対するより広い視野を獲得することができる。
2．浄土信仰について学ぶことで，現代日本の宗教に対する一つの視点を獲得することができる。
3．日本文化に対する自己の問題意識をより明らかにし，それについて主体的に考察することを目標とする。

◆授業方法　プリントとして配布する原典や史料を中心に，講義形式で行います。授業中の質問は大歓迎です。プリントには読みと現代語訳を付けるので，古文・漢文の読解に自信がなくても構いません。また適宜授業内容についてのリアクション・ペーパーの提出を予定しています。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	概要と時代背景
	事前学修	平安末～鎌倉期の時代の流れを一通りおさえておく。
	事後学修	授業中に出てきた事柄について調べておくこと。
2回	授業内容	平安時代の浄土教　法然以前の浄土教がどのようなものであったか概観する。
	事前学修	前期履修者は前期の復習，その他は源信の念仏について調べておく。
	事後学修	阿弥陀仏と浄土信仰についての理解を深めておくこと。
3回	授業内容	法然の思想(1)　法然の生涯とその思想について，彼の著作を中心にその特徴を検討する。
	事前学修	法然について調べておくこと。
	事後学修	ここまで十分に理解できていない用語等があれば調べておく。
4回	授業内容	法然の思想(2)　法然の考える往生の道理と念仏について検討する。
	事前学修	阿弥陀の四十八願について調べておく。
	事後学修	専門用語の確認と疑問点の整理。
5回	授業内容	法然の思想(3)　法然の言う「選択」の思想について扱う。
	事前学修	『選択本願念仏集』の内容・構成について調べておく。
	事後学修	ここまでの授業内容を復習し，疑問点とともにノートにまとめること。
6回	授業内容	法然と興福寺　『興福寺奏上』を中心に南都仏教側の専修念仏批判について検討する。
	事前学修	貞慶と鎌倉時代の興福寺について調べておく。
	事後学修	両社の立場の違いについて，考えたところをまとめてみる。
7回	授業内容	法然と明恵(1)　明恵『摧邪輪』における法然批判について取り上げる。
	事前学修	明恵について調べておく。
	事後学修	授業内容の確認と疑問点の整理。
8回	授業内容	法然と明恵(2)　明恵の批判の中，菩提心をめぐる問題について概観する。
	事前学修	「菩提心」の意味について調べておく。
	事後学修	両者の立場の違いについてまとめてみる。
9回	授業内容	親鸞の思想(1)　親鸞の生涯とその念仏の特徴について取り上げる。
	事前学修	親鸞について調べておく。
	事後学修	法然との違いについて理解を深めておく。
10回	授業内容	親鸞の思想(2)　親鸞の思想について，阿弥陀仏と絶対他力の考え方について検討する。
	事前学修	『教行信証』の内容・構成について調べておく。
	事後学修	専門用語の確認と疑問点の整理。
11回	授業内容	親鸞の思想(3)　『歎異抄』に見られる親鸞の思想を検討する。
	事前学修	『歎異抄』の内容・構成について調べておく。
	事後学修	親鸞の真意はどこにあるのか考え，ノートにまとめておく。
12回	授業内容	親鸞の思想(4)　親鸞の聖徳太子信仰について概観する。
	事前学修	聖徳太子信仰について調べておく。
	事後学修	ここまでの授業内容を復習し，疑問点とともにノートにまとめること。
13回	授業内容	一遍の思想(1)　一遍の生涯と熊野権現について解説する。
	事前学修	中世の熊野権現について調べておく。
	事後学修	他の「権現」についても調べてみる。
14回	授業内容	一遍の思想(2)　一遍の踊念仏とその教説について概観する。
	事前学修	これまでの内容の復習をしておくこと。
	事後学修	ここまでの授業内容を復習し，疑問点とともにノートにまとめること。
15回	授業内容	まとめと試験
	事前学修	各自の問題意識に基づいて，自分の見解をまとめておく。
	事後学修	授業に関連する文献を読み，さらに問題関心と視野を広げること。

◆教科書　当日資料配布　教科書は使用しません。当日プリントを配布します。

◆参考書　通材『日本思想史Ⅰ　P30800』 通信教育教材（教材コード 000137）3,150 円（送料込）
〈この教材は市販の『日本思想論争史』今井淳・小澤富夫編（ぺりかん社）と同一です。〉
その他授業中に適宜指示します。

◆成績評価基準　試験の成績を基準に，授業への取り組みなどを勘案して，総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史入門〕　綿貫　哲郎

◆授業概要　卒業論文執筆や教材研究の重要な行程に「先行研究」の取得・理解があります。本講座では題材こそ清朝史ですが，史料とは何か・史料と研究・「先行研究」取得の作法，また高校世界史教科書の記述との連携などについて学修することで，受講生が自身のテーマの「先行研究」をみずから取得したり理解したりできるようになります。なお，後期のみの受講も可能ですが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましいです。

◆学修到達目標　以下の授業計画（学生の理解度により変更あり）に沿って，講義及び実習形式でおこないます。講義の理解を深めるため，視覚教材を適宜併用します。授業時間内外でレポートを課する予定です。

◆授業方法　高校世界史での理解は必須です。また概説書に目を通しておくと理解しやすいです。予習も必要ですが，復習に重点をおいてください。翌週の授業は前週の内容理解なしには達成が難しいからです。

◆履修条件　平成 28 年後期・同 29 年後期スクーリング「東洋史入門」との併用不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス，導入（清朝史という視座）
	事前学修	シラバスをよく読んでおくこと
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
2回	授業内容	清朝史研究の「編纂史料」と「檔案史料」
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
3回	授業内容	清朝史研究と「第一次史料」の問題
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
4回	授業内容	『満文老檔』について
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
5回	授業内容	「満文原檔」（『旧満洲檔』）について
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
6回	授業内容	「奏摺」と満洲語の檔案史料
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
7回	授業内容	歴史史料を読んで比較してみる
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
8回	授業内容	清朝史研究の始まりと興隆
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
9回	授業内容	戦後の清朝史研究
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
10回	授業内容	清朝史研究の現在
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
11回	授業内容	清朝史を様々な角度から見る
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
12回	授業内容	清朝史を取り巻く研究(1)
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
13回	授業内容	清朝史を取り巻く研究(2)
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
14回	授業内容	清朝史を取り巻く研究(3)
	事前学修	授業内容の用語について手元のスマホやパソコンなどで調べておく
	事後学修	授業の内容をノートなどに整理しておくこと
15回	授業内容	まとめ，試験
	事前学修	授業で学んだ内容を文章形式（1500 字程度）でまとめておく
	事後学修	試験用にまとめた内容を再確認しておく

◆教科書　当日資料配布　当日資料を配付します。

◆参考書　丸沼『わかる・身につく歴史学の学び方：歴史学がわかると世界が見える』　大学の歴史教育を考える会［編］　大月書店　2016 年　2,160 円（税込）（送料 300 円）【購入義務はありません】

丸沼『紫禁城の栄光：明・清全史』　岡田英弘・神田信夫・松村潤　講談社学術文庫　2006 年　1,360 円（税込）（送料 300 円）【購入義務はありません】

◆成績評価基準　試験（60%）・平常点（40%）、毎回出席することを前提として総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔考古学概説〕　浜田　晋介

◆授業概要　考古学は過去の人びとが製作し，使用したものを材料に，その当時の人びとの社会・文化・交流・集団組織など解明していく学問である。そのため文献の有無にかかわらず，モノ資料が存在すれば成立する学問であり，発掘調査によって研究材料を得ることに特徴がある。こうした特徴を持つ日本考古学研究のこれまでの成果の概要を，古墳時代から江戸時代までを対象に紹介する。

◆学修到達目標　日本における考古学の方法とその研究理論を学ぶことによって，古墳時代，奈良・平安時代，中世・近世の考古学研究が，これまでどのように研究されてきたか。これらの遺跡から何が導き出されてきたのか。遺跡の発掘調査から，各時代の社会をどのように推測してきたのか，について，調査の具体的な事例を通して，概要を理解することができる。

◆授業方法　毎回配布（あるいはまとめて配布）するプリントと，プロジェクターに写す発掘調査や出土遺物などの画像・動画をもとに，プロジェクターに出す説明分をノートに書き取りながら，説明を加えていく授業形態をとる。受講者数が少ない場合は毎回配る出席票の裏面に，質問を記入してもらう方式をとります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	考古学とは何か？　考古学の学問特性と文献のある時代を考古学で解明する意義を理解し，これからの授業の進め方を把握する。
	事前学修	「考古学」という学問がどのようなことを行うのか，事前に調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
2回	授業内容	古墳時代以降の考古学研究方法　古墳時代以降に増加する文献・紀年銘・絵画などを援用することで，年代や使用法が把握できることを理解する。
	事前学修	第1回目で配布した、第2回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
3回	授業内容	古墳時代像　古墳時代の研究の歴史と，そこから得られた古墳時代像について理解する。
	事前学修	事前に配布した，第3回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
4回	授業内容	古墳時代の集落　古墳時代の生活を物語る集落について，その特徴と時期的な変化を理解する。
	事前学修	事前に配布した，第4回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
5回	授業内容	古墳時代前期の墓と出土品　古墳時代前期における古墳と出土品の特徴を理解する。
	事前学修	事前に配布した，第5回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
6回	授業内容	古墳時代中期の墓と出土品　古墳時代中期における古墳と出土品の特徴を理解する。
	事前学修	事前に配布した，第6回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
7回	授業内容	古墳時代後期の墓と出土品　古墳時代後期における古墳と出土品の特徴を理解する。
	事前学修	事前に配布した，第7回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
8回	授業内容	古墳時代終末期の墓と出土品　古墳時代終末期における古墳と出土品の特徴を理解する。
	事前学修	事前に配布した，第8回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
9回	授業内容	古墳時代の遺物　埴輪　古墳の代表的な出土品である埴輪について，その出現と変化，意味について理解する。
	事前学修	事前に配布した，第9回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
10回	授業内容	古墳時代の遺物　武器・武具　古墳の代表的な出土品である武器・武具について，その出現と意味について理解する。
	事前学修	事前に配布した，第 10 回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
11回	授業内容	奈良・平安時代の考古学　奈良時代と平安時代の遺跡の出土品によって，どのようなことが研究され，どのような成果があるのかを理解する。
	事前学修	事前に配布した，第 11 回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
12回	授業内容	中世の考古学　武士の政権となる鎌倉時代～戦国時代までの遺跡の出土品によって，どのようなことが研究され，どのような成果があるのかを理解する。
	事前学修	事前に配布した，第 12 回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
13回	授業内容	近世の考古学　幕藩体制となる時期の遺跡の出土品によって，どのようなことが研究され，どのような成果があるのかを理解する。
	事前学修	事前に配布した，第 13 回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。
14回	授業内容	古墳時代～近世考古学のまとめ　これまで行ってきた古墳時代から近世の考古学の内容を振り返り，それぞれの時代の内容や特性を理解する。
	事前学修	事前に配布した，第1回目から 14 回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で行った内容を整理しておくこと。
15回	授業内容	現代と考古学　現在行われている発掘調査が，行政の行う調査であることを把握し，埋蔵文化財と考古学の関係について理解する。
	事前学修	事前に配布した，第 15 回目のプリントを事前に読んで，内容を把握するとともに，関連する事項について調べておくこと。
	事後学修	授業で利用したプリントとノートを整理し，今回の授業を要約しておくこと。

◆教科書　〔当日資料配布〕当日プリント配布

◆参考書　丸沼『弥生文化読本』　六一書房　3,240 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　授業内に行う小テスト（40%）と試験（60%）。毎回出席することを前提として評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔歴史学Ｂ〕　堀井　弘一郎

◆授業概要　幕末から今日に到るまで近代日本は隣国中国と時に厳しく対峙し，時に友好を深めつつ，複雑な二国間関係を形成してきた。本講座ではそうした歴史的過程と，同時代を共に生きた日中両国民の足跡をたどりながら，世界史，東アジア史の中に日中関係史を位置づけて考察する（後期は満洲事変～現代の時期）。

◆学修到達目標　「歴史とは現代と過去との対話である」（Ｅ・Ｈ・カー）。戦後 70 年余を経た今日だが，日中関係は必ずしも良好な関係とはいえない状態にある。そんな今日にあって，日本・中国の近現代史や日中関係に関する書物・新聞記事・ニュースを読み解き，確かな歴史的教養をもって日中関係を考え語れるようになることを目標とする。

◆授業方法　毎回レジュメや資料プリントを用意し，それに沿って講義形式で授業をすすめる。その際，受講者からの質疑や希望者による研究発表等を取り入れていく。また，視聴覚教材を活用したり，史資料にも多く触れたりすることで，歴史への興味・関心を深める。資料収集の方法，卒業論文等の作成方法についても解説する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス＆満洲事変から日中戦争へ
	事前学修	満洲事変から日中戦争，終戦までの歴史について概略を調べておこう。
	事後学修	この間の日中関係史について，世界史的視野の中で整理しておこう。
2回	授業内容	汪兆銘「対日協力政権」と日本
	事前学修	汪兆銘とは誰なのか，日中戦争とどう関わったのか，まとめておこう。
	事後学修	汪兆銘の人物と，その対日協力政権の歴史・背景について理解しよう。
3回	授業内容	アジア太平洋戦争と中国
	事前学修	アジア太平洋戦争の経緯について調べ，ノートにまとめてみよう。
	事後学修	アジア太平洋戦争と中国はどう関わったのか，理解を深めよう。
4回	授業内容	戦争・メディア・プロパガンダ
	事前学修	太平洋戦争の中でどのようなプロパガンダが行われたか，調べておこう。
	事後学修	戦争とメディア・プロパガンダとの関係についてまとめてみよう。
5回	授業内容	終戦前後の東アジア
	事前学修	アジア太平洋戦争の終戦前後の日本中国朝鮮の様子を調べておこう。
	事後学修	終戦前後の東アジア情勢についてまとめ，現代との繋がりを理解しよう。
6回	授業内容	国共内戦から中華人民共和国樹立へ
	事前学修	戦後，中国ではどのような事態が進行していたのかを確認しておこう。
	事後学修	中華人民共和国建国の経緯や世界的影響について整理しておこう。
7回	授業内容	「満洲」・「引き揚げ」体験者の講演
	事前学修	戦後「満洲」で何がおこったのか，それがなぜおこったのか調べておこう。
	事後学修	貴重な体験の生の声をノートに整理し，記録として残しておこう。
8回	授業内容	文化大革命と日本
	事前学修	文化大革命とはどのような事態であったのか，調べてみよう。
	事後学修	文革の経緯，中国社会への影響，その後の政策転換についてまとめよう。
9回	授業内容	中国の国連代表権獲得と日本
	事前学修	国連代表権問題とは何か，その概略を理解しておこう。
	事後学修	代表権問題をめぐる経緯や意味について整理しておこう。
10 回	授業内容	日中国交回復
	事前学修	日中国交回復とはどのような意味なのか，経緯も含めてまとめておこう。
	事後学修	国交回復の経緯と結果，その歴史的背景などについて整理してみよう。
11 回	授業内容	改革開放政策と日本
	事前学修	改革開放政策とは何のことか，誰が主導したのか，調べておこう。
	事後学修	改革開放政策の背景や影響，現代との繋がりについてまとめておこう。
12 回	授業内容	香港の盛衰
	事前学修	香港とは何なのか，どういう位置づけなのか，調べてみよう。
	事後学修	香港と中国をめぐる情勢について，理解を深めておこう。
13 回	授業内容	受講生（希望者）による研究発表
	事前学修	興味をもった歴史的事象について掘り下げて調べて発表してみよう。
	事後学修	発表者の各内容をノートに整理しておこう。
14 回	授業内容	領土問題・歴史認識・戦後補償
	事前学修	領土問題・歴史認識・戦後補償の各問題の概略を把握しておこう。
	事後学修	各問題の基本事項について整理し，解決の方途を考えてみよう。
15 回	授業内容	試験
	事前学修	ノートや配布したレジメ・資料などを使って授業内容を総まとめしておこう。
	事後学修	後期期間中に学んだことを整理，理解し，今後の学習につなげよう。

◆教科書　指定しない。

◆参考書　丸沼『シリーズ中国近現代史④　社会主義への挑戦』 久保亨　岩波新書　885 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『シリーズ中国近現代史⑤　開発主義の時代へ』 高原明生・前田宏子　岩波新書　842 円（税込）（送料 215 円）
丸沼『日中関係―戦後から新時代へ―』 毛利和子　岩波新書　864 円（税込）（送料 215 円）

◆成績評価基準　前期・後期ごとに，平常点 20%，試験 80%で評価する。毎回出席することを前提として評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔文化史Ｂ〕　渡邊　浩史

◆授業概要　はじめに中世から近世の各時代の文化の外観を各々述べた上で，各論的にいくつかのトピックについて講義する。

◆学修到達目標　現在の日本においてサブカルチャーといわれているマンガ・アニメだが，実はその表現方法や内容は日本の伝統文化の影響を脈々と受け継いでいる。日本の各時代の文化を考察することによって，それが現在のマンガ・アニメにどのように反映しているのかを理解できるようにする。そして，一見過去と断絶しているかのように見える現代の我々の生活が，いかに過去と密接に関わっているのかを理解できるようにする。

◆授業方法　講義形式で行う。適宜プリントや DVD などを使用し，受講生の理解の一助とする。なおシラバスはあくまで予定であり，最新の研究成果を反映させるなどの場合は変更する可能性もある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	はじめに　中世の文化（院政期）
	事前学修	高校日本史教科書などで予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
2回	授業内容	中世の文化（鎌倉）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
3回	授業内容	中世の文化（室町）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
4回	授業内容	絵巻物（絵巻物とは）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
5回	授業内容	絵巻物（一遍聖絵を中心に）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
6回	授業内容	絵巻物（道成寺縁起絵巻について）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
7回	授業内容	絵巻物（道成寺縁起絵巻を読み解く）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
8回	授業内容	能・狂言（能とは）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
9回	授業内容	能・狂言（能の実際）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
10回	授業内容	能・狂言（狂言とは）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
11回	授業内容	能・狂言（狂言の実際）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
12回	授業内容	聖地巡礼（中世）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
13回	授業内容	近世の文化
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
14回	授業内容	聖地巡礼（近世）
	事前学修	高校日本史教科書などで当該事項を予習しておくこと
	事後学修	授業内容を自分でまとめること
15回	授業内容	まとめと試験
	事前学修	これまでの授業内容をまとめておくこと
	事後学修	授業と試験内容を自分でまとめること

◆教科書　〔当日資料配布〕教科書は使用しない。適宜授業中に資料プリントを配布する。

◆参考書　適宜授業中に指示する。

◆成績評価基準　平常点 20%，試験 80%

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 E〕★★☆　　町田　純子

◆授業概要　英文に慣れ，英文読解力を養成することを目的とする。文章構造や段落構成，段落展開を踏まえた直読直解，大意把握，サマリーの仕方等に慣れることもねらいである。

◆学修到達目標　英語の文の構造を正しくとらえながら，その内容を理解し，説明することができる。
英語の物語，ニュース，論説などを最初から最後まで読み通し，概要をつかむことができる。
英語のパラグラフの構成をよく理解し，英語の文章を読むとき，書くときに応用することができる。
基礎的な語彙を身に付け，使いこなすことができる。

◆授業方法　基本的に，教科書のタスクベースで，毎回語彙のチェックから始め，翻訳訳読式で返り読みせずに，直読直解するやり方で読み進める。各段落の Topic Sentence（中心となる話題文）を探すことで要旨を把握し，段落の展開方法を分析しながら練習問題にあたる。会話文等を含め，ペアープラクティスをした後に全体で確認する。（履修人数により多少の変更有り）

◆履修条件　2017 年度 11 月期東京スクーリングとの積み重ね不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業を受ける際の留意点，内容，進め方等の説明。プリント配布。
	事前学修	シラバスをよく読み，講義の全体像を把握する。
	事後学修	ガイダンスの内容をおさらいする。
2回	授業内容	Unit 4 Reading 2: Mythology
	事前学修	Unit 4 Reading 2 を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 4 Reading 2 の頻出単語の意味を暗記する。
3回	授業内容	Unit 4 Reading 2: Mythology
	事前学修	Unit 4 Reading 2 の問題を解く。
	事後学修	Unit 4 Reading 2 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
4回	授業内容	Unit 5 Reading 1: Struggling Youth（Paragraph Development: Paragraphs of Definition and Paragraphs of Comparison and Contrast
	事前学修	Unit 5 Reading を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 5 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
5回	授業内容	Unit 5 Reading 1: Struggling Youth
	事前学修	Unit 5 Reading 1 の問題を解く。
	事後学修	Unit 5 Reading 1 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
6回	授業内容	Unit 5 Reading 2: Family Survey
	事前学修	Unit 5 Reading 2 を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 5 Reading 2 の頻出単語の意味を暗記する。
7回	授業内容	Unit 5 Reading 2: Family Survey
	事前学修	Unit 5 Reading 2 の問題を解く。
	事後学修	Unit 5 Reading 2 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
8回	授業内容	Unit 6 Reading 1: Our World（Paragraph Development: Paragraphs of Cause and Effect）
	事前学修	Unit 6 Reading 1 を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 6 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
9回	授業内容	Unit 6 Reading 1: Our World
	事前学修	Unit 6 Reading 1の問題を解く。
	事後学修	Unit 6 Reading 1の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
10回	授業内容	Unit 6 Reading 2: An Inspirational Story
	事前学修	Unit 6 Reading 2 を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 6 Reading 2 の頻出単語の意味を暗記する。
11回	授業内容	Unit 6 Reading 2: An Inspirational Story
	事前学修	Unit 6 Reading 2 の問題を解く。
	事後学修	Unit 6 Reading 2 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
12回	授業内容	Unit 7 Reading 1: Writing Your Fears Away（Scanning）
	事前学修	Unit 7 Reading 1 を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。
	事後学修	Unit 7 Reading 1 の頻出単語の意味を暗記する。
13回	授業内容	Unit 7 Reading 1: Writing Your Fears Away
	事前学修	Unit 7 Reading 1 の問題を解く。
	事後学修	Unit 7 Reading 1 の間違えた箇所を解き直す。シャドウイング練習をする。
14回	授業内容	Unit 7 Reading 2: New Media　後期の内容のまとめ
	事前学修	Unit 7 Reading 2 を時間を図り速読をする。英単熟語の意味を調べる。問題を解く。
	事後学修	後期の内容の間違えた箇所を解き直す。
15回	授業内容	授業内試験及び解説
	事前学修	後期の内容の確認をし，語彙チェック及び問題の解き直し等で振り返る。
	事後学修	これまでの学習内容を再確認する。

◆教科書　丸沼『Fresh Starts ―楽しく学ぶ速読スキル』 町田純子他　南雲堂　1,836 円（税込）（送料 215 円）
当日資料配布　新聞，雑誌等からの英文

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　テスト（80%）授業参画度（20%）により総合的に評価する。
授業に出席し期末テストを受験していることが前提である。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学基礎演習〕 オープン受講：不可　　木村　一

◆授業概要　国文学というものは，作品の読みだけにとどまるものではなく，ときには，資料を作成し人前で話すことまで求められる。そのような状況下において，自身の確実な作品の読みを経て，それをどのように捉え，どのように分析し，どのように可視化し，資料としてまとめ，どのように口頭発表するのか，という基本的なことを実践的に体現する。そのためには，「文学」「国文学基礎講義」「国文学史」などの講義を受講し終えていることが望ましい。

◆学修到達目標　受講者自身が教壇に立ち，口頭発表してもらう。ゆえに，それまでの作品の読み，解釈・分析，資料作成，そして口頭発表のやり方を自身で体現することで，作品の捉え方・参考文献の探し方・使い方，資料作成の方法，そして，人前での話し方が身につく。

◆授業方法　受講生自身が教壇に立ち，実際に自身の作成した発表資料を基に口頭発表をしてもらう。

◆履修条件　平成 30 年度昼間スクーリング（後期）「国文学基礎演習」との積み重ね不可。前期のみの受講・後期のみの受講も可能ではあるが，前期を踏まえての後期であるので，前期・後期の連続受講が望ましい。特に「演習」科目であるので，前後期の一貫受講が理想的である。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	導入，どのように進めてきたのかの確認・諸注意・担当者割り当て
	事前学修	どのようなテキストなのか，内容を確認しておくこと。
	事後学修	自分の担当個所についてテキストの読み込みと調査を始めること。
2回	授業内容	デモンストレーション
	事前学修	自分が担当したら，というイメージを持つこと。
	事後学修	デモンストレーションの内容とやり方を確認すること。
3回	授業内容	受講生による口頭発表　　第１章　憧憬として唐文明　冒頭～唐風謳歌の淵源
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
4回	授業内容	受講生による口頭発表　　第１章　憧憬として唐文明　唐使の派遣と大学寮の充実～嵯峨天皇の時代
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
5回	授業内容	受講生による口頭発表　　第１章　憧憬として唐文明　勅撰三集の編纂～漢詩人としての嵯峨天皇
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
6回	授業内容	受講生による口頭発表　　第１章　憧憬として唐文明　和漢の賢才～僧団の文学
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
7回	授業内容	受講生による口頭発表　　第１章　憧憬として唐文明　九世紀後半の漢文学～九世紀の文人たち
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表者／聴衆として何をなしえたのか
8回	授業内容	受講生による口頭発表　　第２章　回帰する「やまと歌」　漢風席巻の時代～『古今和歌集』の時代
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
9回	授業内容	受講生による口頭発表　　第２章　回帰する「やまと歌」「よみ人しらず」の時代
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
10回	授業内容	受講生による口頭発表　　第２章　回帰する「やまと歌」「六歌仙」の時代
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表者／聴衆として何をなしえたのか
11回	授業内容	受講生による口頭発表　　第６章　『源氏物語』を思索する　作り物語としての『源氏物語』～五十四帖の巻のつながり
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
12回	授業内容	受講生による口頭発表　　第６章　『源氏物語』を思索する　『源氏物語』の年立～『源氏物語』にみられる特徴的な表現
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
13回	授業内容	受講生による口頭発表　　第６章　『源氏物語』を思索する　光源氏の人物造型～貴族社会の結婚
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表内容の確認と次回への知識の架け橋とすること
14回	授業内容	受講生による口頭発表　　第６章　『源氏物語』を思索する　『源氏物語』の作者～『源氏物語』の原本
	事前学修	テキストの読み込みと質問の準備
	事後学修	発表者／聴衆として何をなしえたのか
15回	授業内容	後期まとめ　総評
	事前学修	レポート作成への確認
	事後学修	レポート作成へ

◆教科書　通材『国文学基礎講義　M20100』 通信教育教材（教材コード 00519）3,350 円（送料込）
〈この教材は市販の『Next 教科書シリーズ日本古典文学』近藤健史編（弘文堂）と同一です。〉
◎前期とは異なるテキストのコピーを初回の授業で配布
〔当日資料配布〕 発表レジュメは当日配布

◆参考書　電子辞書があると便利

◆成績評価基準　毎回出席することを前提として，発表内容 70%・質疑応答 10%・レポート 20%で総合的に評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔情報概論 A〕 オープン受講：不可　　戸塚　英臣

◆授業概要　表計算ソフトを用いて，統計学（平均，分散，標準偏差等の基本統計量，度数分布，ヒストグラム，散布図，相関係数，大数の法則，中心極限定理，信頼区間等）のデータ分析を実習形式で行っていきます。統計学の課題を通じて表計算ソフトの活用法を学習していきます。

◆学修到達目標　統計学（平均，分散，標準偏差等の基本統計量，度数分布，ヒストグラム，散布図，相関係数，大数の法則，中心極限定理，信頼区間）をテーマに表計算ソフトの利用方法についての習得を目指します。

◆授業方法　基本的にはコンピュータを用いて実習しますが，表計算ソフトの必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。

◆履修条件　表計算ソフトの基本的操作（相対参照・絶対参照，ファイル操作，グラフ作成）を行えること，さらに，メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。令和元年度昼間・土曜スクーリング「情報概論」の前期，もしくは後期のみの受講も可能ですが，学修効果をあげるため，前期・後期の連続受講が望ましい。令和元年度夜間スクーリング（秋期）「情報概論」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	表計算ソフトの基本操作の習得を目指します。
	事前学修	表計算ソフトの基本（相対参照・絶対参照）について確認しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき相対参照・絶対参照について理解すること。
2回	授業内容	表計算ソフトによるグラフの作成方法の習得を目指します。
	事前学修	縦棒グラフ，折れ線グラフ，円グラフの作成について理解しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき各グラフの作成方法について理解すること。
3回	授業内容	表計算ソフトとワープロによるレポート作成方法の習得を目指します。
	事前学修	ワープロの基本（文字入力やファイル操作）について確認しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づきレポート作成方法について理解すること。
4回	授業内容	表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。
	事前学修	表計算ソフトの基本関数（平均，合計，順位等）について確認しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき基本関数の使い方について理解すること。
5回	授業内容	表計算ソフトによる度数分布表・ヒストグラムの作成の習得を目指します。
	事前学修	度数分布表とヒストグラムについて理解しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき度数分布表・ヒストグラムの作成方法を理解すること。
6回	授業内容	表計算ソフトを用いて定義式による基本統計量（平均，合計，分散，標準偏差）の計算方法の習得を目指します。
	事前学修	平均，合計，分散，標準偏差などの基本統計量の定義式を理解しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき基本統計量の計算方法を理解すること。
7回	授業内容	表計算ソフトによるヒストグラムや基本統計量（平均，分散，標準偏差）を用いたデータ分布の理解の仕方を習得します。
	事前学修	平均所得の分布などの身近なデータについて理解しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づきヒストグラムの作成，基本統計量の計算方法を理解すること。
8回	授業内容	表計算ソフトを用いて散布図の作成方法，ならびに定義式に基づいた相関係数の計算方法を習得します。
	事前学修	散布図や相関係数について確認しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき散布図の作成方法と定義式に基づいた相関係数の計算方法について理解すること。
9回	授業内容	表計算ソフトを用いた単回帰分析について習得します。
	事前学修	単回帰分析について確認しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき単回帰分析について理解すること。
10回	授業内容	表計算ソフトのソルバー機能を用いた初歩の線形計画法を習得する。さらに，ソルバーを用いて最小二乗による単回帰直線の求め方を理解する。
	事前学修	最小二乗法について確認しておくこと。
	事後学修	配布資料に基づき線形計画法と最小二乗法について理解すること。
11回	授業内容	表計算ソフトによるモンテカルロ法によるシミュレーションを通じて大数の法則について理解する。
	事前学修	モンテカルロ法，大数の法則について確認すること。
	事後学修	配布資料に基づきモンテカルロ・シミュレーションと大数の法則について理解すること。
12回	授業内容	表計算ソフトによるモンテカルロ法によるシミュレーションを通じて中心極限定理を理解する。
	事前学修	中心極限定理について確認すること。
	事後学修	配布資料に基づきモンテカルロ・シミュレーションと中心極限定理について理解すること。
13回	授業内容	表計算ソフトを用いて信頼区間を求め，区間推定について理解する。
	事前学修	区間推定について確認すること。
	事後学修	配布資料に基づき信頼区間の求め方を理解すること。
14回	授業内容	理解度の確認
	事前学修	1回～ 13 回までに配布した資料を再確認しておくこと。
	事後学修	配布した資料に基づき表計算ソフトの操作方法，ならびに統計学について理解しておくこと。
15回	授業内容	試験，および解説
	事前学修	前回の授業内で指摘した基本的な事柄について確認しておくこと。
	事後学修	授業内容を確認・理解し，表計算ソフトの活用法について再確認すること。

◆教科書　当日資料配布　授業当日に資料を配布します。

◆参考書　コンピュータに関してはインターネット上の情報が最新の場合が多いです。従って，そちらを参考にしてください。ただし，インターネット上の情報は必ずしも正しいとは限りません。ご自身で情報の真偽を判断し活用するようにして下さい。

◆成績評価基準　授業参加度（30%），平常課題（50%），授業内試験（20%）により総合的に評価します。
※演習形式の授業なので，毎回出席することを前提に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
1時限	AK11	社会学A	服部 慶亘	2		B11600	社会学	×	1年		
	AK12	英語F	鈴木 ふさ子	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AK13	行政学	関根 二三夫	2		L30100	行政学	×	2年		
	AK14	情報概論B	中村 典裕	2		R32300	情報概論	×	2年		
2時限	AK21	英語G	岡田 善明	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AK22	政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ	杉本 竜也	2		L311S0	政治学特殊講義Ⅰ	×	2年	・Ⅰ，Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						L312S0	政治学特殊講義Ⅱ				
	AK23	国文学演習Ⅰ～Ⅶ	近藤 健史	1		M404S0	国文学演習Ⅰ	×	3年	・国文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅶのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						M405S0	国文学演習Ⅱ				
						M406S0	国文学演習Ⅲ				
						M407S0	国文学演習Ⅳ				
						M408S0	国文学演習Ⅴ				
						M409S0	国文学演習Ⅵ				
	AK24	英語文学概説/英米文学概説	鈴木 ふさ子	2		N20400	英語文学概説	×	条件参照	・2019年度入学生及び科目履修生の英文学専攻のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
						N20300	英米文学概説	×	条件参照	・2019年度入学生及び科目履修生以外の英文学専攻のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	
	AK25	経済学概論	藤本 訓利	2		R20300	経済学概論	×	条件参照	・経済学部のみ１学年以上申込可。 ・上記以外は２学年以上申込可。	×

注意　各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
3時限	AK31	英語基礎B	中村　則子	1		C10600	英語基礎	×	1年	・英文学専攻は申込不可。	×
	AK32	英語学演習Ⅰ～Ⅲ	真野　一雄	1		N401S0	英語学演習Ⅰ	×	3年	・英文学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						N402S0	英語学演習Ⅱ				
						N403S0	英語学演習Ⅲ				
	AK33	東洋史概説/東洋史概論	髙綱　博文	2		Q30300	東洋史概説	×	2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。 ・法学部のみ申込可。	
						K32300	東洋史概論				
	AK34	経済原論/経済学原論B	藤本　訓利	2		R20100	経済原論	×	条件参照	・経済学部は1学年以上申込可。 ・文理・商学部は2学年以上申込可。	×
						L20200	経済学原論			・政治経済学科は1学年以上申込可。 ・法律学科は2学年以上申込可。	
	AK35	現代教職論	古賀　徹	2		T10100	現代教職論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
4時限	AK41	英語H	中村　則子	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	×
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AK42	TOEIC A	八木 茂那子	1		C108S0	TOEIC	×	1年		
	AK43	憲法	名雪　健二	2		K20100	憲法	×	条件参照	・法学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AK44	西洋史特講Ⅰ	青山 由美子	2		Q31200	西洋史特講Ⅰ	×	2年		
	AK45	経済史総論	飯島　正義	2		R20200	経済史総論	×	条件参照	・経済学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AK46	英語科教育法Ⅲ	小澤　賢司	2		T30300	英語科教育法Ⅲ	×	2年	・英文学専攻のみ申込可。 ・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

注意　各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

【木曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目		制限・注意			受講オープン
						科目コード	科目名	併用	配当学年	受講条件	
5時限	AK51	英語 J	八木 茂那子	1		C10100	英語 Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語 Ⅱ				
						C10300	英語 Ⅲ		2年		
						C10400	英語 Ⅳ				
	AK52	哲学演習Ⅰ・Ⅱ	中澤 瞳	1		P401S0	哲学演習 Ⅰ	×	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・Ⅰ，Ⅱのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						P402S0	哲学演習 Ⅱ				
	AK53	国際経済論	前野 高章	2		R31100	国際経済論	×	2年		
	AK54	商業政策	新島 裕基	2		S31000	商業政策	×	2年		
	AK55	教育の方法・技術論	古賀 徹	2		T21700	教育の方法・技術論	×	2年	・スクーリング１回の合格で単位完成する科目です。	
	AK56	英語基礎 C	中村 則子	1		C10600	英語基礎	×	1年	・英文学専攻は申込不可。	×

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔社会学Ａ〕　服部　慶亘

◆授業概要　人間は，独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。ゆえに，共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また，社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。それでも，「自分の理想（夢）に近づきたい」と誰しもが思うものである。このような現実を理論的・実践的に理解し，「どのようにすれば人間関係がうまくゆくのか？」というテーマについて考えてゆく。

◆学修到達目標　「大学で学んだことは，日常で役に立たない」という声を聞くが，本当にそうだろうか？
そんな疑問と対峙しつつ，学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し，社会（科）学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。

◆授業方法　教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い，受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD，DVD，マンガ，その他）を多用する。また，学生に質問を投げかけ，対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって，講義を単に「聴く」のではなく，講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。また，後期の講義内容への橋渡しも随時行う。

◆履修条件　2019 年度昼間スクーリング（後期）開講の「社会学Ｂ」との積み重ね履修不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	後期ガイダンス　講義の方針，展開方法，目標などを確認する。
	事前学修	シラバスを読んで，講義の目的・目標を理解する。
	事後学修	テキストを入手し，「もくじ」に目を通しておく。
2回	授業内容	コミュニケーション①　「コミュニケーション」（communication）の語源・本質について。
	事前学修	前回の講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
3回	授業内容	コミュニケーション②　「コミュニケーション」の構造と機能について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
4回	授業内容	コミュニケーション③　異文化間コミュニケーションについて。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
5回	授業内容	コミュニケーション④　人間関係と福祉的観点について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
6回	授業内容	コミュニケーション⑤　人間関係と満足感（価値観）。
	事前学修	これまでの講義内容をふまえて，自身の「幸福観」について説明できるようにしておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
7回	授業内容	マス・コミュニケーション①　「マスコミ」の機能・性質について（その１）。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
8回	授業内容	マス・コミュニケーション②　「マスコミ」の機能・性質について（その２）。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
9回	授業内容	マス・コミュニケーション③　「Data」と「Information」について。
	事前学修	これまでの講義内容をふまえて，「人間とは何か？」という問いに対する答えを考えておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
10回	授業内容	基本的人間関係再考①　「友情」と「恋愛」について。
	事前学修	これまでの講義内容をふまえて，自身の「友情観」「恋愛観」「家族観」などについて説明できるようにしておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
11回	授業内容	基本的人間関係再考②　「出会い」（encounter）の構造について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
12回	授業内容	基本的人間関係再考③　「社交的価値」について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
13回	授業内容	基本的人間関係再考④　「重要な他者」（significant others）について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
14回	授業内容	理解度確認（まとめ）
	事前学修	これまでの講義内容を，テキストやノート，資料を読んで再確認しておく。
	事後学修	試験に向けて，これまでの講義内容を復習しておく。
15回	授業内容	試験および解説
	事前学修	これまでの講義内容について，テキストやノート，資料を読んで，自身でまとめておく。
	事後学修	今後の受講，または日常生活改善に向けて，講義内容を再確認する。

◆教科書　丸沼『人間生活の理論と構造』　夏刈康男（ほか）　学文社　2,700 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『補強版ストレス・スパイラル』　服部慶亘　人間の科学社
※絶版のため第１回授業で先生から指示があります。

◆参考書　プリント配布

◆成績評価基準　終講試験（70%），授業参加度（20%），レポート類（10%）で評価する。なお，全講義回数の３分の２以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語Ｆ〕★★☆　　鈴木　ふさ子

◆授業概要　テキストに載っているリスニングの演習問題やスピーキングのペアワークを通してリスニングとスピーキングの能力を身につける。Unit ごとにボキャブラリーを覚え，日本人に聞き取りにくい音をピックアップして練習し，文法事項の確認を行う。構文を覚え，授業時に覚えてクラスメイトの前で披露する。パラグラフ・ライティングの書き方を身につけ，指定した体裁に従って英文を作成し，期限までに提出する。内容を覚えてクラスで発表する。

◆学修到達目標　リスニングとスピーキングとライティングの力をつける事を目的とする。相手の話をきちんと聞き取り，英語で自分の考えを明確に自然に表現することができるようになる事を目的とする。Unit ごとにボキャブラリーを修得し，幅広い場面でできるだけ細かい内容を話せるようになる事を目的とする。パラグラフ・ライティングで論理的に英文を書くことができるようになる事，大勢の前でプレゼンテーションできるようになる事を目的とする。

◆授業方法　ペアを組んでリスニングの演習問題に取り組み，スピーキングの練習をする。聞き取りは日本人が苦手な音に特化しているので，その部分は解説を行う。スピーキングの練習をして毎回クラスメイトの前で披露する。パラグラフ・ライティングの書き方を学び，効果的な話し方を研究し，クラスの前で発表する。尚，これは 30 名くらいのクラスサイズを想定しており，それ以上の場合は授業方法を変更する場合もある。

◆履修条件　ペアワークが多いので，他人との意思疎通に支障がない事

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	オリエンテーション，授業の進め方，講義内容に記載されている成績評価方法などの確認，Unit1 ～ Unit10 の総復習。
	事前学修	前期に学んだ Unit 1～ Unit10 を見直しておく。
	事後学修	Unit 1～ 10 で忘れていた部分を復習する。
2回	授業内容	実力テスト。評価と解説。
	事前学修	高校までの英語を復習する。
	事後学修	自分の英語力（得意な部分，不得意な部分はどこなのか）を分析する。
3回	授業内容	テキスト Unit11 のリスニング（長音と二重母音），文法（希望・予定），会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit11 のボキャブラリーの問題を解き，覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し，文法事項や会話表現を覚える。
4回	授業内容	テキスト Unit12 のリスニング（間違いやすい子音），文法（勧誘），会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit12 のボキャブラリーの問題を解き，覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し，文法事項や会話表現を覚える。
5回	授業内容	テキスト Unit13 のリスニング（間違いやすい母音），文法（頻度），会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit13 のボキャブラリーの問題を解き，覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し，文法事項や会話表現を覚える。
6回	授業内容	テキスト Unit14 のリスニング（語強勢），文法（強調），会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit14 のボキャブラリーの問題を解き，覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し，文法事項や会話表現を覚える。
7回	授業内容	テキスト Unit15 のリスニング（英語のリズム），文法（未来），会話をペアで行う。
	事前学修	テキスト Unit15 のボキャブラリーの問題を解き，覚えてくる。
	事後学修	付属の CD でリスニングを復習し，文法事項や会話表現を覚える。
8回	授業内容	パラグラグ・ライティングとは何かを説明し，書き方を教示する。Flow Chart の作成。
	事前学修	プレゼンテーションのテーマを考えてくる。
	事後学修	Flow Chart の作成過程を振り返り，論理的な英文の書き方を考える。
9回	授業内容	原稿を書く。必要事項が入っているかを確認する。
	事前学修	自分の書きたいことを英語で書くにはどのようにしたらいいのか考える。
	事後学修	原稿に必要事項が入っているか確認し，修正する。
10 回	授業内容	原稿を提出し，ペアで評価し合う。
	事前学修	指定した体裁通りに原稿を書き，PC で清書する。
	事後学修	評価された内容を踏まえて自分の原稿を修正する。
11 回	授業内容	効果的なプレゼンテーションを分析する。
	事前学修	大勢の前で効果的に話を伝える方法を考える。
	事後学修	自分のプレゼンテーションをどのように効果的に行うかを考え，練習する。
12 回	授業内容	発表の練習をする。ペアでお互いのチェックを行う。
	事前学修	自分の原稿のミスを修正し，単語の発音やイントネーションを調べ，内容を覚える。
	事後学修	注意された事柄を念頭に入れて，発表の練習をする。
13 回	授業内容	プレゼンテーション⑴クラスメイトのプレゼンテーションの評価をする。
	事前学修	発音やイントネーション，抑揚などに注意し，発表内容を覚える。
	事後学修	うまくできなかった部分を見直し，復習する。
14 回	授業内容	プレゼンテーション⑵クラスメイトのプレゼンテーションの評価をする。
	事前学修	発音やイントネーション，抑揚などに注意し，発表内容を覚える。
	事後学修	うまくできなかった部分を見直し，復習する。
15 回	授業内容	リスニングテストとその解説。
	事前学修	Unit11 ～ 15 までの CD を聞き，ボキャブラリーや聞き取りのコツを復習する。
	事後学修	聞き取りにくかった部分を復習する。

◆教科書　丸沼『*On Air Listen and Communicate*』　金星堂　2,268 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　毎回のアクティビティへの積極的な取り組み（25%），ライティング課題（25%），発表（25%），リスニングテスト（25%）
※授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔行政学〕　関根　二三夫

◆授業概要　行政管理の原則及び機能，コミュニケーションの機能及び方向，リーダーシップ，稟議制，行政統制，情報公開，オンブズマン制，行政相談，地方自治，戦前の官吏制と戦後の公務員制など，行政管理や行政統制を中心に学びます。

◆学修到達目標　行政の実施過程において，行政の目標を明確に定め，公務に従事する職員の努力を通して，当該目標を統一的に実現するためには如何なるこが必要なのか，また行政の実施過程において，行政全体を外部から，そして内部においてどのように統制したらよいのかを理解できるようにします。

◆授業方法　講義形式で行います。講義においては，行政に関する受講生の問題意識を高め，それに対する解決能力を啓発するように進めて行きます。講義で知り得た内容が如何なる意義を有するのか，それが個人や社会や国家にとってどのように関係してくるのかを客観的に学ばなければなりません。受講に際しては，予習及び復習が必要になります。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	行政管理の原則
	事前学修	テキストの第 7 章第 1 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
2回	授業内容	行政管理の機能
	事前学修	テキストの第 7 章第 2 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
3回	授業内容	コミュニケーションの機能
	事前学修	テキストの第 7 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
4回	授業内容	コミュニケーションの方向
	事前学修	テキストの第 7 章第3節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
5回	授業内容	リーダーシップ
	事前学修	テキストの第 7 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
6回	授業内容	稟議制
	事前学修	テキストの第 8 章第 3 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
7回	授業内容	行政統制―外在的統制
	事前学修	テキストの第5章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
8回	授業内容	行政統制―内在的統制
	事前学修	テキストの第 11 章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
9回	授業内容	情報公開の意義及び沿革
	事前学修	テキストの第 10 章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
10 回	授業内容	情報公開とプライバシーの保護
	事前学修	テキストの第 10 章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
11 回	授業内容	オンブズマン制度
	事前学修	テキストの第 12 章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
12 回	授業内容	行政相談
	事前学修	テキストの第 11 章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
13 回	授業内容	地方自治
	事前学修	テキストの第 3 章を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
14 回	授業内容	戦前の官吏制から戦後の公務員制へ
	事前学修	テキストの第 5 章第 4 節を熟読すること。
	事後学修	講義で知り得た内容を整理し，ノートにまとめること。
15 回	授業内容	講義内容の総括
	事前学修	学修した内容を再度確認すること。
	事後学修	テキストの記述とノートの記述とを比較し，内容を理解すること。

◆教科書　**通材**『行政学　L30100』 通信教育教材（教材コード 000084）3,000 円（送料込）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験 70%，平常点 30%　※試験同様や理解度チェック等の平常点も重視しますので，受講に際しては欠席をしないように注意して下さい。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔情報概論 B〕　　中村　典裕

◆授業概要　情報機器を用いた知的活動を行うに当たって数的データの取り扱いは極めて重用である。もともとコンピュータは「電子計算機」であり，数的データの取り扱いのために作られた機器である。
本講義では表の集計を行う機能が備わった「表計算ソフト」を利用して，電子集計のさまざまな機能を学ぶ。さらに，ソフトウェアの動作手順を記述する「プログラミング手法」について，体験を通じて学習する。

◆学修到達目標　表計算ソフトとして，Microsoft Excel を用い，操作を通じて電子的にデータを取り扱う手法を習得する。最終的に次の内容を習得することを目標とする。
1．表の作成，データ集計，グラフ作成といったデータ処理技術を習得する。
2．またデータの内容に応じて適切な処理を行う手法について習得する。
3．更に Excel のマクロ機能やプログラミングについてもその概要を学ぶ。

◆授業方法　本講義の中では，講義形式と演習の両方を行う。講義形式ではコンピュータの歴史，構造，コンピュータセキュリティ，情報倫理などについて学ぶ。演習ではコンピュータを実際に操作しながら，必要な技術の習得を目指す。ほぼ毎回課題を課し提出する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス・ICT と情報技術社会
	事前学修	日頃から情報通信技術（ICT）に関わるテレビ報道や新聞記事などに興味や関心を持って接する態度を期待する。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
2回	授業内容	ウェブページの原理と HTML の基礎
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
3回	授業内容	プログラミングの歴史
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
4回	授業内容	表計算ソフトとは，Excel の概要
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
5回	授業内容	Excel 入門 1　平均・四則演算
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
6回	授業内容	Excel 入門 2　グラフの活用
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
7回	授業内容	Excel 入門 3　書式，条件付書式
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
8回	授業内容	Excel 演習 1　関数入門
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
9回	授業内容	Excel 演習 2　if 関数・表参照関数
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
10 回	授業内容	Excel 演習 3　フィルタ / データベース
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
11 回	授業内容	Excel 演習 4　ピボットテーブル
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
12 回	授業内容	Excel 演習 5　グループ化・3D 集計
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
13 回	授業内容	Excel 演習 6　Excel マクロの概要
	事前学修	授業 Web の内容を事前に閲覧し，授業内容への理解を深めておく。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
14 回	授業内容	総合演習
	事前学修	前回までの授業内容を確認し，総合演習に備える。
	事後学修	授業の内容をノートに整理する。また，自宅でも授業 Web にアクセスし，授業内容を確認する。
15 回	授業内容	最終課題
	事前学修	前回までの授業内容を確認し，最終課題に備える。
	事後学修	最終課題の結果を整理し，結果について再確認する。

◆教科書　〔当日資料配布〕原則として，当日に配付。また，授業用ウェブページからダウンロード可能

◆参考書　授業時に指示する。

◆成績評価基準　平常点（20%），平常課題（30%），最終課題レポート（50%）。毎回出席する事を前提として評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語G〕★★☆　　岡田　善明

◆授業概要　パラグラフ・リーディングとライティング・スピーキングの学習により，英語の客観的な読解力と表現能力を育成し，即席のパラグラフ・スピーキングとリスニングの能力をも習得する。『和と輪』という国際関係の英語ニュースの入ったクラス通信により，時事的な英語の読解力も育成する。

◆学修到達目標　『英語教育の精神と実践』第５章「生きた英語能力の育成」と演習プリントをテキストにして，パラグラフ･リーディングとスピーキング・ライティングを基本に学び，英語読解演習と表現演習を行う。

◆授業方法　『英語教育の精神と実践』第５章「生きた英語能力の育成」のパラグラフ・リーディングとパラグラフ・スピーキング・ライティングを読み，予習プリントの問題を必ず事前に学習する。本年は特にパラグラフスピーチの演習も行い。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	パラグラフの構成と展開オリエンテーション
	事前学修	『英語教育の精神と実践』（春風社）pp.70-72 を通読する
	事後学修	パラグラフの構成と展開を復習する
2回	授業内容	Schema について
	事前学修	テキスト p.72 の Schema とは何かを確認する。
	事後学修	特に Content Schema によるパラグラフの展開を復習する。
3回	授業内容	1．Development by Examples (1)
	事前学修	『英語教育の精神と実践』p.77 を参考に趣味の英語のスピーチを準備。
	事後学修	自分の趣味のスピーチを文章にして次回提出の準備をする。
4回	授業内容	1．Development by Examples (2)
	事前学修	テキスト p.78 を参考にして友達についての英語のスピーチを準備
	事後学修	友達についての英語のスピーチを文章にして提出準備
5回	授業内容	2．Development by Time Order
	事前学修	テキスト p.78 を参考にして，休日に何をしたかスピーチ準備。
	事後学修	休日のスピーチを文章にして提出準備。
6回	授業内容	Topic sentence 1　演習とクラススピーチ(1)
	事前学修	演習プリントの pp.4-6 を予習しておく。
	事後学修	Topic sentence のパラグラフでの役割と重要性を確認する。
7回	授業内容	Topic sentence 2　演習とクラススピーチ(2)
	事前学修	演習プリント pp.35-38 を予習する。
	事後学修	Topic sentence がどのようにパラグラフの展開に連動しているか確認。
8回	授業内容	Controlling idea 1　演習
	事前学修	演習プリント p.41 により controlling idea を確認。
	事後学修	controlling idea とパラグラフの展開を再確認する。
9回	授業内容	Controlling idea 2　演習
	事前学修	演習プリント pp.42-43 で，Controlling idea と展開を確認。
	事後学修	Controlling idea と Concluding sentence の関係を復習する。
10回	授業内容	Topic sentence &Concluding sentence 1　演習
	事前学修	演習プリント pp.44-45 を予習し topic sentence を入れる予習をする。
	事後学修	pp.44-45 の英文を参考にして，テーマを考え英作文をする。
11回	授業内容	Topic sentence &Concluding sentence 1　演習
	事前学修	演習プリント pp.46-47 を予習し topic sentence を書く予習をする。
	事後学修	pp.44-46 の英文を参考に英文を書き次回提出。
12回	授業内容	Topic sentences &Concluding sentences 4　演習とスピーチ
	事前学修	演習プリント p.52 でパラグラフの展開と concluding sentence を考える。
	事後学修	添削された英作文をよく覚える。
13回	授業内容	Concluding sentence とスピーチ
	事前学修	演習プリント pp.54-56 の英文の Concluding sentences を書く。
	事後学修	Concluding sentence の書き方を復習。
14回	授業内容	パラグラフの構成と展開復習
	事前学修	これまで書いたスピーチ英文の再確認。
	事後学修	パラグラフの構成と展開再確認
15回	授業内容	試験と解説
	事前学修	試験範囲の内容を勉強しておく。
	事後学修	英語パラグラフの特徴と書き方を総復習。

◆教科書　丸沼『英語教育の精神と実践』　岡田善明　春風社　1,944 円（税込）（送料 300 円）
当日資料配布　Academic Writing の演習プリント

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験を基本に，スクーリングの問題演習等も加味して評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔政治学特殊講義Ⅰ・Ⅱ〕　杉本　竜也

◆授業概要　政治学や政治思想史に関する一定の知識を有していることを前提として，政治哲学における主要な理論や中核的な概念を講義していく。
政治学は単に政治現象を表面的に分析するものではなく，その現象の本質を正確に把握し，それを理論的に考察する知的営為である。本講義では，そのために必要な主要理論・概念を詳説していく。

◆学修到達目標　現代政治を理解する上で，また市民社会に生きる上で，必要不可欠な政治哲学を学ぶことによって，理論的・分析的に政治事象や社会事象を考察する能力を習得することができる。
同時に，人間の尊厳の尊重や公共性への配慮，弱者に対する共感共苦，そして適切な批判精神といった，市民生活に必要不可欠な規範的資質も身につけることも可能である。

◆授業方法　基本的に，PowerPoint のプレゼンテーションを利用した講義形式で行う。講義の内容に関係した建設的な発言や議論は歓迎する。ただし，受講者数によって，授業方法を変更する可能性がある。

◆履修条件　同一講師による「政治学特殊講義　Ⅰ・Ⅱ」を受講していること。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス　初めに，講義の流れや評価方法等について説明する。後半は，政治理論・政治哲学を学ぶ意味について講義する。
	事前学修	このシラバスの内容を確認して，期中の講義内容の概要を把握しておく。
	事後学修	政治理論・政治哲学を学ぶ意味について考える。
2回	授業内容	政治哲学研究がめざすもの　政治哲学特有の思考様式や方法論に関して講義する。
	事前学修	「政治学特殊講義　Ⅰ」の講義内容を復習しておく。
	事後学修	教科書等を参考にしながら，講義内容を再確認する。
3回	授業内容	「政治」とは何か　「政治」という営為の意味を，権力や公共性といった概念を元に考察する。
	事前学修	教科書の第 1 章を確認しておく。
	事後学修	教科書等も参考にしながら，講義内容を再確認する。
4回	授業内容	権力　フーコーに代表される主要な権力理論について講義する。権力が政治領域に留まるものではなく，社会の様々な領域に偏在していることを説明する。
	事前学修	教科書の第 2 章を確認しておく。
	事後学修	現実の社会に作用している権力を意識しながら，講義内容を再確認する。
5回	授業内容	リベラリズムの歴史　ロックやスミス，ミルらによって展開されてきたリベラリズムの歴史について説明する。
	事前学修	「政治学特殊講義　Ⅰ」の講義内容も参照しながら，教科書の第 3 章を確認しておく。
	事後学修	自由の概念的な変遷に注意しながら，講義内容を再確認する。
6回	授業内容	現代社会・現代政治における自由　バーリンの 2 つの自由概念をはじめとする主要な現代の自由概念について講義する。
	事前学修	前回講義の内容を振り返りながら，教科書の第 4 章を確認しておく。
	事後学修	自由の概念的意味の変遷に注目しながら，第 5 回・第 6 回講義の内容を再確認する。
7回	授業内容	政治において平等を追求する意味　ロールズの『正義論』の内容を中心として，現代政治における平等の意味について講義する。
	事前学修	教科書の第 5 章を確認しておく。
	事後学修	教科書や講義内容を参照しながら，ロールズの正義論とりわけ「正義の 2 原理」について復習する。
8回	授業内容	デモクラシー　古代から現代に至るデモクラシー概念の変遷をたどった上で，ポリアーキーや討議デモクラシー論等の現代のデモクラシー理論について詳説する。
	事前学修	教科書の第 6 章を確認しておく。
	事後学修	デモクラシーの概念が変化してきた意味について考えながら，講義内容を再確認する。
9回	授業内容	ナショナリズム　「ネーション」概念の意味と功罪の分析を元に，ルナンやアンダーソンらによるナショナリズムに関する理論や多文化主義，「承認」の政治等の議論を紹介する。
	事前学修	教科書の第 7 章を確認しておく。
	事後学修	「ネーション」概念の功罪に注意を払いながら，講義内容を再確認する。
10回	授業内容	フェミニズム　近代政治哲学の本質的批判理論という理解に立脚して，フェミニズムの政治理論を紹介する。
	事前学修	教科書の第 8 章を確認しておく。
	事後学修	近代政治哲学，特にリベラリズムの立脚点との相違を意識しながら，講義内容を再確認する。
11回	授業内容	ケアの倫理　脆弱性に注目して人間像の再定義を主張しているケアの倫理の議論を紹介する。
	事前学修	前回講義の内容を，再確認しておく。
	事後学修	近代政治哲学が前提としてきた人間像との違いに注意を払いながら，ケアの倫理の主張を考える。
12回	授業内容	性と政治　セクシャリティに関する政治的課題について，セクシャル・マイノリティに帯する差別問題から考える。
	事前学修	前回講義の内容を，再確認しておく。
	事後学修	人間の生におけるセクシャリティの意味を考える。
13回	授業内容	公共性　近代以降のデモクラシーや市民社会の問題点を踏まえた上で，政治や社会において公共性を考える意味について講義を行う。
	事前学修	第 5 回および第 8 回講義の内容を再確認しておく。
	事後学修	様々な論者による公共性に関する見解を比較考察する。
14回	授業内容	グローバリゼーションの功罪
	事前学修	教科書の第 11 章を確認しておく。
	事後学修	ナショナリズムを主張する議論に目を向けながら，グローバリゼーションのよい点・悪い点の双方を考える。
15回	授業内容	講義総括および試験
	事前学修	期全体の講義内容を総復習しておく。
	事後学修	これまでの講義内容を振り返り，政治哲学を学ぶ意義について考える。

◆教科書　丸沼『現代政治理論　新版』　川崎修・杉田敦編　有斐閣　2012 年　2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『政治学講義　第 2 版』　佐々木毅　東京大学出版会　2012 年　3,024 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『新版　現代政治理論』　キムリッカ　日本経済評論社　2005 年　4,860 円（税込）（送料 500 円）

◆成績評価基準　テスト（100%）　試験答案から講義内容の理解度，学習・研究に対する積極性，文章表現力，考察・分析力，論理的思考力の 5 項目を総合的に評価して，成績評価を行う。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学演習Ⅰ～Ⅵ〕　近藤　健史

◆授業概要　前半は，万葉時代の国際化，東アジアとの交流関係などについて講義する。後半は，講義内容を踏まえてテーマを設定し，学生各自による研究成果の口頭発表・全体討論という演習形式である。

◆学修到達目標　東アジアにおける異文化交流にあって，日本人は外国の人々や文化とどのようにつきあっていたのか。そのことが『万葉集』にどのように影響しているのかを学修することにより，グローバル化や異文化交流に対応できる力を身につけ，また，異文化交流について発表できるようにすることを目標とする。

◆授業方法　前半の講義と後半の演習形式で行う。受講生は，各自でテーマを設定して，調査・研究した結果を口頭発表する。発表については，全体討論をして理解を深める。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方，演習の基礎について講義する。
	事前学修	大学生のための学修指南書などで演習について調べておくこと。
	事後学修	事前学修と授業内容について確認して，理解を深めること。
2回	授業内容	『万葉集』の概要（編纂・成立，各巻の特徴など）について講義する。
	事前学修	『万葉集』の入門書などで，成立や内容について調べておくこと。
	事後学修	事前学修と授業内容について確認して，理解を深めること。
3回	授業内容	遣隋使たちの文化的交流について講義する。
	事前学修	遣隋使が派遣された時期，時代背景などの概要について調べておくこと。
	事後学修	事前学修と授業内容，配布資料について確認し，理解を深めること。
4回	授業内容	遣唐使たちの文化的交流について講義する。
	事前学修	遣唐使が派遣された時期，時代背景などの概要について調べておくこと。
	事後学修	事前学修と授業内容，配布資料について確認し，理解を深めること。
5回	授業内容	『万葉集』における遣唐使や遣新羅使に関係する歌について講義する。
	事前学修	『万葉集』を読み，国際交流に関わる歌を調べておくこと。
	事後学修	国際交流に関わる歌を整理して，発表テーマを考えること。
6回	授業内容	研究テーマの選定，調査や資料収集について講義する。
	事前学修	テーマの案と発表の構想を練っておくこと。
	事後学修	テーマに関する資料を収集すること。
7回	授業内容	テーマについての資料や調査結果を整理する。
	事前学修	テーマに関する資料や先行研究論文を収集し，読んでおくこと。
	事後学修	発表準備を再確認して，中間発表会に備えておくこと。
8回	授業内容	テーマについての中間報告会（進捗状況の報告）と意見交換をする。
	事前学修	中間発表会の資料を作成し，準備しておくこと。
	事後学修	中間発表会の指摘を踏まえて，発表の構成などについて再確認すること。
9回	授業内容	発表における方法や資料作成の準備・検討をする。
	事前学修	発表の構成，レジメの案などを作っておくこと。
	事後学修	各自，発表の準備に取り掛かること。
10回	授業内容	口頭発表と全体討論をする。
	事前学修	発表者のテーマについて調べ，全体討論に備えておくこと。
	事後学修	発表内容や全体討論を検討して，理解を深めること。
11回	授業内容	口頭発表と全体討論をする。
	事前学修	発表者のテーマについて調べ，全体討論に備えておくこと。
	事後学修	発表内容や全体討論を検討して，理解を深めること。
12回	授業内容	口頭発表と全体討論をする。
	事前学修	発表者のテーマについて調べ，全体討論に備えておくこと。
	事後学修	発表内容や全体討論を検討して，理解を深めること。
13回	授業内容	口頭発表と全体討論をする。
	事前学修	テーマについて調べ，全体討論に備えておくこと。
	事後学修	発表内容や全体討論を検討して，理解を深めること。
14回	授業内容	口頭発表と全体討論をする。
	事前学修	発表者のテーマについて調べ，全体討論に備えておくこと。
	事後学修	発表内容や全体討論を検討して，理解を深めること。
15回	授業内容	まとめ，リポートを提出する。
	事前学修	リポートの作成，確認をすること。
	事後学修	まとめの講義により，授業内容を再確認しておくこと。

◆教科書　丸沼『訳文　万葉集』　森淳司　笠間書院　1,944 円（税込）（送料 500 円）

◆参考書　『増補改訂　古代日本人と外国語』　湯沢質幸　勉誠出版　図書館等をご利用下さい。
『東アジアの文化交流史』　池田温　吉川弘文館　図書館等をご利用下さい。

◆成績評価基準　発表・全体討論 60%，リポート 40%

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語文学概説 / 英米文学概説〕

鈴木　ふさ子

◆授業概要　イギリスにおいて小説の黄金期であるヴィクトリア時代の代表的作家の生涯とその作品の概要や作品のハイライトを抜粋して読み，イギリス文学の豊かな作品世界を味わう土台を築く。またこの時代に豊かな実を結んだ児童文学，推理小説，世紀末に出てきた唯美主義など分野別にそれぞれの作品の特徴を紹介する。扱う作家は Dickens を皮切りに Brontë 姉妹，Kingsley, Carroll, Conan Doyle, Wilde など。

◆学修到達目標　ヴィクトリア時代のイギリス小説にはどのような分野の作品があり，どのように発展していったのかその過程について知り，説明できるようになる事を目的とする。代表的作家の生涯と作品について知識を身につけ，説明できるようになる事を目的とする。作品の内容について考察し，コメントを書くことで簡単な文学の批評ができるようになる事を目的とする。

◆授業方法　テキストとプリント，映像を用いてヴィクトリア時代の代表的な作家の生涯と作品の概要を紹介する。代表作の原文のハイライトを抜粋して読む。重要な作品は映像で作品を鑑賞する。作品についてコメントを書いてもらって提出してもらうこともある。原文を読むのに必要なので英語の辞書は必ず持参するようにすること。

◆履修条件　● 2018 年度後期の同授業の単位取得者は受講不可
●前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス，オリエンテーション，授業の進め方，講義内容に記載されている成績評価方法等の確認，後期で扱う作家や作品を紹介する。
	事前学修	自分が興味のある作家と作品を考えてくる。
	事後学修	後期に学ぶ予定のイギリス文学はどのような作品があるのか調べる。
2回	授業内容	前期の復習（ヴィクトリア時代までのイギリス小説を概観する）
	事前学修	ヴィクトリア時代までのイギリスの小説家について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，18 世紀，19 世紀前半のイギリス小説について調べる。
3回	授業内容	ヴィクトリア時代の小説と社会(1)ヴィクトリア時代の小説の特徴，時代背景について解説。Charles Dickens の *David Copperfiled* について解説。映像で作品を鑑賞する。原文の抜粋を読む。
	事前学修	テキストの 100，101 頁を読み，Dickens, *David Copperfield* について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Dickens, *David Copperfiled* についてまとめる。
4回	授業内容	Charles Dickens の *David Copperfiled* を映像で鑑賞する。原文の抜粋を読む。
	事前学修	*David Copperfiled* に登場する様々な人物を把握しておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，*David Copperfiled* の原文の抜粋を読んでみる。
5回	授業内容	ヴィクトリア時代の小説と社会(2)ヴィクトリア時代の女性の生き方，職業について解説。Brontë 姉妹の生涯を映像等でたどる。Charlotte Brontë の *Jane Eyre* について解説。
	事前学修	テキストの 94，95 頁を読み，Charlotte Brontë の *Jane Eyre* について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Brontë 姉妹の生涯と *Jane Eyre* についてまとめ，原文の抜粋を読んでみる。
6回	授業内容	ヴィクトリア時代の小説と社会(3)イギリス北部の荒野と Emily Bontë の関係について解説。*Wuthering Heights* について解説し，原文の抜粋を読む。
	事前学修	テキストの 96，97 頁を読み，Emily Bontë の *Wuthering Heights* について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Emily Bontë と *Wuthering Heights* についてまとめ，原文の抜粋を読んでみる。
7回	授業内容	児童文学(1)イギリス児童文学の伝統と発展について解説。Charles Kingsley の *The Water-Babies* の解説。原文の抜粋を読む。
	事前学修	イギリスの児童文学にはどのようなものがあるのか調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Charles Kingsley の *The Water-Babies* についてまとめ，原文の抜粋を読んでみる。
8回	授業内容	児童文学(2)新しい児童文学，Lewis Carroll について解説。*Alice's Adventure in Wonderland* について解説し，原文からの抜粋を読む。
	事前学修	テキストの 108，109 頁を読み，Lewis Carroll の *Alice's Adventure in Wonderland* について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，Lewis Carroll の *Alice's Adventure in Wonderland* についてまとめ，原文の抜粋を読んでみる。
9回	授業内容	児童文学(3)児童文学と挿絵について解説。Kate Greenaway, Walter Crane, Charles Rickets の挿絵，*Mother Goose*, Oscar Wilde の童話“The Happy Prince”について解説。原文からの抜粋を読む。
	事前学修	イギリス児童文学と挿絵について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，*Mother Goose*, Oscar Wilde の童話“The Happy Prince”を読んでみる。
10回	授業内容	推理小説(1)推理小説の系譜，Wilkie Collins と *The Moonstone* について解説。Arthur Conan Doyle，Sherlock Holmes 像について解説。
	事前学修	テキスト 110，111，124，125 頁を読み，Wilkie Collins と *The Moonstone* について，Arthur Conan Doyle の *A Study in Scarlet* について調べておく。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，推理小説の系譜，Wilkie Collins と *The Moonstone*, Arthur Conan Doyle と Sherlock Holmes 像についてまとめる。
11回	授業内容	推理小説(2) Arthur Conan Doyle の Sherlock Holmes シリーズの短編を映像で見る。英文を読み，映像との相違を考える。
	事前学修	Sherlock Holmes シリーズにはどのようなものがあるのか調べる。気になった作品を読んでみる。
	事後学修	映像でとりあげた短編小説を原文で読む。
12回	授業内容	唯美主義の小説(1)唯美主義とは何かについて解説。Oscar Wilde の生涯をたどる。
	事前学修	120，121，130，131 頁を読み，唯美主義と関わりのある作家について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，唯美主義や Oscar Wilde についてまとめる。
13回	授業内容	唯美主義の小説(2)長編小説 *The Picture of Dorian Gray* について解説。原文を読む。
	事前学修	132，133 頁を読み，*The Picture of Dorian Gray* や世紀末文学について調べる。
	事後学修	授業時にとったノートを復習し，*The Picture of Dorian Gray* からの抜粋の原文を読んでみる。
14回	授業内容	ヴィクトリア時代のクリスマスと文学(1)ヴィクトリア時代のクリスマス，Dickens のクリスマス・ブック，*Mother Goose* など　後期のまとめ
	事前学修	ヴィクトリア時代にはクリスマスはどのようなものだと考えられていたか。クリスマスにちなんだ文学にはどのようなものがあるのか考えてくる。
	事後学修	ヴィクトリア時代のクリスマス，Dickens のクリスマス・ブックや *Mother Goose* などを読む。後期の総復習。
15回	授業内容	試験とその解説を行う。
	事前学修	後期に学んだこと，読んだ英文を復習する。
	事後学修	試験でできなかったところを確認し，その部分を復習する。

◆教科書　丸沼『たのしく読めるイギリス文学』　ミネルヴァ書房　3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　丸沼『英語文学事典』　ミネルヴァ書房　4,860 円（税込）（送料 500 円）
『*The Oxford Literary Terms*（Oxford Quick Reference）』
※参考文献は自習用であり，授業では使用しません。

◆成績評価基準　コメントシート（30%），試験（70%）
授業には毎回出席することを前提として評価を行います。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済学概論〕 オープン受講：不可　　藤本　訓利

◆授業概要　マクロ経済学の基礎理論を，数値例（計算問題）を解きながら，平易に説明します。

◆学修到達目標　マクロ経済学の基礎理論を修得することによって，今日の経済の動きや経済政策について考察する力を身につけることができるようになります。

◆授業方法　パワーポイントを用いて，講義レジメを配付し，テキストに沿って講義を進めます。また，テーマごとに練習問題を行い，理解度を深めます。学習範囲は，テキストの第１・２・４・５章です（１部除く）。

◆履修条件　経済原論（経済学原論）を履修する予定がある学生は，経済原論の理解度をあげるために，この講義をできるだけ受講して下さい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	マクロ経済学とはどのような学問か
	事前学修	テキストの第１章を読み，専門用語をノートに書きだし，その意味を事前に調べておきましょう。
	事後学修	マクロ経済学独時の分析手法や，重要な専門用語をノートに整理に理解しておきましょう。
2回	授業内容	国民経済計算：GDP や GNP などの国民所得の概念について説明します。
	事前学修	テキストの 29-34 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	国民経済計算に関わる重要な専門用語を理解すると同時に，それらが簡単な計算問題でも解けるようにしておきましょう。
3回	授業内容	マクロ経済循環と三面等価の原則：三面等価の原則と IS バランス方程式の意味について説明します。
	事前学修	テキストの 34-43 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	三面等価の原則が簡単な数値例でもできるようにしましょう。
4回	授業内容	物価指数：物価水準を表す指標について説明します。
	事前学修	テキストの 43-47 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	GDP デフレーター，消費者物価指数，企業物価指数の違いについて理解しましょう。
5回	授業内容	国民所得はどのように決まるか①：ケインズ型消費関数・貯蓄関数について説明します。
	事前学修	テキストの 75-80 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	ケインズ型消費関数の特徴を理解すると同時に，簡単な計算問題も解けるようにしておきましょう。
6回	授業内容	国民所得はどのように決まるか②：ケインズ型投資関数と有効需要の原理について説明します。
	事前学修	テキストの 76-84 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	均衡国民所得の求め方，有効需要の原理の特徴を理解するとともに，計算問題も解けるようにしておきましょう。
7回	授業内容	デフレギャップ・インフレギャップ：これらの用語の意味と，これらのギャップを解消させる政策の必要性について説明します。
	事前学修	テキストの 90-91，93-94 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	二つの用語の意味を理解し，数値例でも計算できるようにしておきましょう。
8回	授業内容	財政政策と乗数：総需要管理政策，とくに政府支出乗数の効果について説明します。
	事前学修	テキストの 84-90 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	乗数効果の意味を理解すると同時に，簡単な計算問題が解けるようにしておきましょう。
9回	授業内容	貨幣の機能と貨幣の定義：貨幣の三大機能を説明し，今日の貨幣を定義します。
	事前学修	テキストの 99-104 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	貨幣の３大機能について理解しておきましょう。
10回	授業内容	貨幣の保有動機と貨幣需要関数：貨幣の保有動機や貨幣需要関数，債券価格と利子率の関係について説明します。
	事前学修	テキストの 104-110 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	３つの貨幣の保有動機と２つの貨幣需要関数をノートに整理し，さらに債券価格と利子率の関係について理解しておきましょう。
11回	授業内容	マネーサプライ：通貨供給量（マネーサプライ）の概念とハイパワードマネー（マネタリーベース）について説明します。
	事前学修	テキストの 111-114 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	通貨の種類についてきちんと整理し，また，ハイパワードマネー（マネタリーベース）の意味を理解しておきましょう。
12回	授業内容	通貨乗数と金融政策：マネーサプライが変動する要因について，金融政策の手段と関係づけて説明します。
	事前学修	テキストの 114-120 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	マネーサプライが変化する要因を金融政策と関係づけて理解しておきましょう。
13回	授業内容	貨幣の需要と利子率の決定：市場利子率の決定メカニズムに説明します。
	事前学修	テキストの 126-127 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	利子率の決定メカニズムやマネーサプライの変化による利子率の変化や，「流動性のわな」について理解しましょう。
14回	授業内容	まとめ
	事前学修	これまで配布したレジメや練習問題を中心に復習し，理解できていない個所を各自確認しましょう。
	事後学修	再度，このスクーリングで学習した範囲における重要な専門用語や簡単な計算問題など，チェックしておきましょう。
15回	授業内容	筆記試験
	事前学修	これまで配布したレジメや練習問題を中心に復習しておきましょう。
	事後学修	

◆教科書　丸沼『入門マクロ経済学（第５版）』 中谷巌　日本評論社　3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　平常点（練習問題等 30%）と筆記試験（70%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価します。詳細は，最初の講義時間に説明します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語基礎Ｂ〕オープン受講：不可　　中村　則子

◆授業概要　この科目では忘れかけている英語の基礎文法を詳しく丁寧に学び直すことで英文の読解力を身につけていく。英語の基礎力を養うためには，演習問題を繰り返し説くことで，英文の構造を理解することが肝要である。当該科目では，英語文法の基礎的な問題を根気強く解答していく。

◆学修到達目標　英語の基礎的な文法を理解できるようにする。テキストの演習問題の中にある長文問題程度の英文であれば，読めるようにする。簡単な短文の英語であれば，ジャーナル等が書けるくらいの英語力を身につける。

◆授業方法　テキストに沿って，解説を読み，演習問題を行うことで，英語の文法の基礎を習得する。まず CD で音声を確認し，英文を音読してから，その内容や演習問題の解答を発表してもらう。進み具合により，シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆履修条件　同じ内容の授業を二度受ける事は無意味である。過去に同じテキストを使った中村の科目を受講した学生は受講不可
前期受講者を優先とする。2019 年度昼間スクーリング（後期）「英語基礎 C」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（授業の進め方や参考書等を説明する）
	事前学修	シラバスを読み，できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。
	事後学修	シラバスで指示されたとおり，次回の授業に向けて準備する。
2回	授業内容	Unit7　名詞・冠詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
3回	授業内容	Unit7　名詞・冠詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
4回	授業内容	Unit8　代名詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
5回	授業内容	Unit8　代名詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
6回	授業内容	Unit9　前置詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
7回	授業内容	Unit9　前置詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
8回	授業内容	Unit10　形容詞・副詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
9回	授業内容	Unit10　形容詞・副詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
10 回	授業内容	Unit11　比較
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
11 回	授業内容	Unit11　比較
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
12 回	授業内容	Unit12　命令文・感嘆文
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
13 回	授業内容	Unit12　命令文・感嘆文
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
14 回	授業内容	復習，試験前準備
	事前学修	今まで学習した部分のノートを整理し，質問事項等があればまとめておく。
	事後学修	学習した部分のノートを確認暗記する。
15 回	授業内容	試験と解説
	事前学修	試験範囲の演習問題等を確認し，解答できるようにする。
	事後学修	試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか，確認する。

◆教科書　丸沼『English Primer（Revised Edition）』 南雲堂　2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　参考書，辞書はガイダンスにて指示

◆成績評価基準　発表を含めた授業への取り組み（特に厳しく対処する）試験による総合評価。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語学演習Ⅰ～Ⅲ〕　真野　一雄

◆授業概要　未来表現と相（aspect）について概観し，未来表現の意味機能について，また，相が言語表現とどのようにかかわっているか，広い視点で理解できることを心掛ける。

◆学修到達目標　未来表現と相それぞれの意味機能について考察することにより，基本的知識から専門的知識まで幅広く修得し，説明できるようになる。

◆授業方法　未来表現と相それぞれの意味機能について，テキストを理解し，要点を整理し，問題点を解決していく。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	第４章　英語未来表現 4.1 単純現在時制
	事前学修	テキスト p.127-p.135 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
2回	授業内容	第４章　英語未来表現 4.2 現在進行形
	事前学修	テキスト p.135-p.144 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
3回	授業内容	第４章　英語未来表現 4.3 will と be going to (1)
	事前学修	テキスト p.144-p.149 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
4回	授業内容	第４章　英語未来表現 4.3 will と be going to (2)
	事前学修	テキスト p.149-p.155 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
5回	授業内容	第４章　4.4 未来進行形（will be -ing）
	事前学修	テキスト p.155-p.172 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
6回	授業内容	第４章　4.5 英語未来表現のまとめ
	事前学修	テキスト p.173 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
7回	授業内容	第２部 アスペクト（Aspect）　第５章　進行相 5.1 語彙アスペクトと文アスペクト
	事前学修	テキスト p.176-p.198 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
8回	授業内容	第５章 進行相　5.2 進行相の意味特徴
	事前学修	テキスト p.199-p.205 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
9回	授業内容	第５章 進行相　5 5.3 現在進行形の注意すべき用法
	事前学修	テキスト p.205-p.208 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
10回	授業内容	第６章 完了相　6.1 現在完了形の中核的意味
	事前学修	テキスト p.209-p.214 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
11回	授業内容	第６章 完了相 6.2 現在完了形の基本的な意味用法とその意味特徴
	事前学修	テキスト p.214-p.216 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
12回	授業内容	第６章 完了相 6.3「経験」用法の意味特徴
	事前学修	テキスト p.216-p.223 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
13回	授業内容	第６章 完了相 6.4 現在完了形と現在完了進行形の意味的相違
	事前学修	テキスト p.224-p.225 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
14回	授業内容	第６章 完了相 6.5 before 節中の過去完了
	事前学修	テキスト p.226-p.236 を読み，問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ，理解を深めておく。
15回	授業内容	試験とその解説
	事前学修	４章～６章の総復習をしておく。
	事後学修	４章～６章のまとめをし，理解を完璧にする。

◆教科書　丸沼『ことばを彩る１　テンス・アスペクト』　吉良文孝　研究社　3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『テンスとアスペクトの語法（開拓社叢書）』　柏野健次　開拓社　3,132 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『時制と相（ネイティブ英文法）』　田中江扶・本田謙介・畠山雄二　朝倉書店　3,024 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準　試験を中心に受講状況その他を加味して評価の予定。6 回以上の欠席者は受験資格を失います。（試験は途中退出なしです）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋史概説 / 東洋史概論〕　髙綱　博文

◆授業概要　西欧の衝撃による中華帝国の解体から 20 世紀の革命と戦争の時代を経て超大国中国が台頭する歴史を明らかにする。

◆学修到達目標　近現代中国の歴史と社会を概観しながら中華帝国の解体と再生をもの語りながら，中国とは何かを考える。

◆授業方法　近現代中国の歴史と社会を概観した資料を配布し，要点を明示しながら講義を行う。事前学修では参考書『中国の歴史』の予習を行い，事後学修では配布資料で復習を行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	近現代中国を考える視点
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 1 ～ 185 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
2回	授業内容	アヘン戦争
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 186 ～ 205 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
3回	授業内容	太平天国運動
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 186 ～ 205 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
4回	授業内容	洋務運動と変法運動
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 186 ～ 205 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
5回	授業内容	辛亥革命
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 206 ～ 221 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
6回	授業内容	五・四運動
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 222 ～ 236 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
7回	授業内容	中国国民革命
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 222 ～ 236 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
8回	授業内容	満洲事変
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 237 ～ 254 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
9回	授業内容	日中全面戦争
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 237 ～ 257 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
10 回	授業内容	「毛沢東とその時代（前）」（映像視聴）及び講義
	事前学修	なし
	事後学修	映像内容を確認しておくこと。
11 回	授業内容	「毛沢東とその時代（後）」（映像視聴）
	事前学修	なし
	事後学修	映像内容を確認しておくこと。
12 回	授業内容	中華人民共和国の誕生
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 255 ～ 271 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
13 回	授業内容	文化大革命の悲劇
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 255 ～ 271 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
14 回	授業内容	改革開放の時代
	事前学修	参考書『中国の歴史』の 272 ～ 292 頁までを読んでおくこと。
	事後学修	配布資料により授業の要点を確認しておくこと。
15 回	授業内容	まとめ，試験
	事前学修	中国近現代史研究の要点をよく確認しておくこと。
	事後学修	本授業を踏まえて現代中国のあり方を考えること。

◆教科書　〔当日資料配布〕 授業時間中に適宜，資料を配布します。

◆参考書　**適材**『東洋史概説 / 東洋史概論　Q30300/K32300』 通信教育教材（教材コード 000523）2,100 円（送料込）
〈この教材は市販の『中国の歴史』岸本美緒（ちくま学芸文庫）と同一です。〉

◆成績評価基準　試験（70%），リポート（30%）。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済原論 / 経済学原論Ｂ〕オープン受講：不可　　藤本　訓利

◆授業概要　マクロ経済学の基礎理論をベースにして，IS-LM モデルや AD-AS 曲線を用いて，財政金融政策の効果について考察します。

◆学修到達目標　マクロ経済学の理論を学習し，いわゆる「経済を見る目」を養い，今日の経済の動きや経済政策について自分なりの考えを述べることができるようになります。

◆授業方法　パワーポイントを用いて，講義レジメを配付し，テキストに沿って講義を進めます。また，テーマごとに練習問題を行い，理解度を深めます。（テキストの第６章と第９章を中心に講義しますが，そこでの理論を理解できるようにするために，第４章と第５章の必要な箇所について，まず説明をします。）

◆履修条件　この講義では，「経済学」や「経済学概論」等でマクロ経済学の基礎理論をすでに学習したことのある学生を対象に講義を進めます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	マクロ経済学とはどのような学問か：経済学の歴史，マクロ経済学の誕生，マクロ経済学の分析手法について説明します。
	事前学修	テキストの第１章を予習しておきましょう。
	事後学修	専門用語をノートに整理し，理解しましょう。
2回	授業内容	国民所得の決定理論(1)：消費関数・貯蓄関数について説明します。
	事前学修	テキストの 75-80 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	消費関数・貯蓄関数の数値例が解けるように復習しておきましょう。
3回	授業内容	国民所得の決定理論(2)：有効需要の原理とその特徴について説明します。
	事前学修	テキストの 76-84 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	均衡国民所得の求め方を理解し，計算問題も解けるようにしておきましょう。
4回	授業内容	財政政策と乗数理論：総需要管理政策，とくに政府支出乗数の効果について説明します。
	事前学修	テキストの 84-91 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	乗数効果の意味を理解すると同時に，簡単な計算問題が解けるようにしておきましょう。
5回	授業内容	投資量の決定：民間企業の投資決定理論（ケインズ型投資関数）について説明します。
	事前学修	テキストの 80-82 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	投資の決定メカニズムとケインズ型投資関数の特徴について理解しましょう。
6回	授業内容	貨幣の需給と利子率(1)：貨幣の機能と定義，マネーサプライの概念，通貨乗数など，貨幣の供給面に焦点をあて説明します。
	事前学修	テキストの 99-120 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	貨幣の３大機能や通貨乗数にマネーサプライの変化について理解しましょう。
7回	授業内容	貨幣の需給と利子率(2)：貨幣の保有動機や貨幣需要関数と，貨幣市場の均衡（利子率の決定）メカニズムについて説明します。
	事前学修	テキストの 126-127 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	利子率の決定メカニズムやマネーサプライの変化による利子率の変化や，「流動性のわな」について理解しましょう。
8回	授業内容	IS-LM 分析と財政金融政策(1)：IS 曲線の導出とシフト，LM 曲線の導出とシフトについて説明します。
	事前学修	テキストの 131-137 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	IS 曲線や LM 曲線の定義・特徴・シフト要因について整理しておきましょう。
9回	授業内容	IS-LM 分析と財政金融政策(2)：利子率と国民所得の同時決定，IS-LM モデルを用いて財政政策の効果について説明します。
	事前学修	テキストの 137-142 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	拡張的財政政策の効果（とくに，クラウディング・アウト効果）について IS-LM モデルで説明できるように整理しておきましょう。
10回	授業内容	IS-LM 分析と財政金融政策(3)：IS-LM モデルを用いて金融政策の効果について説明します。
	事前学修	テキスト 143-145 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	金融政策が無効のケースについて理解しておきましょう。
11回	授業内容	物価水準の決定(1)：労働者錯覚モデルを用いて総供給曲線を導出します。総需要曲線の導出とシフトについて説明します。
	事前学修	テキスト 207-213 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	総供給曲線の定義・特徴について理解しておきましょう。
12回	授業内容	物価水準の決定(2)：物価水準と国民所得の同時決定と，古典派とケインジアンの総供給曲線について説明します。
	事前学修	テキスト 214-218 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	総需要曲線と総供給曲線の交点の意味についてしっかり理解しておきましょう。
13回	授業内容	物価水準の決定(3)：総需要・総供給曲線を用いて財政・金融政策の効果やピグー効果について説明します。
	事前学修	テキスト 218-222 ページを予習しておきましょう。
	事後学修	総需要・総供給曲線モデルでの財政・金融政策の効果と，価格が伸縮的なケース，たとえばピグー効果についてしっかり理解しておきましょう。
14回	授業内容	まとめ
	事前学修	これまで配布したレジメを最初から復習し，理解できていない個所を各自，確認しておきましょう。
	事後学修	再度，レジメ全体に目を通し，計算問題も解けるようにしておきましょう。
15回	授業内容	筆記試験
	事前学修	レジメや練習問題を中心によく復習をしておきましょう。
	事後学修	

◆教科書　丸沼『入門マクロ経済学（第５版）』　中谷巌　日本評論社　3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　平常点（練習問題等 30%）と筆記試験（70%）で総合的に評価します。毎回出席することを前提として評価します。詳細は，最初の講義時間に説明します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔現代教職論〕　古賀　徹

◆授業概要　「理想とする教師像」とはどのようなものか。本授業では，教職の意義，教員の資質，および教員の役割，教員の職務内容等に関する理解を深めることをねらいとしている。特に現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考えていくことにより，受講者が教職への意識を高めていくようにとしていきたい。

◆学修到達目標　次の事項について理解を深め，教員としての意識を高めることができる。①教職の意義とは何か。②教員に必要とされる資質・能力とは何か。③学校教育という独特の社会における意義や教員の同僚性について。④教員の職務や身分上の問題について。⑤生徒の成長・発達差の理解。【以上を，歴史的，国際的，および現代の課題という点から作成した教材により考え，理解を深める】

◆授業方法　講義形式のみならず，ICT 等の機器や教材を活用するとともに，学習者主体のアクティブ・ラーニング形式の学習方法もとりいれる。事前学修として「課題」を課すこともある。事後学修では説明文を中心に人前で話すための文章作成に取り組んでもらう。その説明文をもとに最終回で仮想集団面接のような発信の機会をつくる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	教職を履修する意味（学習指導・生活指導）。
	事前学修	自身が目指す「教職」についてのイメージを手元に「複数」書き出しておくこと。
	事後学修	「学校の存在意義」（教科指導・生活指導）について説明文を（短い論述で）まとめる。
2回	授業内容	教育における「他者理解能力」とは何か。
	事前学修	「わかる」（理解する）とはどのようなことか。その説明概念を（複数）考えておく。
	事後学修	学校でのコミュニケーションの意味や意義について（短い論述で）まとめる。
3回	授業内容	教員の一日の流れ。教員の成長を研修の記録から学ぶ。
	事前学修	教員と生徒との関係性に関するイメージすることを手元に「複数」書き出しておく。
	事後学修	生徒の成長に介在する教員の役割の重要性について，説明文を書く。
4回	授業内容	理想の教師に関するディスカッション。
	事前学修	教員に必要な資質と能力について「複数」書き出しておく。
	事後学修	他者の意見交換から学べたこととアクティブ・ラーニングの学習効果についてまとめる。
5回	授業内容	チーム学校（アクティブ・ラーニング形式の学習方法）。
	事前学修	チーム学校に関する文部大臣の文書等（資料）を読み，必要とされる理由を理解する。
	事後学修	学校という多様な教員と多様な生徒の集団（社会）での活動可能性について考える。
6回	授業内容	最近の子ども事情（青少年の問題行動）。
	事前学修	近年における児童生徒の問題行動に関する記事を読み，イメージをまとめておく。
	事後学修	青少年と「ストレス」の問題について，短い論述をまとめるトレーニングをする。
7回	授業内容	最近の子ども事情（いじめ問題に注目する）。
	事前学修	「いじめ」事件や対応のアクションプラン，法制度について記事を集めて読む。
	事後学修	「いじめ」への教員の立ち位置（自身の考え）をスピーチ原稿としてまとめる。
8回	授業内容	最近の子ども事情（不登校児童への対応と理解の方法）。
	事前学修	「不登校」に関する記事等を読み，イメージをまとめておく。
	事後学修	「不登校」と「いじめ」問題を比較して，学校内外の社会事情も活かした対応を考案する。
9回	授業内容	最近の子ども事情に関する総括的ロールプレイ。
	事前学修	グループで検討する前提として，事前に告知する内容について調査を行う。
	事後学修	青少年の問題行動に対応する教員の立ち位置について，短い文での表現を工夫する。
10回	授業内容	教師観・教員養成の歴史的変遷（近代以降の教育）。
	事前学修	教員養成の歴史に関する文献や概説書を読んでおく。
	事後学修	教育発展の歴史について「教員」の視点からまとめる文章を記す。
11回	授業内容	諸外国の教員養成の仕組み。
	事前学修	日本以外の国の「教育（学校）」についてイメージをまとめるメモを用意する。
	事後学修	欧米の教育との違いや共通点について短い文で論述できるようにする。
12回	授業内容	法令・法制度上における教員。
	事前学修	各種文献に載っている複数の「法令」類を一読しておく。
	事後学修	教育基本法の改正前後の教育改革の流れについてまとめる文章を書く。
13回	授業内容	現職教員の研修（向上する教員が求められる現代社会）。
	事前学修	各種審議会の答申や審議事項を（指定するので）読んでメモを作成する。
	事後学修	「教員に求められる資質・能力」の法令分上における変化についてまとめる。
14回	授業内容	教育実習において求められる教員像（教員社会に求められる教員）。
	事前学修	各々の教科ごとの授業イメージをメモとしてまとめておく。
	事後学修	教育実習での実践事例をもとに「不安と期待」に関する論述をまとめる。
15回	授業内容	教育現場で求められる資質・技能とは何か。
	事前学修	これまでの課題を見直し，それぞれ 1 分間で話せるレベルでの要約を準備する。
	事後学修	学修した内容を自身で整理する。

◆教科書　毎回，資料を作成して配布する。

◆参考書　通材『現代教職論　T10100』 通信教育教材（教材コード 000541）3,100 円（送料込）
〈この教材は市販の『現代教職論』羽田積男・関川悦雄編（弘文堂）と同一です。〉

◆成績評価基準　この授業の評価は，授業への参加（グループ学習含む），提出物・課題，試験成績の総合的評価とする。課題未提出の場合は評価を行わない。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語H〕 ★★☆ オープン受講：不可　　中村　則子

◆授業概要　英語の初級レベルの学生を対象に英語読解を中心とした授業を行う。
2020 年に開催される東京オリンピックに向けてスポーツへの関心が高まっている。この科目では易しい英文で書かれたスポーツのトピックを読解し，演習問題を解くことで楽しく英語を身につけていく。

◆学修到達目標　英語の総合学習向けのテキストを使用し，英語の 4 技能（Reading, Listening, Writing, Speaking）を無理なく学習できるようにする。基本的な文法が抜け落ちていると感じている受講者には苦手な部分を自分で補うために，簡単な文法のドリル等を授業と並行して，自宅学習することをお奨めする。授業では，短めの英文を読んでいき，日常生活に不自由しない程度の英語力（英語の広告文が理解できる，英語で書かれた取説が理解できる，SNS の英文を理解できる，発信できる等）を身につけたい。

◆授業方法　テキストに沿って，英文を読み，演習問題を行うことで，英語の4技能のうち，主に reading のスキルを習得していく。まず CD で音声を確認し，英文を音読してから，その内容を発表してもらう。進み具合により，シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆履修条件　同じ内容の授業を二度受ける事は無意味である。過去に同じテキストを使った中村の科目を受講した学生は受講不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（授業の進め方や参考書等を説明する）
	事前学修	シラバスを読み，できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。
	事後学修	ガイダンスで指示されたとおり，次回の授業に向けて準備する。
2回	授業内容	Unit7 Helping Your Opponent
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
3回	授業内容	Unit7 Helping Your Opponent
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
4回	授業内容	Unit8 Ghost Goals
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
5回	授業内容	Unit8 Ghost Goals
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
6回	授業内容	Unit9 Rituals and Superstitions
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
7回	授業内容	Unit9 Rituals and Superstitions
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
8回	授業内容	Unit10 The Cutting Edge
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
9回	授業内容	Unit10 The Cutting Edge
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
10回	授業内容	Unit11 Match-Fixing
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
11回	授業内容	Unit11 Match-Fixing
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
12回	授業内容	Unit12 Heroes Inspire Heroes
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
13回	授業内容	Unit12 Heroes Inspire Heroes
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
14回	授業内容	復習，試験前準備
	事前学修	今まで学習した部分のノートを整理し，質問事項等があればまとめておく。
	事後学修	学習した部分のノートを確認暗記する。
15回	授業内容	試験と解説
	事前学修	試験範囲の演習問題等を確認し，解答できるようにする。
	事後学修	試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか，確認する。

◆教科書　丸沼『Spotlight on Sports』 金星堂　2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　参考書，辞書はガイダンスにて指示

◆成績評価基準　発表を含めた授業への取り組み（特に厳しく対処する）試験による総合評価。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔TOEIC　A〕　八木　茂那子

◆授業概要　TOEIC test（L&R）受験に必要な４技能を向上させるための問題演習を中心とした授業を行います。速写，速読 Listening section では写真，応答，会話，Short Talk を Reading section では文法語彙，短文穴埋め，長文穴埋め，読解問題，を新聞，雑誌，広告，お知らせ，email，手紙，チャットなどをテーマに各パート万遍なく問題演習を行います。

◆学修到達目標　本講座では Listening &Reading（R&L）test 500 点突破を目標とします。初めてあるいは test を受けながらステップアップを目指そうとする人を対象に必要な基本的トレーニング方法を体得し，継続，習慣化することを目指します。

◆授業方法　授業は CD，OHC, 黒板を使った対面式による一斉授業と Listening section と Reading section の問題演習を中心とします。弱点強化のために self-training，pair work，group activity など色々取り込みながら，楽しくトレーニングをしていく予定です。（受講者の理解度 , 進度などにより，授業内容を変更することがあります。）

◆履修条件　前回出席が前提，テキストは各自自分の物を購入すること。前期に引き続き受講することが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（自己紹介，授業の進め方，教科書について，成績評価について他）
	事前学修	テキスト対応の CheckLink に PC やスマホ，携帯電話端末からアクセスし，学習者登録と教科書登録を行う。
	事後学修	CheckLink を使って教科書を見ながら問題解答をする。
2回	授業内容	Unit 7　Recruiting (p.p.67-71) Part 1: 人物の動作：3 人以上のパターン /Part 2: Yes-No 疑問文① /Part 3: 語彙から就職の段階を推測する /Part 4: 問われるポイントを事前に確認する　問題演習，解答と解説　レベルアップのためのトレーニングを行う。
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 1 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 7 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
3回	授業内容	Unit 7　Recruiting (p.p.73-76) part 5: 品詞② /Part 6: 語彙① /Part 7: 同義語問題①
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 1 の練習問題を解く。Part5・6 は 1 問あたり 20 秒，Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 1 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
4回	授業内容	Unit 8　Personnel (p.p.77-81) Part 1: 人物の位置・場所：3 人以上のパターン /Part 2: Yes-No: 疑問文② /Part 3: 必要な情報を意識する /Part 4: 人事に関するイベントを頭に入れる
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 2 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
5回	授業内容	Unit 8　Personnel (p.p.82-85) Part 5: 品詞③ /Part 6: 語彙② /Part 7: 詳細情報を見つける①
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 2 の練習問題を解く。Part5・6 は 1 問あたり 20 秒，Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
6回	授業内容	Unit 9　Advertising (p.p.86-90) Part 1: 光景 : 位置関係の表現パターン /Part 2: Yes-No 疑問文③ Part 3: 広告に関する会話の流れをおさえる : /Part 4: 注目を集める表現に注意する
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 2 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
7回	授業内容	Unit 9　Advertising (p.p.91-94) Part 5: 比較 /Part 6: 文選択① /Part 7: 文書の目的を問う問題②
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 3 の練習問題を解く。Part5・6 は 1 問あたり 20 秒，Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 2 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
8回	授業内容	Mini TOEIC test
	事前学修	これまでに学修したことの見直しをする。
	事後学修	これまでに学修したことの見直しをする。
9回	授業内容	Unit 10　Meetings (p.p95-99) Part 1: 人物の動作：身に着けている表現　パターン /Part 2: 付加疑問文④ Part 3: 予定変更のキーワードをとらえる /Part 4: 会議の目的をとらえる
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 4 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 4 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
10 回	授業内容	Unit 10　Meetings (p.p.100-103) Part 5: 前置詞 /Part 6: 文選択② /Part 7: 意図問題②
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 3 の練習問題を解く。Part 5・6 は 1 問あたり 20 秒，Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 4 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
11 回	授業内容	Unit 11　Finance (p.p.104-108) Part 1: 人物の動作：抽象的な言い換えのパターン /Part 2: 否定疑問文⑤ Part 3:「トラブル」⇒「解決」の流れをおさえる /Part 4: 聞こえた情報をイメージに変換する
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 5 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
12 回	授業内容	Unit 11　Finance (p.p.53-57) Part 5: 接続詞 /Part 6: 時制③ /Part 7: NOT 問題
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 5 の練習問題を解く。Part5・6 は 1 問あたり 20 秒，Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
13 回	授業内容	Unit 12　Offices (p.p.58-62) Part 1: 光景：抽象的な言い換えパターン /Part 2: ⑥ /Part 3: 顧客との取引の流れをおさえる /Part 4: 未来に起こることに注意する
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 6 の練習問題を解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
14 回	授業内容	Unit 12　Offices (p.p.63-66) Part 5: 品詞① /Part 6: 語彙① /Part 7: 同義語問題①
	事前学修	CheckLink を使って教科書を見ながら Unit 6 の練習問題を解く。Part5・6 は 1 問あたり 20 秒，Part 7 は各問 1 分の時間を計って解く。
	事後学修	Unit 5 の練習問題で間違えた問題をもう一度解く。音読筆写で弱点を強化する。
15 回	授業内容	まとめと期末試験　解答解説
	事前学修	これまでに学修したことの見直しをする。
	事後学修	これまでに学修したことの見直しをする。

◆教科書　丸沼『THE HIGH ROAD TO THE TOEIC LISTENING AND READING TEST』
（全パート横断型 TOEIC LISTENING AND READING テスト総合対策）　早川幸治他著　金星堂
2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集 3』　Educational Testing Service（編）
3,024 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集 2』　Educational Testing Service（編）
3,024 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『公式 TOEIC® Listening&Reading 問題集 1』　Educational Testing Service（編）
3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　（CheckLink を使っての小テスト・Pre-test）　30%+ 平常点（発表や課題提出などを含む授業参加度）20% +（期末試験）50% による総合評価　（クラスのレベルを考慮し一定の基準になるよう調整を加えることがあります。）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔憲法〕　名雪　健二

◆授業概要　後期では，統治機構としての国会（国会の憲法上の地位，国会議員の特典である，いわゆる不逮捕特権，免責特権，衆議院の解散，議院の自律権など），内閣（内閣の組織，内閣総理大臣の地位および権能，内閣の権能など），裁判所（司法権の概念と帰属，最高裁判所の権能，下級裁判所など）が中心となるが，財政や地方自治についてもみていく。

◆学修到達目標　憲法は，国家の在り方を規定した基本法である。したがって，われわれが国家生活をしていく上で憲法を知ることは，極めて重要である。
憲法を学ぶことで，憲法とは何かを知ることができ，また，憲法判例をみることで，生きた憲法を理解することができ，さらに，憲法の規範論理的構造を理解することで，現代の複雑な憲法現象を統一的に，かつ，原理的にとらえることができる。

◆授業方法　憲法の解釈論が中心となる。また，生きた憲法を理解するために，判例を取り上げる。そのための資料として，授業に関連する判例を配布する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（後期から受講する学生のため），国会の性格，国会の組織
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，憲法第４１条にいう最高機関と立法機関の意味をよく理解しておくこと。また，二院相互の関係についてもまとめておくこと。
2回	授業内容	国会議員の特典，国会の活動（召集，衆議院の解散）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，不逮捕特権と免責特権について，それぞれ問題点があるのでまとめておくこと。また，衆議院の解散では，解散権の主体と根拠規定，解散の原因について理解しておくこと。
3回	授業内容	国会の活動（参議院の緊急集会，会議の諸原則），国会の権能（憲法改正の発議）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，定足数，表決数，一事不再議について理解しておくこと。憲法改正の発議では，憲法改正とはいかなる行為であるのかを，憲法の廃棄，憲法の廃止などと区別して理解しておくこと。また，内閣が，憲法改正案を提出することができるかどうかについて理解しておくこと。さらに，憲法改正に限界があるのかどうかについてもまとめておくこと。
4回	授業内容	国会の権能（法律の制定，条約の承認，内閣総理大臣の指名，弾劾裁判所の設置）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，法律の制定手続について理解しておくこと。
5回	授業内容	議院の権能（議院の自律権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。議院の自律的事項をあげて，それぞれの問題点をまとめておくこと。
6回	授業内容	議院の権能（国政調査権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。国政調査権の意義と性格をまとめた上で，とくに範囲と限界についてよく理解しておくこと。
7回	授業内容	内閣の性格・組織
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，行政権の帰属が何を意味するのか，また，内閣の組織と内閣構成員の資格についてまとめておくこと。
8回	授業内容	内閣総理大臣の地位および権能
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。内閣総理大臣の憲法上の地位と権能について，とりわけ，国務大臣の任免権，内閣代表権，法律･政令への連署権，国務大臣訴追同意権について，それぞれ問題点があるのでよくまとめておくこと。
9回	授業内容	内閣の総辞職，内閣の権能
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，内閣の総辞職の意義，内閣が総辞職しなければならない場合をよくまとめておくこと。また，内閣の権能では，国会の承認をえることができなかった条約の効力について理解しておくこと。
10回	授業内容	内閣の責任，裁判所の性格
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，内閣の責任の内容の意味について理解しておくこと。また，司法権の概念と帰属についてまとめておくこと。とりわけ，司法権の帰属のところを理解しておくこと。
11回	授業内容	最高裁判所の構成，最高裁判所の権能（一般裁判権，規則制定権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，規則制定権では，規則制定権の趣旨，規則制定権の範囲についてまとめておくこと。また，最高裁判所規則と法律との関係についてよく理解しておくこと。
12回	授業内容	最高裁判所の権能（違憲審査権）
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。違憲審査権の意義を踏まえた上で，違憲審査権の性格および違憲審査の対象について，それぞれ学説が対立しているのでまとめておくこと。また，判例もあるので，よくみておくこと。
13回	授業内容	下級裁判所，司法権の独立
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，下級裁判所裁判官の任命と司法権の独立，すなわち，裁判官の職権の独立と裁判官の身分保障についてよくまとめておくこと。
14回	授業内容	財政，地方自治
	事前学修	講義の該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	講義でノートしたことを確認し，整理しておくこと。とくに，租税法律主義，予算の性格と成立について理解しておくこと。また，地方自治の本旨，地方公共団体の権能についてまとめておくこと。
15回	授業内容	後期の総括，後期試験の説明
	事前学修	総括と試験の説明であるので，事前学習の必要はない。
	事後学修	後期の講義における重要な問題点を，よく整理しておくこと。

◆教科書　丸沼『日本国憲法』　名雪健二　有信堂　3,780 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　参考書を希望する者は，『憲法第６版』　芦部信喜・高橋和之補訂　岩波書店を購入されたい。

◆成績評価基準　授業態度・小テスト（１回）・スクーリングの最終試験により総合的に判断する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋史特講Ⅰ〕　青山　由美子

◆授業概要　私たち日本人に大きな影響を与えてきているヨーロッパ文明のルーツは中世にある。その歴史上の大きなトピックについて理解を深める。

◆学修到達目標　ヨーロッパ中世後半（西暦 1000 年から 1500 年まで）の歴史について，重要なテーマに関する史料の日本語訳と関連する映像を通して学び，各テーマのポイントを理解し，自分の感想や意見をまとめられるようになる。

◆授業方法　授業の最初に各テーマに関する日本語訳を読み，意味を理解し，最後に各自コメントをまとめます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ヨーロッパ中世後半の歴史について，ポイントと特質を学びます。
	事前学修	世界史の教科書や資料集をよみかえしてきて下さい。
	事後学修	プリントやノートをよみ返して，内容を再確認して下さい。
2回	授業内容	イギリスのルーツとして，ノルマン征服について学びます。
	事前学修	「ノルマンコンクェスト」などで検索してみて下さい。
	事後学修	史料を思い出して，ノルマンイメージをつくって下さい。
3回	授業内容	中世ヨーロッパ封建社会のセレモニーを学びます。
	事前学修	「ヨーロッパ＆封建制」などで検索してみて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，儀礼の意味を考えて下さい。
4回	授業内容	騎士文化のシンボルとして馬上槍試合を学びます。
	事前学修	「馬上槍試合」で検索して，ポイントをつかんできて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，騎士イメージをつくって下さい。
5回	授業内容	十字軍について，西欧サイドから学びます。
	事前学修	「十字軍」で検索して，ポイントをつかんできて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，十字軍イメージをつくって下さい。
6回	授業内容	商業都市同盟ハンザについて学びます。
	事前学修	「ハンザ」で検索して，ポイントをつかんできて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，ハンザイメージをつくって下さい。
7回	授業内容	中世中頃の農村・農業について学びます。
	事前学修	「中世ヨーロッパ＆農業革命」で検索してきて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，農業の変化について理解して下さい。
8回	授業内容	スペインへの巡礼について学びます。
	事前学修	「キリスト教＆巡礼」などで検索してきて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，巡礼について考えて下さい。
9回	授業内容	中世スコットランドの独立について学びます。
	事前学修	ひろく「スコットランド＆独立」で検索してきて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，スコットランドイメージをつくって下さい。
10回	授業内容	英仏百年戦争とジャンヌ・ダルクを学びます。
	事前学修	「ジャンヌ・ダルク」で検索してポイントをつかんできて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，ジャンヌの人物像をつくって下さい。
11回	授業内容	異端信仰の弾圧，魔女狩りについて学びます。
	事前学修	「異端審問」で検索して，ポイントをつかんできて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，魔女狩りイメージをつくって下さい。
12回	授業内容	ヨーロッパからのユダヤ人追放について学びます。
	事前学修	「ユダヤ教」「ユダヤ人」について検索してきて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，ユダヤ人イメージをつくって下さい。
13回	授業内容	都市民の書いた遺言書や日記について学びます。
	事前学修	改めて「遺言」「日記」の定義を再確認してきて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，都市民の死生観など理解して下さい。
14回	授業内容	新しい時代ルネサンスのはじまりについて学びます。
	事前学修	「ルネサンス」の定義を再確認してきて下さい。
	事後学修	史料と映像を思い出して，ルネサンスイメージをつくって下さい。
15回	授業内容	毎回の史料と映像をふり返り，まとめコメントをかきます。
	事前学修	今までのプリントとコメントをよみかえしておいて下さい。
	事後学修	中世後期ヨーロッパについて，時代像をつくって下さい。

◆教科書　〔当日資料配布〕当日にプリントを配布します。

◆参考書　丸沼『ヨーロッパの中世』　神崎忠昭　慶応大学出版会　2,916 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『西洋中世史料集』　東京大学出版会　3,456 円（税込）（送料 350 円）
『世界史史料５』　岩波書店　図書館等をご利用下さい。

◆成績評価基準　毎回授業の最後にまとめて書くコメントによって評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済史総論〕　飯島　正義

◆授業概要　近代の産業革命以降，第 2 次世界大戦までの世界資本主義の発展・変化について学んでいきます。

◆学修到達目標　1．近代以降の世界資本主義の発展・変化について説明できるようになる。
2．イギリスを中心とした世界資本主義体制に対して，経済発展段階が異なる国・地域がどのように組み込まれていったのかを説明できるようになる。

◆授業方法　講義形式。当日配布するプリント資料を中心に進めていくが，各内容の切れ目の時点でポイントを提示するとともに，確認プリントを実施しその提出を求める。

◆履修条件　平成 30 年度昼間スクーリング（後期）との積み重ねは不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	経済史で何を学ぶのか。
	事前学修	シラバスで全体の授業内容について確認しておく。
	事後学修	配布プリントの見直しと参考図書等で授業内容の理解を深める。
2回	授業内容	産業革命の意義
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	産業革命の意義についてまとめておく。
3回	授業内容	イギリスの産業革命
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	イギリスの産業革命の経過と特徴をまとめておく。
4回	授業内容	イギリスを中心とする資本主義的世界体制の構築
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	イギリスがどのような資本主義的世界体制を構築しようとしたのかをまとめておく。
5回	授業内容	後発国の資本主義化(1)　フランス
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	フランスの産業革命，工業化の特徴をまとめておく。
6回	授業内容	後発国の資本主義化(2)　アメリカ
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	アメリカの産業革命，工業化の特徴をまとめておく。
7回	授業内容	後発国の資本主義化(3)　ドイツ
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	ドイツの産業革命，工業化の特徴をまとめておく。
8回	授業内容	後発国の資本主義化(4)　日本
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	日本の資本主義化の過程と特徴をまとめておく。
9回	授業内容	大不況と第 2 次産業革命
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	1870 年代から第 1 次世界大戦までの世界経済の変化についてまとめておく。
10 回	授業内容	帝国主義的拡張の時代
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	列強による植民地獲得競争についてまとめておく。
11 回	授業内容	資本主義的世界体制とインド
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	イギリスのインドにおける植民地化の過程と統治方法についてまとめておく。
12 回	授業内容	資本主義的世界体制とアフリカ
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	列強によるアフリカの植民地化の過程と統治方法についてまとめておく。
13 回	授業内容	両大戦期の欧米経済
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	第 1 次世界大戦から第 2 次世界大戦までの欧米経済の状況についてまとめておく。
14 回	授業内容	両大戦と植民地
	事前学修	配布プリントを読んでおくとともに，参考図書等で授業内容の理解を深めておく。
	事後学修	両大戦が植民地に及ぼした影響についてまとめておく。
15 回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	これまでの各内容のポイントをまとめたものを再確認しておく。
	事後学修	設題に対して，重要事項を落とさず論理的な記述ができたかどうかを確認する。

◆教科書　当日資料配布　授業時にプリント資料を配布します。

◆参考書　丸沼『エレメンタル欧米経済史』　馬場哲他著　晃洋書房　2012 年　3,024 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　確認プリントの提出（40%），試験（60%）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語科教育法Ⅲ〕　小澤　賢司

◆授業概要　教授３要素とされる「アプローチ」・「メソッド」・「テクニック」のうち，「アプローチ」と「メソッド」に焦点を当て，理論的かつ実践的な英語教授法をみんなで考えます。ここでいう「アプローチ」とは，その教授法で何を目指すのかを指し，「メソッド」とは，授業を具体的にどのように進めていくのかを指します。

◆学修到達目標　英語教授法の理論を自ら学び，それをどう４技能（５領域）指導に応用するかを皆で考え，かつ，その実践力を身に付けることを目標とします。良い授業を行うためにはどうすればよいのか，どんなことが求められているのか，どんな方法論が効果的なのか，等を日々考える態度・姿勢は本授業では特に重要となります。本授業では，中学生を対象とした具体的な授業内容及び展開を考案してもらいます。

◆授業方法　本授業では，グループワークが中心となります。その中で，「短期（単元）計画」における 1/X の授業（１の授業を積み重ねることで，達成目標を実現できると仮定した授業）をグループ内で考案し，代表者に模擬授業をおこなってもらいます。４技能（５領域）統合型授業が理想的ではありますが，まずは欲張らずに１つの技能向上に向けた授業を考案してもらいます（1→1＋1→2＋1→3＋1⇒4（最終目標），といったイメージ）。計３回の模擬授業では，毎回，扱う学年・単元，指導する技能を変えておこないます。

◆履修条件　これまでに英語科教育法Ⅰ～Ⅳのいずれかの単位を１つでも修得していること。満たしていない場合，履修不可とする。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	学習指導案作成の意義について　グループ分け
	事前学修	本授業のシラバス全体を一読しておくこと。
	事後学修	学習指導案作成の意義について正しく理解しておくこと。
2回	授業内容	学習到達目標に基づいた授業の組み立てについて　グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	グループで話し合った内容を整理しておくこと。
3回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	グループで話し合った内容を整理しておくこと。
4回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	発表ハンドアウトを作り，期日までに提出すること。
5回	授業内容	模擬授業（発表　初日）
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	他グループの発表内容を整理しておくこと。
6回	授業内容	模擬授業（発表　二日目）　グループ分け
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	他グループの発表内容を整理しておくこと。
7回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	グループで話し合った内容を整理しておくこと。
8回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	グループで話し合った内容を整理しておくこと。
9回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	発表ハンドアウトを作り，期日までに提出すること。
10回	授業内容	模擬授業（発表　初日）
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	他グループの発表内容を整理しておくこと。
11回	授業内容	模擬授業（発表　二日目）　グループ分け
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	他グループの発表内容を整理しておくこと。
12回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	有益な案を考えたり，自らの案を支える理論を収集しておくこと。
	事後学修	グループで話し合った内容を整理しておくこと。
13回	授業内容	グループ内討議（準備）
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	発表ハンドアウトを作り，期日までに提出すること。
14回	授業内容	模擬授業（発表　初日）
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	他グループの発表内容を整理しておくこと。
15回	授業内容	模擬授業（発表　二日目）　これまでの総括
	事前学修	発表練習をしておくこと。
	事後学修	他グループの発表内容を整理しておくこと。

◆教科書　『SUNSHINE ENGLISH COURSE 各 1-3』 開隆堂
※検定教科書販売店で購入して下さい
『中学校学習指導要領』 文部科学省
『中学校学習指導要領　外国語編』 文部科学省

◆参考書　丸沼『英語授業ハンドブック 中学校編』 金谷憲（編集代表） 大修館　3,888 円（税込）（送料 350 円）

◆成績評価基準　授業への取り組みを中心に総合的に評価します。
※特別な理由（教育実習・介護等体験・感染症など）なく欠席した場合は，大幅な減点となります。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 J〕★★☆　　八木　茂那子

◆授業概要　文法を学びながら同時に会話表現を学んでいきます。授業はテキストに沿って 3 つの段階を踏んで理解度を，深めます：第一段階で基本文法の理解，重要ポイントの確認，第二段階で基本文法を含む構文のターゲットセンテンスを聞き取り，意味の確認，口頭練習を通じて単文を覚えます。さらに第三段階ではターゲットセンテンスを活用した発信･発話を行い，最後に Digests のコーナーで文の重要ポイントを簡潔にまとめる，という流れになります。尚，原則 2 ユニットごとに quiz を学期中に 5 回行う予定です。

◆学修到達目標　本講受講後，基礎レベルの英語が理解運用できるようになることを目標とし，120 個のターゲットセンテンスを身に着け，英語の 4 技能の習得に効果的な基本的トレーニング方法を体得，継続，習慣化することを目指します。

◆授業方法　授業 CD，OHC，黒板を使った対面式による一斉授業と演習形式を中心に self-training，pair work，group activity など色々取り込みながら，楽しくトレーニングをしていく予定です。（受講者の理解度 , 進度などにより，授業内容を変更することがあります。）

◆履修条件　原則として 2/3 以上の出席，テキストは各自自分の物を購入すること，また前期後期を通して履修することが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（自己紹介，授業の進め方，教科書について，成績評価について他）
	事前学修	テキストを購入し，6-7 ページを読み，手元の PC やスマホに音声ファイルをダウンロードし，学習内容を視聴してみる。
	事後学修	音読筆写用のノートを用意する。
2回	授業内容	Unit 11　否定文や疑問文はどう表現する？　否定文と疑問文を理解しよう
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 11（p.p.68-73）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
3回	授業内容	Unit 12　助動詞が表すニュアンスの違い　助動詞の働きを理解しよう
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 12（p.p.74-79）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
4回	授業内容	Unit 13　丁寧な依頼や勧誘には would と could を使う 助動詞 would と could の特別な意味合いを理解しよう　quiz 1（Unit 11&12）
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 13（p.p.80-85）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
5回	授業内容	Unit 14　形容詞や副詞を使って比較する　比較表現を理解しよう
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 14（p.p.86-91）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
6回	授業内容	Unit 15　接続詞が果たす役割とは？文と文をつなぐ接続詞　quiz 2（Unit 13&14）
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 15（p.p.92-97）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
7回	授業内容	Unit 16　〈to ＋動詞の原形〉が表す意味　to 不定詞の基本的な 3 用法を理解しよう
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 16（p.p.98-103）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
8回	授業内容	中間試験・解答と解説
	事前学修	これまでに学修したことの見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
	事後学修	これまでに学修したことの見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
9回	授業内容	Unit 17　〈to ＋動詞の原形〉を用いる構文とは？ to 不定詞を用いた応用表現を理解しよう　quiz 3（Unit 15&16）
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 17（p.p.104-109）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
10回	授業内容	Unit 18　［動詞 -ing］が表す意味とは？現在分詞と動名詞の違いを理解しよう
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 18（p.p.110-115）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
11回	授業内容	Unit 19　過去分詞の働きとは？過去分詞と受動態　quiz 4（Unit 17&18）
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 19（p.p.116-121）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
12回	授業内容	Unit 20　過去～現在へと続く時制の感覚をつかむ 現在完了の用法と意味合いを理解しよう
	事前学修	音声ファイルを利用しながら Unit 20（p.p.122-127）の練習問題を解く。
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
13回	授業内容	Review Group Activity quiz 5（Unit 19&20）
	事前学修	Oral test の準備
	事後学修	授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
14回	授業内容	Oral test
	事前学修	Oral test の練習
	事後学修	期末試験の準備　授業内容の見直しとターゲットセンテンスの音読筆写
15回	授業内容	まとめと期末試験　解答解説
	事前学修	これまでに学修したことの見直しをする
	事後学修	これまでに学修したことの見直しをする

◆教科書　丸沼『Grammar on Target 120 Keys for Communication』 堀口千春・福富かおる著　センゲージラーニング（株）2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　丸沼『ロイヤル英文法』 綿貫陽他著　旺文社　1,944 円（税込）（送料 500 円）

◆成績評価基準　Quiz（5 回）20%+ 平常点（発表や課題提出などを含む授業参加度）10% +（中間・期末試験）60%+Oral test による総合評価（クラスのレベルを考慮し一定の基準になるよう調整を加えることがあります。）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学演習Ⅰ・Ⅱ〕　中澤　瞳

◆授業概要　本演習は，卒業論文を執筆するために必要と考えられる基本的知識を，実践を通して，修得することである。

◆学修到達目標　この演習を通して，受講生は論文制作のための技術を学び，卒業論文の制作を進めていく。すでに卒業論文に着手している受講生の場合は，演習を通して，現在製作中の卒業論文を練り上げる。

◆授業方法　講義と演習を組み合わせて行う。授業中に使用する予定の課題テキストは授業内で配布する。場合によっては，小グループを組んで作業を行う。口頭発表，および参加者同士による相互評価を行う。なお，参加者の状況，授業の進行具合によっては，授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は，随時授業中に指示する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス・論文とはなにか
	事前学修	卒業論文でどのような題材を扱うか考える。
	事後学修	授業を復習し，論文について理解を深める。
2回	授業内容	注について
	事前学修	注とはどのようなものか調べる。
	事後学修	注を作成できるようにする。
3回	授業内容	参考文献表について１
	事前学修	参考文献表とはどのようなものか調べる。
	事後学修	参考文献表を作成できるようにする。
4回	授業内容	参考文献表について２
	事前学修	前回の授業を確認する。
	事後学修	参考文献表を作成できるようにする。
5回	授業内容	要約について
	事前学修	文章を短くすることと，要約との違いを考える。
	事後学修	要約の発表があるので，要約を作る練習をする。
6回	授業内容	パラグフラフについて
	事前学修	パラグフラフとはなにか調べる。
	事後学修	文献を読むときには，パラグラフごとに読むこと意識し，また自分で文章を作成する際にも，パラグラフを意識して書けるようにする。
7回	授業内容	テキストを要約する
	事前学修	課題テキストをパラグラフごとに読み，中心的主張を取り出す。
	事後学修	課題テキストを要約する。
8回	授業内容	テキストを要約する
	事前学修	課題テキストをパラグラフごとに読み，中心的主張を取り出す。
	事後学修	課題テキストを要約する。
9回	授業内容	テキストを要約する
	事前学修	課題テキストをパラグラフごとに読み，中心的主張を取り出す。
	事後学修	課題テキストを要約する。
10回	授業内容	テキストを要約する
	事前学修	課題テキストをパラグラフごとに読み，中心的主張を取り出す。
	事後学修	課題テキストを要約する。
11回	授業内容	テキストを要約する
	事前学修	課題テキストをパラグラフごとに読み，中心的主張を取り出す。
	事後学修	課題テキストを要約する。
12回	授業内容	発表（要約について）
	事前学修	指示に従って，発表の準備をする。
	事後学修	他の人の発表を聞いて，参照し，要約の仕方を工夫する。
13回	授業内容	発表（要約について）
	事前学修	指示に従って，発表の準備をする。
	事後学修	他の人の発表を聞いて，参照し，要約の仕方を工夫する。
14回	授業内容	発表（要約について）
	事前学修	指示に従って，発表の準備をする。
	事後学修	他の人の発表を聞いて，参照し，要約の仕方を工夫する。
15回	授業内容	まとめ
	事前学修	これまでの授業を振り返る。
	事後学修	今回の授業を土台として，卒業論文の制作を進める。

◆教科書　当日資料配布

◆参考書　授業中に指示します。

◆成績評価基準　授業，グループワークへの参加度，発表（70%），発表の講評（30%）により総合的に評価する。なお，毎回出席することを前提として評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国際経済論〕　前野　高章

◆授業概要　グローバル化の進展に伴い，国際マクロ経済政策や国際通貨制度の在り方の重要性が増している。本講義では，国際収支の基本的な考え方や基礎理論，開放経済体系下の経済政策，ならびに為替相場決定の理論や国際通貨制度等について学び，グローバル経済の進展および国際経済問題を理解する土台を作り上げることを目標とする。

◆学修到達目標　本講義では，現実の国際経済の動きを念頭に置きながら，国際収支の基本的な考え方や基礎理論や開放経済体系下の経済政策の在り方，国際通貨制度などの国際ルールについて学び，国際経済現象をモデル化し分析する能力を養い，変化の激しいグローバル経済の特徴や課題を理解することを目的とする。

◆授業方法　授業は講義形式を基本とする。教科書および配布資料にもとづき，板書とパワーポイントで講義を行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	講義の進め方，オリエンテーション，国際経済論とは？
	事前学修	経済学における国際経済論の位置づけについて把握する。
	事後学修	講義の内容を整理し，配布資料を読んで，講義内容を理解する。
2回	授業内容	国際経済の理論と方法，国際経済と統計データ
	事前学修	配布資料，参考書などから国際取引の量について確認する。
	事後学修	講義内容や統計データから国際取引の変遷を確認する。
3回	授業内容	グローバル経済の分析視点
	事前学修	配布資料，参考書などからモノとカネの国際取引について確認する。
	事後学修	講義内容をもとにモノとカネの国際取引の拡大要因について整理する。
4回	授業内容	国際収支表構造と国際収支統計　―基本的な考え方―
	事前学修	第 1 回から第 3 回までの内容を整理する。
	事後学修	講義内容をもとに，国際収支の基本的な考え方を整理する。
5回	授業内容	国際収支表構造と国際収支統計　―具体例から考える―
	事前学修	配布資料，参考書などから，国際収支表構造を確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，日本の国際収支の特徴を整理する。
6回	授業内容	対外収支と貯蓄投資バランス
	事前学修	配布資料，参考書などから，貯蓄投資アプローチを確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，マクロ経済モデルと国際収支の関連性を整理する。
7回	授業内容	財市場の均衡と IS 曲線
	事前学修	配布資料，参考書などから，財市場の均衡について確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，IS 曲線の導出について整理する。
8回	授業内容	貨幣市場の均衡と LM 曲線
	事前学修	配布資料，参考書などから，貨幣市場の均衡について確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，LM 曲線の導出について整理する。
9回	授業内容	IS-LM-BP 分析
	事前学修	配布資料，参考書などから，IS-LM 分析を確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，IS-LM-BP 分析を整理する。
10回	授業内容	国際マクロ経済政策（固定相場制下）
	事前学修	配布資料，参考書などからマンデル＝フレミング・モデルを確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，固定相場制下の政策効果を整理する。
11回	授業内容	国際マクロ経済政策（変動相場制下）
	事前学修	配布資料，参考書などから第 10 回の内容を確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，為替相場と政策効果の関係性を整理する。
12回	授業内容	国際通貨制度の概観
	事前学修	配布資料，参考書などから国際通貨制度の変遷を確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，国際通貨制度の経済的意義を整理する。
13回	授業内容	市場化とグローバリゼーション
	事前学修	配布資料，参考書などから地域経済統合について確認する。
	事後学修	講義内容をもとに，経済統合の経済効果について整理する。
14回	授業内容	理解度の確認
	事前学修	これまで配布した資料を熟読し，要点をノートにまとめる。
	事後学修	講義内容の要点項目を再確認し，講義内容をノートに整理する。
15回	授業内容	試験および総まとめ
	事前学修	全配布資料から講義の要点をまとめる。
	事後学修	講義および試験をふまえ，国際分業の変遷について再確認する。

◆教科書　当日資料配布　各回で必要な講義資料を配布する。

◆参考書　丸沼『国際金融論をつかむ』 橋本・小川・熊本　有斐閣　2007 年　2,376 円（税込）（送料 300 円）
通材『国際経済論　R31100』 通信教育教材（教材コード 000281）2,300 円（送料込）

◆成績評価基準　試験 80%，平常点 20%。毎回出席することを前提として評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商業政策〕　新島　裕基

◆授業概要　昼間（前期）または夏期「商業政策」を受けて，商業の「まちづくり」の取り組みについて学びます。

◆学修到達目標　・なぜ経済活動が主である商業者が「まちづくり」に取り組むのか，理論的に説明できるようになること。
・各論として，商業まちづくりの展開，現場の取り組みなどについて理解できるようになること。

◆授業方法　・スクリーンにスライド資料を投影しながら講義を進める（配布資料あり）。
・中間と最終の2回，授業内テストを実施する。
・１日完結型の「個人ワーク」を計3回実施する

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス：商業と「まち」の関係
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
2回	授業内容	小売業から見るまちづくり
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
3回	授業内容	商業まちづくりの系譜
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
4回	授業内容	都市を客観的に理解する
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
5回	授業内容	まちの資源を確認する
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
6回	授業内容	まちづくりの主体と事業を支える仕組み
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
7回	授業内容	前半のまとめ：中間テスト（マーク＋記述）
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
8回	授業内容	個人ワーク(1)
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	個人ワークで学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
9回	授業内容	個人ワーク(2)
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	個人ワークで学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
10回	授業内容	地域ニーズに応える商店街
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
11回	授業内容	高齢者・子育て世代にやさしいまちづくり
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
12回	授業内容	多様化する主体との連携
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
13回	授業内容	個人ワーク(3)
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	個人ワークで学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
14回	授業内容	観光とまちづくり・学生たちのまちづくり
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。
15回	授業内容	後半のまとめ：最終テスト（マーク＋記述）
	事前学修	新聞・雑誌などで関連した記事を読み，日頃から現実の最新動向について触れること。
	事後学修	講義で学んだ内容について，教科書・配布資料・ノートなどを見直すこと。

◆教科書　丸沼『小売業起点のまちづくり』　石原武政・渡辺達朗編　中央経済社　2018 年　3,024 円（税込）（送料 300 円）
当日資料配布　教科書などを参考にしたスライドを投影して講義を進めますが，教科書はなるべく入手してください。また，適宜資料を配布する予定です。

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　平常点評価：100%
＜内訳＞
授業内テスト：70%（中間：30% ／最終：40%）
個人ワーク：30%（詳細は，初回講義にて説明）

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔教育の方法・技術論〕　古賀　徹

◆授業概要　この授業は，教員としての授業実践力を修徳することを目的としています。授業が成り立つ条件を理解するために，先ず歴史や諸外国の実践例を学ぶことから始めます。次には「読む・書く・きく・話す」等の技能を伸ばすための技術・指導法を学び，実際に活用できるレベルへ高めていく。カリキュラム構成の基礎を身につけ，指導計画をデザインできるようになるまでがゴールです。ICT 活用の学習形態についても考え深めていきます。

◆学修到達目標　次の事項について理解を深め，技能・指導技術を身につける。①教授法の歴史的変遷を理解する。②ヴィゴツキーの「発達の最近接領域」等の最新の学習概念を理解する。③アクティブ・ラーニング形式の学習について理解し，実践するアイディアを出す。④カリキュラム構成の基礎を身につけ，学習目標に沿って学習内容・活動を展開するイメージをまとめることができる。⑤ ICT 活用や e ラーニング等の学習形態について，その課題や可能性も含めて把握することができる。⑥教育評価の方法を身につける。

◆授業方法　講義形式に加えて，ワークショップ形式，グループワーク，ロールプレイなどアクティブ・ラーニング型の方式をとりいれる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	「教育方法」とは何か？「教える」と「学ぶ」こと。
	事前学修	教職課程における学習内容（各科目）について意味を調べておく。
	事後学修	新学習指導要領の「ねらい」について調べ，説明文としてまとめる。
2回	授業内容	教育方法論の歴史（西洋教育方法史）。
	事前学修	コメニウス，ペスタロッチ，ヘルバルト，デューイについて文献を読む。
	事後学修	本日の学修内容についてレポート作成（次回提出）。
3回	授業内容	教育方法論の歴史（日本の教育方法・内容論の変遷）。
	事前学修	日本特有の教育方法について，イメージすることを複数メモしておく。
	事後学修	日本と西洋の「近代化」の関係性について，短い文章でまとめる。
4回	授業内容	新しい「学習」概念（ヴィゴツキーの活動理論と現在の学習）。
	事前学修	「PISA 型学力」等の新しい学力観について資料を通読しておく。
	事後学修	講義で体験的学習により学んだ内容を言語化して説明文としてまとめる。
5回	授業内容	授業形態を個別化に対応させる（バズ学習，T. T，完全習得学習）。
	事前学修	個別の差（個人）への対応という難しさについて意見をまとめておく。
	事後学修	世界各国の地域差からくる教育観の違いについて説明文を書く。
6回	授業内容	問題解決学習と系統学習。
	事前学修	自身の体験的な学びについて具体例をあげ，その効果について記す。
	事後学修	自身の担当科目における能動的な学習を設計する。
7回	授業内容	指導技術：「はなす」ことと「きく」こと。
	事前学修	自身のキャリア教育体験について他者に説明できるようまとめておく。
	事後学修	ウェビング，KJ 法等の可視化技能を高めるよう自身で練習する。
8回	授業内容	「はなす・きく・かく・まとめる」。
	事前学修	各科目において必須とされる技能について調べ，まとめる。
	事後学修	本を数冊読み，その内容をウェビングで記す。
9回	授業内容	カリキュラム構成の方法（「ねらい」のある学習をつくる）。
	事前学修	学習指導要領でカリキュラムマネージメントの箇所を読んでメモしておく。
	事後学修	カリキュラム構成方法を応用して「ある学校」のプランをつくる。
10回	授業内容	シミュレーション学習，プロジェクト学習。
	事前学修	学校数校のホームページ等をみてカリキュラム構成を確認しておく。
	事後学修	自身の科目においてどのようにプロジェクト学習が組めるか構想する。
11回	授業内容	一時間の学習指導案を構成する。
	事前学修	自身の科目ごとに自由に範囲を選び，授業を構想しておく。
	事後学修	指導案（学習指導計画）を複数構想する（次回提出）。
12回	授業内容	学習実践のロールプレイ。
	事前学修	一冊以上の本を読み「朝読書」指導案を考案する。
	事後学修	既習のウェビング，カリキュラム，指導案を組み合わせて授業設計を行う。
13回	授業内容	ICT 機器を活用した新しい学習法。
	事前学修	メディア授業を試聴しレポートを用意する。
	事後学修	新しい時代のメディア教材や，その功罪についてレポートをまとめる。
14回	授業内容	教材研究・教育評価の方法。
	事前学修	これまでの授業内容について，自身でまとめる（授業で使用する）。
	事後学修	逆向きの設計から「自身の科目で習得する力」を設定。
15回	授業内容	「主体的・対話的で深い学び」の構成方法。
	事前学修	最終講義の課題について，自身で資料を集め，まとめておく。
	事後学修	様々な授業形態により授業をデザインできるようトレーニングを継続する。

◆教科書　資料，レジュメを作成し，配布する。

◆参考書　『学習指導要領』　中学校・高等学校

◆成績評価基準　この授業の評価は，授業への参加（グループ学習含む），提出物・課題，試験成績の総合的評価とする。課題未提出の場合は評価を行わない。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語基礎Ｃ〕オープン受講：不可　　中村　則子

◆授業概要　この科目では忘れかけている英語の基礎文法を詳しく丁寧に学び直すことで英文の読解力を身につけていく。英語の基礎力を養うためには，演習問題を繰り返し説くことで，英文の構造を理解することが肝要である。当該科目では，英語文法の基礎的な問題を根気強く解答していく。

◆学修到達目標　英語の基礎的な文法を理解できるようにする。テキストの演習問題の中にある長文問題程度の英文であれば，読めるようにする。簡単な短文の英語であれば，ジャーナル等が書けるくらいの英語力を身につける。

◆授業方法　テキストに沿って，解説を読み，演習問題を行うことで，英語の文法の基礎を習得する。まず CD で音声を確認し，英文を音読してから，その内容や演習問題の解答を発表してもらう。進み具合により，シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆履修条件　同じ内容の授業を二度受ける事は無意味である。過去に同じテキストを使った中村の科目を受講した学生は受講不可
前期受講者を優先とする。2019 年度昼間スクーリング（後期）「英語基礎 B」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（授業の進め方や参考書等を説明する）
	事前学修	シラバスを読み，できる限り初回からテキストを入手して内容を見ておく。
	事後学修	シラバスで指示されたとおり，次回の授業に向けて準備する。
2回	授業内容	Unit7　名詞・冠詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
3回	授業内容	Unit7　名詞・冠詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
4回	授業内容	Unit8　代名詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
5回	授業内容	Unit8　代名詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
6回	授業内容	Unit9　前置詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
7回	授業内容	Unit9　前置詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
8回	授業内容	Unit10　形容詞・副詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
9回	授業内容	Unit10　形容詞・副詞
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
10 回	授業内容	Unit11　比較
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
11 回	授業内容	Unit11　比較
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
12 回	授業内容	Unit12　命令文・感嘆文
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
13 回	授業内容	Unit12　命令文・感嘆文
	事前学修	上記の Unit をよく読み内容を理解し，発表できるようにしておく。
	事後学修	授業内容をノートに整理し，英文をみて内容が言えるようにする。
14 回	授業内容	復習，試験前準備
	事前学修	今まで学習した部分のノートを整理し，質問事項等があればまとめておく。
	事後学修	学習した部分のノートを確認暗記する。
15 回	授業内容	試験と解説
	事前学修	試験範囲の演習問題等を確認し，解答できるようにする。
	事後学修	試験において記述した内容がどの程度適切であったかどうか，確認する。

◆教科書　丸沼『English Primer（Revised Edition）』 南雲堂　2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　参考書，辞書はガイダンスにて指示

◆成績評価基準　発表を含めた授業への取り組み（特に厳しく対処する）試験による総合評価。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

MEMO

【金曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
1時限	AL11	英語K	大庭 香江	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AL12	フランス語Ⅰ・Ⅱ	大庭 克夫	1		E10100	フランス語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ・Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						E10200	フランス語Ⅱ				
	AL13	東洋思想史Ⅰ	本間 直人	2		P20300	東洋思想史Ⅰ	×	条件参照	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	×
	AL14	経営学	山田 敏之	2		S20200	経営学	×	条件参照	・商学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AL15	日本史概説/日本史概論	鍋本 由徳	2		Q30200	日本史概説	×	2年	・文理・経済・商学部のみ申込可。 ・法学部のみ申込可。	
						K32200	日本史概論				
2時限	AL21	経済学	谷川 孝美	2		B11800	経済学	×	1年		
	AL22	TOEIC B	大庭 香江	1		C108S0	TOEIC	×	1年		
	AL23	イギリス文学史Ⅱ	猪野 恵也	2		N30100	イギリス文学史Ⅱ	×	2年		
	AL24	西洋思想史Ⅰ	関谷 雄磨	2		P20200	西洋思想史Ⅰ	×	条件参照	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
3時限	AL31	英語L	石川 勝	1		C10100	英語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ～Ⅳのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						C10200	英語Ⅱ				
						C10300	英語Ⅲ		2年		
						C10400	英語Ⅳ				
	AL32	政治学原論	吉野 篤	2		L20100	政治学原論	×	条件参照	・政治経済学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AL33	英作文Ⅰ	大庭 香江	2		N30400	英作文Ⅰ	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
	AL34	哲学基礎講読	石井 友人	2		P20100	哲学基礎講読	×	条件参照	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AL35	市場調査論	最上 健児	2		S317S0	市場調査論	×	2年		
	AL36	道徳教育の理論と方法/道徳教育の研究	李 吉魯	2		T21300	道徳教育の理論と方法	×	2年		×
						T21400	道徳教育の研究				

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

【金曜日】

時限	講座コード	開講講座名	担当講師名	単位数	開講	充当科目 科目コード	充当科目 科目名	制限・注意 併用	制限・注意 配当学年	制限・注意 受講条件	オープン講
4時限	AL41	哲学C	中澤 瞳	2		B10700	哲学	×	1年		
	AL42	国文学概論	山﨑 泉	2		M20200	国文学概論	×	条件参照	・国文学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
	AL43	宗教学概論	合田 秀行	2		P30400	宗教学概論	×	2年		
	AL44	商業史	竹内 真人	2		S32100	商業史	×	2年		×
	AL45	生徒指導・進路指導論	古賀 徹	2		T30500	生徒指導・進路指導論	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
5時限	AL51	社会学B	服部 慶亘	2		B11600	社会学	×	1年		
	AL52	ドイツ語Ⅰ・Ⅱ	中島 伸	1		D10100	ドイツ語Ⅰ	×	1年	・Ⅰ，Ⅱのどちらに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
						D10200	ドイツ語Ⅱ				
	AL53	日本政治史	石川 徳幸	2		L30400	日本政治史	×	2年		×
	AL54	日本史特講Ⅱ	坂口 太助	2		Q30900	日本史特講Ⅱ	×	2年		

注意 各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者がそれらを超えた場合，大学が任意に講座を分割したり他講師担当の同一科目講座へ振り分けるなどの，受講制限を行います。
その結果，必ずしも希望した担当者の講座を受講できない場合，受講をお断りする場合があります。あらかじめ，ご了承ください。

〔英語K〕★★☆　大庭　香江

◆授業概要　映画の歴史やエピソードについて書かれた英文を，注を参考にしながら精読し，映画の起源，アニメーション，等，主として米国の映像文化について深く知る。

◆学修到達目標　原書に詳しい注や解説をつけて編集された，オーセンティックでありながら，中級レベル以上の英語読解力で読みこなすことのできる英文で書かれた文章を精読し，語彙力を伸ばし，文法事項を整理しながら，文章の内容を正確に理解できるようになることを目標とする。

◆授業方法　映画の歴史やエピソードについて書かれた英文を丁寧に精読していく。事前に，単語の意味調べをし，文章に目を通しておき，分からない部分を明らかにしておくこと。授業では語彙や文法について詳しい解説を行なうとともに，次回の範囲に関して，あらかじめ内容を紹介するので，それを参考，手助けとして予習を行なうこと。復習として内容理解問題を解き，答え合わせと解説を行なう。リーディングを中心とした授業となる。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	FIRST IMAGES
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
2回	授業内容	PROJECTING IMAGES
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
3回	授業内容	OPTICAL TOYS
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
4回	授業内容	FIXING THE IMAGE
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
5回	授業内容	MAKE THEM MOVE
	事前学修	英文を読む
	事後学修	映画レビューを書く
6回	授業内容	THE PHOTOGRAPHIC GUN
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
7回	授業内容	THE COMING OF CINEMA
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
8回	授業内容	THE BIRTH OF SPECIAL EFFECTS
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
9回	授業内容	THE FIRST FILM STUDIOS
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
10回	授業内容	FROM SILENCE TO SOUND
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
11回	授業内容	AN INTERNATIONAL LANGUAGE
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
12回	授業内容	A NEW STYLE OF ACTING
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
13回	授業内容	HOLLYWOOD: THE EARLY YEARS
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
14回	授業内容	THE COMING OF TALKIES
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く
15回	授業内容	まとめと試験，解説
	事前学修	英文を読む
	事後学修	練習問題を解く

◆教科書　丸沼『The Amazing History of Cinema』 Kenworthy 他著　成美堂　2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔フランス語Ⅰ・Ⅱ〕　大庭　克夫

◆授業概要　後期は何といっても「不規則動詞」の活用（大切なもの 10 数種類）と，「数」（11 ～ 100）「月」「曜日」「季節」「男性国名／女性国名」などの基本表現を身に付けるのがメインです。前期に比べて覚えるべき事柄が格段に増えます。貯めないで翌週までに確実に覚えていってください。外国語は「覚える」＝「身に付ける」のが仕事です。

◆学修到達目標　英語にすれば中学 1 年～ 2 年レベルの内容が，フランス語でも言えて・書けて・聞き取れるようにするのが目標です。また 11 月の「実用フランス語技能検定試験」＜ 5 級＞にもぜひチャレンジしていただきたいと思います。
スクーリング自体は極力「脱落者」を出さないようにごく平均的なペースで進めていきますが，前期から『指定教材仏語Ⅰ・仏語Ⅱ』などを使って意欲的に学習されてきた方ならば，＜ 4 級＞合格も十分可能です。

◆授業方法　前期同様，授業は＜講義形式＞ではなく＜ゼミ形式＞で進めていきます。後期は前期に比べてどうしても受講生が減るので，1 回の授業で各人 10 回位は当てて答えてもらいます。また前期同様，フランス語の修得には授業以外の場での＜覚える努力＞が必要不可欠です（＜覚える努力＞を伴わない出席は全く無意味です）。

◆履修条件　前期スクーリングの単位を取得した者，または『科目修得試験』で＜フランス語Ⅰ＞の単位を取得している者。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	後期前半部分のプリントを配布：1P 目「不規則動詞」の活用のおおまかなルールと，2P 目前半の＜アクサン記号＞の使い分けのルールを説明。
	事前学修	
	事後学修	授業で説明したプリント 1P 目と 2P 目前半の内容をよく理解して覚えること
2回	授業内容	プリント 2P 目後半：「数」（11 ～ 100），「曜日」について説明します。
	事前学修	付属の CD を聞きながら，プリント 2P 目後半に目を通してくること。
	事後学修	授業で扱った，「数」（11 ～ 100）と「曜日」をしっかり覚えること。
3回	授業内容	プリント3P 目：「月」と「疑問形容詞」＜Quel＞の用法について説明します。
	事前学修	付属の CD を聞きながら，プリント3P 目に目を通してくること。
	事後学修	授業で扱った，「月」と＜Quel＞の用法・用例をしっかり身に付けること。
4回	授業内容	プリント3P 目～4P 目：「季節」と，動詞＜aller＞＜venir＞の活用を説明。
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント3P 目下段～4P 目前半に目を通してくること
	事後学修	「季節」と，「不規則動詞」＜aller＞＜venir＞の活用をしっかり覚えること。
5回	授業内容	プリント4P 目後半：「男性国名／女性国名」と，＜aller＞の用例を説明。
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント4P 目後半に目を通してくること。
	事後学修	「男性国名／女性国名」の区別と，＜aller＞の用例を身に付けること。
6回	授業内容	プリント5P 目：＜venir＞の用例と，「第 2 群規則動詞」の活用と用例を説明
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント5P 目に目を通してくること。
	事後学修	＜venir＞の用例と，「第 2 群規則動詞」の活用と用例を覚えること。
7回	授業内容	プリント5P 目下段～6P 目：動詞＜faire＞と＜voir＞の活用と用例を説明
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント5P 目下段～6P 目に目を通してくること。
	事後学修	不規則動詞＜faire＞と＜voir＞の活用と用例をしっかり覚えること。
8回	授業内容	プリント6P 目下段：「補足」部分の説明と，後期中間試験に向けた総復習。
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント6P 目下段に目を通してくること。
	事後学修	プリント6P 目下段の内容を含めて，各自後期前半の総復習をすること。
9回	授業内容	後期中間試験
	事前学修	中間試験に向け，基本表現や「不規則動詞」の活用などを身に付けること。
	事後学修	試験後「解答」を配布するので，間違えた箇所を各自チェックしておくこと。
10回	授業内容	中間試験返却／解説。後期後半部分のプリントを配布：1P 目「時間表現」と，不規則動詞＜prendre＞（＝ take）の活用と用例を説明します。
	事前学修	
	事後学修	「時間表現」と，不規則動詞＜prendre＞の活用と用例を身に付けること。
11回	授業内容	プリント2P 目～3P 目：不規則動詞＜mettre＞と＜attendrer＞，および＜partir＞＜sortir＞の活用と用例を説明します。
	事前学修	付属の CD を聞きながら，プリント2P 目～3P 目に目を通してくること。
	事後学修	＜mettre＞＜attendrer＞，＜partir＞＜sortir＞の活用と用例を覚える
12回	授業内容	プリント4P：＜pouvoir＞＜vouloir＞＜devoir＞の活用と用例を説明。
	事前学修	付属の CD を聞きながら，プリント4P 目の内容に目を通してくること。
	事後学修	動詞＜pouvoir＞＜vouloir＞＜devoir＞の活用と用例を覚えること。
13回	授業内容	プリント5P ～6P 前半：動詞＜savoir＞＜connaître＞の活用・用法と，「複合過去形」の作り方を説明します。
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント5P ～6P 前半の内容に目を通してくること。
	事後学修	プリント5P ～6P 前半の内容をしっかり身に付けること。
14回	授業内容	プリント6P 後半～7P：「複合過去形」の用法と用例を説明します。
	事前学修	付属 CD を聞きながら，プリント6P 後半～7P の内容に目を通してくること。
	事後学修	授業で説明した「複合過去形」の用法と用例をしっかりと身に付けること。
15回	授業内容	後期期末試験
	事前学修	期末試験に向け，各自後期の内容を総復習してくること。
	事後学修	試験後「解答」を配布するので，各自間違えた箇所をよくフォローすること。

◆教科書　当日資料配布　前期同様，初回授業時に後期フランス語Ⅱの前半の学習内容を分かりやすくまとめた B4 判プリント（6P 綴り）を配布します［当然 CD 付き］
当日資料配布　10 回目授業時に，後期の後半部分の学習内容をまとめた7P 綴りのプリントを配布します［これも当然 CD 付き］

◆参考書　通材『フランス語Ⅰ　E10100』 通信教育教材（教材コード 000372）2,950 円（送料込）
〈この教材は市販の『新・ゼフィール』E.E.F.L.E.U.K（早美出版社）と同一です。〉
スクーリングの授業レベルを超えて＜仏検 3 級＞以上を目指そうとする人には文法面でお薦めです。
通材『フランス語Ⅱ　E10200』 通信教育教材（教材コード 000373）2,850 円（送料込）
〈この教材は市販の『フランス語基本 500 語』（財）フランス語教育振興協会（朝日出版社）と同一です。〉
同じく＜仏検 3 級＞以上を目指そうとする人には，単語面で非常に有用な参考書です。

◆成績評価基準　試験は中間と期末の 2 回行い，成績はこの試験の結果で判定します。なお試験は全問＜和文仏訳＞と＜ヒヤリング形式＞（＝原文を書き取ったのち和訳）で出題します。安直な和訳・穴埋め・択一等は一切出題しません。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔東洋思想史Ⅰ〕 オープン受講：不可　　本間　直人

◆授業概要　中国古代の哲学思想について概観します。授業で取り上げる書物は，中国古代の哲学思想において，極めて重要な思惟を展開しています。また，それぞれの哲学思想相互の内容的なつながりに留意しつつ，それぞれの哲学思想の特質を理解できることを心掛けます。

◆学修到達目標　中国古代の哲学思想を概観しながら，荀子，老子，荘子の思想を中心に理解を深めます。中国古代の哲学者・思想家たちの言葉は国を超え，時代を超え，現代を生きる我々に，生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに，研究の意義，必要性などについても学びます。（前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい）

◆授業方法　中国古代の哲学者・思想家たち，それぞれの哲学思想の特質をつかむことに留意しながら，発表形式で授業を行います。また，レポートのまとめ方についても指導します。授業は漢文の講読を含みますが，漢文に慣れ親しんでいない場合をも考慮し，無理のないように進めていきます。したがって，東洋思想に興味を持ちながら，漢文に対する抵抗感から，今まで本格的な学習を思いとどまっていた方の受講も歓迎します。

◆履修条件　2018 年度昼間・土曜スクーリング（後期）「東洋思想史Ⅰ」との積み重ね不可。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス　東洋思想史とは何か　荀子の思想について（人物・生涯）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
2回	授業内容	荀子の思想について（理論的思惟）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
3回	授業内容	荀子の思想について（定命論）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
4回	授業内容	荀子の思想について（礼）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
5回	授業内容	荀子の思想について（定命論的礼理論と宿命論的現象）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
6回	授業内容	荀子の思想について（定命論的礼理論の限界）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキスト，プリント，ノートなどで，荀子の思想についてまとめておくこと。
7回	授業内容	老子の思想について（〈道〉―真理・力―）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
8回	授業内容	老子の思想について（〈道〉への道程―修行―）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
9回	授業内容	老子の思想について（〈道〉の体現）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
10回	授業内容	老子の思想について（〈道〉の展開―市中の隠者―）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
11回	授業内容	老子の思想について（〈道〉の行為―〈無為〉―）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキスト，プリント，ノートなどで，老子の思想についてまとめておくこと。
12回	授業内容	荘子の思想について（人物・生涯）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
13回	授業内容	荘子の思想について（万物斉同）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキストを再読し，配布された資料とノートをよく見直しておくこと。
14回	授業内容	荘子の思想について（その人となり）
	事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。
	事後学修	テキスト，プリント，ノートなどで，荘子の思想についてまとめておくこと。
15回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	これまでにまとめた，荀子の思想，老子の思想，荘子の思想について再確認すること。
	事後学修	改めて，東洋思想史を学ぶ意義について考えてみること。

◆教科書　通材『東洋思想史Ⅰ　P20300』 通信教育教材（教材コード 000392）2,250 円（送料込）
〔当日資料配布〕 当日プリント配布　漢和辞典を用意してください。

◆参考書　指定しない。

◆成績評価基準　授業への取り組み（発表など）・レポート・テストにより総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経営学〕　山田　敏之

◆授業概要　我々は企業が提供する製品やサービスを利用することで日々の暮らしを豊かなものとしています。企業は我々の生活と密接に結びつく必要不可欠な存在なのです。そこで，本講義では，経営学の全体像と基礎的な考え方・方法論の解明に焦点を当てます。後期は経営組織，経営戦略の分野を取り上げます。経営組織では組織設計の原則，組織構造等のテーマを扱います。経営戦略では戦略の基礎，資源配分戦略，競争戦略等のテーマを扱います。

◆学修到達目標　(1)　新聞，雑誌，ニュース等で扱われる現実の企業行動を経営学の多角的な視点から分析し，自分の言葉で説明しながら，討議することができる。
(2)　経営組織の理論，考え方，手法を用いて，現代企業が直面する組織的な問題を分析し，自分の言葉で説明しながら，討議することができる。
(3)　経営戦略の理論，考え方，手法を用いて，現代企業が直面する戦略上の問題を分析し，自分の言葉で説明しながら，討議することができる。

◆授業方法　概ね指定したテキストに従い，黒板での板書を基本とした講義形式の授業を行います。具体的な企業経営のケース（事例）やグラフ等の関連資料については配布資料，パワーポイントを使用します。理論の説明とケース（事例）を組み合わせることで，より実践性の高い内容にしていきたいと思います。なお，講義の終了前に，その日の講義の内容あるいは企業経営に関する時事的な問題に関する小テストを毎回実施します。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	イントロダクション：授業の進め方，評価，経営学とは何か？まずは，本授業の進め方や評価方法等について説明する。次に，経営組織論と経営戦略論の概要，学習の意義等について解説する。
	事前学修	テキスト 13 ～ 17 頁を復習しておくと共に，20 ～ 34 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内容をノートにまとめ，テキストの該当部分を復習し，授業内容を理解しておくこと。
2回	授業内容	組織の定義と組織構造の規定要因　組織の定義，組織構造の特徴，組織構造を規定する要因（規模，技術，外部環境の特性）について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，テキスト 97 ～ 113 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，組織の定義，組織構造の特徴，組織構造を規定する要因（規模，技術，外部環境の特性）について説明できるようにしておくこと。
3回	授業内容	組織デザインの基本原則　組織設計の基本原理（分業と調整）を踏まえ，組織設計の際に考慮すべき伝統的な原則について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，テキスト 113 ～ 120 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，組織設計の基本原理である分業と調整及び伝統的な組織設計の諸原理について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
4回	授業内容	職能別組織と事業部制組織　組織構造の基本形として，職能別組織及び事業部制組織を取り上げ，概要，メリット・デメリット等について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，テキスト 120 ～ 134 頁をよく読んでおくこと。特に，図 3-2 及び図 3-3 で組織構造の基本形を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，職能別組織及び事業部制組織の概要，メリット・デメリット等について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
5回	授業内容	プロジェクト組織とマトリックス組織　組織構造の基本形として，プロジェクト組織とマトリックス組織を取り上げ，概要，メリット・デメリット等について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，テキスト 120 ～ 134 頁をよく読んでおくこと。特に，事業部制組織の弊害を復習すると共に，図 3-4 及び図 3-6 で組織構造の基本形を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，配布資料も確認しながら，プロジェクト組織とマトリックス組織の概要，メリット・デメリット等について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
6回	授業内容	カンパニー制と持株会社制　新しい組織構造のあり方として，カンパニー制と持株会社制を取り上げ，概要，メリット・デメリット等について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，配布資料に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，配布資料も確認しながら，カンパニー制と持株会社制の概要，メリット・デメリット等について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
7回	授業内容	組織文化の概念と機能　組織文化とは何か，組織文化の機能・逆機能，組織文化研究の変遷，組織文化の変革等について解説する。
	事前学修	組織構造の本質と問題点を復習し，テキスト 90 ～ 94 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，配布資料も確認しながら，組織文化の概念と機能，組織文化の変革等について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
8回	授業内容	経営戦略論の誕生と意義　経営戦略論の誕生，経営戦略の位置づけと役割，経営戦略の階層性といった経営戦略論の基本的な概念について解説する。
	事前学修	テキスト 29 ～ 46 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，配布資料も確認しながら，経営戦略論の誕生，経営戦略の位置づけと役割，経営戦略の階層性について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
9回	授業内容	企業ドメインの規定と課題　企業の全社戦略の中心テーマである企業ドメインの定義，機能，規定要因，ドメイン・コンセンサス等について解説する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，テキスト 188 ～ 212 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，企業ドメインの定義，機能，規定要因，ドメイン・コンセンサス等について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
10回	授業内容	経験曲線の概念と戦略指針　資源配分戦略の枠組みを構成する経験曲線の概念及び経験曲線に基づく経営戦略の方向性，問題点等について解説する。
	事前学修	テキスト 154 ～ 160 頁をよく読んで経験曲線の概要を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，経験曲線の概念，経験曲線効果の源泉を理解すると共に，経験曲線を活用した経営戦略の特徴と問題点について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。
11回	授業内容	製品ライフサイクルの概念と戦略的課題　資源配分戦略の枠組みを構成する製品ライフサイクルの概念とライフサイクルの各段階での経営戦略の課題について解説する。
	事前学修	配布資料に目を通し，製品ライフサイクルの概要について把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，製品ライフサイクルの概要，特に各段階におけるキャッシュ・フローのバランスと戦略的な課題について説明できるようにしておくこと。
12回	授業内容	PPM の枠組みと基本戦略　事業ポートフォリオ戦略の枠組み及び基本的な資源配分戦略の考え方について説明する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，テキスト 160 ～ 169 頁をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，事業ポートフォリオ戦略の枠組みを理解すると共に，資源配分の基本的な戦略及び分析的な戦略論の問題点について説明できるようにしておくこと。
13回	授業内容	業界構造分析の枠組み　競争戦略の基本的な考え方を踏まえた上で，ポーターの５つの競争要因を取り上げ，業界構造分析の枠組みと問題点について解説する。
	事前学修	テキスト 169 ～ 174 頁をよく読んでおくこと。特に，図 4-9 により業界構造分析の概要を把握しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，ポーターの５つの競争要因を挙げて業界構造分析の枠組みを説明できるようにしておくこと。さらに，具体的な業界を選び実際に業界構造分析によって特徴を把握できるようにしておくこと。
14回	授業内容	３つの基本戦略とスタック・イン・ザ・ミドル　ポーターの３つの基本戦略の概要を解説すると共に，スタック・イン・ザ・ミドル仮説について議論する。
	事前学修	前回の授業のノートを確認すると共に，テキスト 174 ～ 184 頁をよく読んでおくこと。特に，図 4-10 及び図 4-11 に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，３つの基本戦略の概要について，事例を挙げながら説明できるようにしておくこと。また，具体的な事例を用いてスタック・イン・ザ・ミドル仮説の妥当性を議論できるようにしておくこと。
15回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	授業のノート，配布資料を復習し，これまでの学習内容を理解しておくこと。
	事後学修	授業内容を再度確認・理解し，自己の学習成果を点検すること。

◆教科書　丸沼『経営学入門［上］（第２版）』　榊原清則　日本経済新聞出版社　928 円（税込）（送料 215 円）

◆参考書　『経営学イノベーション１　経営学入門　第２版』　十川廣國　中央経済社　図書館等をご利用下さい。
『経営学イノベーション２　経営戦略論　第２版』　十川廣國編著　中央経済社　図書館等をご利用下さい。
『経営学イノベーション３　経営組織論　第２版』　十川廣國編著　中央経済社　図書館等をご利用下さい。

◆成績評価基準　平常点（毎回の小テスト）（20%），試験（80%）。毎回出席することを前提として評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史概説 / 日本史概論〕　鍋本　由徳

◆授業概要　本科目では，①「日本史」とは何か，②原始・古代～現代までの歴史的変遷，③「歴史事実」の多様性への理解などを，世界のなかでの日本を意識しながら学び，「日本史」全体を考える技術と態度の修得をめざします。社会経済や文化を中心に据えながら，政治・外交の影響に関わる理解を深めます。

◆学修到達目標　1．日本史を知るため，全時代を通じた時代の流れを説明できるようにする。
2．各時代の社会運動や文化形成の背景や意義，着眼点について説明できるようにする。
3．将来教壇に立つ者として必要な知識と学修姿勢を身につける。

◆授業方法　事前に教科書で時代概要を把握していることを前提に講義します。当日の授業はプリント・スクリーン投影資料を併用しながら教科書の内容を補足し，適宜思考を促す発議をします。

◆履修条件　平成 30 年度昼間スクーリング（後期）「日本史概説」修得済の学生は履修不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	日本史概説の参考文献と辞典　「日本史概説」の目的，参考文献と辞典について学びます。
	事前学修	シラバスを熟読し，講義全体の流れをおさえておく。
	事後学修	各回の意図を振り返り，今後の自身の学修目標を立てる。
2回	授業内容	倭五王に至るまで　主に弥生時代における「クニ」「倭連合」の特徴について学びます。
	事前学修	教科書の倭王権の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
3回	授業内容	冊封体制と列島　～倭五王と飛鳥～　中国冊封体制下からの離脱をめぐる外交状況について学びます。
	事前学修	教科書の冊封に関わる範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
4回	授業内容	古代の歴史認識　～記紀の成立～　『古事記』『日本書紀』の成立事情と皇位継承の特徴について学びます。
	事前学修	教科書の古代文化の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
5回	授業内容	荘園制度と武士団の形成　～平氏政権～　武士の成立と土地制度，平氏政権の特徴について学びます。
	事前学修	教科書の平安時代政治史を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
6回	授業内容	元寇と得宗体制　～徳政～　元寇前後における得宗政治の特徴と，徳政の意義について学びます。
	事前学修	教科書の鎌倉時代政治史の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
7回	授業内容	室町幕府と「日本国王」　～政治と外交～　足利義満がなぜ冊封されるのかを，東アジア情勢から学びます。
	事前学修	教科書の中世後期アジアと日本の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
8回	授業内容	中世文化　～鎌倉・室町～　院政期から東山文化までの文化的特徴を学びます。
	事前学修	教科書の中世文化の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
9回	授業内容	戦国社会と近世社会　～中世から近世へ～　中世と近世の村の違い，兵農分離政策から移行期の特徴を学びます。
	事前学修	教科書の近世朝廷に関わる範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
10回	授業内容	三大改革と江戸文化　～幕府政治と社会の変容～　三大改革と文化の流れから，江戸時代の社会変容の意味を学びます。
	事前学修	教科書の幕藩体制の確立・動揺の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
11回	授業内容	明治時代の政治・社会運動　～自由民権運動の展開～　自由民権運動の展開とのちの普通選挙運動を導く社会背景を学びます。
	事前学修	教科書の自由民権運動と議会の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
12回	授業内容	米騒動と都市での憂い　～大正の世相～　大戦景気・不況と都市問題，米騒動の背景と情報統制について学びます。
	事前学修	教科書の近代社会運動に関わる範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
13回	授業内容	太平洋戦争と国民生活　～国民文化と大衆文化～　国民の文化理解と国策としての文化政策とのせめぎあいを学びます。
	事前学修	教科書の太平洋戦争の範囲を読み，事前シートに取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
14回	授業内容	新たな日本へ　～東西冷戦と高度経済成長～　戦後の高度経済成長や社会運動について東西冷戦を踏まえて学びます。
	事前学修	教科書の高度経済成長の範囲を読み，事前シートの課題に取り組む。
	事後学修	ノートと教科書を見返し，自己理解が低い箇所を重点的に復習する
15回	授業内容	講義総括　日本史概説の振り返りと今後の課題　第１回から第 14 回を総括して，自己理解度を改めて振り返ります。
	事前学修	第１回から第 14 回の学修内容の要点をまとめておく。
	事後学修	当日配付されたプリントから自身の弱点を知り，重点復習箇所を確認する。

◆教科書　通材『日本史概説 / 日本史概論　Q30200/K32200』通信教育教材（教材コード　000382）2,850 円（送料込）
〈この教材は市販の『概論日本歴史』佐々木潤之介（吉川弘文館）と同一です。〉
当日資料配布　参照プリントを１～２枚配付

◆参考書　配布プリントで適宜紹介する

◆成績評価基準　授業内提出レポート（70%），授業内小テスト（30%）　の総合評価　※ 15 回全出席を前提とした評価です。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔経済学〕　谷川　孝美

◆授業概要　日々のニュースでは，GDP，経済成長率，国際収支など，さまざまな経済に関する事柄が報じられています。この講義では，経済学概論などの経済学関連の科目の入門および基礎として，一国における経済を対象とする国民所得の決定，金融財政政策の有効性などについて，基本的な事柄や内容および基礎理論を理解し，現代の社会問題について，経済を通して考える基礎を養うことを目的とします。

◆学修到達目標　経済学関連の基礎および入門として，マクロ経済学に関する基本的な事柄や基礎理論に関連する以下のことを目標とする。

1．経済学の基本的な見方，考え方を理解し，説明できるようになる。
2．GDP，失業，インフレーションなどマクロ経済に関する基礎を理解し，説明できるようになる。
3．金融政策，財政政策による経済への影響に関する基本的な考えを理解し，説明できるようになる。

◆授業方法　授業計画にそって，パワーポイントを利用した講義形式で行います。講義では基礎的な事柄を中心に，平易な解説をする予定です。講義の進行状況によって授業計画が前後することもあります。なお，マクロ経済学を中心としますので，ミクロ経済学の詳細については取り扱いません。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・経済学の対象と課題
	事前学修	教科書と指定しているテキスト第 1 章第 1 節をよく読んでおくこと。
	事後学修	授業内で用いられた専門用語や説明を確認し，理解すること。
2回	授業内容	経済学の主要な概念　トレードオフ，インセンティブ，交換
	事前学修	テキスト第 1 章第 1 節をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
3回	授業内容	ミクロ経済学とマクロ経済学
	事前学修	テキスト第 1 章第 2，3 節をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
4回	授業内容	GDP（国内総生産），国内総生産における三面等価の原則
	事前学修	テキスト第 8 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
5回	授業内容	総需要と総供給
	事前学修	テキスト第 8 章をよく読むこと。また，前回の講義を再確認すること。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
6回	授業内容	貯蓄，投資，資本市場
	事前学修	テキスト第 8 章をよく読むこと。また，第 4，5 回の講義を再確認すること。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
7回	授業内容	一般均衡モデル
	事前学修	テキスト第 8 章をよく読むこと。また，第 4，5，6 回の講義を再確認すること。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
8回	授業内容	経済成長，生産性
	事前学修	テキスト第 9 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
9回	授業内容	失業とマクロ経済学
	事前学修	テキスト第 10 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
10 回	授業内容	インフレーションと金融政策
	事前学修	テキスト第 11 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
11 回	授業内容	金融政策のマクロ経済への影響
	事前学修	テキスト第 11 章をよく読むこと。また，第 10 回の講義を再確認すること。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
12 回	授業内容	財政政策のマクロ経済への影響
	事前学修	テキスト第 11 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
13 回	授業内容	グローバル危機，世界的な金融経済危機
	事前学修	テキスト第 12 章をよく読んでおくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認すること。
14 回	授業内容	理解度の確認
	事前学修	予め配布された資料を熟読し，内容を確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書などで，講義内容をよく確認し理解すること。
15 回	授業内容	試験および解説
	事前学修	前回の講義時に説明した内容を良く確認し理解しておくこと。
	事後学修	前期の授業内容を再確認し，理解を深めること。

◆教科書　丸沼『スティグリッツ入門経済学第 4 版』 ジョセフ・E・スティグリッツ，カール・E・ウォルシュ著　藪下史郎訳　東洋経済新報社　3,024 円（税込）（送料 500 円）

◆参考書　通材『経済学　B11800』 通信教育教材（教材コード 000450）2,250 円（送料込）

◆成績評価基準　毎回出席することを前提として，最終試験を中心に授業への取り組み，平常点などにより総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔TOEIC　B〕　大庭　香江

◆授業概要　TOEIC テストの 350 点レベルを対象とした授業。リスニングセクションとリーディングセクション，それぞれの練習問題を解き，答え合わせの後，解説を行なう。

◆学修到達目標　TOEIC テストの，リスニングセクション Part1，Part2，Part3，Part4，リーディングセクション Part5，Part6，Part7，それぞれの問題の出題傾向と対策を分析して，理解し，350 点レベルの問題を解けるようになることを目標とする。

◆授業方法　各自，事前に，リスニングセクションは CD を聞き，リーディングセクションは辞書で意味調べをして問題を解き，予習をしておくこと。授業時には，まず答え合わせを行ない，CD でリスニングセクションの音声を確認した後，解説を行う。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Unit 1
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
2回	授業内容	Unit 2
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
3回	授業内容	Unit 3
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
4回	授業内容	Unit 4
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
5回	授業内容	Unit 5
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
6回	授業内容	Unit 6
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
7回	授業内容	Unit 7
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
8回	授業内容	Unit 8
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
9回	授業内容	Unit 9
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
10 回	授業内容	Unit 10
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
11 回	授業内容	Unit 11
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
12 回	授業内容	Unit 12
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
13 回	授業内容	Review 1
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
14 回	授業内容	Review 2
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習
15 回	授業内容	まとめと Test
	事前学修	練習問題を解く
	事後学修	問題の復習

◆教科書　丸沼『Key Strategies for Success on the TOEIC L&R Test』 西谷他著　朝日出版社
1,944 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔イギリス文学史Ⅱ〕　猪野　恵也

◆授業概要　E.M.Forster の時代から現代のポストコロニアル文学に至るまでの代表的な作家及び作品を紹介し考察する。時と場所があまりにも違うので作品鑑賞に必要な想像力を育むために映画化されたものを一部観ていく。

◆学修到達目標　1．時代における代表的な作家と作品に触れることができる。
2．英文の抜粋を少し読むので様々な文体の英語に触れることができる。
3．作品の解釈の仕方を知ることができる。

◆授業方法　プリントを用いて（枚数多し）時代背景，各作家の生涯及び代表的な作品に触れ，作品を一つ選び読んでいく。時間が余れば，作家や作品を追加したい。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期及び後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	E.M.Forster 及び *Howards End*
	事前学修	イギリス文学史において E.M.Forster について学修しておく。
	事後学修	*Howards End* を原文で読む。
2回	授業内容	D.H.Lawrence 及び *Lady Chatterley's Lover*
	事前学修	イギリス文学史において D.H.Lawrence について学修しておく。
	事後学修	*Lady Chatterley's Lover* を原文で読む。
3回	授業内容	George Owell 及び *1984*
	事前学修	イギリス文学史において George Owell について学修しておく。
	事後学修	*1984* を原文で読む。
4回	授業内容	Virginia Woolf 及び *Mrs Dalloway*
	事前学修	イギリス文学史において Virginia Woolf について学修しておく。
	事後学修	*Mrs Dalloway* を原文で読む。柴田徹士先生の注釈を参考にするとよい。
5回	授業内容	James Joyce 及び *Ulysses* など
	事前学修	イギリス文学史において James Joyce について学修しておく。
	事後学修	*Dubliners*，*A Portrait of the Artist as a Young Man* を原文で読む。
6回	授業内容	H.G.Wells 及び *The Invisible Man* など
	事前学修	イギリス文学史において H.G.Wells について学修しておく。
	事後学修	*The Invisible Man* などを原文で読む。
7回	授業内容	T.S.Eliot 及び *The Waste Land*
	事前学修	イギリス文学史において T.S.Eliot について学修しておく。
	事後学修	*The Waste Land* や Eliot による批評を原文で読む。
8回	授業内容	William Somerset Maugham 及び *The Moon and Six Pence*
	事前学修	イギリス文学史において Maugham について学修しておく。
	事後学修	*The Moon and Six Pence* を原文で読む。
9回	授業内容	Evelyn Waugh 及び *Brideshead Revisited*
	事前学修	イギリス文学史において Evelyn Waugh について学修しておく。
	事後学修	*Brideshead Revisited* を原文で読む。
10回	授業内容	Graham Greene 及び *Brighton Rock* など
	事前学修	イギリス文学史において Graham Greene について学修しておく。
	事後学修	*Brighton Rock* などを原文で読む。映画「第三の男」を観る。
11回	授業内容	William Golding 及び *Lord of the Flies*
	事前学修	イギリス文学史において William Golding について学修しておく。
	事後学修	*Lord of the Flies* を原文で読む。
12回	授業内容	Kazuo Ishigro 及び *Never Let Me Go*
	事前学修	イギリス文学史において Kazuo Ishgro について学修しておく。
	事後学修	*Never Let Me Go* を原文で読む。
13回	授業内容	John McGahern 及び *Amongst Women*
	事前学修	アイルランド文学史において John McGahern について学修しておく。
	事後学修	*Amongst Women* を原文で読む。短編集もあるのでそれらを読む。
14回	授業内容	Ian McEwan 及び *Atonement*
	事前学修	イギリス文学史において Ian McEwan について学修しておく。
	事後学修	*Atonement* を原文で読む。
15回	授業内容	試験
	事前学修	前回までの授業内容をじゅうぶん時間をかけて復習する。
	事後学修	イギリス文学史を改めて読み，読んでいない作品を原文で読む。

◆教科書　当日資料配布　プリント

◆参考書　通材『イギリス文学史Ⅱ　N30100』 通信教育教材（教材コード 000112）3,200 円（送料込）
丸沼『イギリス文学史』 川崎寿彦著　成美堂　2,592 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準　試験（70%） 平常点（30%） 皆出席を前提として評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔西洋思想史Ⅰ〕　関谷　雄磨

◆授業概要　「西洋思想史Ⅰ」では，西洋の学問の原点ともいえる古代ギリシア・ローマの思想，およびそれと密接な関連にある中世の思想を歴史的展開に沿って学びます。彼らが一体どのような問題意識を持ち，どのような答えを見出してきたのかを学んでいきます。なお，それらの思想は西洋文化全般の要となる基礎的な教養となっており，それらを学ぶことによって，価値観が多様化する現代を見つめる視座を獲得する一助となるよう心掛けます。

◆学修到達目標　古代ギリシア（古典期以降）・ローマおよび中世の思想を，主に「幸福」の問題を軸に歴史的展開に沿って学びます。私たちの多くは漠然と「幸福になりたい」と考えて生きているように思いますが，その一方で，「そもそも幸福とは一体どのようなことなのか」という根本的なことについては，あまり突き詰めて考えないように思います。本講座では主に，この問いに対して古代の思想家たちがどのような答えを見出してきたのかを学び，皆さん自身が幸福観を確立する上での基礎を作ることを目標とします。

◆授業方法　授業は，配布プリントを用いて講義形式で行います。本講座では，古代ギリシア古典期からルネッサンスまでの様々な人物が登場しますが，理論としての思想だけでなく，彼らのエピソードや人物像をできるかぎり紹介し，なるべくリアリティのある授業を行いたいと思います。

◆履修条件　前期のみ，後期のみの受講も認めますが，学習効果を上げるため，なるべく前期･後期と通して受講してください。また，平成 30 年度昼間スクーリング（後期）「西洋思想史Ⅰ」との積み重ねを不可とします。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンスおよび古典期までのギリシア
	事前学修	哲学史の参考書を用いて，ソクラテス登場以前までの思想の流れを大まかに把握しておくこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，古典期までのギリシアの歴史と思想を振り返ること
2回	授業内容	ソクラテス・プラトン＜魂の思想＞
	事前学修	哲学史の参考書の「ソクラテス」および「プラトン」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，ソクラテスおよびプラトンの思想を振り返ること
3回	授業内容	アリストテレス＜目的論的世界観と活動説＞
	事前学修	哲学史の参考書の「アリストテレス」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，アリストテレスの思想を振り返ること
4回	授業内容	キュレネ派＜快楽主義の哲学＞
	事前学修	哲学史の参考書の「キュレネ派」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，キュレネ派の思想を振り返ること
5回	授業内容	キュニコス派＜質実剛健と自足の哲学＞
	事前学修	哲学史の参考書の「キュニコス派」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，キュニコス派の思想を振り返ること
6回	授業内容	エピクロス派＜心の平安の哲学＞
	事前学修	哲学史の参考書の「エピクロス派」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，エピクロス派の思想を振り返ること
7回	授業内容	古期ストア派＜不動心の哲学＞
	事前学修	哲学史の参考書の「古期ストア派」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，古期ストア派の思想を振り返ること
8回	授業内容	古代ローマの哲学 1 ＜古代ローマとセネカ＞
	事前学修	哲学史の参考書の「セネカ」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，古代ローマの文化およびセネカの思想を振り返ること
9回	授業内容	古代ローマの哲学 2 ＜エピクテトス，マルクス・アウレリウス，プロティノス＞
	事前学修	哲学史の参考書の「エピクテトス，マルクス・アウレリウス，プロティノス」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，エピクテトス，マルクス・アウレリウス，プロティノスの思想を振り返ること
10 回	授業内容	キリスト教＜「愛」の思想＞
	事前学修	哲学史の参考書の「キリスト教」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，キリスト教の思想を振り返ること
11 回	授業内容	アウグスティヌス＜「罪」からの救い＞
	事前学修	哲学史の参考書の「アウグスティヌス」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，アウグスティヌスの思想を振り返ること
12 回	授業内容	中世哲学概説＜信仰と理性の問題＞
	事前学修	哲学史の参考書の「中世哲学」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，中世の思想の流れを振り返ること
13 回	授業内容	ルネッサンス＜エピローグ―神々中心の世界観から人間中心の世界観へ―＞
	事前学修	哲学史の参考書の「ルネッサンス」の箇所を読むこと
	事後学修	配布プリントに基づいて，ルネッサンスの文化について振り返ること
14 回	授業内容	総まとめ（質問コーナー）
	事前学修	全回を振り返り，疑問点を整理しておくこと
	事後学修	話題になったことがらを振り返り，理解を深めておくこと
15 回	授業内容	試験と振り返り
	事前学修	試験範囲についての理解を深めておくこと
	事後学修	試験範囲以外の部分についての理解を深めておくこと

◆教科書　当日資料配布　授業の概要プリント

◆参考書　通材『哲学　B10700』 通信教育教材（教材コード 000404）3,650 円（送料込）
〈この教材は，『西洋思想の要諦周覧』嘉吉・齋藤共編（北樹出版）と同一です。〉
通材『西洋思想史Ⅰ　P20200』 通信教育教材（教材コード 000569）4,050 円（送料込）
〈この教材は市販の『西洋哲学史［古代・中世編］フィロソフィアの源流と伝統』と同一です。〉
（例えば上記のような哲学史の参考書が一冊手元にあるとよいでしょう。）

◆成績評価基準　最終回に実施する試験によって評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英語 L〕★★☆　　石川　勝

◆授業概要　初級レベルだが，あくまで大学レベルである。基本的な文法の説明を行ったうえで，英文を読んでいく。テキストはヨーロッパの文化について書かれたものである。

◆学修到達目標　基本的な英文法を理解した上でそれを活用し比較的容易な英文を正確に訳せるようになることを目標とする。

◆授業方法　先に文法の説明を行い，その後でテキストを読み進めていく。アトランダムに指名するので必ず予習した上で出席すること。2回予習していない場合は不可とする。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	五文型
	事前学修	テキストの購入
	事後学修	授業内容の整理
2回	授業内容	五文型とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
3回	授業内容	不定詞とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
4回	授業内容	関係代名詞とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
5回	授業内容	that 節とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
6回	授業内容	Ing とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
7回	授業内容	テキストの訳，小テスト
	事前学修	試験勉強
	事後学修	課題の復習
8回	授業内容	仮定法とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
9回	授業内容	過去分詞とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
10回	授業内容	発音記号とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
11回	授業内容	五文型の復習とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
12回	授業内容	五文型の復習とテキストの訳
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
13回	授業内容	文法のおさらい
	事前学修	テキストの予習
	事後学修	訳の修正
14回	授業内容	テキストの訳，小テスト
	事前学修	試験勉強
	事後学修	課題の復習
15回	授業内容	課題の克服
	事前学修	自分で課題を見つける
	事後学修	課題の復習

◆教科書　丸沼『ヨーロッパの国と人々』 金星堂　2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし。

◆成績評価基準　2回の小テストの結果で決める。4回欠席した場合不可とする。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔政治学原論〕　吉野　篤

◆授業概要　現代の政治過程に関するアクター分析および 20 世紀の政治研究の進化について概説し，政治学の学問的性格をフォローする

◆学修到達目標　政治研究のターゲットがいかなるものなのか，また，政治学の他の社会科学との違い，特異性を理解し，合わせて政治をどのように理解すればいいのかを修得することを目標とする

◆授業方法　基本的には講義形式で行い，時宜に応じて主として新聞報道を素材として現在のジャーナルな政治問題を取り上げ，ともに考える機会を設ける

◆履修条件　前期に履修していることが望ましい

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	政治過程論の概説
	事前学修	大衆社会での政治状況に関して知識を確認すること
	事後学修	論点を整理し，ノートを整序すること
2回	授業内容	政治過程のアクター分析　政党
	事前学修	テキストの該当箇所を熟読すること
	事後学修	論点を確認しノートを改めて整理すること
3回	授業内容	政党システムの類型
	事前学修	テキストの該当箇所を熟読すること
	事後学修	論点を整理してノートを整序すること
4回	授業内容	選挙と選挙制度
	事前学修	テキストの該当箇所を熟読すること
	事後学修	論点を改めて確認し，ノートを整序すること
5回	授業内容	20 世紀アメリカの政治研究概論
	事前学修	テキストの該当箇所を熟読すること
	事後学修	論点整理を行うこと
6回	授業内容	ベントレーの政治過程論
	事前学修	20 世紀初頭のアメリカの状況について知識を仕入れること
	事後学修	論点を整理すること
7回	授業内容	シカゴ学派の立場と研究例
	事前学修	テキストの該当箇所を確認すること
	事後学修	論点を整理しノートを整序すること
8回	授業内容	行動論政治学の特質
	事前学修	テキストの該当箇所を確認し熟読すること
	事後学修	論点を整理しノートを改めて確認すること
9回	授業内容	イーストンの政治システム論
	事前学修	政治システムの考え方について事前に調べること
	事後学修	全体像を整理すること
10回	授業内容	脱行動論革命
	事前学修	テキストの該当箇所を熟読すること
	事後学修	論点を整理すること
11回	授業内容	行動論以後の政治研究の傾向
	事前学修	テキストの該当箇所を事前にチェックすること
	事後学修	ノートを改めて整序すること
12回	授業内容	新制度論の総論
	事前学修	テキストの該当箇所をチェックすること
	事後学修	政治制度について改めて調べ考察すること
13回	授業内容	歴史的制度論の展開
	事前学修	テキストの該当箇所をチェックすること
	事後学修	論点を改めて整理すること
14回	授業内容	合理的選択制度論の概要
	事前学修	テキストの該当箇所をチェックすること
	事後学修	論点を改めて整理すること
15回	授業内容	社会学的制度論の概要
	事前学修	テキストの該当箇所をチェックすること
	事後学修	制度論全体について改めて整理すること

◆教科書　丸沼『政治学　第2版』　吉野篤編　弘文堂　2018 年　2,160 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　講義の際に適宜　指示する

◆成績評価基準　定期試験が基本　場合によって出席を加味する

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔英作文Ⅰ〕　大庭　香江

◆授業概要　アカデミック・プレゼンテーションとはどの様なものかを知り，構造分析と，スタイルの分類を行ない，効果の違いについて学びます。

◆学修到達目標　アカデミック・プレゼンテーションのための英文原稿の構造を学び，オーディエンスに分かりやすいプレゼンテーション原稿と，アブストラクトを作成できるようになることを目標とします。

◆授業方法　プレゼンテーションの種類と目的から学び始めます。スタイルと効果を学び，アブストラクトを書きます。その後，Introduction，Body，Conclusion の順に書いていきます。実際に声に出して読み，オーディエンスに分かりやすい原稿に仕上げます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	Academic Presentations への誘い
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
2回	授業内容	Academic Presentations: 種類と目的
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
3回	授業内容	Presentations: スタイルと効果
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
4回	授業内容	Abstract の執筆
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いてアブストラクトを書く
5回	授業内容	Presentation manuscript の執筆：(1) Introduction
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて Introduction の部分を書く
6回	授業内容	Presentation manuscript の執筆：(2) Body
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて Body の部分を書く
7回	授業内容	Presentation manuscript の執筆：(3) Conclusion
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて Conclusion の部分を書く
8回	授業内容	Chunking の記憶法
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
9回	授業内容	Visuals（スライド）の作成
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
10回	授業内容	Delivery &Pronunciation をわかりやすく
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
11回	授業内容	Questions &Answers: 基礎編
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
12回	授業内容	Questions &Answers: 応用編(1)
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
13回	授業内容	Questions &Answers: 応用編(2)
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
14回	授業内容	Next steps
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう
15回	授業内容	まとめと試験，解説
	事前学修	テキストの解説を読む
	事後学修	その課で学んだスキルを用いて英作文を行なう

◆教科書　丸沼『Steps to Academic Presentations』 武田礼子他著　英宝社　2,052 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　試験，及び，プレゼンテーション原稿の評価

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学基礎講読〕　石井　友人

◆授業概要　17 世紀西洋思想の古典であるアルノー，ニコル共著『論理学，別名思考の技法』を，第四部「方法」を中心に読んでいきます。第四部は，デカルト『方法序説』の影響下に執筆されており，方法を重視した近代合理主義を代表するものであると言えます。著者たちは，懐疑と盲信という両極に裂かれた時代に，どちらにも陥らずに正しく判断し，私たちの生を導くための「方法」を探求しました。本講義では，彼らが見出した，学問と生とを導く方法がどのようなものであったのかについて読解していきます。

◆学修到達目標　『論理学，別名思考の技法』の読解を通して，西洋哲学の基本用語と問題意識を学び，基礎的な哲学書を独力で読んでいくための力を身につけていく事を目的とします。また，併せて，近代的な人間の思考法の特質を理解することを目的とします。

◆授業方法　教科書と配布プリントにより講義形式で行いますが，質疑応答を取り入れ，受講者からの積極的な参加を期待します。最初は，内容を大づかみにしながら読んでいきます。本文が分かりにくい場合は，部分的に，デカルトたちのより分かりやすいテクストに切り替えるなど，内容把握を優先します。何回かは，教科書を離れて，哲学史的な背景を説明する事にさく予定です。（講読の進度によっては授業計画を変更することもある）。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	懐疑（不信）と盲信について　確実な知識と蓋然的な知識，学的知識とは何か
	事前学修	『論理学，別名思考の技法』第一序説，第四部第十四章の冒頭部分の懐疑と盲信についての議論に目を通しておくこと。また第四部第一章がいくつの話題から成るか，段落分けしておくこと。
	事後学修	学的知識の定義を確認しておくこと。
2回	授業内容	学的知識は存在するのか？
	事前学修	懐疑論についてどのような議論がなされているのか確認しておくこと。
	事後学修	知性や精神，感覚について述べられていたことを確認しておくこと。
3回	授業内容	学的知識に限界はあるか？　デカルトの方法的懐疑について　アルノーは方法的懐疑を共有するのか？
	事前学修	学的知識の分類について確認しておくこと。
	事後学修	デカルトの方法的懐疑の特徴についてまとめておくこと。
4回	授業内容	二種類の学問の方法　分析と総合　デカルトの方法について
	事前学修	第四部第二章を読んでおくこと。この章の大部分はデカルトの『精神指導の規則』第十三規則の原稿がそのまま用いられている。岩波文庫等の同書の訳本で理解を補っておくこと。
	事後学修	分析の方法についてまとめておくこと
5回	授業内容	総合について，名前の定義と事物の定義
	事前学修	第四部第三章，第四章，第五章を読んでおくこと，また，第一部第十一章から第十三章，第二部第十六章も確認しておくこと。
	事後学修	名前の定義と事物の定義について，『論理学』全体でどのような議論がなされているのかまとめておくこと。
6回	授業内容	総合について，公理，証明の諸規則，その欠点
	事前学修	第四部第六章から第十章まで読んでおくこと。
	事後学修	総合について，定義，公理，証明の諸規則を確認しておくこと。
7回	授業内容	つづき，また学問の方法の統括，その主要規則
	事前学修	前回の部分と第十一章を読んでおくこと。
	事後学修	学問の方法のまとめ的な部分であるから，それら諸規則の意図するところを確認しておくこと。
8回	授業内容	独力で獲得できる知識から保証者への信頼に依拠する知識へ　即ち，学的知識から生を導く知識へ，蓋然的知識の方法について
	事前学修	第四部第十二章，第十三章を読んでおくこと。
	事後学修	これら二種類の知識の違いを，その特徴をあげてまとめておくこと。
9回	授業内容	蓋然的知識の方法Ⅰ．人間への信頼に依拠する判断の諸規則（過去について）
	事前学修	第四部第十三章を読んでおくこと。
	事後学修	同テーマの第十四章，第十五章まで読んで確認しておくこと。
10回	授業内容	知識の諸規則に反する諸推理について考える。ソフィスト的議論について。
	事前学修	第三部第十九章を読んでおくこと。
	事後学修	ソフィスト的議論について身の回りの例で考えておくと良い。
11回	授業内容	ソフィスト的議論の続き，時間があれば両刀論法（ディレンマ）についても読んでいく。
	事前学修	前回の部分と第三部第十六章を読んでおくこと。
	事後学修	ソフィスト的議論やディレンマについて身の回りの例で考えてみること。
12回	授業内容	日常生活における誤謬推理，自尊心について。
	事前学修	第三部第二十章を読んでおくこと。第一部第十章についても確認しておくのが良い。
	事後学修	論理学とは何か考えてみること。
13回	授業内容	前回の続き，自尊心について，オネット・オムの思想について。
	事前学修	第三部第二十章を読んでおくこと。
	事後学修	自尊心をアルノーはどう評価しているのか，オネット・オムとはどのような人間の事かまとめておくこと。
14回	授業内容	蓋然的知識の方法Ⅱ．未来の偶然的出来事についての判断の諸規則　比例（確率）について。
	事前学修	第四部第十六章を読んで，段落分けをした上で，前半と後半の議論の関係を考えておくこと。
	事後学修	第四部第十六章の前半後半の議論の関係を説明できるようにしておくこと。
15回	授業内容	試験（リポートに変更することもあります）
	事前学修	試験範囲はあらかじめ告知する。教科書の範囲を資料と合わせて熟読し，あらかじめノートに要点を整理しておくことが望ましい。
	事後学修	アルノーの特色は，デカルトが考えなかった蓋然知の方法を考えたことにあります。歴史的な出来事の真偽やネット上の話題など実例を考えてみて下さい。

◆教科書　**適材**『哲学基礎講読　P20100』 通信教育教材（教材コード 000042）4,000 円（送料込）

◆参考書　講義の中で紹介します

◆成績評価基準　試験（リポートへの変更の場合もある）と授業への参加度により総合的に評価

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔市場調査論〕　最上　健児

◆授業概要　線形回帰分析を踏まえ，その拡張として理解することのできる，非線形回帰分析を紹介する。具体的には指数モデル，ロジスティック回帰分析を取り扱い，最終的にはロジットモデルを紹介する。ロジットモデルはマーケティング固有のモデルであり，極めて重要なモデルとなる。本講義では「仮定」のもたらす「結論」への影響を意識し，ロジットモデルの優位性を確認していく。

◆学修到達目標　仮定により結論が異なることを知る。
指数モデルの推定を行える。
ロジスティック回帰分析の推定が行える。
ロジットモデルを数学的に理解する。

◆授業方法　前提となる知識を紹介し，目の前で式を展開して結論を導く過程を確認していく。目の前の式をめて確認することは当然であるが，その内容を単に写すのではなく，自らの手で式を展開することを期待する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	x^n の微分
	事前学修	「導関数の定義」
	事後学修	「二項定理」「$f'(x^n)$」
2回	授業内容	指数と対数
	事前学修	
	事後学修	「指数法則」「対数の指数法則」「対数変換」
3回	授業内容	需要の価格弾力性
	事前学修	「線形回帰分析」
	事後学修	「$f'(x^n)$」「対数変換」
4回	授業内容	ロジスティック曲線の紹介
	事前学修	「e の定義」「指数法則」
	事後学修	「ロジスティック変換」
5回	授業内容	ロジスティック変換によるパラメータ推定
	事前学修	「線形回帰分析」
	事後学修	「ロジスティック回帰分析と線形回帰分析」
6回	授業内容	尤度関数と対数尤度関数
	事前学修	「指数関数の性質」
	事後学修	「対数尤度関数の形状」
7回	授業内容	ロジスティック回帰分析のパラメータの意味
	事前学修	「線形回帰分析におけるパラメータ意味」
	事後学修	「対数オッズ」「オッズ」「オッズ比」
8回	授業内容	ロジスティック回帰分析の多変数化
	事前学修	「重回帰分析「ロジスティック回帰分析」」
	事後学修	「相互作用の分析」「ランクロジット」
9回	授業内容	対数変換時の注意事項
	事前学修	「対数の性質」
	事後学修	「真数が 0 限りになく近い場合の対数値」
10回	授業内容	ロジットモデル
	事前学修	「ロジスティック回帰分析」
	事後学修	「ロジットモデルによる選択確率の推定」
11回	授業内容	第一種極値分析の分布関数と密度関数
	事前学修	「微分」
	事後学修	「exp(x)の微分」「合成関数の微分」
12回	授業内容	二項ロジットモデルの確率的部分
	事前学修	「第一種極値分析の分布関数と密度関数」「分布関数と密度関数の関係」
	事後学修	「ロジットモデルの導出」
13回	授業内容	二項ロジットモデルの確定的部分
	事前学修	「ロジスティック曲線」「指数法則」
	事後学修	「二項ロジットとロジスティック回帰分析の違い」
14回	授業内容	ロジットモデルの多変数化
	事前学修	「ダミー変数」
	事後学修	「二項ロジットとロジスティック回帰分析の違い」
15回	授業内容	多項ロジットモデル
	事前学修	「二項ロジットモデル」
	事後学修	「多項ロジットモデルの限界」

◆教科書　ネットにより配信する。
http://mogami-labo.sakura.ne.jp/

◆参考書　特になし

◆成績評価基準　レポートにより評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔道徳教育の理論と方法 / 道徳教育の研究〕 オープン受講：不可

李（イ） 吉魯（ギロ）

◆授業概要　この授業では，道徳の意義や原理などを踏まえ，学校における道徳教育の目標や内容を理解する。また，学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法などを幅広く理解する。さらに，授業中に配布する資料や各種のデータ・映像などを用いて教育の問題に対する理解を深めるとともに，受講生どうしの「話し合い」を通じて，多様な考え方を共有する場としたい。

◆学修到達目標　1．道徳及び道徳教育，道徳性，道徳科の指導，評価等の意義を理解し，学校教育の中でこれらが，どのように位置づけられているのかを説明できる。
2．学習指導要領に基づいて道徳に関する諸概念の検討，道徳教育の歴史的背景，道徳教育の指導計画など，道徳の授業実践に役立つ基本的な事項について理解できる。
3．学習指導案の作成を通して，教師としての求められる資質・能力を養うことができる。

◆授業方法　授業方法は講義形式による説明と，模擬授業・グループワークで行う。模擬授業は 30 分程度で全員必ず行う。また授業時に作成したリアクションペーパーを含め，課題やレポートについてはフィードバックを行う。そのため，受講生には積極的な意見や考え方などを求める。受講者は教職への強い志をもって受講してほしい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス（授業の進め方・道徳や道徳教育とは何か）　まずは，授業の進め方を説明する。次に，道徳や道徳教育とは何かを整理し，学校における道徳教育の重要性について解説する。
	事前学修	シラバスをよく読んでおくこと。
	事後学修	授業の復習。配布資料を読んで，道徳教育の目標と内容を理解しておくこと。
2回	授業内容	道徳教育の必要性　教育の役割を踏まえて，道徳性とは何か，人間が道徳性の涵養によって何ができるか，どう生きるべきかを考える。
	事前学修	道徳と学校教育との関係について把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。道徳性と人間発達との関連性について整理しておくこと。
3回	授業内容	道徳性の発達理論　ピアジェ（Piaget，Jean1896-1980）やコールバーグ（Kohiberg，Lawrence 1927-1987）などの道徳性発達理論について解説する。
	事前学修	道徳性の発達理論について，その意義と内容を把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。コールバーグと日本の道徳教育との関係について整理しておくこと。
4回	授業内容	道徳教育の指導計画と実践　教育基本法と学校教育法に基づく道徳教育の役割を説明するとともに，道徳教育の全体計画と年間指導計画等を解説する。
	事前学修	教育基本法と学校教育法の内容を把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。学校教育における道徳教育の意義及び位置づけについて整理しておくこと。
5回	授業内容	戦前の道徳教育　道徳教育を担った「修身」が天皇制国家主義にもとづいた戦前の教育を根底から支えるに至った過程について解説する。
	事前学修	特設された「道徳の時間」の内容を把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。天皇制公教育と修身との関係について理解しておくこと。
6回	授業内容	戦後の道徳教育　「道徳の時間」が特設された経緯や，道徳教育を積極的に推進することをめぐる見解の対立等について解説する。
	事前学修	学習指導要領の変遷と道徳教育の位置づけについて把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。道徳教育の改革と「道徳の時間」の設置との関連について整理しておくこと。
7回	授業内容	「道徳の時間」から「特別の教科　道徳」へ　近年，道徳教育は日本国憲法や教育基本法の理念に基づく新しいあり方が模索され，「道徳の時間」から「特別の教科　道徳」へと変更された。ここでは，その背景と経緯，そして内容について解説する。
	事前学修	学習指導要領（道徳）の改正点について把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。「特別の教科　道徳」の意義について整理しておくこと。
8回	授業内容	道徳科の指導案①　道徳科の指導案の内容や作成，その留意事項などを解説する。
	事前学修	道徳科の指導案の作成例について参考資料等をよく読んで，確認しておくこと。
	事後学修	授業の復習。道徳科の指導案作成にあたって，その基本的な枠組みと要点を整理しておくこと。
9回	授業内容	道徳科の指導案②　道徳科とは何をする時間なのか，作成された指導案の見直し，指導方法の問題点などを解説する。
	事前学修	道徳科の指導方法と改善について把握しておくこと。
	事後学修	授業の復習。道徳科と他の教育活動との関連について理解しておくこと。
10回	授業内容	道徳科の評価について，以下のように解説する。　①道徳科における評価の意義と基本的な考え方（数値による評価ではなく，記述式であること等），②評価の方法（ポートフォリオ評価，パフォーマンス評価，エピソード評価等）。
	事前学修	道徳授業改善の方向性について，一部改正の学習指導要領及び解説における評価の内容を確認しておくこと。
	事後学修	授業の復習。学校教育における道徳科の位置づけについて整理しておくこと。
11回	授業内容	道徳教育の実践①　模擬授業と検討会（グループによる発表及び質疑応答）
	事前学修	どうしたら良い授業ができるか，をお互いに情報交換をしておくこと。
	事後学修	授業の復習。模擬授業の感想及び評価
12回	授業内容	道徳教育の実践②　模擬授業と検討会（グループによる発表及び質疑応答）
	事前学修	前回の模擬授業の内容を確認し，学習指導案に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の復習。模擬授業の感想及び評価
13回	授業内容	道徳教育の実践③　模擬授業と検討会（グループによる発表及び質疑応答）
	事前学修	前回の模擬授業の内容を確認し，学習指導案に目を通しておくこと。
	事後学修	授業の復習。模擬授業の感想及び評価
14回	授業内容	授業のまとめ　本当に「道徳に答えはない」のか，教師はどのように道徳教育をすべきか。これまでの学習内容を確認し，道徳科の評価のあり方等を含む道徳教育の具体的な授業改善の方向性について総括する。
	事前学修	配布資料や参考資料などを熟読し，該当する内容を事前にまとめておくこと。
	事後学修	授業の復習。要点項目として配布された資料などを，再確認し授業内容を整理しておくこと。
15回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	前回の授業内で指摘した，教師はどのように道徳教育をすべきかを考えておくこと。
	事後学修	授業（試験を含む）を通して，その内容を十分理解しているかどうかを再確認すること。

◆教科書　丸沼『中学校学習指導要領解説　道徳編』　文部科学省　日本文教出版　2008 年 9 月
142 円（税込）（送料 300 円）
丸沼『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説「特別の教科　道徳編」』　文部科学省　教育出版　2017 年 7 月
168 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　通材『道徳教育の理論と方法 / 道徳教育の研究　T21300/T21400』通信教育教材（教材コード 000543）
3,000 円（送料込）
〈この教材は市販の『道徳教育の理論と方法』羽田積男・関川悦雄編（弘文堂）と同一です。〉
丸沼『教科化された道徳への向き合い方』　碓井敏正著　かもがわ出版　2017 年 9 月
1,080 円（税込）（送料 300 円）

◆成績評価基準　試験（40%），模擬授業（40%），授業参画度（20%）により総合的に評価する。授業参画度は出席状況や授業への取り組み状況などを考慮する（但し，出席率が 3 分の 2 に達しないものは評価の対象にしない）。欠席の場合，必ず所定の様式にしたがって「欠席届」を提出すること。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔哲学C〕　中澤　瞳

◆授業概要　本授業は，古代から近代まで西洋の哲学の歴史を通して，一般的な哲学の知識を修得することも目的とした授業である。

◆学修到達目標　この授業は，代表的な哲学者の考え方を説明することができるようになること，哲学者の観点を理解し，批判的な視点をもつことができるようになることを目標とする。

◆授業方法　授業は講義形式で行う。資料プリントをもとに，解説を行う。資料プリントは，基本的には参加者に読んでいただく（挙手制）。また，複数回の小レポート（授業内で記述し，提出する簡単なレポート）を行う。なお，進行具合によっては，授業計画に記載した内容に若干の変更がある場合がある。その際は，随時授業中に指示する。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス，16-17 世紀までの哲学史概説
	事前学修	16-17 世紀までの哲学にどのようなものがあるか簡単に調べる。
	事後学修	16-17 世紀までの哲学を整理する。
2回	授業内容	16-17 世紀までの哲学史概説
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	16-17 世紀までの哲学を理解する。
3回	授業内容	近代哲学―経験主義の考え方を中心に
	事前学修	経験論者にはどのような人がいるか調べる。
	事後学修	経験論の思想を整理する。
4回	授業内容	近代哲学―カントの哲学を中心に
	事前学修	カントについて調べる。
	事後学修	カントの思想の特徴を整理する。
5回	授業内容	近代哲学―カントの哲学を中心に
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	カントの思想の特徴を理解する。
6回	授業内容	近代哲学―カントの哲学を中心に
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	カントの思想の特徴を深める。
7回	授業内容	近代哲学―功利主義を中心に
	事前学修	功利主義について調べる。
	事後学修	功利主義の特徴を整理する。
8回	授業内容	近代哲学―功利主義を中心に
	事前学修	前回の授業の内容を確認する。
	事後学修	功利主義の特徴を整理する。
9回	授業内容	近現代哲学―ニーチェの哲学を中心に
	事前学修	ニーチェについて調べる。
	事後学修	ニーチェの思想を理解する。
10回	授業内容	現代思想―プラグマティズムを中心に
	事前学修	プラグマティズムについて調べる。
	事後学修	プラグマティズムの特徴を整理する。
11回	授業内容	現代思想―実存主義を中心に
	事前学修	実存主義について調べる。
	事後学修	実存主義の思想を理解する。
12回	授業内容	現代思想―フェミニスト理論を中心に
	事前学修	フェミニズムについて調べる。
	事後学修	フェミニスト理論について理解を深める。
13回	授業内容	現代思想―分析哲学を中心に
	事前学修	分析哲学について調べる。
	事後学修	分析哲学について整理する。
14回	授業内容	現代思想―リベラリズムを中心に
	事前学修	リベラリズムについて調べる。
	事後学修	リベラリズムについてまとめる。
15回	授業内容	まとめ・筆記試験
	事前学修	これまでの授業を振り返り，代表的な哲学者の考え方を整理する。
	事後学修	哲学者の観点を理解し，批判的な視点を培う。

◆教科書　当日資料配布

◆参考書　授業中に随時指示する。

◆成績評価基準　授業への参加，貢献（20%），小レポート（20%），筆記試験（60%）により総合的に評価する。なお，評価を行う際には，毎回出席していることを前提とする。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔国文学概論〕　山﨑　泉

◆授業概要　グローバル化の中，国文学の定義も徐々に変容しつつあります。本講義では国文学とは何かに関する概説を行った後，近世小説を代表する作品の一つである上田秋成の『雨月物語』の中から「菊花の約」を講読します。一つの作品とじっくり向き合う中で，国文学の神髄に触れ，国文学とは何かについて具体的に考察することを主眼とします。

◆学修到達目標　古典作品の読解力が向上し，国文学に対する理解が深まります。
近世文学と先行する時代の文学との関連性が理解できるようになります。
国文学を学ぶ上での基本的なスキルが向上します。

◆授業方法　主に講義形式で行います。まず，国文学の定義について考察した後，近世小説のジャンルとおおまかな歴史を学びます。その上で，上田秋成と『雨月物語』に関する概説を行い，「菊花の約」の本文を読み進めていきます。講読に際しては，原文の音読を受講生の皆さんにそれぞれ担当して頂く予定です。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・国文学とは何か？　まずは授業の進め方について説明します。その上で，国文学の定義について考察し，多様化する国文学の現在に関する解説を行います。
	事前学修	テキストに一通り目を通しておいて下さい。
	事後学修	再度テキストに目を通して下さい。
2回	授業内容	近世小説　その歴史とジャンル　配布するレジュメを参照しつつ，多種多様なジャンルを生み出した近世小説の流れ及び代表的な作品について解説します。
	事前学修	前回の授業内容をノートにまとめておいて下さい。
	事後学修	レジュメの内容を再確認して下さい。
3回	授業内容	上田秋成　その生涯と作品　『雨月物語』の作者である上田秋成の人物像及び代表的な作品について解説します。
	事前学修	テキストの解説を読んでおいて下さい。
	事後学修	配布したレジュメの内容を元に，これまでの授業内容を再確認して下さい。
4回	授業内容	「菊花の約」講読(1)　「菊花の約」の本文を講読します。まず原文を読んだ後，現代語訳を参照，再び原文に戻って作品内容の解説を行います。
	事前学修	原文が読めるように予め準備しておいて下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
5回	授業内容	「菊花の約」講読(2)　前回講読した内容を確認した後，引き続き「菊花の約」の本文を講読します。逐一，現代語訳も参照し，的確に内容を把握しながら読み進めていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
6回	授業内容	「菊花の約」講読(3)　引き続き「菊花の約」の本文を講読します。講読と同時に，本文中に引用される和歌や先行文学作品に関する調査も行います。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
7回	授業内容	「菊花の約」講読(4)　引き続き「菊花の約」の本文を講読します。講読と同時に，典拠とされた明代の小説に関する学修も行います。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
8回	授業内容	「菊花の約」講読(5)　引き続き「菊花の約」の本文を講読します。現代語訳に頼る比率を少しずつ下げ，原文のみで読み進めることができるようにしていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
9回	授業内容	「菊花の約」講読(6)　引き続き「菊花の約」の本文を講読します。主人公の人物造形等，作品内容の深い部分にまで考察しながら，講読を進めていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
10回	授業内容	「菊花の約」講読(7)　引き続き「菊花の約」の本文を講読します。自分なりに疑問点，問題点を見つけ，それらについて考察しながら読み進めることができるようにしていきます。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
11回	授業内容	「菊花の約」講読(8)　引き続き「菊花の約」の本文を講読します。最後まで講読した後，全体の内容確認を行います。
	事前学修	前回講読した内容を再確認して下さい。
	事後学修	前回講読した本文の内容を確認し，ノートにまとめて下さい。
12回	授業内容	『雨月物語』その他の章について(1)　『雨月物語』のその他の章について解説します。
	事前学修	『雨月物語』のその他の章の内容を確認して下さい。
	事後学修	口語訳でよいので，その他の章に目を通して下さい。
13回	授業内容	『雨月物語』その他の章について(2)　引き続き，『雨月物語』のその他の章について解説します。
	事前学修	その他の章に目を通し，その内容を確認して下さい。
	事後学修	『雨月物語』各章の連関について理解して下さい。
14回	授業内容	まとめ・理解度の確認　これまで学修してきた内容の総括を行い，試験に備えます。
	事前学修	これまで学修してきた内容を改めて確認して下さい。
	事後学修	ノートの内容を確認し，問題点を整理して下さい。
15回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	試験に備えた資料収集を行って下さい。
	事後学修	授業で学んだことを振り返り，その内容をもう一度確認して下さい。

◆教科書　丸沼『改訂版 雨月物語 現代語訳付き』　上田秋成著・鵜月洋訳注　角川学芸出版（角川ソフィア文庫）
864 円（税込）（送料 215 円）
当日資料配布

◆参考書　授業時に紹介します。

◆成績評価基準　平常点（20%），試験（80%）により，総合的に評価します。
毎回出席することを前提として採点します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔宗教学概論〕　合田　秀行

◆授業概要　異文化を理解する上で，その宗教文化を理解することは，重要な要素と言えます。この講義では世界における五大宗教の理解を軸として，それぞれの開祖・主要な教義・聖典・歴史的展開を概説していきます。その過程で，諸宗教に共通して見られる概念について理解を深め，宗教学という学問の特徴や宗教学における基本的な概念・専門用語について取り上げます。

◆学修到達目標　主にセム系一神教と称されるユダヤ教・キリスト教・イスラム教（イスラーム）に関する歴史や教義について理解を深めることを主眼とします。さらに，総括として宗教学という学問領域の特徴や宗教学に特有の概念や専門用語の正確な理解を目標とします。

◆授業方法　指定した市販教科書に基づいて講義形式で進めます。第３章「ユダヤ教」，第４章「キリスト教」，第５章「イスラム教」，第７章「宗教学」を取り上げます。テキストの内容によっては，補足資料を用いて，より理解を深めています。また，適時，関連する映像資料「ユダヤ教」「イスラーム」なども活用します。数回，小テストを実施します。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	講義の進め方全般に関してガイダンスを行う。 ユダヤ教①　ユダヤ人・ユダヤ教徒を理解し，その現代に至る歴史的展開を概観する。
	事前学修	テキストの 122 ～ 133 ページを読み，ユダヤ教の概観を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，ユダヤ教の概観を整理して確認しておくこと。
2回	授業内容	ユダヤ教②　ユダヤ教の主要な教義である律法・安息日などを概説する。
	事前学修	テキストの 134 ～ 143 ページを予め読み，ユダヤ教の教義を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，ユダヤ教の教義を整理して確認しておくこと。
3回	授業内容	ユダヤ教③　聖書のエピソードを講読して，ユダヤ教の理解を深める。小テスト実施。
	事前学修	テキストの 144 ～ 155 ページを予め読み，聖書について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，聖書のエピソードを整理して確認しておくこと。
4回	授業内容	キリスト教①　キリスト教の概観とイエスという人物伝について詳述します。
	事前学修	テキストの 158 ～ 171 ページを予め読み，イエスの生涯について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，イエスの生涯について整理して確認しておくこと。
5回	授業内容	キリスト教②　イエスの言葉（山上の垂訓・とんち問答・謎めいた言葉）を概説します。
	事前学修	テキストの 172 ～ 183 ページを予め読み，イエスの言葉について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，イエスの言葉について整理して確認しておくこと。
6回	授業内容	キリスト教③　使徒たちの言行録とパウロによる贖罪の神学・死と復活を概説する。
	事前学修	テキストの 184 ～ 197 ページを予め読み，使途とパウロについて予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，使徒とパウロについて整理して確認しておくこと。
7回	授業内容	キリスト教④　救いと裁き，洗礼と聖餐，クリスマスと復活祭，修道会について説明する。
	事前学修	テキストの 198 ～ 207 ページを予め読み，教理と儀礼について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，教理と儀礼について整理して確認しておくこと。
8回	授業内容	キリスト教⑤　東方正教会・ローマカトリック教会・プロテスタント諸教会を概観します。
	事前学修	テキストの 208 ～ 215 ページを予め読み，キリスト教諸宗派について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，諸教会について比較して確認しておくこと。
9回	授業内容	キリスト教⑥　十字軍・宗教改革などの教会の歴史について概説する。小テスト実施。
	事前学修	テキストの 216 ～ 227 ページを予め読み，キリスト教会の歴史を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，教会の歴史について整理して確認しておくこと。
10回	授業内容	イスラム教①　ムハンマドの生涯と『コーラン（クルアーン）』について概説する。
	事前学修	テキストの 230 ～ 245 ページを予め読み，イスラム教の概観を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，ムハンマドと『クルアーン』を整理して確認しておくこと。
11回	授業内容	イスラム教②　イスラム帝国の発展と宗派分裂，イスラム過激派の動向を概説する。
	事前学修	テキストの 246 ～ 253 ページを予め読み，イスラム教の歴史について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，各時代の特徴について整理して確認しておくこと。
12回	授業内容	イスラム教③　六信・五行・礼拝・巡礼・イスラム法を概説する。小テスト実施。
	事前学修	テキストの 254 ～ 263 ページを予め読み，イスラム教の主要な教理を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，イスラム教の主要な教理を整理して確認しておくこと。
13回	授業内容	宗教学①　宗教学という学問の特徴，宗教の定義などについて概説する。
	事前学修	テキストの 288 ～ 301 ページを予め読み，宗教と宗教学の特徴を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，宗教学の特徴について整理して確認しておくこと。
14回	授業内容	宗教学②　修行・戒律・儀礼・組織・神話・呪術などの主要な概念を概説する。
	事前学修	テキストの 302 ～ 315 ページを予め読み，宗教学の基本概念について予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，宗教学の基本概念について整理して確認しておくこと。
15回	授業内容	宗教学③　宗教学が扱う諸問題を概説する。小テスト実施。リポート回収。
	事前学修	テキストの 316 ～ 329 ページを予め読み，宗教学が扱う諸問題を予習しておくこと。
	事後学修	テキストと講義内容を踏まえ，宗教学が扱う諸問題について整理して確認しておくこと。

◆教科書　丸沼『図解世界５大宗教全史』 中村圭志著　ディスカヴァー・トゥエンティワン　2,376 円（税込）（送料 350 円）

◆参考書　通材『宗教学　B11000』 通信教育教材（教材コード 000004）2,200 円（送料込）
通材『宗教学概論　P30400』 通信教育教材（教材コード 000139）1,850 円（送料込）

◆成績評価基準　数回，実施する小テスト（30%）と後期末に講義内で提出してもらう 2000 字程度のリポート（70%）とによって総合的に評価する。リポートは，後期に取り上げた内容の中から，各自がテーマを決めて作成してもらいます。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔商業史〕 オープン受講：不可　　竹内　真人

◆授業概要　商業史（後期）では，商業史・帝国史における主要な学説・理論を紹介・整理する。ホブスン・レーニン・シュンペーターの古典的帝国主義論，ギャラハーとロビンソンの自由貿易帝国主義論，ケインとホプキンズのジェントルマン資本主義論，ウォーラーステインの近代世界システム論等について解説する。現代世界の諸問題を歴史学的に考察するための知的枠組みを構築できるようになることを目的としている。

◆学修到達目標　1．商業と帝国主義の関係について説明できる。
2．様々な帝国主義論（古典的帝国主義論，自由貿易帝国主義論，ジェントルマン資本主義論，世界システム論等）の内容について説明できる。
3．オランダ，イギリス，アメリカ合衆国という近代の覇権国家が果たした役割と歴史的変遷について説明できる。

◆授業方法　プリント（資料）や映像資料（DVD，パワーポイント）を活用して授業を行う。第1～3回目では，プリント（資料）を活用しながら，資本主義的世界体制の成立過程を考察する。第4～ 13 回目では，プリント（資料）に沿いながら，様々な帝国主義論の内容とそれらの帝国主義論の違いを解説する。第 14 回目では，映像資料を活用しながら，脱植民地化がいかに進展してきたのかについて説明する。

◆履修条件　前期のみの受講，後期のみの受講も可能だが，学修効果を上げるため，前期・後期の連続受講が望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	「商業史（後期）」の課題と方法
	事前学修	世界史事典等を活用して，帝国主義について調べておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理しておくこと。
2回	授業内容	資本主義的世界体制の成立
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
3回	授業内容	重商主義，自由貿易主義，帝国主義
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理しておくこと。
4回	授業内容	ホブスン・レーニンの帝国主義論
	事前学修	前回までの授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
5回	授業内容	シュンペーターの帝国主義論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理しておくこと。
6回	授業内容	自由貿易帝国主義論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
7回	授業内容	周辺理論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
8回	授業内容	ジェントルマン資本主義論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
9回	授業内容	ジェントルマン資本主義論への諸批判
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
10 回	授業内容	ブローデル『地中海』の方法
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
11 回	授業内容	近代世界システム論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
12 回	授業内容	文化帝国主義論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	プリント（資料）と授業内容をノートに整理しておくこと。
13 回	授業内容	ブリティッシュ・ワールド論
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理しておくこと。
14 回	授業内容	脱植民地化とグローバリゼーション
	事前学修	前回の授業のノートを確認し，授業内容を理解しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理しておくこと。
15 回	授業内容	試験及びまとめ
	事前学修	これまでの授業内容を確認し，ノートをよく復習しておくこと。
	事後学修	授業内容を確認・理解すること。

◆教科書　〔当日資料配布〕 特に教科書は指定せず，当日にプリント（資料）を配布する。

◆参考書　**通材**『商業史　S32100』 通信教育教材（教材コード 000555）1,750 円（送料込）
〈この教材は市販の『イギリス帝国の歴史―アジアから考える』秋田茂著（中央公論新社）と同一です。〉

◆成績評価基準　試験の結果（80%），授業への取り組み（授業内レポート等，20%）をもって総合的に評価する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔生徒指導・進路指導論〕　古賀　徹

◆授業概要　学校教育において「生徒指導・進路指導」を行う際に必要な知識・技能，指導方法を身につける。近年における生徒指導上の課題や動向を理解し，対応方法・技術を理解する。

◆学修到達目標　この授業では教育実践で求められる「生徒指導」に必要な知識･技能を修得することと，様々な場面指導実演（ロールプレイ）を通して，次の四点を身につけることを目指しています。⑴生徒指導の意義，必要性を理解する。⑵カウンセリング・相談（対応）の方法や，グループワーク等の方法を実践して修得する。⑶様々なデータ（調査資料・統計の数値）を読解し，現象を把握し対策を考えることができる。⑷生徒指導上の問題，キャリア教育，学校における問題行動について理解する。

◆授業方法　講義形式に加えて，ロールプレイ，さらに複雑なサイコドラマ，またワークショップ形式での話し合い（学びあい）など，多様な方法（アクティブラーニング）をとりいれます。学校現場では様々な場面・環境に応じた指導法が必要とされています。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	生徒指導とは何か？　進路指導とは何か？
	事前学修	生徒指導に関するイメージをメモとしてまとめて参加する。
	事後学修	学習指導と並ぶ生徒指導の意義や難しさについてノートにまとめる。
2回	授業内容	個人指導と集団指導　⑴対人理解の方法論
	事前学修	学校における人間関係の難しさについて考え，書き出しておく。
	事後学修	学んだ技能（ウェビング）を使って考えをまとめてみる。
3回	授業内容	個人指導と集団指導　⑵集団の中での個人
	事前学修	ウェビングを使って「集団と個人」で生じる問題点を書き出してみる。
	事後学修	個人の在り方について論述をまとめる。
4回	授業内容	個人指導と集団指導　⑶カウンセリング理論
	事前学修	「カウンセリング」の技術について調べて文献を読んでおく。
	事後学修	「カウンセリング」技能の使い方（可能性）について考えをまとめる。
5回	授業内容	個人指導と集団指導　⑷論理療法
	事前学修	自分の悩みが解消された体験について，自身のメモにまとめておく。
	事後学修	「論理療法」を使って，過去の自分をカウンセリングしてみる。
6回	授業内容	個人指導と集団指導　⑸グループワーク
	事前学修	グループ学習のメリット・デメリットについて意見をまとめておく。
	事後学修	効果的なグループワークの方法を自身で構成できるようまとめる。
7回	授業内容	進路指導の問題　⑴「格差」拡大の社会
	事前学修	2000 年前後の日本の「進路指導状況」に関する記事を読んでおく。
	事後学修	格差や学力差が論じられるときの問題点について意見をまとめる。
8回	授業内容	進路指導の問題　⑵「ニート」問題（白書類のデータから）
	事前学修	「ニート」に関する文献やニュースが集中した時期について調べておく。
	事後学修	授業で紹介した文献のうちいくつかを読んで理解を深める。
9回	授業内容	進路指導の問題　⑶「キャリア教育」「キャリア開発の考え方」
	事前学修	キャリア教育の動向について審議会の情報等に目を通しておく。
	事後学修	グループで考えた理想の学校像についてノートにまとめる。
10回	授業内容	自律・自立のための指導（学習指導要領「生きる力」路線の理解）
	事前学修	キャリア教育指導の計画案をメモとして用意しておく。
	事後学修	7～10 回目までの学習内容をもとに小論文としてまとめてみる。
11回	授業内容	全国いじめ実態調査の動向，ネットいじめ
	事前学修	いじめの定義の変化や報道の影響について，考えをまとめておく。
	事後学修	配布されたテキストの内容についてさらに学び深めておく。
12回	授業内容	場面指導　⑴叱り方・「私語」をなくす指導
	事前学修	納得のいく叱り方（指導のしかた）について考えをまとめておく。
	事後学修	アクティビティで体感した内容を自身の表現でまとめておく。
13回	授業内容	場面指導　⑵障がいを抱える生徒への対応
	事前学修	障がいに関する法規と学校の取り組みに関する情報に目を通しておく。
	事後学修	配布されたテキストの内容についてさらに学び深めておく。
14回	授業内容	家庭との連携・地域社会との連携という課題
	事前学修	地域での活動や特別活動に参加する生徒の情報のメモを作成する。
	事後学修	配布されたテキストの内容についてさらに学び深めておく。
15回	授業内容	生徒の成長にはたらきかける生徒指導・進路指導
	事前学修	生徒指導・進路指導の目指すことについて論述をまとめておく。
	事後学修	自身の意見として語れるように学修内容をまとめ文章化する。

◆教科書　資料・レジュメを配布する。

◆参考書　『学習指導要領』（中学校・高等学校）および『生徒指導提要』 文部科学省
他は，授業中に指示する。

◆成績評価基準　この授業の評価は，授業への参加（グループ学習含む），提出物・課題，試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの，課題未提出の場合は評価を行なわない。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔社会学Ｂ〕　服部　慶亘

◆授業概要　人間は，独りで生きてゆくことの出来ない弱い存在である。ゆえに，共同生活を営む者（仲間）が必要不可欠となる。また，社会生活は（必ずしも）自分の思い通りにゆくものではない。それでも，「自分の理想（夢）に近づきたい」と誰しもが思うものである。このような現実を理論的・実践的に理解し，「どのようにすれば人間関係がうまくゆくのか？」というテーマについて考えてゆく。

◆学修到達目標　「大学で学んだことは，日常で役に立たない」という声を聞くが，本当にそうだろうか？
そんな疑問と対峙しつつ，学問が自分の日常生活や人生の現在・過去・未来と密接に関わっていることを理解し，社会（科）学的な視点で自分自身をとらえる技術を身につける。

◆授業方法　教科書・プリント・板書（パワーポイント）などを用い，受講生自身も陥りがちな問題点を指摘・解説する。必要に応じて視聴覚資料（CD，DVD，マンガ，その他）を多用する。また，学生に質問を投げかけ，対話とシミュレーションを展開しながら講義を進めていく。よって，講義を単に「聴く」のではなく，講義に「参加」する意欲が好成績につながるものと思われる。また，後期の講義内容への橋渡しも随時行う。

◆履修条件　同時期（後期）開講の「社会学Ａ」との積み重ね履修不可

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	後期ガイダンス　講義の方針，展開方法，目標などを確認する。
	事前学修	シラバスを読んで，講義の目的・目標を理解する。
	事後学修	テキストを入手し，「もくじ」に目を通しておく。
2回	授業内容	コミュニケーション①　「コミュニケーション」（communication）の語源・本質について。
	事前学修	前回の講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
3回	授業内容	コミュニケーション②　「コミュニケーション」の構造と機能について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
4回	授業内容	コミュニケーション③　異文化間コミュニケーションについて。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
5回	授業内容	コミュニケーション④　人間関係と福祉的観点について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
6回	授業内容	コミュニケーション⑤　人間関係と満足感（価値観）。
	事前学修	これまでの講義内容をふまえて，自身の「幸福観」について説明できるようにしておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
7回	授業内容	マス・コミュニケーション①　「マスコミ」の機能・性質について（その１）。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
8回	授業内容	マス・コミュニケーション②　「マスコミ」の機能・性質について（その２）。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
9回	授業内容	マス・コミュニケーション③　「Data」と「Information」について。
	事前学修	これまでの講義内容をふまえて，「人間とは何か？」という問いに対する答えを考えておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
10回	授業内容	基本的人間関係再考①　「友情」と「恋愛」について。
	事前学修	これまでの講義内容をふまえて，自身の「友情観」「恋愛観」「家族観」などについて説明できるようにしておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
11回	授業内容	基本的人間関係再考②　「出会い」（encounter）の構造について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
12回	授業内容	基本的人間関係再考③　「社交的価値」について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
13回	授業内容	基本的人間関係再考④　「重要な他者」（significant others）について。
	事前学修	前回までの講義内容を確認しておく。
	事後学修	講義で紹介された事例・概念などを自身の日常生活の中でキチンと確認（実践）する。
14回	授業内容	理解度確認（まとめ）
	事前学修	これまでの講義内容を，テキストやノート，資料を読んで再確認しておく。
	事後学修	試験に向けて，これまでの講義内容を復習しておく。
15回	授業内容	試験および解説
	事前学修	これまでの講義内容について，テキストやノート，資料を読んで，自身でまとめておく。
	事後学修	今後の受講，または日常生活改善に向けて，講義内容を再確認する。

◆教科書　丸沼『人間生活の理論と構造』　夏刈康男（ほか）　学文社　2,700 円（税込）（送料 350 円）
丸沼『補強版ストレス・スパイラル』　服部慶亘　人間の科学社
※絶版のため第１回授業で先生から指示があります。

◆参考書　プリント配布

◆成績評価基準　終講試験（70%），授業参加度（20%），レポート類（10%）で評価する。なお，全講義回数の３分の２以上の出席が原則（公欠などは申し出ること）。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔ドイツ語Ⅰ・Ⅱ〕　中島　伸

◆授業概要　長文のドイツ語を読むために必要な中級レベルのドイツ語文法，語順，会話表現，そしてドイツ語を聞き取る力といった総合的な中級ドイツ語を習得することによって，会話の流れや文章内容の把握ができるようになることを目標とします。また，総合的なドイツ語能力を高めるために，毎年 6 月と 12 月に行われるドイツ語技能検定試験（以下，独検と表記）の 4 級と 3 級の対策も行います。

◆学修到達目標　1．正しいドイツ語の発音ができる。
2．中級レベルのドイツ語会話の内容が理解できる。
3．語彙力の強化，そして中級レベルのドイツ語文法と語順の理解によって，独和辞典を使うことなく，8 ～ 10 行程度のドイツ語文の内容把握ができるようになる。

◆授業方法　授業計画で挙げられている文法事項の説明後，練習問題で定着させていきます。更に，独検対策として該当する文法事項を含む過去に出題された問題を解いてもらいます。また，授業時に中間テストを行い，間違った箇所と確認のために個別に解説を添えて答案を返却いたします。そして，文法事項の説明をある程度終えたら，毎回会話表現をいくつか説明し，皆様がリラックスしてドイツ語を学べる環境にしていきます。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	授業の進め方・オリエンテーション・前置詞⑴　はじめに，本授業の進め方を説明する。次に，2 格支配・3 格支配・4 格支配の前置詞の種類と用法について説明する。
	事前学修	前期に説明した 5 つの冠詞の格変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
2回	授業内容	前置詞⑵　3・4 格支配の前置詞の種類と用法について説明する。
	事前学修	第 1 回の授業時に説明した 1 つの決まった格と用いられる前置詞を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
3回	授業内容	再帰代名詞と再帰動詞　再帰代名詞の形式と用法，そして再帰代名詞と用いられる再帰動詞の種類について説明する。
	事前学修	前期に説明した人称代名詞の形式と用法を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
4回	授業内容	話法の助動詞　動詞が 2 つ使われる構文（枠構造），話法の助動詞の種類と意味，そして用法について説明する。
	事前学修	前期に説明した不規則な現在人称変化をする動詞を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
5回	授業内容	未来形・動詞の三基本形　未来形の形式と用法，そして動詞の三基本形の種類と形式について説明する。
	事前学修	第 4 回の授業時に説明した話法の助動詞の構文を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
6回	授業内容	動詞の過去人称変化・現在完了形　動詞の過去人称変化とそれを含む過去形の文の用法，そして現在完了形の形式と用法について説明する。
	事前学修	第 4 回の授業時に説明した話法の助動詞の構文，そして第 5 回の授業時に説明した動詞の三基本形を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
7回	授業内容	受動態　受動態の形式と用法，そして状態受動の形式と用法について説明する。
	事前学修	第 4 回の授業時に説明した話法の助動詞の構文，そして第 5 回の授業時に説明した動詞の三基本形を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
8回	授業内容	複合動詞　2 つの複合動詞（分離動詞・非分離動詞）の形式と用法について説明する。
	事前学修	前期に説明した動詞の現在人称変化，そして第 4 回の授業時に説明した話法の助動詞の構文を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
9回	授業内容	形容詞　形容詞の用法，特に付加語的用法について説明する。
	事前学修	前期に説明した 5 つの冠詞の格変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
10回	授業内容	zu 不定詞　zu 不定詞の形式と用法について説明する。
	事前学修	教科書 57 ～ 58 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
11回	授業内容	接続詞と非人称的用法　2 つの接続詞（並列の接続詞・従属の接続詞）の種類と用法，そして非人称動詞の種類と用法について説明する。
	事前学修	教科書 59 ～ 60 頁を読んでおくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
12回	授業内容	関係代名詞⑴　関係代名詞の 1 つである定関係代名詞の形式と用法について説明する。
	事前学修	前期に説明した定冠詞の格変化を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
13回	授業内容	関係代名詞⑵　関係代名詞の 1 つである不定関係代名詞の形式と用法について説明する。
	事前学修	第 12 回の授業時に説明した定関係代名詞の用法を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
14回	授業内容	接続法　接続法の形式と人称変化，そして接続法の用法について説明する。
	事前学修	前期に説明した動詞の現在人称変化，そして第 5 回の授業時に説明した過去基本形の作り方を確認しておくこと。
	事後学修	授業の内容をノートに整理し，教科書の該当箇所を読んで，授業内容を確認し理解しておくこと。
15回	授業内容	試験及び解説
	事前学修	予め配布された資料を熟読し，テキスト該当箇所を事前にまとめておくこと。
	事後学修	授業内容を確認・理解して，自身が解いた問題の解答が適切かどうかを再確認すること。

◆教科書　丸沼『必要最低限のドイツ語文法』 中島伸著　DTP 出版　1,728 円（税込）（送料 300 円）

◆参考書　独和辞典が必要となります。推奨独和辞典は初回授業時に紹介します。

◆成績評価基準　テスト（50%），中間テスト（30%），授業参画度（20%）により総合的に評価します。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本政治史〕オープン受講：不可　　石川　徳幸

◆授業概要　本講義では，近代日本において展開された政治を通史のかたちで学んでいく。歴史的文脈を正しく把握するためには，時代ごとに区切って学ぶことは必ずしも得策ではないが，便宜上，本講義では明治後期から大正期を対象とする。史料に基づいて通説を批判的に検証しながら，対外戦争に臨んだ歴史的背景や大正政変などの国内政治の過程を理解する。

◆学修到達目標　歴史を考察するための基本的な方法を理解し，批判的に史料を読むことができる。
日本が世界の五大国に数えられるまでに発展していった過程を説明することができる。
日本における議会政治の展開を説明することができる。

◆授業方法　基本的には，通信教育教材（教科書）の章立てに沿うかたちで，史料や最新の研究成果を紹介しながら講義を進める。授業の内容は，あくまでも初学者を対象として構成しているが，高校までの歴史科目で扱われている基本的な出来事や人物に関しては，おおむね理解していることを前提に話を進める。受講にあたっては，かならずノートを用意すること。

◆履修条件　昼間スクーリング（前期）「日本政治史」を受講していることが望ましい。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	イントロダクション
	事前学修	シラバスを読んでくること。
	事後学修	ノートの取り方を確認しておくこと。
2回	授業内容	憲法制定と諸制度の改革・整備
	事前学修	教科書第５章第１節を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，大日本帝国憲法の制定過程と歴史的意義を理解する。
3回	授業内容	初期議会と日清戦争①
	事前学修	教科書第５章第２節第１項～第２項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，帝国議会の開設と第１議会の展開を理解する。
4回	授業内容	初期議会と日清戦争②
	事前学修	教科書第５章第２節第３項～第４項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，初期議会の展開を理解する。
5回	授業内容	初期議会と日清戦争③
	事前学修	教科書第５章第２節第５項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，日清戦争の歴史的意義を理解する。
6回	授業内容	政党政治の誕生
	事前学修	教科書第６章第１節を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，隈板内閣の歴史的意義を理解する。
7回	授業内容	帝国主義国家への歩み①
	事前学修	教科書第６章第２節第１項～第３項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，政友会の創立過程や日英同盟の歴史的意義を理解する。
8回	授業内容	帝国主義国家への歩み②
	事前学修	教科書第６章第２節第４項～第５項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，日露戦争の歴史的意義を理解する。
9回	授業内容	明治の終焉
	事前学修	教科書第６章第３節を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，桂園時代の歴史的意義を理解する。
10回	授業内容	大正の政変
	事前学修	教科書第７章第１節を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，第一次憲政擁護運動の展開と歴史的意義を理解する。
11回	授業内容	第一次世界大戦①
	事前学修	教科書第７章第２節第１項～第３項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，参戦過程や対華 21 箇条要求の歴史的意義を理解する。
12回	授業内容	第一次世界大戦②
	事前学修	教科書第７章第２節第４項～第５項を読んでおくこと。
	事後学修	ノートを整理し，米騒動の歴史的意義を理解する。
13回	授業内容	政党政治の展開①
	事前学修	教科書第７章第３節第１項～第２項を読んでくること。
	事後学修	ノートを整理し，原敬内閣の歴史的意義を理解する。
14回	授業内容	政党政治の展開②
	事前学修	教科書第７章第３節第３項～第５項を読んでくること。
	事後学修	ノートを整理し，国際会議や第２次護憲運動の展開を理解する。
15回	授業内容	後期の総括
	事前学修	ノートの内容を確認し，教科書や参考文献で補う。
	事後学修	大正末期までの日本政治の展開を振り返る。

◆教科書　通材『日本政治史　L30400』 通信教育教材（教材コード 000452）3,400 円（送料込）

◆参考書　※必要に応じて，授業のなかで紹介する

◆成績評価基準　筆記試験の結果をもとに成績評価を行う。なお，全体の３分の１を超える欠席がある場合は，試験を受けても評価の対象にはならない。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

講座内容（シラバス）

※ 2019 年度より授業計画が全 15 回で表記されておりますが，授業時間や授業日程は各スクーリングの開講講座表の記載通りとなります。

〔日本史特講Ⅱ〕　坂口　太助

◆授業概要　全体テーマ：「満州事変から太平洋戦争へ」
明治以降「欧米諸国に追いつくこと」を目標に近代化を進めた日本は，日露戦争（1904 ～ 05 年）に勝利し「大国」の 1 つとなり，国際連盟でも中心的役割を果たしていた。しかし，満州事変（1931 年）を契機として国際的な孤立へと向かうことになる。本講義では，満州事変以後日本がどのように世界とかかわり，なぜ太平洋戦争へと至ることになるのか，その過程を考えていく。

◆学修到達目標　1，近代の日本は様々な戦争（及び事変）にかかわり，その影響は現在でも残っていると言える。それらの戦争のうち，本講義で扱う満州事変・日中戦争・太平洋戦争についてその概要を理解する。
2，結果を見るだけではなく「過程」を考えることで，歴史学的（実証的）な考え方・分析を行う力を養う。
3，国際環境を把握し，そのうえで日本が選択した進路について考えることで，「世界の中の日本」という視点から物事を見る力を養う。

◆授業方法　プリントを配布して講義形式で行い，要点については板書する。また理解を深めるため映像資料も使用する予定である。最終日に筆記試験を実施するほか，授業内アンケート（小テストではなく，出欠確認を兼ねた感想シートのようなもの）を数回実施する。なお，受講者の状況（受講者数等）によっては授業の内容・方法を変更する場合もある。

◆授業計画〔各 90 分〕

1回	授業内容	ガイダンス及び総論①：この講義の目的・到達目標・評価方法等について解説するとともに，日本の「近代」という時代の概要・特徴を確認する。
	事前学修	これまでに近代史関係の講義を受講していた場合には，その内容を簡単に振り返っておくこと。
	事後学修	歴史は話が続いていくので確認・復習が大切となる。プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
2回	授業内容	総論②：近代の日本がかかわった様々な戦争について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を整理しておくこと。
3回	授業内容	総論③：第一次世界大戦という戦争と「総力戦」について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 153 ～ 155，167 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
4回	授業内容	昭和初期における「大国」日本の実態と国際関係：明治・大正期の日本の歩みを，日本がかかわった戦争と国際関係を中心に確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 167 ～ 175 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
5回	授業内容	昭和初期における日中関係①：満州事変について知るための前提として，辛亥革命から北伐に至る中国国内の状況について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 156 ～ 158 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
6回	授業内容	昭和初期における日中関係②：満州事変について知るための前提として，第５回の内容をふまえ昭和初期の日中関係について確認する。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 196 ～ 204 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
7回	授業内容	満州事変と国際連盟脱退①：日本陸軍（関東軍）の動向に注目しながら，満州事変勃発の過程について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 208 ～ 211 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
8回	授業内容	満州事変と国際連盟脱退②：満州事変勃発後の日本国内の状況について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
9回	授業内容	満州事変と国際連盟脱退③：日本が国際連盟脱退へと至る過程について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 211 ～ 213 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
10回	授業内容	満州事変と国際連盟脱退④：日本と同盟を組むことになるドイツを中心に，満州事変前後の各国の状況について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 222 ～ 224 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
11回	授業内容	日中戦争から太平洋戦争へ①：日中戦争・太平洋戦争のおおまかな経緯・全体像を把握し，その特徴などを考えていく。
	事前学修	教科書の 246 ～ 256 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
12回	授業内容	日中戦争から太平洋戦争へ②：日中戦争の勃発と拡大の過程を考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 225 ～ 228 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
13回	授業内容	日中戦争から太平洋戦争へ③：日中戦争が長期化するなか，ヨーロッパでの戦争（第二次世界大戦）勃発が日本に与えた影響について考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 236 ～ 241 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
14回	授業内容	日中戦争から太平洋戦争へ④：アメリカとの関係を中心に太平洋戦争開戦に至る過程を考えていく。
	事前学修	前回の授業で使用したプリントの内容を確認しておくこと。教科書の 242 ～ 245 頁を読んでおくこと。
	事後学修	プリントをもとに授業内容を確認しておくこと。
15回	授業内容	試験及び解説：筆記試験を実施するとともに解説を行う。
	事前学修	これまでの 14 回の内容を復習しておくこと。
	事後学修	解説をもとに要点を再確認しておくこと。

◆教科書　丸沼『もういちど読む山川日本近代史』　鳥海靖　山川出版社　2013 年
1,620 円（税込・2019 年 1 月現在）（送料 300 円）

◆参考書　授業内で紹介する。

◆成績評価基準　筆記試験 80%，授業参画度 20%。授業参画度は授業内アンケートの内容等から判断する。

注意　E-mail を送るときは，必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。例：「日本大学通信教育部　22183999　日大通子」
※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては，授業終了後に質問を受け付けます。

V　受講及び試験

1　講座受講時の注意点

①ポータルサイト及び掲示板で最新情報の確認	登校の際は，通信教育部１号館１階学生ホールにある掲示板で最新情報を確認してから講義に出席してください。 また，「講堂変更」・「休講」等，日々の授業に関する情報についても随時，ポータルサイトや掲示板でお知らせします。

②受講上の注意（出席・欠席・遅刻等）	**【出席について】** **スクーリングは，毎回出席することを原則としています。** **交通機関の遅れや特別な事情がある場合以外での遅刻はしないよう心掛けてください。** ※授業を途中から受講することは，担当教員や周りの受講者に対しても迷惑な行為です。時間に余裕を持って行動してください。 **【欠席について】** **止むを得ない事情によりスクーリングを欠席した場合は，次回の出席時に直接，担当教員へ欠席した旨を伝えてください。事務局及び講師室では，欠席の連絡は受け付けません。**

③受講上の注意（休講・補講）	**【休講について】** **スクーリング期間中，担当教員の都合や天候により授業を休講する場合があります。** **①　事前に情報を得ている場合は，ポータルサイト及び掲示板にてお知らせします。** **②　当日，急きょ，担当教員の体調不良等の理由により休講する場合は，職員より通知があります。** **③　その他，天候により急きょ，休講となる場合はホームページ，ポータルサイトにてお知らせします。** **【補講について】** **スクーリング期間中に休講した場合，必ず補講を実施します。補講は，下記の①もしくは②の日程で実施します。** **①　補講日程に実施** 12月16日（月），12月21日（土） **②　スクーリング期間中のその他日程**

「スクーリング試験」受験上の注意

1 「学生証」及び「領収書（銀行領収印の押印されているもの）」を机上通路側の監督者が見やすいところに置くこと。受講手続及び受講料納入がない場合，受験できない。

2 「学生証」を忘れた場合又は未更新の場合は，事前に教務課（講師室）に申し出て指示を受けること。

3 携帯電話等は，電源を切り，鞄等に収納し身体から離しておくこと。時計・電卓としての使用も禁止する。

4 持ち込みを許可されたもの以外は机上に置かないこと。

5 解答用紙は，１人１枚とし，再交付はしない。

6 解答用紙の下段，太線枠内※印の事項については，必ずペン又はボールペンで記入すること。当該事項について記載がない場合又は誤記等は採点の対象にならない場合がある。

7 試験開始後 20 分以上遅刻した者は受験することができない。

8 途中退場は，試験監督者の指示がある場合に限り，試験開始 30 分後から認める。解答用紙を試験監督者に提出して退場すること。なお，用紙の持ち帰りは一切認めない。

9 試験場では，試験監督者の指示に従うこと。

10 不正行為（不正とみなされる行為含む）は絶対行わないこと。不正行為を行った場合は，学則により処分（停学・退学等）される。

※試験中の参照物等の貸し借りは不正行為とみなす。

2 スクーリング結果の確認

スクーリングの結果は，2019 年度授業料及びスクーリング受講料を納入した学生に対し，ポータルサイトでお知らせします。ただし，スクーリングの申込を「受講届」にて行った場合には，教務課から，結果通知を郵送します。ポータルサイトから申込みを行った場合には送付されませんので，あらかじめご了承ください。掲載の開始はポータルサイトの「お知らせ」に掲載します。

電話・郵便による問い合わせには一切応じることができません。また，スクーリング結果通知の再発行はいたしません。天災による郵便の遅延･未着や，その他の事故に対していかなる配慮も行いませんので，スクーリング結果通知を紛失した場合などはポータルサイトで確認，又は「単位照合票」の交付を受け，確認してください。

結果内容に疑義がある場合は，結果通知日から３か月以内に教務課まで問い合わせてください。なお，それ以降の疑義に関しては対応いたしません。

結果発表時期	2020 年２月中旬

① 結果の表示

結果は，「合格」，「不合格」，「未受講」で発表します。

受講許可のない講座を受験した場合には「無効」とし，単位は修得できません。

② 単位数

結果が「合格」の場合，開講講座表に記載されている開講単位数を修得したことになり，また同時にスクーリング単位も修得したことになります。

Ⅵ 受講手続

1 履修登録をする

履修登録上の注意事項
「ポータルサイト」と「履修届」の両方で申込みがあった場合は，「ポータルサイト」の内容を有効とします。 履修登録を行っただけでは，スクーリングの申込みとはなりません。後述の『2 講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず，受講料を納入していない場合，受講は認めません。

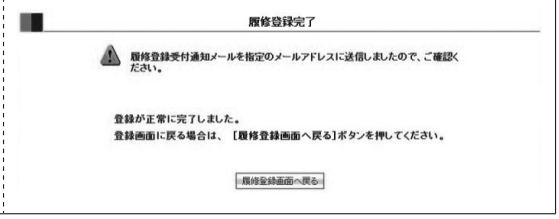
① 「ポータルサイト」による申込み

●履修登録の前に

1	履修登録には，ID とパスワードが必要です。 ID ＝学生番号 初期パスワード＝自分の西暦生年月日（半角数字 8 桁）
2	履修登録の受付メールを受信するには，メールアドレスの登録が必要です。 「学生メニュー」の「学生情報照会･修正」より，送付先アドレスを事前に登録してください。

●履修登録方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL:https://www.dld.nihon-u.ac.jp）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し，「履修登録」をクリックしてください。	
3	履修登録科目の一覧から登録したい科目のチェックボックスを選択し，登録確認 ボタンをクリックしてください。 ※一覧には学修が開始できる科目が表示されます。	

4	履修登録する科目を確認し，登録実行 ボタンをクリックしてください。	
5	履修登録が完了すると，登録されているメールアドレスに受付通知メールが配信されます。	

●履修登録確認

1	履修登録方法の１の手順で，ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し,「履修登録確認表」をクリックしてください。	

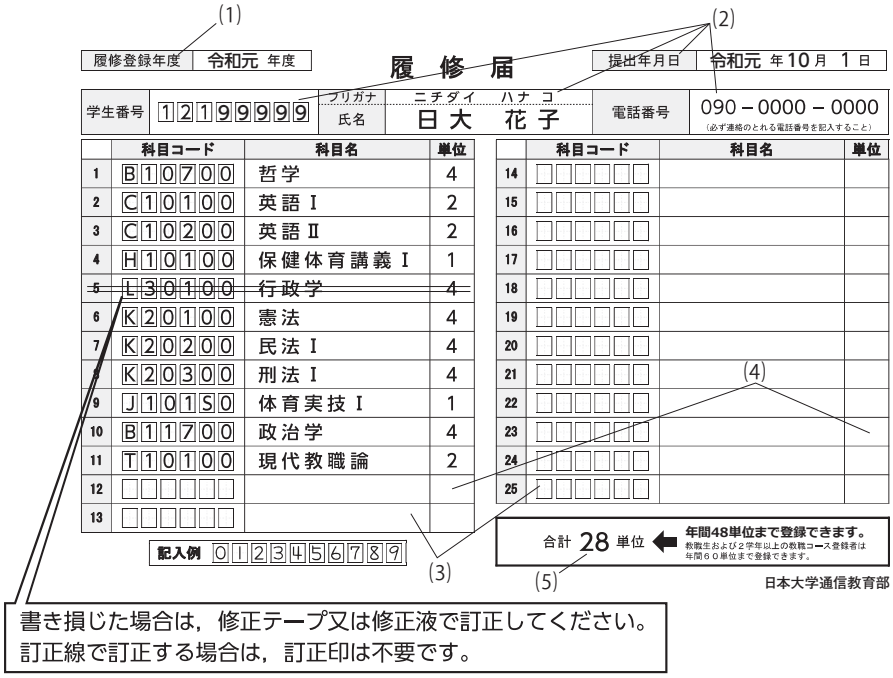
●履修登録の変更・取りやめ

同一履修年度かつまだ，学修を開始していない科目に限り，「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	履修登録方法の１・２の手順で，履修登録の画面まで進んでください。	
2	取り消したい科目の前の「消しゴム」部分をクリックし,「取消」に変わったら,登録確認 ボタンをクリックし，履修登録方法の４・５の手順で変更を完了させてください。	

② 「履修届」による申込み

「履修届」による申込みは，以下の要領で本誌巻末の「履修届」を作成し，教務課に提出してください。



⑴ 学生番号・氏名・提出年月日・電話番号

電話番号は，記載事項を確認する場合に使用します。確実に連絡のとれる電話番号を記載してください。

⑵ 科目コード・科目名

科目コード及び科目名は，『学修要覧』又は『コース履修の手引』を確認し，科目コード（6ケタ）を記入してください。不備がある場合は受理できませんので注意してください。

⑶ 単位

各科目の所定単位を記入してください。

⑷ 合計単位

必ず合計単位数を記入してください。

【よくある不備】

・科目コード及び科目名の記入漏れ
・科目コードと科目名の不一致
・不配当科目の記入（例：3学年から履修登録できる科目を2学年で「履修届」に記入する。）
学部や入学年度によって名称が異なる科目や登録できない科目があります。
特に教職コースの科目は注意が必要です。
・「卒業論文」，「博物館実習Ⅱ」及び「博物館実習Ⅲ」，「教育実習」及び「教育実践指導」及び「教育実習事前・事後指導」，「教職実践演習」は履修登録する必要がありません。従って履修届には記載しないでください。
「履修届」とは別の手続きとなります。『学修要覧』及び『コース履修の手引』を確認してください。
・履修登録済みの科目の記入
一度履修登録した科目は在学中有効ですので，再度履修登録することは必要はありません。
もし記入された場合は，『履修登録エラー一覧』に『すでに履修登録済の科目です。』と表記されます。
・スクーリング等で所定単位が4単位の科目で，2単位分修得している科目は登録できません。履修登録済と同様の扱いとなります。
・単位修得済み科目の記入及び登録はできません。
もし記入された場合は，『履修登録エラー一覧』に『修得済みのため再履修できません。』と表記されます。
・年間登録単位を超過
年間 48 単位（教職生及び2学年以上の教職コース履修生は 60 単位）まで履修できます。
もし超過して記入された場合は，『履修登録エラー一覧』に『履修制限単位を超えた履修登録はできません。』と表記されます。

③　履修登録上の注意

・「履修届」の不備内容によっては，受理せず返却する場合があります（不受理）。その場合，科目修得試験やスクーリング併用試験方式等の履修登録締切日以前に「履修届」が大学に到着していても，不受理の場合は履修登録にならず，受講の申し込みができません。
・履修登録を行っただけでは，教科書の配本はありません。配本申請を別途行う必要があります。
・履修登録済みの科目の変更，取消しは同一履修年度かつ学修を行っていない（リポート未提出，スクーリング申込みなし等）場合のみ可能です。追加は履修登録単位数の上限に達していない場合，Web履修登録や巻末の「履修届」をコピーして使用してください。
・履修登録を行っただけでは，スクーリングの申込みとはなりません。後述の『2　講座を申し込む』を必ず行ってください。申込みが完了しておらず，受講料を納入していない場合，受講は認めません。

2　講座を申し込む

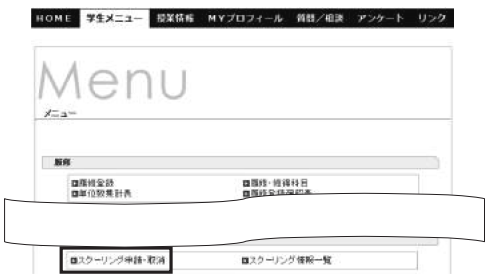
申し込み上の注意事項
「ポータルサイト」と「受講届」の両方で申込みがあった場合は，「ポータルサイト」の内容を有効とします。

①「ポータルサイト」による申込み

●申込みの前に

1	申込みには，ID とパスワードが必要です。 ID ＝学生番号 初期パスワード＝自分の西暦生年月日（半角数字８桁）
2	申込みには，パソコンのメールアドレスの登録が必要です。 登録していない場合は，「ポータルサイト」にある「NU-AppsG（在学生専用メールアカウント)」を参照して登録してください。
3	事前に履修登録が必要です。履修登録を行っていない科目は表示されません。 128 ページ参照

●申込方法

1	通信教育部公式ホームページ（URL:https://www.dld.nihon-u.ac.jp）の「在学生ログイン」をクリックしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し，「スクーリング申請・取消」をクリックしてください。	

3	「未申請スクーリング一覧」から申請したいスクーリングのチェックボックスを選択し，申請 ボタンをクリックしてください。 **※履修登録を行った科目のみ表示されます。必ず事前に履修登録を行ってください。**	

●受付完了

申請受付が完了すると，登録されているパソコンのメールアドレスに申請受付メールが配信されます。配信されない場合は，「スクーリング･メディア授業申請・取消」内の「申請済みスクーリング一覧」に該当講座があることを確認してください。	

●申込確認

随時，「ポータルサイト」で確認することができます。

1	申込方法の１の手順で，ログインしてください。	
2	「学生メニュー」を選択し，「スクーリング・メディア授業情報一覧」をクリックしてください。	
3	申込みをしたスクーリング・メディア授業の一覧が表示されますので，内容を確認してください。	

●申込内容の変更・取りやめ

申込期間内に限り，「ポータルサイト」で変更・取りやめをすることができます。

1	申込方法の１～２の手順で，申請中のスクーリングの画面まで進んでください。	
2	「申請済みスクーリング一覧」より取消したいスクーリングのチェックボタンを選択し，取消 ボタンをクリックしてください。申込内容を変更する場合は，いったん取消後，再度申請してください。	

※申込期限後に，スクーリング申込はできません。

② 「受講届」による申込み（ポータルサイトで申込みを行った場合は不要です）

「受講届」による申込みは，以下の要領で本誌巻末の「受講届」を作成し，教務課に提出してください。

（1）記入上の注意

（ア）講座コード

開講講座のコード番号です。記入にあたっては，「開講講座表」の「講座コード」欄を参照してください。

（イ）講座名

開講される講座の名称です。この講座名を「開講講座表」を参照の上，記入してください。間違えて「充当科目名」を記入しないよう注意してください。

（ウ）充当科目コード

開講講座の単位修得により充当できる科目のコード番号です。記入にあたっては，「開講講座表」の「科目コード」欄，及び後掲の「（2）注意事項」を参照してください。

（エ）学生番号・氏名



（2） 注意事項（「総合科目」，「英語」などの外国語科目及び「各演習科目」など）

例えば，「英語」の講座は，「英語Ⅰ」，「英語Ⅱ」，「英語Ⅲ」及び「英語Ⅳ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語Ⅰ～Ⅳ」のどの科目に充当させるかは，各自の履修状況・履修計画によって異なります。したがって，英語をスクーリングで受講する際には，「受講届」に記載する充当科目コードによって「英語Ⅰ～Ⅳ」のうちどの科目で受講するのか，各自が大学に申告しなければなりません。

「受講届」では４桁の講座コードと６桁の充当科目コードの計 10 桁のコードによって，受講講座（科目）を登録します。コードは「開講講座表」の「講座コード」欄，「科目コード」欄に記載されています。

「英語」の場合，「開講講座表」の「科目コード」欄に４つのコードが記載されていますが，各自の履修計画に合致する科目（「英語Ⅰ～Ⅳ」のいずれか）のコードを，１つ選択してください。

《記入例》（講座「英語 C」において「英語Ⅲ」を選択した場合）

講座コード	開講講座名	担当講師名	充当科目	
			科目コード	科目名
●●●●	英語 B	○○ ○○	C10100	英語 Ⅰ
			C10200	英語 Ⅱ
			C10300	英語 Ⅲ
			C10400	英語 Ⅳ
▲▲▲▲	英語 C	○○ ○○	C10100	英語 Ⅰ
			C10200	英語 Ⅱ
			C10300	英語 Ⅲ
			C10400	英語 Ⅳ

（イ）　（ア）　（エ）　（ウ）

（ア） 希望する講座として「英語 C」を選択。

（イ）「英語 C」を選択したことによって講座コードは「▲▲▲▲」となる。

（ウ） その講座で充当する科目として「英語Ⅲ」を選択。

（エ）「英語Ⅲ」を選択したことによって充当科目コードは「C10300」となる。

（オ）「受講届」の記入は，講座コードに「▲▲▲▲」，充当科目コードに「C10300」と記入します。また講座名に「英語 C」と記入します。

※「・・・演習」という講座も同様で，例えば「英語学演習」の場合，「英語学演習Ⅰ」，「英語学演習Ⅱ」及び「英語学演習Ⅲ」という科目を含んで開講されます。今回のスクーリングで「英語学演習Ⅰ～Ⅲ」のどの科目に充当させるかを「受講届」に記入する充当科目コードによって各自が大学に申告してください。

記入上の注意事項

（1） 黒のボールペンを使用し，楷書で正確に記入してください。
（2）「受講届」提出締切後の追加，変更はできません。
（3） 記入誤り，記入漏れによる追加変更は一切いたしません。
（4） 次の場合，大学の判断により事務的な処理にて講座の決定を行いますので，希望講座を受講できない可能性があります。
・乱雑な記入
・記入誤り，記入漏れ
・記入した講座コード，講座名，充当科目コードの不一致

（3）「受講届」を提出する（提出締切日は表紙を参照）

「受講届」の記入が終わったら，申込内容の控えをとり，「受講届」を教務課に提出してください。提出方法は以下の２通りです。

ア 教務課窓口に直接提出

教務課前に設置のポスト（白色）に投函してください。【提出期限は事務取扱時間内】

イ 郵送で提出する

「受講届」を封筒に入れ，切手貼付の上，郵送してください。【提出締切日必着】

郵送提出においての注意事項

天災や郵便の遅延・未着そのほかの事故については，いかなる配慮も行いません。

「受講届」が教務課に届かなかった場合，受講ができなくなりますので，特定記録郵便・簡易書留・書留を強くお勧めします。

特定記録郵便の場合，大学での受領記録が残りませんので，「スクーリング受講資格審査結果通知書」が届くまで，郵送した際の受領証を必ず保管してください。紛失の場合，郵便追跡確認ができなくなります。

また，リポート等，他の書類と一緒に送付するとその間にはさまってしまい，事故の原因になります。**「受講届」は単体で送付してください。**

3　受講講座の変更・追加

①　受講講座変更届の作成

用紙で受講講座の変更・追加をする場合は，本誌巻末の「受講講座変更届」を使用し，以下の記入例を参考に作成してください。なお，ポータルサイトを利用することで，変更届を出さずに受講講座の変更・追加が可能です。

※変更・追加のために，複数の「受講届」用紙を使用した場合や他のスクーリングの「受講届」を使用した場合は，正しい申込みが判別不能となり，申込みが「無効」となりますので，決して使用しないでください。

また，変更届はスクーリング毎に用紙を分けてください。

②　記入事項

変更・追加する事項の記入を行うほかに変更前の申込講座の「スクーリング開催期」，「講座コード」，「講座名」及び「充当科目コード」を明記してください。また，学生番号・氏名も忘れずに記入してください。

※記入する講座が５講座以上の場合はコピーして使用してください。

③　提出先・提出方法

「受講届」提出と同様です。

④　提出締切

「受講届」提出の締切日と同一（10月7日（月））です。別途の日程はありません。

※郵送の場合は受講届の提出と同様に提出締切日までの必着です。

《記入例》

令和 元 年 10 月 7 日

日本大学通信教育部　御中

令和元年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて，既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく，本書面をもってお願いいたします。

記

（当初の受講講座）

スクーリング開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
火曜１時限	AB11	政治学	B 11700
火曜２時限	AB21	心理学B	B 12100
火曜３時限	AB31	英語A	C 10100

（変更後の受講講座）

スクーリング開講期	講座コード	講座名	充当科目コード
火曜１時限	AB11	政治学	B 11700
火曜４時限	AB41	哲学A	B 10700
火曜５時限	AB51	英語B	C 10100

上記のとおり相違ありません。

学生番号	2	2	1	7	3	9	9	9	
フリガナ	ニチ　ダイ　　タ　ロウ								
氏名	日　大　　太　郎								
自宅電話番号	０３－５２７５－８９１１								
緊急時電話番号									

教務課受付印

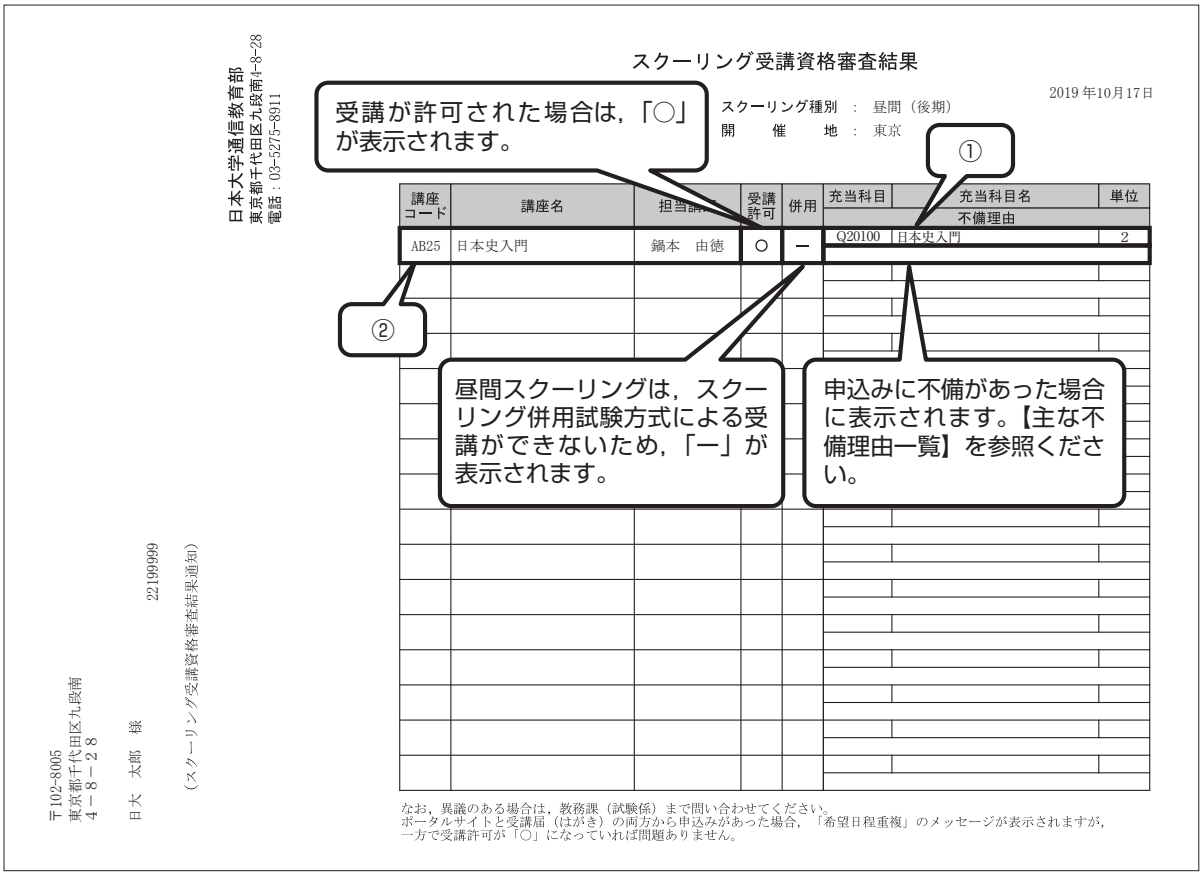
提出締切日：［窓口］10月7日（月）事務取扱時間内厳守
［郵送］10月7日（月）必着

Ⅶ　申込講座の許可と不許可

1　受講許可を確認する

申込内容に基づき大学が受講資格審査を行い，その結果を受講資格審査結果通知により通知します。**ポータルサイトでの申請者には送付されません。ポータルサイト上の「スクーリング・メディア授業情報一覧」にて同様の通知を PDF ファイルで閲覧できますので，確認してください。**

《受講資格審査結果通知書例》



① **充当科目コードの確認**

必ず充当科目コード・単位を確認してください。

「充当科目コード」及び「開講単位数」欄に記載された内容が，申込み内容と同一であることを確認してください。

「英語」や「演習」などのように「Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ…」の区別のあるものや，科目の名称が類似している科目がありますので，十分注意してください。

スクーリング併用試験方式で申込みをした科目であっても，単位数はスクーリング開講単位が記載されています。

② **講座コード・講座名・時間割の確認**

必ず講座コード・講座名・時間割を確認してください。

「講座コード」欄に記載された内容が，申込み内容と同一であることを確認してください。受講申込者数により講座が分割されている場合があります。

【主な不備理由一覧】

○履修なし

受講届のみ提出している場合に表示されます。**スクーリングの受講はできません。**

○希望日程重複

ポータルサイトと受講届の両方で申込みを行った場合に表示されます。**スクーリングの受講は可能です。**

○科目修得試験方式確定

科目修得試験にすでに合格している場合に表示されます。**スクーリングの受講はできません。**
（ポータルサイトから申込む場合，修得済の科目は表示されません）

2　講座振り分け及び受講不許可について

各講座には収容定員・適正定員があります。受講希望者が定員を超えた場合，以下の①から③のいずれかで対応させていただきます。

① **超過した人数分の学生を他講師担当の同一科目講座へ振り分ける**

② **新たに他講師担当の同一科目講座を増設し，超過した人数分の学生をその講座へ振り分ける**

※①及び②の場合，振り分けられた講座を受講することになります。担当講師，授業内容は振り分けられた講座の内容に変更されますのでご注意ください。

③ **超過した人数分の学生を受講不許可にする**

※希望した講座が受講できないことになります。また，新たに代わりの講座を申し込むこともできません。あらかじめご了承ください。

振り分けられた講座の受講を辞退する場合には，「3　許可講座を辞退する」を参照し，辞退手続を行ってください。なお，①及び②についても受講辞退後，新たに代わりの講座を申し込むことはできません。あらかじめご了承ください。

３　許可講座を辞退する

この手続は，振込用紙を受け取った後，やむを得ない理由等により受講許可講座の全部又は一部の受講ができなくなった場合，その講座の辞退を行う手続です。

ただし，この辞退手続はスクーリング受講料等納入前であることが条件となります。スクーリング受講料等納入後に受講辞退の意思表示があったとしても受講料等は一切返還しません。

また，一部辞退を行わないまま，希望する講座を受講しようとした場合，受講申込講座全ての受講料をお支払いいただくことになります。

講座の辞退を行う場合には以下により手続を行ってください。

①　手続書類

以下の(１)及び(２)を教務課試験係まで提出してください。

（１）「受講申込辞退願」【各種用紙】 （２）　振込用紙 （３）　374 円分郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料）を貼付した，長形３号（Ａ４判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自己の郵便番号，住所及び氏名を明記）

※(３)は，一部の講座を辞退する場合のみ必要です。

②　手続期限　いかなる場合でも期限後は手続できません。

10 月 25 日（金）《事務取扱時間内必着》

③　提出先　教務課試験係

事務取扱時間内であれば窓口での提出もできます。

※この手続は他の講座への変更・追加申込みではありませんので注意してください。

Ⅷ　受講料等の納入

受講許可の下りた講座に対し，振込用紙を送付します。
申込講座の辞退がない場合，受講料を期限までに納入してください。
納入がない場合，いかなる理由があっても受講はできず，成績も反映されません。

1　受講料：1講座 10,000 円×受講講座数
「情報概論」のみ 13,000 円（コンピュータ等実習料を含むため）

2　振込用紙発送予定日：10 月 17 日（木）

3　納入期限：11 月1日（金）

4　納入方法
2018 年7月より，ATM・インターネットバンキングからも納入ができるようになりました。
大学から送付される振込用紙を使用し銀行窓口から納入，または，ATM・インターネットバンキングで納入してください。

注　意　事　項

①　納入に際しての注意事項

（1）　ゆうちょ銀行窓口，会計課窓口及び郵送での納入はできません。

（2）　振込用紙に記載された事項（納入金額等）を修正した納入は受け付けません。

（3）　**ATM・インターネットバンキングで納入する場合は，140 ～ 141 ページの「三菱 UFJ 銀行 ATM での振込のお取扱いについて」及び「三菱 UFJ 銀行以外の ATM，各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し，手続きしてください。**

②　その他の注意事項

（1）　発送予定日から5日経過しても振込用紙が届かない場合は，至急会計課に連絡してください。
また，期日までに納入できない事情が発生した場合は，至急教務課に連絡してください。

（2）　領収書（銀行領収印の押印されているもの）は，受講時及び試験時に提出を求められる場合があります。受講期間中は，学生証と共に常に携帯してください。
なお ATM・インターネットバンキングからの納入については，ATM から発行される「明細書」，インターネットバンキング上の振込完了画面を印刷したものをもって領収書に代えます。

（3）　受講料等を納入した後に，受講申込辞退の意思表示があったとしても，受講料等の返還は行いません。

三菱ＵＦＪ銀行ＡＴＭでの振込のお取扱いについて

スクーリング受講料及び年度授業料については，三菱ＵＦＪ銀行ＡＴＭでのキャッシュカード（振込金額100 万円以下）および現金（振込金額 10 万円以下）による振込が可能となります。

大学から送付された振込用紙を持参し，以下の手順に従い振込を行ってください。

なお，三菱ＵＦＪ銀行ＡＴＭから納入いただいた場合は振込手数料が無料となります。
ＡＴＭ利用手数料については，注意事項をご覧ください。

【振込手順】

１．振込方法の選択

「お振り込み」より，現金またはキャッシュカードを選択し，キャッシュカードの場合は暗証番号を入力してください。

２．振込先口座の選択・入力

振込用紙に記載の口座情報を選択・入力し，確認してください。

３．お振込金額の入力

今回納入する金額を入力してください。

４．依頼人番号＝管理番号（10 桁）の入力

振込用紙に記載の管理番号（10 桁）を入力してください。

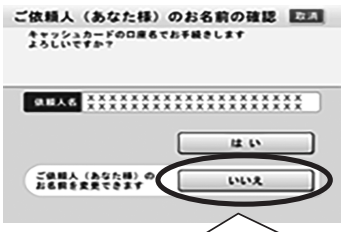
なお，管理番号（10 桁）は振込用紙ごとに毎回異なります。





５．依頼人名の確認及び振込実行

キャッシュカード名義が学生本人でない場合，学生氏名に変更してください。



銀行キャッシュカードが学生本人の名義でない場合，「いいえ」を選択



学生氏名(カナ)を入力



「依頼人名」が，学生氏名であることを確認

６．明細票の受取

銀行の出納印は不要です。「明細票」をもって領収書に代えますので，振込用紙とともに，大切に保管してください。

※注意事項

①ＡＴＭ指定時間外（8:45～21:00 外）のお手続や，他の金融機関のキャッシュカードによるお手続には「ＡＴＭ利用手数料」がかかります。

②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。

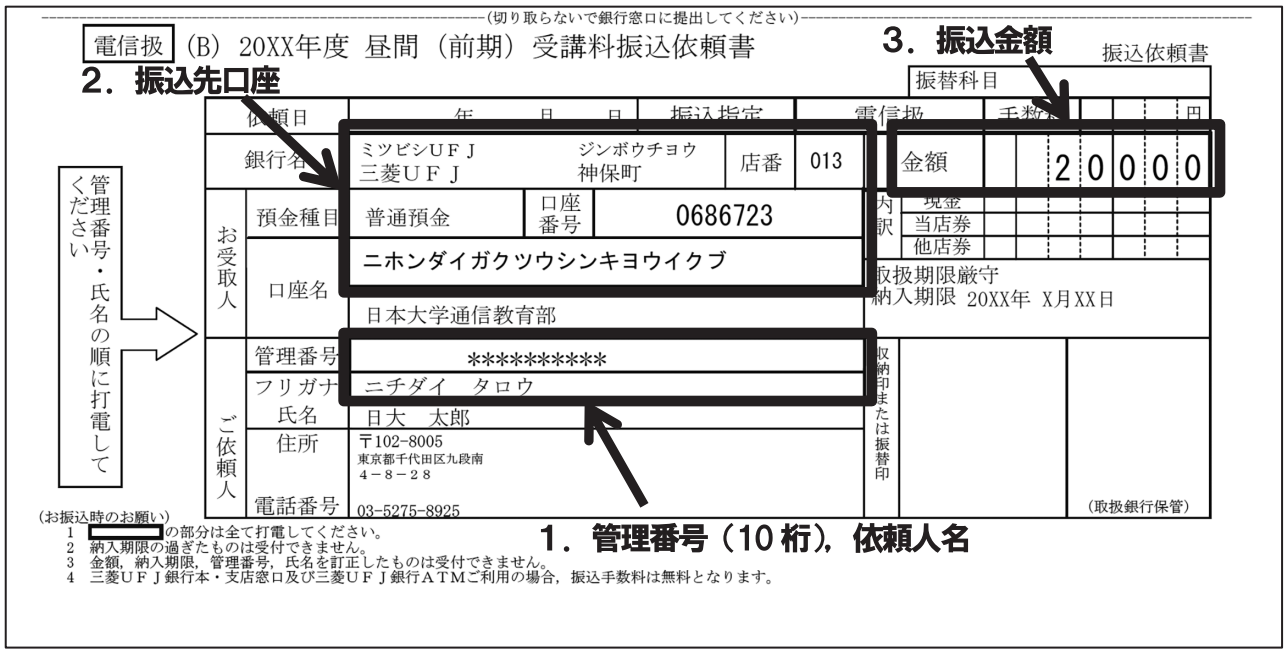
③振込内容が複数ある場合は，１件ごとに送金してください。

④やむを得ずコンビニＡＴＭや三菱ＵＦＪ銀行以外の金融機関のＡＴＭ及びインターネットバンキングを利用する場合は，別途「三菱ＵＦＪ銀行以外のＡＴＭ，各金融機関のインターネットバンキングを利用して振込を行う場合」を参照し，手続きしてください。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課 （電話）０３－５２７５－８９２５

三菱ＵＦＪ銀行以外のＡＴＭ，各金融機関の インターネットバンキングを利用して振込を行う場合

振込用紙を参照の上，以下の内容を入力し，振込してください。



１．管理番号（10 桁），依頼人名

管理番号（10 桁）を入力した後，学生氏名を入力してください。

なお，**「管理番号（10 桁）」は振込用紙ごとに毎回異なります。**

２．振込先口座

振込先の講座情報を選択・入力し，確認してください。

３．振込金額

今回納入する金額を入力してください。

例）上の振込用紙の内容を振込する場合は，以下のとおり入力することとなります。

依頼人名 ： ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊ニチダイ　タロウ

（**振込用紙記載の 10 桁の管理番号**を入力した後，**学生氏名**を入力）

振 込 先 ： 三菱ＵＦＪ銀行　神保町支店　普通　0686723　日本大学通信教育部

振込金額 ： 20,000 円

※注意事項

①銀行の出納印は不要です。振込完了後，ＡＴＭから発行される「明細票」（インターネットバンキングの場合は振込完了の画面を印刷したもの）を大切に保管し，受講期間中は学生証と共に常に携帯してください。

②振込用紙に記載の内容を変更しての振込は受け付けられません。

③振込内容が複数ある場合は，１件ごとに送金してください。

④振込に係る手数料は，全て依頼人（学生）の負担となります。

【お問い合わせ先】日本大学通信教育部会計課 （電話）０３－５２７５－８９２５

Ⅸ　受講準備

1　使用教材の入手

昼間スクーリングは講義形式の授業ですので予習なしでの受講は学修効果が期待できません。受講許可後，本誌のシラバス（教科書，参考書）で使用教材が，『通信教育教材』か『市販教材（市販本）』かを確認の上，以下の要領で教材を入手してください（教科書等の価格・送料はシラバスに記載されています）。

教材購入方法の見分け方は，後掲の「③教材入手方法の見分け方」を参照してください。

注　意　事　項

既に所持している『通信教育教材』であっても，教材改訂によりシラバスに記載されている「教科書」や「参考書」と異なる場合があります。科目名のみによらず，シラバスに掲載されている「教材コード」と所持する『通信教育教材』の教材コードとを照合し，不一致の場合は，教材を入手してください。

なお，教材購入後の変更・取消及び費用の返還はできませんので注意してください。

①　使用教材が『通信教育教材』の場合

通材 印が付されている教材は，本誌「各種用紙」の「教材配本申請書」を使用し配本申請又は「教材購入願」を使用し購入してください。**既に今回の使用教材を入手している場合は，改めて「教材配本申請書」又は「教材購入願」によって入手する必要はありません。**教材の送付先は，すべて大学に登録されている各自の住所への発送となります。教材が手元に届くまでは手続完了後，約１週間を要しますので，受講許可を確認した後，速やかに手続きを行ってください。

なお，『通信教育教材』を購入する場合，通信教育部の規定により送料が含まれるため，本体価格が高額になります。

不明な点は，研究事務課（電話 03-5275-8890）にお問い合わせください。

②　使用教材が『市販教材（市販本）』の場合

『市販教材（市販本）』は，一般書店で購入してください。住居地周辺の書店で購入できない場合，**丸沼** 印のついている本については，丸沼書店で購入できます。

（書店名）（株）丸沼書店
（所在地）〒 101-0061　東京都千代田区神田三崎町２- 8-12
（電　話）03-3261-4540
（ＦＡＸ）03-3261-0118
（営業時間）９：00 ～ 20：00（日曜日は 10：00 ～ 19：00）
（購入方法）　直接店頭（163 ページを参照）で購入のほか以下（１）～（３）の方法で通信販売も可能です。

（１）　代金引換払（手数料 460 円が別途かかります）
本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，上記あてに郵送又は FAX をしてください。

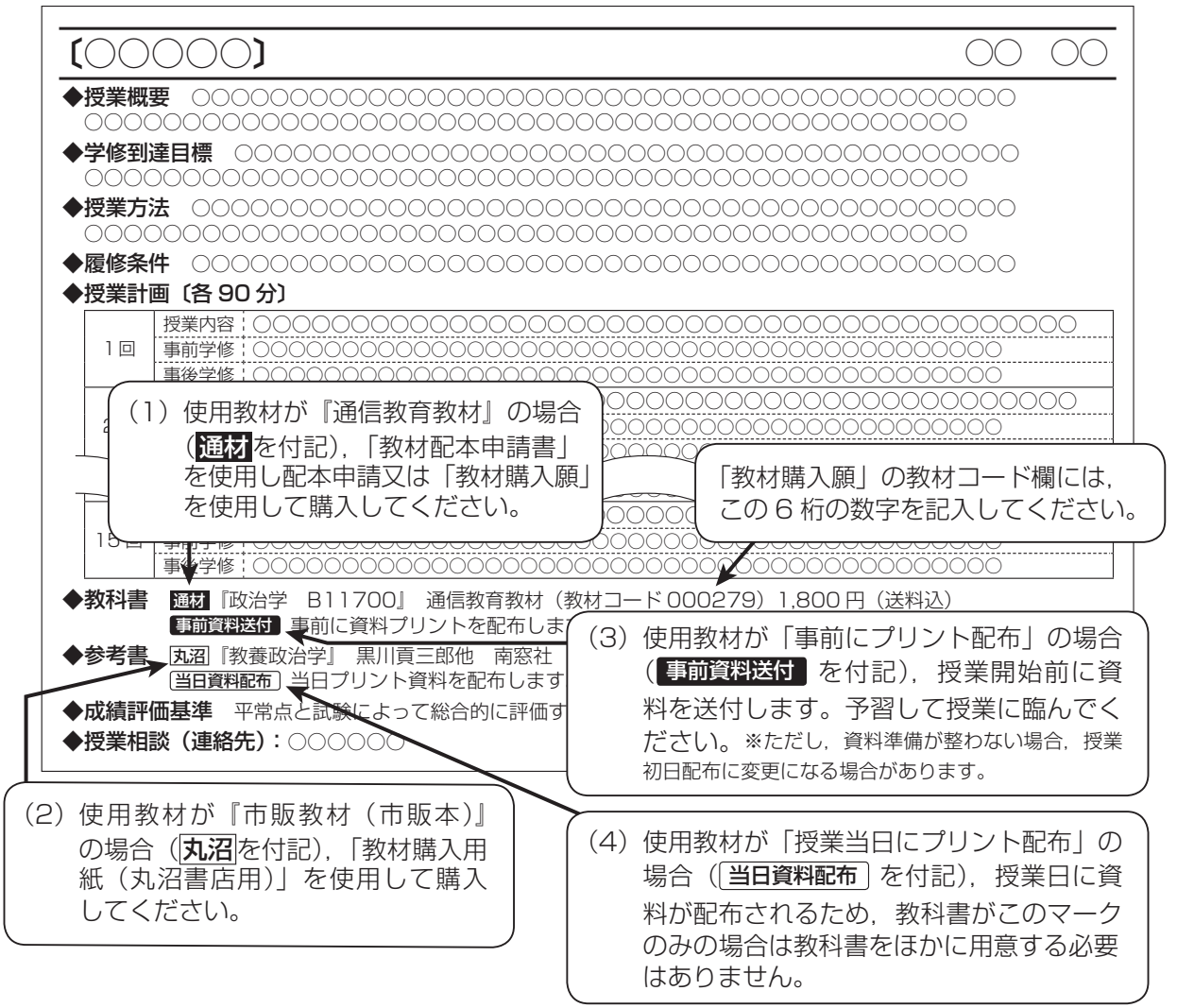
（２）　為替（前納）
本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の定額小為替又は普通為替を同封して上記宛に郵送してください。

（３）　現金書留（前納）
本誌「各種用紙」の「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して上記宛に郵送してください。

不明な点は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

『使用教材』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。消費税の増税が実施された場合及び改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

③ 教材入手方法の見分け方



※事前資料送付・当日資料配布については，教務課（電話 03-5275-8911）にお問い合わせください。

④ スクーリング受講に伴う六法の携行及び指定の六法

法律系の科目を受講する場合，特にシラバスに記載がなくとも『六法』は必携となりますので，各自用意の上，授業に臨んでください。

通信教育部指定の六法について

スクーリング試験時に参照が許可される『六法』は，次の５種類に限ります。ただし，担当講師から別途指示がある場合は，この限りではありません。

《試験時に参照が許可される六法》
有 斐 閣『六法全書』，『ポケット六法』
第一法規『司法試験用六法』
三 省 堂『デイリー六法』，『三省堂基本六法』

注意事項：

（1） 上記指定の『六法』に，書き込み等がある物は，参照物として認められません。したがって，『六法』は学修時に使用するものと試験時に使用するものとで別に用意してください。

（2） 判例・解説つきのもの（『六法』付録の小冊子等を含む）は参照物としては認められません。

2　通学定期券の購入手続

通学定期券は，正科生がスクーリング受講を目的として通学する場合に限り購入できます。通学定期券購入の手続き等は，以下のとおりです。

学生証裏面シールへの記入	①「学生番号」,「氏名」,「現住所」を黒のボールペンで記入してください。 ②「通学区間」欄に対象区間及び経由（乗り換え駅）を記入してください。また，定期券が２枚に分かれる場合は２行に分けて記入してください。
学生課窓口で記入する所定用紙について	①　通学定期乗車券発行控（全員必要）[本誌巻末 167 ページ参照] ②　通学証明書（都営地下鉄，都電，各路線バス等を利用する場合に必要）
対象区間	自宅（又は滞在先）の最寄駅から「通信教育部最寄の駅」までの最短経路
購入手続き	①　上記「通学定期乗車券発行控」を記入の上，学生証持参で事務取扱時間内に学生課窓口にて**「経路確認」**印の押印を受けてください。 ②　通学定期券取扱駅の窓口にて定期券購入用紙に必要事項を記入し，押印済の学生証を提示することで通学定期券が購入できます。
その他注意事項	①　通学区間が変更となった場合は，学生課に届け出てください。 ②　年度内に学生証裏面シールの「通学定期乗車券発行控」欄が不足となった場合は，学生課へ届け出てください。 ③　**「経路確認」**印は，スクーリング期間内に限り有効です。 ④　科目履修生は対象外です。

【通信教育部最寄り駅】

鉄道会社	最寄駅（市ヶ谷キャンパス）
ＪＲ東日本	総武線　市ヶ谷駅
都営地下鉄	新宿線　市ヶ谷駅
東京メトロ	有楽町・南北線　市ヶ谷駅

※最短経路とは所要の時間が最短，交通費が最安，乗換が最少である等の合理的な経路のことをいいます。

※途中経路や迂回経路は一切認められません。

注意事項

通学定期券を不正に使用してはいけません。不正使用したことが発覚すると，鉄道会社等の営業規則に基づき定期運賃の数倍の罰則金等が科せられます。また，大学自体も通学定期券発行の指定から外され，他の学生に多大な迷惑をかけることになります。不正使用は絶対に行わないでください。

【不正使用の例】

①　通学以外の目的で使用すること。	③　記名人以外が使用すること。
②　現住所及び通学区間を偽ること。	④　他人に譲渡・貸与すること。

X　オープン受講

通信教育部の在学生で既に修得した科目の受講を希望する場合もしくは社会人等（卒業生を含む）で受講を希望する場合，オープン受講の申込をすることで受講することができます。下記，流れに従い，手続きを行ってください。

項　　目	手　続　内　容
・『手引』入手 ・受講科目選択	・『手引』を読み，受講講座を決定する。 ※シラバスにて，「オープン受講：不可」と記載がある場合は，受講することはできません。
⬇	
使用教材の入手	・シラバスを参照し，教材を入手する。
⬇	
授業開始	・１階の掲示板で，講堂表を確認した上で，それぞれの講堂で受講する。 ※成績の評価は行わず，単位は付与しません。
⬇	
受講希望の講座を申し込む	・受講を希望する講座を本誌巻末の「オープン受講届」に記入し，教務課へ提出する。 ・表紙記載の締切日に注意してください。 【申込に必要な書類等】 ①スクーリングオープン受講届（本誌巻末） ②身分証明書コピー（学生証，運転免許証等）
⬇	
受講資格審査	各講座の申込者数等確認し，受講に支障がないか教務課にて資格審査を行います。
⬇	
許可通知書兼納金票の受け取り	・受講許可者に，「受講許可通知書兼納金票」を郵送します。 なお，受講学生の調整により，「受講許可通知書兼納金票」が発送予定日より遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。
⬇	
受講料の納入	・納入方法は下記のとおりです。 ①窓口で手続きを行う場合 納金票と共にスクーリング受講料を会計課窓口にて現金で納入してください。 ②郵送で手続きを行う場合 ⑴定額小為替証書または普通為替証書で納入する場合 納金票と共に簡易書留にて教務課宛に郵送してください。その際，返信用封筒（住所・氏名を明記の上，374 円切手貼付）を同封してください。 ⑵現金で納入する場合 納金票と共に現金書留便にて会計課宛に郵送してください。その際，返信用封筒（住所・氏名を明記の上，374 円切手貼付）を同封してください。 ※受講料未納者は受講できません。
⬇	
手続完了	オープン受講の手続きは完了です。

MEMO

XI 各種用紙

・履修届

・昼間スクーリング（後期）受講届

・オープン受講届（在学生用）

・オープン受講届（社会人等（卒業生用））

・「スクーリング」受講講座変更届

・受講申込辞退願

・教材配本申請書

・教材購入用紙（丸沼書店用）

・教材購入願（通信教育教材用）

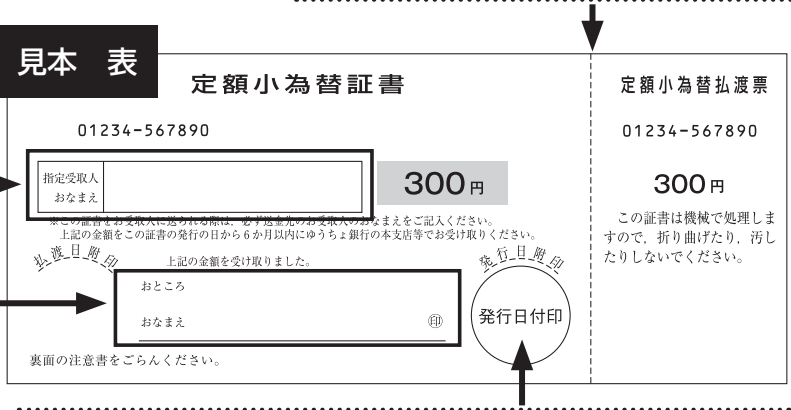
・通学定期乗車券発行控

「為替」送付時の注意事項

「証明書交付願」「教材購入願」等の各種手続において，手数料等を郵送にて「定額小為替証書」又は「普通為替証書」で納入する場合には，以下のことに注意してください。

なお，「定額小為替証書」又は「普通為替証書」をゆうちょ銀行又は郵便局窓口で購入する際は，手数料がかかります（詳細は郵便局窓口でご確認ください）。

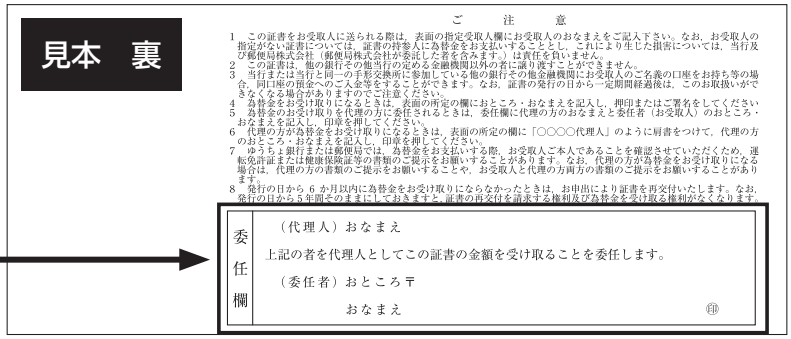
注意事項①
「証書」と「払渡票」は切り離さないでください。



注意事項②
これらの欄には何も記入しないでください。

「普通為替証書」も同様に，何も記入しないでください。

注意事項③
為替の有効期間は発行日から６か月以内ですが，金融機関への手続き等があるため，有効期間が２週間以上残っているものを送付してください。



注意事項④
この欄には何も記入しないでください。

注意事項⑤
右「受領書」は送付せず，各自で保管してください。郵便事故等で「為替」が行方不明になった場合，この「受領書」が必要になりますので，各種手続が完了するまで大切に保管してください。



（お客さま控）

履修登録年度	令和　　年度

履　修　届

提出年月日	令和　　年　　月　　日

学生番号		フリガナ 氏名		電話番号	―　　― （必ず連絡のとれる電話番号を記入すること）

	科目コード	科目名	単位
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			

	科目コード	科目名	単位
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			

記入例　0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

合計　　単位　←　年間 48 単位まで登録できます。
教職生および2学年以上の教職コース登録者は
年間 60 単位まで登録できます。

日本大学通信教育部

□ 内をすべて記入してください。

提出年月日	令和　　年　　月　　日

昼間スクーリング（後期）受講届

学生番号									フリガナ	
									氏　名	

種別コード	A 1

	曜日	時限	講座コード				講　座　名	充当科目コード					
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
合計　　講座（14 講座まで登録できます。）													

＜記入例＞

	曜日	時限	講座コード				講　座　名	充当科目コード					
1	火	1	A	B	1	1	政治学	B	1	1	7	0	0

※ 書き損じた場合は修正テープ，修正液で訂正してください。
※ 本票で**他のスクーリングの受講申込**はできません。
※ 履修登録を行っていない科目は，本用紙のみでは申込が完了しません。
　必ず，履修登録を行ってください。

提出締切日：［窓口］10月7日（月）事務取扱時間内厳守
［郵送］10月7日（月）必着

事務局使用欄

通信教育部（在学生用）

令和　　年　　月　　日

スクーリングオープン受講届

下記のとおり，スクーリングのオープン受講を希望します。

学部・学科	学部　　学科 専攻　（　　）		
学　年	年	学生番号	
フリガナ			
氏　名			

【希望スクーリング】

スクーリング種別			開催地	
講座名	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
受講希望理由				

学生証コピー貼付欄

【提出書類】
- ○　スクーリングオープン受講届
- ○　学生証コピー

教務課受付印

社会人等（卒業生用）

令和　　年　　月　　日

スクーリングオープン受講届

下記のとおり，スクーリングのオープン受講を希望します。

卒業時 学部・学科	学部　　学科 専攻　（　　）	学　外
住所等	〒　　－ Tel：　　－　　－	
フリガナ		
氏　名		

【希望スクーリング】

スクーリング種別			開催地	
講座名	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
	講座コード	講座名		
受講希望理由				

身分証明書コピー貼付欄

【提出書類】

○　スクーリングオープン受講届

○　身分証明書コピー

教務課受付印

※　身分証明書として「マイナンバーカード」は，原則として使用できません。不明な点は，確認してください。

令和　　年　　月　　日

日本大学通信教育部　御中

令和元年度スクーリング受講講座変更届

標記のことについて，既に「受講届」にて申し込んだ受講講座を下記のとおり変更いたしたく，本書面をもってお願いいたします。

記

（当初の受講講座）

スクーリング開講期	講　座コード	講座名	充当科目コ ー ド

（変更後の受講講座）

スクーリング開講期	講　座コード	講座名	充当科目コ ー ド

上記のとおり相違ありません。

学 生 番 号	
フ リ ガ ナ	
氏　　名	
自宅電話番号	
緊急時電話番号	

教務課受付印

提出締切日：［窓口］10月7日（月）事務取扱時間内厳守
［郵送］10月7日（月）必着

併せて提出するもの
全講座辞退→振込用紙 一部講座辞退→振込用紙 返信用封筒（長形３号，374円切手貼付）

年　　月　　日

日本大学通信教育部　御中

令和元年度昼間スクーリング（後期）受講申込辞退願

1　学　生　番　号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2　氏　名（フリガナ） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

3　連絡先電話番号 ＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿－＿＿＿＿＿

4　辞　退　内　容　□ **全講座辞退**
（□にチェック）　⇒　振込用紙記載講座すべてを辞退する場合
□ **一部講座辞退**
⇒　振込用紙記載講座の一部を辞退する場合，**辞退講座のみ** を以下へ記入

講座コード	講座名	講座コード	講座名

5　辞　退　理　由（詳述）

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

※　**提出期限【教務課必着】10／25（金）**　**※提出期限以降の辞退手続きはできません。**
※　振込用紙と一緒に送付すること。
※　**この「辞退願」は「令和元年度昼間スクーリング（後期）」専用です。**他のスクーリングの辞退手続には使用できませんので，各スクーリング専用の「辞退願」を使用してください。
※　一部講座辞退の場合，374 円分の郵便切手（大学からの再送付時の速達郵便料を貼付した長形３号（A4 判三つ折の用紙が入る大きさ）の返信用封筒（自分の郵便番号・住所・氏名を明記）を同封すること。
※　辞退手続は１回しかできません。

教務課受付印	会計課受付印

配本申請（無料）

令和　　年　　月　　日

日本大学通信教育部　御中
（提出先：研究事務課）

教　材　配　本　申　請　書

学　生　番　号	氏　　名
連絡先電話番号	－　　－

（太線枠内にボールペンで記入してください）

No	教材コード （科目コードではありません）	教　材　名	配　本 単位数
1	0 0		単位
2	0 0		単位
3	0 0		単位
4	0 0		単位
5	0 0		単位
6	0 0		単位
7	0 0		単位
8	0 0		単位
9	0 0		単位
10	0 0		単位
		合　　計	単位

ポータルサイト「教材発送申請・照会」の「配本申請」から申請できます。
ポータルサイトから申請できない方は，この用紙を使用してください。
※年度内２回まで，計32単位分まで教材の申請ができます。
※科目履修生は申請できません。「教材購入願」にて購入してください。
※消えないボールペンを使用し，記入してください。
※書ききれない場合には，用紙をコピーして２枚用いてください。
※「教材コード」は『教材要綱』，『各種スクーリングの手引』で確認し，記入してください。「教材コード」と「科目コード」は異なりますので注意してください。
※２冊組教材はセットコードを記入してください。
※スクーリング等で指定する丸沼表記の教材は，対象外です。

事務局使用欄

教材入手の手続き

1　教材の入手方法について

通信教育部で扱う教材は，「通信授業」（在宅学修）を目的とした教材です。
一部のスクーリング等で，通信教育教材（ **通材** と表記）を使う場合も，対象となります。
通信教育部で扱う教材の入手方法は，2通りあります。
なお，教材コード・販売価格等は『ポータルサイト』・『スクーリングの手引』に掲載されます。

①「教材配本申請書」による配本（無料）

正科生のみ対象となります。年度内2回まで合計32単位分まで申請できます。
所定の「教材配本申請書」で申請してください。
一度提出した書類の追加・変更はできません。
ポータルサイトの学生メニューの「教材発送申請・照会」画面の「配本申請（無料）」からも申請できます。

②「教材購入願」による購入（有料）

教材を有料で購入することができます。
科目履修生の教材入手や，「教材配本申請書」の回数・単位数の上限を超えた場合，その他の理由で教材を入手したい場合には，有料で購入することができます。
教材を購入する場合，「教材購入願」に必要事項を記入し，次の手続により購入してください。
ポータルサイトの学生メニューの「教材発送申請・照会」画面の「教材購入（有料）」からも用紙を作成・出力できます。

(1) 窓口の場合

会計課窓口にある「教材購入願」に必要事項を記入し，現金を添えて会計課窓口で手続をしてください。

(2) 郵送の場合

『スクーリングの手引』巻末の「教材購入願」に必要事項を記入し，費用と併せて会計課に郵送してください（「教材購入願」裏面の注意事項を確認してください）。

※「教材購入願」による教材購入の場合，通信教育部の規定により送料が含まれるため，本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。
なお，市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトにも掲載）で確認できますので，書店での購入の際にご活用ください。

2　注意事項

① 教材は「通信教育教材」に限り購入できます。スクーリング等で指定する市販教材（丸沼 表記の教材）は，対象外です。
② 手続後の変更・取消し，納入金額の返還はできません。
③ 印刷教材は，大学登録住所あてに送付します。教材が手元に届くまで 約1週間を要しますので，余裕をもって手続をしてください。
④ 窓口での教材のお渡しはできません。

丸 沼

教 材 購 入 用 紙（丸沼書店用）

市販教材（市販本）購入用

※丸沼印の教材を郵送にて購入の際は，この用紙で申し込んでください。
詳細は，「使用教材の入手」のページを参照してください。

（送付先）丸沼書店

令和元年度　昼間スクーリング（後期）			
申　込　日	令和元年　　月　　日		
科　目　名	書　　名	教材費（税込）	送　　料
小　　計		円	円
合　　計		円	
購入方法 （いずれかに○）	①代金引換　②定額小為替・郵便為替　③現金書留		

※下記の住所，氏名の欄は返信用に使用しますのではっきり書いてください。

送り先	住　　所	〒　　－
	氏　　名	
	電 話 番 号	（　　）

※この用紙で『通信教育教材』は購入できません。
※不足する場合は複写の上，使用してください。

購入方法は裏面を参照してください。

【購入方法】

(1) ～ (3) の方法での購入も可能です。

(1) 代金引換払（手数料 460 円が別途かかります）
本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」に必要事項を記入の上，下記宛に郵送又は FAX をしてください。

(2) 郵便為替（前納）
本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を同封して下記へ郵送してください。

(3) 現金書留（前納）
本紙「教材購入用紙（丸沼書店用）」と税込価格＋送料の合計金額を同封して下記へ郵送してください。

不明な場合は，丸沼書店に直接問い合わせてください。

※送料について

送料は書籍の総重量で変わります。それぞれの書籍の組み合わせにより送料が異なりますので，郵便為替・現金書留の場合，ご注文各書籍の送料の合計をお送りください。余った送料については，ご返金いたします。また，代金引換払の場合，書籍代＋送料（実費）＋手数料（460円）を受取時にお支払いください。消費税の増税が実施された場合及び改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

※使用教材について

『市販教材（市販本)』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。消費税の増税が実施された場合及び改訂等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

（書　店　名）（株）丸沼書店
（所　在　地）〒 101 - 0061
東京都千代田区神田三崎町 2 - 8 - 12
（電　　話）03 - 3261 - 4540
（F　A　X）03 - 3261 - 0118
（営業時間）9：00 ～ 20：00（日曜日は10：00 ～ 19：00）

通 材

令和　　年　　月　　日

日本大学通信教育部　御中
（提出先：会計課）

教 材 購 入 願（通信教育教材用）

学　生　番　号		氏名	フリガナ
連絡先電話番号			－　　－

（太線枠内にボールペンで記入してください）

	教材コード	科　目　名	金　額	スクーリング種別 講　座　名
1	0 0 0			
2	0 0 0			
3	0 0 0			
4	0 0 0			
5	0 0 0			
6	0 0 0			

合計科目数　　科

合計金額　　円

※消えないボールペンで記入してください。
※「教材コード・科目名・金額」は『ポータルサイト』・『手引』で確認し，必ず記入してください。
「教材コード（6桁）」と「科目コード」は異なりますので，注意してください。
※「スクーリング種別・講座名」にはスクーリング・メディア授業において『通信教育教材』を使用する場合にのみ記入してください。
※『手引』における各講座の教科書（参考書）欄で指定されているもの，例えば，「**通材**『政治学 B11700』通信教育教材（教材コード 000279）」と記載されている教材を購入する場合は「政治学」を科目名として記入してください（受講科目ではなく指定された教材の科目名を記入）。

会計課領収印

「通信教育教材」の購入について

『通信教育教材』は「配本申請」又は「教材購入」で入手できます。
「教材購入」をする場合,「教材購入願」を使用し，以下の手続きにしたがって教材を入手してください。また「教材購入願」で購入できる教材は,『通信教育教材』のみです。
スクーリング等で教科書・参考書に指定された『市販教材（市販本)』は丸沼書店又はお近くの書店で購入してください。

1　購入手続

① 窓口手続
「教材購入願」に必要事項を記入し，現金を添えて会計課窓口（１号館２階）へ提出してください（なるべく釣り銭のないようにしてください)。

② 郵送手続
現金書留又は為替が利用できます。

(1) 現金書留での購入
「教材購入願」と合計金額分の「現金」を現金書留封筒にて会計課宛に送付してください。**その際，必ず釣り銭のないようにしてください。**
注意：普通郵便の中に現金を封入することは，郵便法によって禁止されています。また，郵便事故による補償もありませんので，必ず現金書留を利用してください。

(2) 為替での購入
「教材購入願」と合計金額分の「定額小為替証書」又は「普通為替証書」を会計課あてに送付してください。
注意：郵便事故防止のため，なるべく簡易書留や特定記録郵便を利用してください。**為替には何も記入せず送付してください。**

※「教材購入願」による教材購入の場合，通信教育部の規定により送料が含まれてしまい，本体価格より高額になります。お近くの書店でお求めになることをお勧めいたします。
なお，市販本のISBNは教材要綱（ポータルサイトに掲載）で確認できますので，書店での購入の際にご活用ください。

2　注意事項

① 手続後の変更･取り消しはできません。また，返金もいたしませんので注意してください。

② 教材は大学に登録されている住所へ発送し，**窓口ではお渡ししません。**
教材が手元に届くまでに約１週間要しますので，特にスクーリング，メディア授業で使用する場合は「受講資格審査結果通知書」を確認した後，速やかに購入手続きをしてください。

③『通信教育教材』の価格・送料は『手引』作成時の金額です。消費税の増税が実施された場合及び改定等により金額が変わる場合があります。あらかじめご了承ください。

通学定期乗車券発行控

令和　　年　　月　　日

学　　科		学 年	学生番号
大 学 院			
フリガナ		性 別	年 齢
氏　　名		男・女	才
現 住 所			
電　　話	（　　）		
通学区間	会社線名 駅～　　駅　　経由		
	会社線名 駅～　　駅　　経由		

※記入後，学生課に提出すること。

日本大学通信教育部長　殿

2019年度スクーリング受講に係る通学定期券の使用について

私は，2019年度　以下のスクーリングを受講する予定です。

つきましては，当該スクーリングを受講しなくなった場合には，学生課に申し出た上，通学定期券の使用を中止いたします。

なお，万一，不正使用した場合は，学則に基づく処分を受けることを誓約いたします。

また，本件について，大学から呼び出しされた場合は，その指示に従うことを併せて誓約いたします。

受講スクーリング：

学生番号

氏　　名

以　　上

Ⅻ 付 録

校舎案内 **市ヶ谷キャンパス** 【所在地】〒 102-8005　東京都千代田区九段南 4-8-28



JR 中央・総武線（各駅停車）
市ヶ谷駅下車　徒歩3分

都営地下鉄新宿線，東京メトロ有楽町線・南北線
市ヶ谷駅 A2 出口から　徒歩2分

丸沼書店案内図 【所在地】〒 101-0061　東京都千代田区神田三崎町 2-8-12



JR 中央・総武線（各駅停車），都営地下鉄三田線
水道橋駅東口から　徒歩2分

都営地下鉄三田線・新宿線，東京メトロ半蔵門線
神保町駅 A4 出口から　徒歩5分

MEMO

MEMO

MEMO

スクーリング手続　チェックシート

このシートは，受講届の記入からスクーリングを受講するまでの確認用です。

チ　ェ　ッ　ク　項　目	参　　照
◆受講届の記入	
☐ 希望する科目の履修登録は済んでいますか	Ⅵ-１　履修登録をする 表紙（③履修登録締切日）
☐ 申し込む「受講届」用紙の選択に間違いはありませんか	巻末「受講届」
☐ [　　]内の必要事項の記入漏れはありませんか （講座コード・講座名・充当科目コード・学生番号・氏名・電話番号）	Ⅵ-２　講座を申し込む ◆各スクーリングの開講講座表
☐ 講座コード・講座名・充当科目コードは一致していますか	◆各スクーリングの開講講座表
☐ 希望科目の受講条件は満たしていますか （配当学年・適用カリキュラム・その他受講条件）	Ⅳ-１「開講講座表」の見方 ◆各スクーリングの開講講座表
☐ 申し込む開講曜日，開講時限は間違って記入していませんか	◆各スクーリングの開講講座表
☐ 修得済科目を申し込んでいませんか	・単位照合票 ・単位修得状況確認（ポータルサイト）
◆受講届の提出	
☐ 提出締切日に間に合いますか （郵送の場合は締切日必着）	表紙（③受講申込締切日） Ⅵ-２　講座を申し込む
☐ 〈推奨〉申込内容の控えはありますか（受講届のコピー） ☐ 申込完了のメールは届いていますか（ポータルサイトからの申込の場合のみ）	
☐ 〈推奨〉特定記録郵便で発送しましたか	Ⅵ-２　講座を申し込む
◆受講料の納入	
☐ ポータルサイト「スクーリング・メディア情報一覧」又は，受講資格審査結果通知の内容と振込用紙の内容に間違いはありませんか	Ⅶ-１　受講許可を確認する
☐ 受講料の納入期限は厳守していますか	Ⅷ　　受講料等の納入



各種連絡先

○スクーリングの手続等に関する事項
教　務　課　　03-5275-8911

○各種学修相談に関する事項
学修支援ｾﾝﾀｰ　　03-5275-8857

○受講料の振込に関する事項
会　計　課　　03-5275-8925

○通学定期・学割に関する事項
学　生　課　　03-5275-8921

○教材（教科書）に関する事項
研究事務課　　03-5275-8890

DISTANCE LEARNING DIVISION, NIHON UNIVERSITY
〒102-8005 東京都千代田区九段南4-8-28 日本大学通信教育部